





# Shizuoka Association of Technologists

# 静岡県放射線技師会 65周年記念誌 ~15年のあゆみ~

01	創立65周年を迎えて
03	·····································
08	創立65周年記念式典
14	静岡県放射線技師会の15年の歩み
160	放射線技師の過去、現在そして未来へ
161	これからの人達に望むこと
169	これからを担う人たち
170	未来の技師会を担う人たち
174	放射線関連企業の歩み
206	歴代の役員
215	定款
222	<b>在</b> 書



# 創立65周年を迎えて

公益社団法人静岡県放射線技師会 長 和 田 健



昭和26年6月診療エックス線技師法が公布され、昭和43年には診療放射線技師法及び診療エックス線技師法と 身分法の改正が行われ、昭和58年に国会において診療放射線技師法となり職種一本化が成就された。

本会は昭和 23 年 8 月 22 日 日本放射線技師会東海支部 静岡地方会として会員数3 2 名で発足し、昭和 44 年 6 月 21 日第 21 回静岡県エックス線技師会総会にて会の名称を「静岡県放射線技師会」と改称し、平成 3 年 12 月に会員数 725 名をもって「社団法人の認可」をいただき、17 年後の平成 20 年 12 月からの公益法人化改革に伴い、平成 22 年 4 月より法人化検討委員会を発足し 9 月より拡大法人化検討委員会を立上げ法人法改定内容についての学習と検討、公益法人移行へ対応する新定款、諸規程案の検討など幾多の議論を重ね理事会そして臨時総会等を経て、平成 24 年 1 月 13 日「静岡県公益認定等審議会」で本会の公益法人への移行について審議され移行認定が県知事に答申され平成 24 年 4 月 1 日「公益社団法人へと移行」し、晴れて新しい歴史を刻む一歩を踏み出した。

平成 16 年度より新事務所購入に向けて会員各位のご協力により購入資金の積み立てを開始し、平成 20 年 5 月総会にて「事務所購入にあたっては事務所設立推進委員会で承認された物件を常任理事会で承認し会長が最終決定する」という案が承認された。平成 22 年 8 月 25 日理事等 3 名立会いの下、決済の手続きが完了して物件は本会所有となった。正式に新事務所への移転には定款の改定に伴う総会承認そして主務官庁の認可を必要するため、平成 23 年 3 月総会にて新事務所購入の件は承認された。それにより登記申請等を行い平成 23 年 6 月より新技師会事務所での業務を開始した。

平成22年4月30日厚生労働省医政局長から「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」の通達が発せられ、診療放射線技師の更なる役割として①画像診断における読影の補助を行うこと②放射線検査等に関する説明・相談を行うことが求められた。また厚生労働省チーム医療推進会議の中では診療放射線技師の新たな業務と



して抜針・止血・下部消化管造影・核医学関連機器の操作等が検討されている。更なる高齢化が急速に進展する中において、保健・医療・福祉の分野ではこれから益々良質の医療サービスの提供が求められており、それらの環境変化に対応すべき効率的な事業運営を展開していかなければならない。その為にも専門職としての生涯教育そして医療人としての資質向上に努め、粒粒辛苦する姿勢が必要である。

平成23年3月11日の東日本大震災時には県医務課の要請を受け、県庁危機管理センターに専用電話を開設し、診療放射線技師3名常駐して延10日間450件に及ぶ県内外の住民からの放射線被ばくに関する健康相談を実施して不安解消に努めた。また遺体検案前スクリーニング検査や超音波による甲状腺検査なども会員の積極的かつ献身的な医療貢献も被災地に出向き行われ、今後も継続的な甲状腺検査等の経過観察の必要性がある。

草創から今日の発展の基礎を築かれました歴代会長をはじめ、先達の皆様のご苦労とご努力に感謝と敬意を表しますとともに、本会事業に対し深いご理解のもと、賛同いただいております賛助会員各位のご支援とご協力に厚く御礼を申し上げます。

富士山の世界文化遺産登録は私たち日本人の最高の贈り物であり静岡県民の誇りでもある。このすばらしい環境を背景に健康寿命日本一の静岡県民の更なる健康維持増進に寄与するよう公益事業の更なる推進に向けて会員一同が英知を結集する決意をいたしているところであります。

創立 65 周年記念誌発刊に際し、資料収集にご尽力頂いた記念誌編纂委員各位に感謝申し上げます。

結びに、この記念誌が本会の歴史を顧み、現在を見つめ、未来へと歩みを進める「道しるべ」として末永くご愛読されますことと、本会の更なる発展を祈念申し上げます。





静岡県健康福祉部

部 長 宮城島 好史

このたび静岡県放射線技師会が、創立65周年を迎えられましたことについて、心からお慶び申し上げます。

静岡県放射線技師会は、昭和23年の創立以来、放射線の安全利用及び診療放射線技術と会員の資質の向上を図り、県民の健康増進に熱心に取り組むなど県下の医療水準の向上に多大な貢献を果たしてこられ、さらに、平成24年4月1日からは、公益社団法人として新たな歩みを始められました。

東日本大震災直後には、県が設置した放射線被ばく電話相談において、会員の方々が専門家として県民からの相談に対応していただき、その後も貴会において、放射線・放射能に関する健康相談を続けるとともに、県地域防災計画(原子力対策編)における県が行う緊急被ばく医療措置に対する協力団体として原子力災害時の対応に関する研修会を開催されるなど、健康に関する県民への安心の提供に大いに貢献されていることに深く感謝を申し上げます。

さて、健康長寿は万人の願いであります。厚生労働省が平成24年6月に公表した、各都道府県の男女別の「健康寿命」において、静岡県は、男性が全国2位、女性は全国1位となり、このデータを基に、県独自に試算したところ、男女総合全国1位という喜ばしい結果となりました。

この喜ばしい結果は、県の取組だけでなく、静岡県放射線技師会をはじめとする、医療や健康増進に貢献されている 関係団体の並々ならぬ熱意と御尽力の賜物と改めてお礼を申し上げる次第であります。

さらに健康寿命を延ばすためには、一人ひとりの健康づくりとともに、それを支える医療水準の向上が不可欠であります。

医療水準の向上により、高度医療機器、リニアックやCT、PETなど放射線による治療装置や検査装置の活用は拡がっており、これらの機器について、専門的な知識をもち、的確な操作ができる診療放射線技師の皆様方への期待は益々高まっております。

今後とも、静岡県放射線技師会におかれましては、専門家としての知識や技術の向上に励まれ、本県の医療の向上に 寄与されますようお願い申し上げます。

結びに当たり、公益社団法人静岡県放射線技師会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



# 一般社団法人静岡県医師会 会 長 鈴木 勝彦

静岡県放射線技師会が本年で創立 65 周年を迎えられ、ここに「65 周年記念誌」を刊行されますことを、静岡県 医師会を代表して心よりお祝い申し上げます。

静岡県放射線技師会は、健康寿命日本一を維持するために、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展ならびに県民への保健衛生福祉の向上を図るとともに、地域保健活動を推進され、65年間に亘るその実績は高く評価されているところであり、これまでの会長はじめ役員及び会員の皆様の御尽力に深甚なる敬意を表するものであります。診療放射線技師は放射線を用いた検査・治療を業務とする国家資格であります。

医療における放射線の利用は、元々医師によって行われておりましたが、放射線診療技術の高度化に伴い、放射線を取り扱う資格を持った「診療放射線技師」の職域が形成され、検査・治療のために高度な専門知識や技術を身につけたスペシャリストです。

現在のわが国は、医療を取り巻く環境は極めて厳しく、長引く不況による就業率の悪化や福祉・介護の人材不足等々、 多くの課題を抱えており、地域医療においては医師不足による医療崩壊の進展が社会問題となっております。

そのような状況下において、高齢者や障害者の方が、住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるような地域社会づくりが求められております。

我々医師にとって診療放射線技師は欠かせない存在であり、今後とも、医療の質と安全を確保し、県民の健康を守るために、貴会とより一層の連携を図り、より良い静岡県の医療体制づくりに全力を挙げて努めて参りますので、御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、静岡県放射線技師会が地域保健活動の推進に一層の貢献を果たされますようご期待申し上げますとともに皆様方のますますの御活躍、御発展を祈念してお祝いの詞とさせていただきます。





公益社団法人静岡県病院協会 会長 玉井 直

公益社団法人静岡県放射線技師会の創立 65 周年にあたり、公益社団法人静岡県病院協会を代表してご祝辞を申し上げます。

まずは、すでにこの会が 65 年前に創設されたことに、心から敬意を表します。65 年前の昭和 23 年といえば、まだ第二次大戦の深い爪痕が全国の都市に残り、日本は戦後復興の最中であり、現在の医療法が初めて制定・施行され、日本の医療供給体制の再建・整備が緒に就いたばかりのときでありました。この静岡県放射線技師会設立に関わり、現在もご存命中の方はおられると思いますが、設立当初は、今となっては想像しがたいご苦労があったことと想像します。

さて、看護師、薬剤師を除く医療技術職としては、最も古い歴史を持つ放射線技師の業務、役割は近年大きく様変わりしております。

診療放射線技師業務の基本は、放射線に関する知識とアナログ的な技能から、主力はコンピュータ画像処理など、ディジタル技術へと大きく変わってきました。今やこの領域では専門科医師でさえ、放射線技師の方々の高度な技能と知識がなくては、診断も治療も何もできません。画像モダリティも CT 画像技術の飛躍的向上、また3D、4D 画像の構築も一般化してきて、さらに放射線を使用しない MRI 画像も進化し、多くの病院では、画像診断部門という名称に代わってきております。治療部門でもベータトロンの時代からリニアック装置に換わり、さらに強度変調放射線治療(IMRT)などの技術が加わる中で、先進施設では粒子線、中性子線装置など多様な機器が臨床現場で用いられております。いずれ現在の診療放射線技師という名称も見直されるのではないかと思われるほどの変革が起きてきました。

一方では、医療は患者さんを中心に、多職種がチームで関わるのが当たり前となり、放射線技師の方々が、直接、患者さんに関わる部分も増えてきております。また、胃がん集団検診が、検診車を用いた胃透視検査が全国で継続されている現状では、放射線技師の業務は法的な課題を抱えているのも事実です。良質で安全な医療を提供するためには、新たな研修の機会が必要となり、また法令等との乖離が臨床現場で技師の方々を悩ませており、法整備など、それらの課題を早期に解消することが望まれます。

さらに、平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故以来、放射線障害が地元住民に具体的に危惧され、また一般国民にも大きな不安を与えている中で、放射線障害に関する専門家の一員として放射線技師の存在が改めて見直されたところです。

今後とも、医療現場において診療放射線技師の果たすべき役割が益々重要になってくることは間違いありません。 静岡県放射線技師会が中心となり、診療放射線技師の方々の更なるご健勝とご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉に替えさせていただきます。



公益社団法人日本診療放射線技師会 会 長 中澤 靖夫

公益社団法人静岡県放射線技師会が「創立65周年」を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、1948 年 8 月会員数 32 名で設立され、社団法人格は 1991 年 12 月会員数 725 名で取得、公益社団法人格は 2013 年 4 月会員数 834 名で取得され、以来 65 年の長きに亘り公益法人活動を積極的に行われている事に対し、心から敬意を表する次第であります。

一口に 65 年と申しますが、その道のりは平坦ではなく、むしろ艱難辛苦の伴う山あり谷ありのご苦労の多い歴史ではなかったかと推察いたしております。

この間、和田会長はじめ歴代の会長、役員の皆様方、会員の皆様方の並々ならぬご努力により、会誌「静岡ジャーナル」(年3回)を発刊され、会員との学術交流や医療情報の共有化、厚生活動を中心に組織を発展させてこられました。現在では約850名の会員を擁し、静岡県民の健康と福祉の増進、医療の質の向上にご尽力されている事に対し、心から敬意を表する次第であります。

いま厚生労働省は少子高齢化の進展、疾病構造の変化、医療技術の高度化、国民ニーズの多様化に対応すべく、 事業を進めております。①医師等の確保・偏在是正、②病院・病床の機能の明確化・強化、③在宅医療・連携の推進、 ④医療従事者間の役割分担とチーム医療の推進、を積極的に取り組んでいます。

公益社団法人日本診療放射線技師会も厚労省と連携しながら特に医療安全・チーム医療の推進に取り組んでいます。2011年は全国業務実態アンケート調査を下にチーム医療推進会議で、診療放射線技師が行っているグレーゾーン業務について検討していただきました。そのなかでX線 CT・MRI・血管検査における自動造影剤注入装置を用いた造影剤の投与、検査終了後の抜針・止血、上部消化管の経口投与、下部消化管のネラトンチューブの挿入と造影剤の投与、核医学関連機器を用いた検査等が新たに診療放射線技師の明確な業務としてまとめられ、2013年はさらに画像誘導放射線治療における肛門カテーテルの挿入・空気の吸引、X線検診車に於ける医師の立ち会いを無くす(胸部X線検診のみ)等が検討されているところです。現在はこれらの業務を念頭に診療放射線技師法の改正に向けた準備が進んでいるところです。本会は、患者安全・医療安全の視点から、それらの業務拡大に関する全国統一の臨床研修を実施しています。これからも47都道府県と連携しながら「診療放射線技師の資格の命を守り発展させる」活動を行って参いる所存であります。

最後になりましたが、会員各位のご健勝と貴会のますますのご発展を心から祈念し、祝辞といたします。



# 「事務所の今後について」



西遠クリニック 伊藤 雅夫

私が、静岡県放射線技師会の役務についていた期間(平成12年度~平成21年度)の内で、事務所購入の契機から購入に至るまでの経緯並びに事務所の今後についての思いを記します。

平成12年度の常任理事会に前年度の常任理事会より、事務所を新しくするよう検討してほしいとの申し送り事項がありました。このことを受けて、平成13年7月19日に第1回事務所検討委員会を開催しています。委員会には、西部地区の組織理事にあり委員として、それ以後、平成21年度まで委員長、委員として事務所購入の任務に携わることになりました。委員会は事務所検討委員会(平成13年度~平成15年度)、事務所設立推進委員会(平成16年度~平成23年度)、事務所管理運営委員会(平成24年度~)と名称を変え、現在に至っています。第1回の委員会の開催から平成22年5月(8月に完納)に契約するまで、9年の歳月を要したことになります。今の事務所は、中古であること以外は、求めていた条件(広さ、利便性、間取りの点で)を充足していると思います。今回の事務所購入に当たっては、資金面でのやり繰りと事務所仕様の物件にめぐり合えたことは、今振り返りますと、かなり「運」がよかったと思っています。

さて、事務所の今後ですが、事務所負担金等取扱規程(平成16年4月1日施行)の第3条に、「負担金は、新事務所設立後や、事務所を所有しなくなっても、本会が続く限り継続する」(この規程は、現在はありませんが)とあります。本会が続く限り事務所は所有するしないにかかわらず必要との判断から、会費負担面での会員世代間の平等性を謳った条文と理解しています。委員会発足当初から、また委員が交代する度に議題となっていました「賃貸ではどうか」、「静岡駅近く(徒歩20分以内)にこだわる必要があるか」等について検討の余地はあるように思いますし、事務所の今後のことについて、多方面から引き続き継続して考え、準備していく必要はあるのではないでしょうか。会費負担において世代間での不平等さなり格差があってはいけない、会が存続する限り常に継続して考えていくことの必要性を事務所購入の任務に携わって思っていました。

一方で、次の事務所購入は20~30年先(それ以上かもしれませんが)になるかもしれませんし、その時代の事務所の有様は大分変わっているかも知れませんし、そんな先のことを考えても「無意味だ」という考えもあろうかと思いますが、事務所購入に当たって、私の今現在の思いを述べさせて頂きました。

ここ2年程、役員の世代交代があり技師会活動に活気を感じています。今後の益々の公益法人静岡県放射線技師会の発展を祈念致します。

# 創立65周年記念式典

静岡県放射線技師会創立65 周年記念式典 記念講演会及び記念祝賀会 開催日:平成25 年10 月12 日(土) 1 4 時 会 場:ホテルアソシア静岡 3 階 駿府にて





























平成25 年10 月12 日(土) 1 4時 ホテルアソシア静岡 3階 駿府にて65 周年記念式典 記念講演会及び記念祝賀会が開催されました。10月にしては気温が高く真夏日の1日でしたが、会場内も参加者が一般参加者3名を含め119名と熱気の中、盛大に執り行われました。

#### 【公開講演】

#### 「症例で学ぶ乳がん検診の重要性」

名古屋医療センター 乳腺科 森田 孝子 先生

生物学的特性による乳がんとそれぞれの検診発見乳がんの画像所見、小葉がんは検診で発見されているかという内容で沢山の症例についてマンモグラフィー、MRI画像、エコー画像により分かりやすくご講演いただきました。

乳がん発見の多くは自己触診によるものが最も多く、検診での発見はまだまだ少数で、今後は更にエコー検診を充実させることで受診率の向上させるよう努めています。早期に発見する場合には、腫瘍の形を形成する前段階での読影力が重要なポイントとなります。時間をかけ丁寧に、注意深く診ることも重要であるがエコーの進歩が大きく貢献していることも見逃せない要因です。マンモグラフィーも同様で、システムの進歩はもちろんであるが技師の撮影技術の更なる向上を目指すことで乳がん発見に協力要請をいただき今後の期待を寄せていただきました。

#### 【記念式典】

#### 式辞 静岡県放射線技師会 和田会長

この日を迎えられたことを嬉しく思います。これからの卒前卒後の教育に力を注ぎ、技術の向上、日本放射線技師会との連携を深め更なる飛躍を目指すことで、良質の医療・新たな事業展開を追求し、公益法人の理念のもと、信頼を得られる取り組みを推進します。健康維持の更なる向上として、ふれあい広場を通し県民に貢献します。

#### 【来賓祝辞】

#### 静岡県健康福祉部 部長 宮城島様

昭和23年創立以来放射線の安全に取り組み、平成24年には公益として新たな門出を迎えられ、お祝いを申し上げます。東日本大震災の際には電話被ばく相談窓口を開設し、県民の安心に大きく貢献されました。健康寿命においても男性は第二位、女性は第一位、総合第一位と医療健康増進にも大きく貢献され、これからの放射線技師会への期待はますます高まるばかりです。今後も高性能機器の導入、技術向上、専門知識の提供など専門家としての医療の貢献をお願いします。

#### 静岡県医師会 会長 鈴木様

昭和23年以来、放射線に関する普及活動、技術向上に取り組んでこられました。同じ医療人としての親しみを感じ仲間意識を持っています。今までと同様にこれからも県民の健康を守るために努力し続けなければなりません。 医療連携をお願いします。

#### 静岡県病院協会 会長 玉井様

医療技術者として放射線の知識は専門医師であっても放射線技師が存在しなければならないのが現状です。特に放射線治療において新分野である中性子線・重粒子線治療などに大きく貢献しています。他職種と連携し良質且つ安全な医療の提供をお願いします。これから益々重要な役割を担うことになると思いますが、公益的な活躍を期待しています。

日本診療放射線技師会 会長 中澤様

和田会長はじめ役員の方々においては自分の時間を犠牲にし、健康増進のために、被ばく相談・骨密度・検診・健康増進・健康教育に連携しながら進めていきたいと思っています。国民健康増進活動として、がん検診受診率50%運動、啓発活動、生涯教育を通してサポートしていきます。チーム医療の推進、厚労省のチーム医療推進会議にはたらきかけ患者さまを中心とした医療を嘆願しています。これからも質の高い医療の提供を目指していきます。また昭和26年に制定された診療放射線技師法の改正を行う時期だと考えています。ご協力をお願いします。県民のために、益々の発展を祈念しています。

#### 【表彰】

静岡県知事表彰 伊藤 雅夫様 功労表彰 廣瀬 信雄様

#### 【記念講演会】

「時代の潮流と日本診療放射線技師会の役割」 公益社団法人日本診療放射線技師会会長 中澤 靖夫

中澤会長の講演では、時代の潮流とは?というところで現在の医療業界を取り巻く状況として、急速なIT化、超高齢化社会、国の借金が膨らむ中、医療費をどのように抑制していくかなどの課題の提示がありました。そのような時代背景の中での日本放射線技師会の取り組み(健康増進の啓発活動、震災時の取り組み、原子力規制委員会、文部科学省への要望、診療放射線技師法の改正に向けて)を紹介されました。

特に印象に残ったキーワードが'チーム医療の推進'でした。平成11年に国立大学病院での患者取り違え事例が大きな契機となっており、病院自体、専門職種の集まりであるが故にお互いの業務を干渉することが難しい点が指摘されていました。今後は対等な協力関係の中でそれぞれの業務内容を客観的にチェックできる体制が必要であり、日本放射線技師会としては、1.読影の補助や放射線関連の検査説明並びに相談を放射線技師が行えるようにしていく2.検査依頼に対する疑義照会の法令化 等を進めて行くことでチーム医療に貢献したいとのことでした。

#### 【記念祝賀会】

記念講演会に引き続き記念祝賀会が執り行われました。

会長挨拶として、これからの卒前卒後の教育に力を注ぐことはもちろん、技術の向上、日本放射線技師会との連携を深め更なる飛躍を目指すことを宣言されました。

来賓祝辞として日本診療放射線技師会 中澤会長より2020年までに全国の会員数を5000人、国民のために貢献できる人材育成に向けて取り組むこと、愛知県診療放射線技師会佐野会長からはお互い連携をとりながら、国民のために貢献できる技師会を目指そうとお言葉をいただきました。

参加者は94名で開催され、今までの技師会の歴史を語り、これからの診療放射線技師についての活発な意見交換がされました。

# 静岡県放射線技師会の15年の歩み

技師会

理事会 地区会

各部会 委員会



#### 【技師会】

第14回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第 3回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成10年5月30日(土)~31日(日)

【会 場】 カリアック(商工会議所福利研修センター) 浜松市村櫛町4597(浜名湖頭脳公園内)

【内容】 1. 第14回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第3回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 創立50周年放射線技師の意識改革
- (2) 公開講演

「脳死と臓器移植~コーディネーターの立場から~」

- (社)全国臓器移植ネットワーク 東海北陸ブロックセンター チーフコーディネーター 加藤 治 先生
- (3) パネルディスカッション 「放射線技師の役割と実践 ~ポータブル撮影~」
- (4) 研究発表 (27題)

第15回(社)静岡県放射線技師会通常総会【開催日時】 平成11年3月 (ハガキ採決)

第16回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第 4回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成11年5月29日(土)~30日(日)

【会 場】 藤枝エミナース(静岡国民年金センター) 藤枝市南駿河台6丁目1番1号

【内容】 1. 第16回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第4回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ変革とやさしさへの提言一社会が求める医療をめざして一
- (2) 公開講演

「星の生から死まで」 国立天文台 広報普及室長 渡辺 潤一 先生

- (3) パネルディスカッション 「放射線技師の役割と実践~救急医療~」
- (4) 研究発表 (31題)

第17回(社)静岡県放射線技師会通常総会 【開催日時】 平成12年3月 (ハガキ採決)

第18回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第 5回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成12年5月27日(土)~28日(日)

【会 場】 静岡厚生年金休暇センター

沼津市宮本80-27

【内容】 1. 第18回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第5回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 安心の医療 求められる技師像
- (2) 公開講演

「温泉の効用」

静岡県厚生連 中伊豆温泉病院

名誉院長 斉藤 幾久次郎 先生

- (3) パネルディスカッション 「放射線技師の役割と実践 ~デジタルの時代~」
- (4) 研究発表 (25題)

第19回(社)静岡県放射線技師会通常総会【開催日時】 平成13年3月 (ハガキ採決)

第20回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第6回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成13年5月26日(土)~27日(日)

【会 場】 カリアック(商工会議所福利研修センター) 浜松市村櫛町4597(浜名湖頭脳公園内)

【内容】 1. 第20回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第6回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 安心、安全、やさしさの医療

信頼される技師像を求めて

(2) 公開講演

「静岡県の自然の特徴とその生い立ち」 静岡大学 名誉教授 伊藤 通玄 先生

- (3) パネルディスカッション 「放射線技師の役割と実践 ~リスクマネジメント~」
- (4) 研究発表 (32題)

第21回(社)静岡県放射線技師会通常総会 【開催日時】 平成14年3月 (ハガキ採決)



第22回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第7回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成14年5月25日(土)~26日(日)

【会 場】 ベルパレス鷹匠

静岡市鷹匠2-8-4

【内容】 1. 第22回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第7回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ

心のかよう、

思いやりのある医療を目指して

(2) 公開講演

「医療現場におけるアロマセラピーについて」 山下内科医院 山下 えり子 先生

- (3) パネルディスカッション 「各モダリティーにおける乳がん画像診断の適応と限界」
- (4) 研究発表 (23題)

第23回(社)静岡県放射線技師会通常総会【開催日時】 平成15年3月 (ハガキ採決)

第24回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第 8回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成15年5月24日(土)~25日(日)

【会 場】 富士ハイツ

富士市大渕115

【内容】 1. 第24回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第8回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ

知識と思いやりの

インフォームドコンセント

(2) 公開講演

「深海底の謎 -世界最大の熱水の謎を探る-」 グローバルオーシャンディベロップメント 観測研究部長 藤岡 換太郎 先生

- (3) パネルディスカッション 「各装置のフラットパネルディテクターの現状と将来性について」
- (4) 研究発表 (25題)

第25回(社)静岡県放射線技師会通常総会 【開催日時】 平成16年3月 (ハガキ採決)

第26回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第 9回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成16年5月30日(日)

【会 場】 浜松プレスタワー

浜松市旭町11-1

【内容】 1. 第26回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第9回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 放射線技師の説明責任
- (2) 公開講演

「プロ選手に対するメディカルサポート ーチームドクターはつらいよー」 ジュビロ磐田チームドクター 聖隷浜松病院 整形外科主任医長 小林 良充 先生

(3) 研究発表(18題)

第27回(社)静岡県放射線技師会通常総会【開催日時】 平成17年3月 (ハガキ採決)

第28回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第10回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成17年5月29日(日)

【会 場】 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ11F 会議ホール(風) 静岡市駿河区池田79-4

【内容】 1. 第28回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第10回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 放射線技師への期待と信頼
- (2) 公開講演

「気象災害から身を守る」 静岡地方気象台 技術課 気象情報官 小口 與四夫 先生

(3) 研究発表 (14題)

第29回(社)静岡県放射線技師会通常総会【開催日時】 平成18年3月 (ハガキ採決)



第30回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第11回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成18年5月28日(日)

【会 場】 国際医療福祉大学付属熱海病院 地下1階 大会議室 熱海市東海岸町13番1号

【内容】 1. 第30回(社)静岡県放射線技師通常総会

2. 第11回静岡県放射線技師学術大会

(1) 大会テーマ

知性・感性・包容力のある技師をめざして

(2) 公開講演

「消化器画像診断の最近の動向」 国際医療福祉大学 内科教授

日本画像医学会 会長 唐沢 英偉 先生

(3) 研究発表 (20題)

第31回(社)静岡県放射線技師会通常総会【開催日時】 平成19年3月 (ハガキ採決)

第32回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第12回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成19年5月27日(日)

【会 場】 浜松市地域情報センター 1階ホール 浜松市中区中央1丁目12番7号

【内容】 1. 第32回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第12回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 存在意義のある放射線技師をまざして
- (2) 公開講演

「車文化と環境」

株式会社 エー・アール・シー 社長 田中 裕二 先生

(3) 研究発表(18題)

第33回(社)静岡県放射線技師会通常総会【開催日時】 平成20年3月 (ハガキ採決)

第34回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第13回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成20年5月25日(日)

(会 場】 グランシップ 11階 会議ホール・風 静岡市駿河区池田79-4

【内 容】 1. 第34回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第13回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ

変革に対応できる放射線技師を目指して

(2) 公開パネルディスカッション

「乳がん検診へ行こう」

~患者さんの不安に答えます~

Breast Cancer Network Japan-あけぼの会 星野 希代絵氏 新川 由利子氏 瀧戸 亜貴子氏 藤枝市立総合病院 外科部長

横山 日出太郎 先生

(3) ランチョンセミナー

「乳がんのマンモグラフィー(構築の乱れ)」 藤枝市立総合病院 放射線診断・治療科 五十嵐 達也 先生

(4) 研究発表 (22題)

第35回(社)静岡県放射線技師会通常総会 【開催日時】 平成21年3月 (ハガキ採決)

第36回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第14回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成21年5月31日(日)

場】 伊豆の国市長岡総合会館アクシスかつらぎ (会 伊豆の国市古奈225

- 【内 容】 1. 第36回(社)静岡県放射線技師通常総会
  - 2. 第14回静岡県放射線技師学術大会
  - (1) 大会テーマ 診療放射線技師の資質向上に向けて
  - (2) 公開講演

「患者さんの視点からみた医療とは一"こんな放射線技師いたらいいな"」 NPO法人ヘルスケア・リレーションズ

いいなステーション代表 和田 ちひろ 先生

(3) ランチョンセミナー

「これからのドクターヘリ」

聖隷三方原病院 院長補佐

ドクターヘリ ネットワークディレクター 岡田 眞人 先生

(4) 研究発表 (18題)



第37回(社)静岡県放射線技師会通常総会·放射線技師研修会

【開催日時】 平成22年3月7日

【会場】 もくせい会館

静岡市葵区鷹匠3-6-1

第38回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第15回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成22年5月23日(日)

【会 場】 アクトシティーコングレスセンター 31階 会議室 浜松市中区板屋町111-1

【内容】 1. 第38回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第15回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 診療放射線技師に求められる対応力とは
- (2) 公開講演

「他施設からのデータCDの取扱い問題」

- =ファイルメーカーを使ったHISからの患者属性抽出= 浜松医科大学 医療情報部 医員 渡辺 浩 先生
- (3) ランチョンセミナー

「診療報酬の改定について」

バイエル薬品株式会社 診療薬事業部マーケティング カスタマーコミュニケーション 山岡 正治 先生

(4) 研究発表 (20題)

第39回(社)静岡県放射線技師会通常総会·放射線技師研修会

【開催日時】 平成23年3月13日(日)

【会 場】 もくせい会館 第1会議室 静岡市葵区鷹匠3-6-1

第40回(社)静岡県放射線技師会通常総会

第16回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成23年5月22日(日)

【会 場】 清水テレサ 7階 会議室 静岡市清水区島崎町223番地

【内容】 1. 第40回(社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第16回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 県民と協働して安心・安全な医療をめざして
- (2) 公開講演

「知っておきたい認知症の基本

~認知症診療における脳画像検査を考える~」 社会医療法人 財団新和会 八千代病院 神経内科 川畑 信也 先生

(3) ランチョンセミナー

「地域医療連携の現状と東芝の取組み」 東芝メディカルシステムズ(株) SI事業部 伊藤 祥啓 先生

「グループ間施設における整形PACSの共同利用」 インフォコム株式会社 ヘルスケア事業本部 放射線システム部 高柳 亮太郎 先生

(4) 研究発表 (17題)

静岡県放射線技師会臨時総会(第41回総会)

【開催日時】 平成23年9月4日(日)

【会 場】 静岡県放射線技師会事務所 静岡市葵区本通1町目3番地5

第42回(社)静岡県放射線技師会通常総会・放射線技師研修会

【開催日時】 平成24年3月11日(日)

【会 場】 パルシェ 7階 第1会議室 静岡市葵区黒金町49番地

第 1回 (公社) 静岡県放射線技師会通常総会 第17回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成24年5月27日(日)

【会 場】 富士市勤労者総合福祉センター「ラ・ホール富士」5F 会議室 富士市中央町2丁目7番11号

【内容】 1. 第1回(公社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第17回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 県民に貢献する放射線医療
- (2) 公開講演

「わが国におけるがん検診の現状と将来への展望」 聖隷健康サポートセンターsizuoka

所長 鈴木 美香 先生

(3) ランチョンセミナー

「Discovery MR750w初期使用経験―最新ハードウェアを備えた 3TMRIの実力(臨床画像を中心に)」

聖路加国際大学病院 放射線科 船田 重和 先生

(4) 研究発表 (21題)

第 2回 (公社) 静岡県放射線技師会定時総会 第18回 静岡県放射線技師学術大会

【開催日時】 平成25年5月26日(日)

【会 場】 アクトシティ浜松コングレスセンター 41会議室 浜松市中区板屋町111-1

【内容】 1. 第2回(公社)静岡県放射線技師通常総会

- 2. 第18回静岡県放射線技師学術大会
- (1) 大会テーマ 県民に貢献する放射線医療
- (2) 公開講演

「脳卒中と画像診断」

聖隷三方原病院 脳卒中科部長 名倉 博史 先生

(3) ランチョンセミナー

「SOMATOM CTのCutting Edge Technorogy」
 ~Right DoseとDual Energyの実際
 演者1 東海大学医学部付属病院 放射線技術科
 池田 秀 先生
 演者2 済生会川口総合病院 放射線技術科
 富田 博信 先生

(4) 研究発表 (18題)

#### 【公益】

#### 公益社団法人認可に向けて

静岡県放射線技師会が社団法人に認可されたのは1991年(平成3年)12月で当時は、法人設立まで多くの年月にわたり困難を乗り越え、社団法人設立記念式典も盛大に行われました。

従来の公益法人(社団法人と財団法人があるが、以下は社団法人のみについて述べる)は1896年制定され、主務官庁(静放技の場合は静岡県)の許可を受けて一度公益法人と認められると、活動自体が変化しても法人税等の優遇措置が続く事や行政委託型公益法人(丸投げ法人・丸抱え法人・天下り法人)も多く、問題とされてきました。また一方では、いままで「社団法人」格を得るには、主務官庁に指導を仰ぎ、多くの書類審査、その上認定されるまでに長い時間がかかっていまい、法人格が欲しくてもなかなか認定してもらえないことも問題とされてきました。このような問題を解決するため、真に公益性のある組織だけを公益社団法人とし、また優遇措置は無いが、登記のみで法人が設立できる一般社団法人と区別をする制度が2008年12月1日から以下の公益法人制度改革3法によりに施行されました。

- ①法人法:組織、運営、管理の規定等に関する法律で、その用件を満たせば、登記のみで一般社団法人を設立できる。
- ②認定法:一般社団法人のうち公益認定の基準を定めた法律で、満たしていると認められれば、公益社団法人となる。
- ③整備法:法人法、認定法の整備等に関する法律で、現在の社団法人の一般または公益法人への移行期間が5年間設けられ(平成25年11月30日まで移行が終了していなければならない)、移行しない場合は法人としては解散の扱いとなります。

このような社会情勢の中で、公益法人化への移行を念頭にして平成22年4月1日に法人化検討委員会を発足し、常任理事・監事を含めた拡大法人化検討委員会で5回に亘り法人法改定内容の学習と検討、公益法人移行へ対応する新定款案・諸規定案の検討・作成について協議を重ねました。

平成23年3月の第39回総会に於いて公益法人化を目指すことが決議されました

平成23年6月25日臨時理事会、平成23年8月13日平成23年度第2回理事会で諸規定案が承認されました

平成23年9月4日臨時総会にて平成24・25年度理事・監事就任予定者の承認、公益社団法人静岡県放射線技師会定款案の承認、平成23年度事業計画一部修正案の承認、平成23年度収支予算一部修正案の承認がなされました

その後、総ての申請書類を電子申請にて実施し数回の修正依頼を受けて再提出して平成23年12月9日「静岡県公益認定等審議会」で当技師会の申請内容について審議され、平成24年1月13日「静岡県公益認定等審議会」で再び公益法人への移行について審議され、移行認定が県知事に答申されました

平成24年1月20日移行登記日を4月1日に予定しており、その希望について「移行認定日の配慮願い」を県医務課に提出しました

平成24年3月19日に県庁にて公益社団法人としての認定書を受理しました

#### 公益法人化への歩み

#### 拡大法人化検討委員会(5回)

平成22年10月30日 (土) 第 1回 14:00~16:45 [もくせい会館] 平成22年12月25日 (土) 第 2回 14:00~16:50 [ペガサート] 平成23年 2月 5日 (土) 第 3回 16:00~18:30 [新技師会事務所] 平成23年 4月16日 (土) 第 4回 16:00~18:30 [新技師会事務所] 平成23年 9月 4日 (日) 第 5回 15:00~16:15 [新技師会事務所]

#### 県医務課との経過(18回)

平成23年 1月20日 静岡県医務課で事前協議の依頼(和田、延澤)

平成23年 1月25日 新定款案をメールで提出

平成23年 2月 1日 新定款案の訂正箇所を電話で受ける 平成23年 2月 8日 訂正した新定款案を再度メールで提出 平成23年 2月28日 新定款案再訂正の連絡をメールで受ける



平成23年 4月22日 修正した新定款案(3回目)をメールで提出 平成23年 5月13日 新定款案(3回目)の修正指示が届く 平成23年 5月16日 さらに修正した新定款案(4回目)をメールで提出 平成23年 5月26日 新定款案(4回目)の修正指示が届く 平成23年 6月17日 静岡県医務課で協議(延澤、松本:東海浜松事務所) 平成23年 7月 4日 新定款案の事前協議終了 平成23年 7月20日 本申請の協議開始(申請書別紙1~3を新定款メールで提出) 平成23年 7月27日 申請書の添付資料をメールで提出 平成23年 7月28日 申請書別紙1~3についての質問が届く 平成23年 8月 2日 別紙2(公1, 2, 3)の修正案を送る 平成23年 8月 4日 法人化のアンケートを送る 平成23年 8月11日 静岡県医務課で本申請の内容について協議(和田、延澤、松本:東海浜松) 平成23年 8月19日 08/11の説明を受けて申請書別紙1~2の再提出及び添付資料をメールで提出 平成23年 8月30日 公1, 2, 3の指摘を受ける 平成23年 8月31日 指摘事項について返答を送る 平成23年 9月 2日 再度、公1,2,3の修正指摘を受ける 平成23年 9月 9日 申請書類の総てをPDFで送る 平成23年 9月12日 申請書類の修正依頼をメールで受ける 平成23年 9月16日 申請書類の修正書類をメールで送る(5項目) 平成23年 9月20日 第2回理事会の議事録を送る 平成23年 9月28日 電子申請書類の修正依頼を電話とメールで受ける 平成23年10月 7日 電子申請書類の修正書類をメールで送る(13項目) 平成23年10月11日 電子申請書類の追加修正を電話で受ける 平成23年10月13日 追加修正した物をメールで送る(6項目) 平成23年10月20日 さらなる追加修正依頼を電話とメールで受ける 平成23年10月20日 さらなる追加修正した物をメールで送る(6項目) 平成23年10月24日 電子申請の提出許可を電話で受ける 平成23年11月 2日 電子申請の修正依頼をメールで受ける(11/4:電話で確認) 平成23年11月22日 電子申請の修正依頼と内容説明依頼をメールと電話で受ける 平成23年11月24日 内容説明依頼の回答をメールで送る(5項目) 平成23年11月25日 再度、電子申請の修正依頼と内容説明依頼をメールで送る 東海浜松会計事務所との経過(8回) 平成23年 1月24日 公益法人制度改革対策業務の契約を結ぶ(東海浜松会計事務所:和田、田中) 平成23年 2月 1日 今後の打合せ(東海浜松会計事務所:延澤) 平成23年 2月25日 事業内容検討の資料作成依頼をメールで受ける 平成23年 3月11日 事業内容検討(東海浜松会計事務所:和田、山本、田中、延澤) 平成23年 6月 3日 事業内容検討(東海浜松会計事務所:和田、山本、田中、延澤) 平成23年 6月21日 申請内容検討(東海浜松会計事務所:和田、山本、延澤) 平成23年 7月26日 申請内容検討(東海浜松会計事務所:和田、山本、田中、延澤) 平成23年 8月29日 今後の打合せ(東海浜松会計事務所:和田、延澤) 平成23年10月 6日 申請内容検討(東海浜松会計事務所:和田、延澤)

#### 公益法人認定への作業

平成22年 4月 1日 法人化検討委員会発足

平成22年 9月 1日

常任理事と監事を含めた拡大法人化検討委員会が発足

法人法改定内容についての学習と検討

公益法人移行へ対応する新定款、諸規程案の検討、作成

平成23年 2月28日

平成23年 3月 1日

新定款、諸規程のパブリックコメントを静岡県放射線技師会HPにて受付

平成23年 3月31日

平成23年 3月13日 第39回通常総会に於いて公益法人化を目指す事が決議された

平成23年 6月15日 電子申請入力開始

平成23年 6月25日 臨時理事会(議事録参照)

平成23年 7月23日 次期役員の候補者推薦届出締切

平成23年 8月13日 諸規程の最終検討案を作成

平成23年 8月27日 諸規程の承認(第2回理事会)

平成23年 9月 4日 臨時総会(議事録参照)

平成23年 9月27日 総ての書類を電子申請に入力終了

平成23年10月27日 電子申請の提出実施

平成23年11月 5日 電子申請の補正提出の実施

平成23年11月24日 電子申請の修正後、2回目の再提出の実施

平成23年11月28日 電子申請の修正後、3~5回目の再提出の実施

平成23年12月 9日「静岡県公益認定等審議会」で当技師会の申請内容について審議される

問題点等は特に指摘されなかった

平成24年 1月13日「静岡県公益認定等審議会」で当技師会の公益法人への移行について審議される

移行認定が県知事に答申された

平成24年 1月20日 移行登記日を4月1日に予定しており、その希望について「移行認定日の配慮願い」

を県医務課に提出した

平成24年 3月19日 県庁にて公益社団法人としての認定書を受理した

#### 拡大法人化検討委員会メンバー

					氏	名		勤務先名	
1	会	長		和	田		健	浜松南病院	
2	副会	長	(委員会・企画)	廣	瀬	信	雄	順天堂大学医学部附属静岡病院	
3	副会長 (会務)		石向田鶴		男	静岡市立静岡病院			
4	副会	長	(学術)	Щ	本	英	雄	聖隷三方原病院	
5	理	事	(常任・総務)	菊	地	直	樹	静岡済生会総合病院	
6	理	事	(常任・総務庶務)	畑		利	浩	市立島田市民病院	
7	理	事	(常任・庶務)	足	<u> </u>	敏	明	社会保険 桜ヶ丘総合病院	
8	理	事	(常任・庶務)	鈴	木	武	成	焼津市立総合病院	
9	理	事	(常任・会計)	田	中	睦	生	聖隷浜松病院	
10	理	事	(常任・編集)	稲	垣		充	静岡赤十字病院	
11	理	事	(常任・福利厚生)	藤	池		悟	聖隷沼津病院	
12	理	事	(組織・東部)	滝	П	昇	吾	NTT東日本伊豆病院	
13	理	事	(組織・中部)	大	木	義	彦	藤枝市立総合病院	
14	理	事	(組織・西部)	窪	野	久	行	J A 静岡厚生連 遠州病院	
15	法人	化	<b>倹討委員長</b>	延	澤	秀	二	県西部浜松医療センター	
16	監	事		天	野	仁	志	掛川市立総合病院	
17	監	事		倉	田	富	雄	富士市立中央病院	



#### 【事務所移転】

#### 新技師会事務所取得経緯

#### 概要

平成12年度の常任理事会に前年度の常任理事会から事務所を新しくするよう検討して欲しいと申し送りがありました。理由は、

- ①昭和54年に建築され、地震対策がなされていない。(昭和56年以降建築物は規則で地震対策がなされています。)
- ②24年経っているので老朽化しています。(例えば平成14年9月の大雨時雨漏りがあり、運悪くパソコンの上に漏れ、使用不能になりました。)
- ③スペースが狭い等であります。そこで事務所検討委員会を設立して検討してきました。

検討委員会では、事務所の購入した経緯からふりかえり、現状の把握、新事務所の規模、資金調達の方法などを検討し、平成15年度に会員へのアンケート調査、ジャーナルへの経過報告などで会員への啓蒙活動を行い、新事務所の必要性を投げかけてきました。

平成16年度第25回通常総会において事務所設立負担金積み立てのために会費2,000円の値上げが承認され、10年後をめどに新事務所を購入することが決定されました。

事務所検討委員会での、購入条件の検討、物件探し、シミュレーションを繰り返すとともに、いい物件を逃がさないようにするために手続きを常任理事、会長に委任するよう第34回通常総会にて事務所購入手順案の承認を得ました。その後、購入条件に該当する物件がありましたが、資金不足により常任理事会の賛同を得ることができませんでした。

平成22年 この物件がまだ残っている情報を得て、委員会で再考し、常任理事会、理事会の承認を得て購入の運びとなりました。

#### 購入の流れ

平成22年 5月 売買契約

平成22年 8月 決済

平成22年12月 会議室として使用開始(机、椅子のみ)

平成23年 3月 定款変更

平成23年 4月 登記完了

平成23年 6月 事務所移転

10年余りの歳月を掛け新事務所を購入することができました。これも歴代の事務所設立推進委員会委員長はじめ委員の方々のご尽力の賜物だと感謝いたします。

#### 物件紹介

名 称 フェリス本通り

住 所 静岡市葵区本通1丁目3番地5 202

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 10階建

床面積 92.34㎡ (27.93坪)

総費用 19,177,398円 売買代金 18,000,000円 仲介手数料 630,000円 所有権移転費用 372,000円 固定資産税 138,757円 管理費 19,096円 修繕費 17,545円



#### 引越前の事務所内





向って左側





向って右側

#### 新事務所へ引っ越し完了しました。

平成23年8月25日の事務所購入から、3月に行われました第39回通常総会にて会員皆様から住所の定款変更の承認をいただき、登記が4月28日付けで完了しました。そして6月18日に旧事務所から新事務所へ移転しました。

新事務所の住所は、静岡県静岡市葵区本通1丁目3番地5 フェリス本通り202号です。電話番号、FAX番号の変更はありません。新規に椅子、机、天井吊りスクリーン、演台等購入しましたので会員の皆様には今後、お立ち寄りいただき、50余名の会議・研修会等に是非ご利用下さい。

#### 旧事務所引っ越し風景









新事務所 表玄関入り口





事務所2階入り口







事務所内部

### 【震災活動】

#### 東日本大震災 2011.3.11福島原発事故における県技師会の活動

1. 県庁に設置された被ばく相談電話窓口での対応 (静岡県から県技師会に依頼あり)

窓口名称:静岡県放射線・放射能に関する健康相談窓口

期 間:2011.3.17~31 (9:00~17:00)

場 所:静岡県庁

参加者:常任理事、会員(3名/日)

状況を正しく理解していただけるように説明。

対 応:①スクリーニング希望者への対応

原発を中心とした半径20km圏内にいた人のみスクリーニング対応。

それ以外の人については、公表されているデータより放射線障害につながる汚染はないと説明。

②その他放射線に関する問い合わせへの対応

静岡県ホームページで公表されている最新データ、新聞等の最新データをもとに説明、回答。

#### (対応内容集計)

問い合わせ件数 県在住の方:446 県外在住の方:32

#### 内 容

#### (県在住の方)

①スクリーニング希望 65件(スクリーニング実施:7件)

福島県から静岡県に避難された方

福島県で仕事をして静岡県に帰宅された方

②静岡県内における被ばくについて120件③静岡県内水道水、農作物等の汚染状況172件④その他89件

原発について 行政への要望等

#### (県外在住の方)

⑤その他

①福島県から他県に避難した人の被ばくについて 1件 ②福島県在住者の被ばくについて 10件 ③福島、静岡県以外の場所の被ばく線量について 10件 ④静岡県における被ばく線量について 5件

2. 福島ヘサーベイヤー派遣

(福島県警から日放技へ依頼あり)

サーベイヤー業務:福島第一原発を中心とした半径30km圏内で発見されたご遺体の検視、検案時の放射線管理業務

6件

・検案所の環境測定

室内、屋外、洗浄場における空気中線量当量率:4回/日

道路、排水溝の表面線量:2回/日

・御遺体からの放射線量測定(洗浄前、洗浄後)

・遺体搬送車、搬送者の表面汚染線量の測定

派遣期間:2011.5.19~25

派遣先:①南相馬検案所 ②相馬検案所

サーベイヤー:静岡隊 廣瀬 信雄副会長 塚本 隆男会員 片岡 純也会員

#### 御遺体サーベイの流れ

①搬送車到着予定時刻30分前 サーベイ準備 (タイベックスーツ、マスク等着用)

②ビニールシートにくるまれた御遺体が洗浄場に搬送されたらシートを外して洗浄前表面線量測定。

③警察官が洗浄後、検視前に再度表面線量測定。

100,000cpm以下(除染の必要なし)を確認し、検視作業を始めてもらう。

※②と③の間で搬送車、搬送者についても表面汚染測定を実施。

#### (測定結果)

	相馬検案所	南相馬検案所			
①遺体サーベイ					
検案数	8	4			
測定值(cpm)	洗浄前max6300	洗浄後max1600			
②環境測定	(静岡県: 0.05 μ Sv/h HPより)				
屋外	0.35 μ Sv/h	$0.6  \mu  \text{Sv/h}$			
洗浄場	0.35 μ Sv/h	0.3 <i>μ</i> Sv/h			
屋内	0.15 <i>μ</i> Sv/h	0.1 <i>μ</i> Sv/h			
道路	2200 cpm	2200 cpm			
排水溝	1500 cpm	1200 cpm			
③搬送車、搬送者	除染を必要とする	ほどの汚染無し			

※環境測定における測定値は最高値を表示

#### 【理事会】

平成10年度理事会報告

第1回理事会

平成10年4月18日(土) 鷹匠会館3階

#### 協議事項

- 1. 第14回通常総会について
- 2. 第3回静岡県放射線技師学術大会について
- 3. 第15回親善ソフトボール大会について
- 4. 第13回超音波部会研修会について
- 5. 東海北陸地域放射線技師学術大会について
- 6. 放射線セミナーについて
- 7. 2nd全静オープンテニス大会について
- 8. 静岡県放射線技師会創立50周年式典について
- 9.50周年史編纂について
- 10. 平成9年度会費納入について
- 11. ISRRT世界大会について
- 12. 身障者胃無料検診について 上記協議事項は全員挙手により承認

第2回理事会

平成10年9月5日(土)

静岡県総合社会福祉会館6階第3会議室

#### 協議事項

- 1. 第1回胃がん検診X線従事者講習会について
- 2. 第2回放射線セミナーについて
- 3. ISRRT世界大会について
- 4. 身障者胃無料検診について
- 5. 静岡県放射線技師会創立50周年式典について
- 6. 第14回超音波部会について
- 7. 第6回サッカーフェスティバルIN静岡について
- 8. 災害緊急時対策研修会について
- 9. 第3回放射線セミナーについて
- 10. 第7回MRI部会研修会について
- 11. 肺がん講習会について 上記協議事項は全員挙手により承認

第3回理事会

平成10年12月5日(土)

静岡県総合社会福祉会館6階第3会議室

#### 協議事項

- 1. 肺がん講習会について
- 2. 技師長等管理者研修会について
- 3. 第40回東海四県放射線技師合同研修会について
- 4. 第15回超音波部会について
- 5. 第8回MRI部会について
- 6. 第15回通常総会について
- 7. 地区会総会について
- 8. 平成11年度事業計画案について
- 9. 平成11年度予算案について
- 10. 平成11年度第16回県通常総会について

- 11. 第4回学術大会について
- 12. 平成11年度東海北陸地域放射線技師研修会について 上記協議事項は全員挙手により承認

第4回理事会

平成11年2月6日(土)

呉服町通りふしみやビル9階 905号室

#### 協議事項

- 1. 第15回超音波部会研修会について
- 2. 第8回MRI部会研修会について
- 3. 東海四県放射線技師合同研修会について
- 4. 第15回通常総会について
- 5. 第4回静岡県放射線技師学術大会について
- 6. 第16回通常総会について
- 7. 各地区会について
- 8. 平成10年度会費納入状況について
- 9. アンギオ部会設立要望について
- 10. 部会設立規定・部会規定について 上記協議事項は全員挙手により承認

平成11年度理事会報告

第1回理事会

平成11年4月24日(土)

静岡県総合社会福祉会館6階第3会議室

#### 協議事項

- 1. 第16回通常総会について
- 2. 第4回静岡県放射線技師学術大会について
- 3. 第16回親善ソフトボール大会について
- 4. 第16回超音波部会について
- 5. レディースフォーラムについて
- 6. 東海北陸地域放射線技師学術大会について
- 7. 第1回放射線セミナーについて
- 8. 3rd全静オープンテニス大会について
- 9. 平成10年度会費納入報告について
- 10. 身障者胃無料検診について
- 11. 部会規定について

上記協議事項は全員挙手により承認



第2回理事会

平成11年9月4日(土)

静岡県総合社会福祉会館6階第3会議室

#### 協議事項

- 1. 放射線管理士養成講習会(法令課程)
- 2. 第9回MRI部会研修会
- 3. 第7回サッカーフェスティバルIN静岡
- 4. 第21回静岡ふれあい広場について
- 5. はつらつ健康ふれあいフェスティバル
- 6. 全国放射線技師学術大会
- 7. 技師研修会
- 8. 第17回超音波部会研修会
- 9. 災害緊急時対策研修会
- 10. 第2回放射線セミナー
- 11. 第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会
- 12. 第3回放射線セミナー 上記協議事項は全員挙手により承認

第3回理事会

平成11年12月4日(土)

静岡県総合社会福祉会館6階第3会議室

#### 協議事項

- 1. 肺がん講習会について
- 2. 第7回アール祭について
- 3. 第41回東海四県放射線技師合同研修会について
- 4. 第10回MRI部会研修会について
- 5. 第18回超音波部会研修会について
- 6. 第3回アンギオ部会研修会について
- 7. 第17回通常総会について
- 8. 地区総会について
- 9. 平成12年度事業計画案について
- 10. 平成12年第18回通常総会第5回学術大会について
- 11. 定款細則・規定の改正について 上記協議事項は全員挙手により承認

第4回理事会

平成12年2月12日(土)

静岡県総合社会福祉会館6階第3会議室

#### 協議事項

- 1. 第3回アンギオ部会研修会について
- 2. 第17回通常総会について
- 3. 平成12年度事業計画案について
- 4. 平成12年度事業予算案について
- 5. 第5回静岡県放射線技師学術大会について
- 6. 第18回通常総会について
- 7. 各地区会について
- 8. 平成11年度会費納入状況について
- 9. 県技師会事務所の将来について
- 10. 職制委員会のアンケート調査について 上記協議事項は全員挙手により承認

平成12年度理事会報告

第1回理事会

平成12年4月15日(土) ベルパレス鷹匠

#### 協議事項

- 1. 第57回日本診療放射線技師通常総会について
- 2. 第18回通常総会について
- 3. 第5回静岡県放射線技師学術大会について
- 4. 第17回親善ソフトボール大会について
- 5. 第19回超音波部会研修会について
- 6. 第4回アンギオ部会研修会について
- 7. 熟年者のためのインターネット講座
- 8. 東海北陸地域放射線技師学術大会について
- 9. 4th全静オープンテニス大会について
- 10. 平成11年度会費納入報告について
- 11. その他
  - 1) 県技師会事務所の老朽化対策について
  - 2) 放射線技師の職業等の啓蒙活動について
  - 3) 名誉会員について

上記協議事項は全員挙手により承認

第2回理事会 平成12年9月2日(土) 静岡県総合社会福祉会館7階第4会議室

#### 協議事項

- 1. 第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会
- 2. 第1回放射線セミナーについて
- 3. 平成12年度全国放射線技師選抜野球大会
- 4. 第22回静岡ふれあい広場について
- 5. 第11回MRI部会研修会
- 6. 平成12年度全国放射線技師総合学術大会
- 7. 第20回超音波部会研修会について
- 8. 第8回サッカーフェスティバルin静岡
- 9. 災害緊急時対策研修会 地震・原子力編
- 10. 第2回放射線セミナーについて
- 11. はつらつ健康フェスティバルについて
- 12. 技師長等管理者研修会について
- 13. 会費長期未納者について
- 14. その他
  - 1) 非会員の研修会等の参加に関して

入会希望者を除き5000円徴収

2.) 第20回総会・第6回学術大会 上記協議事項は全員挙手により承認 第3回理事会

平成12年12月3日(土)

静岡県総合社会福祉会館7階第4会議室

#### 協議事項

- 1. 肺がん講習会について
- 2. 第8回アール祭について
- 3. 第42回東海四県放射線技師合同研究会
- 4. 第12回MRI部会研修会について
- 5. 第21回超音波部会研修会について
- 6. 第6回アンギオ部会研修会について
- 7. 第19回通常総会について
- 8. 地区総会について
- 9. 第20回県通常総会・第6回学術大会について
- 10. 事務所老朽化に伴う取り組みについて
- 11. 技師会役員名簿の作成について 上記協議事項は全員挙手により承認

第4回理事会

平成13年2月3日(土) ベルパレス鷹匠

#### 協議事項

- 1. 第19回通常総会について
- 2. 平成13年度事業計画案について
- 3. 平成13年度事業予算案について
- 4. 第6回静岡県放射線技師学術大会について
- 5. 第20回通常総会について
- 6. 各地区総会について
- 7. 平成12年度会費納入状況について
- 8. その他
  - 1) 技師会事務所移転問題
  - 2) 外部監査をおくことについて

上記協議事項は全員挙手により承認

部会研修会については、協議事項から外し事業計画 または実施報告について報告を行うものとした

平成13年度理事会報告

第1回理事会

平成13年4月4日(土)

静岡県総合社会福祉会館

#### 協議事項

- 1. 第20回通常総会について
- 2. 第6回静岡県放射線技師学術大会にてついて
- 3. 第18回親善ソフトボール大会について
- 4. インターネット入門講座
- 5.5th全静オープンテニス大会について
- 6. 平成12年度会費納入報告について
- 7. (社) 静岡県放射線技師会携帯カードについて
- 8. サンシティ鷹匠マンション管理組合設立準備委員会 について

9. その他

郵送物の発送について

上記協議事項は全員挙手により承認

第2回理事会

平成13年9月8日(土)

静岡県総合社会福祉会館6階第3会議室

#### 協議事項

- 1. 第23回静岡ふれあい広場について
- 2. 平成13年度全国放射線技師全国大会について
- 3. 平成13年度技師研修会について
- 4. 災害緊急時対策研修会(地震・原子力編)
- 5. 第10回アール祭について
- 6. 会費納入状況について
- 7. その他
- 1) 県技師会通常総会並びに学術大会反省
- 2) 次年度役員選出について
- 上記協議事項は全員挙手により承認

第3回理事会

平成13年12月8日(土)

静岡県総合社会福祉会館6階第3会議室

#### 協議事項

- 1. 社団法人設立10周年記念式典・第10回アール祭
- 2. 第43回東海四県放射線技師合同研究会
- 3. 肺がん講習会について
- 4. 第21回通常総会について
- 5. 地区総会について
- 6. 第22回通常総会・第7回学術大会について
- 7. 平成14年度事業計画案・予算案について
- 8. 平成14年度・15年度役員選出について
- 9. その他
  - 1) インターネットによる情報公開について(県要 請)

上記協議事項は全員挙手により承認

第4回理事会

平成14年2月2日(土)

静岡県教育会館地階会議室

#### 協議事項

- 1. 第21回静岡県放射線技師会通常総会について
- 2. 第22回静岡県放射線技師会通常総会および 第7回放射線技師学術大会について
- 3. 平成14年度中日本地域放射線技師学術大会
- 4. 組織機構の変更

企画と調査を統合し企画・調査理事とする

- 5. その他
  - 1) 事務所検討委員会の今後について
  - 2) 次年度役員について

上記協議事項は全員挙手により承認



平成14年度理事会報告

第1回理事会

平成14年4月13日(土) ベルパレス鷹匠

#### 協議事項

- 1. 第22回通常総会について
- 2. 第7回静岡県放射線技師学術大会
- 3. 第18回親善ソフトボール大会について
- 4. 平成14年度中日本地域放射線技師学術大会
- 5. インターネット入門講座について
- 6.6th全静オープンテニス大会について
- 7. その他
  - 1) 郵送費削減のためE-mailを活用していきたい
  - 2) 県技師会ホームページ立ち上げについて 上記協議事項は全員挙手により承認

第2回理事会

平成14年9月7日(土)

静岡県勤労福祉会館6階会議室

#### 協議事項

- 1. 第24回静岡ふれあい広場について
- 2. 第3回しずおか環境・福祉・技術展について
- 3. 第8回サッカーフェスティバルin静岡
- 4. 平成14年度技師研修会について
- 5. 災害緊急時対策研修会 地震·原子力編
- 6. 第11回アール祭
- 7. 会費納入状況について
- 8. 新部会について(乳腺画像部会)
- 9. その他
  - 1) 技師会事務所について
  - 2) 技師会費の自動振込みについて(検討中)
  - 3) 各部会の今後のあり方について 上記協議事項は全員挙手により承認

第3回理事会

平成14年12月7日(土) 静岡県教育会館地下会議室

#### 協議事項

- 1. 第11回アール祭について
- 2. 平成15年度事業計画について
- 3. 会費納入状況について
- 4. その他
  - 1) 技師会事務所について
  - 2) 経費削減に関するアンケートについて 上記協議事項は全員挙手により承認

第4回理事会

平成15年2月8日(土) 静岡県総合福祉会館

#### 協議事項

- 1. 平成15年度事業計画について
- 2. 平成15年度予算案について
- 3. 東海四県放射線技師合同研究会について
- 4. 第24回(社) 静岡県放射線技師会通常総会および 第8回静岡県放射線技師学術大会について
- 5. 会費納入状況について
- 6. その他

アンケート結果について 上記協議事項は全員挙手により承認

平成15年度理事会報告

第1回理事会

平成15年4月5日(土)

静岡県総合福祉会館

#### 協議事項

- 1. 平成14年度事業報告について
- 2. 第24回(社)静岡県放射線技師会通常総会および 第8回静岡県放射線技師学術大会について
- 3. 第26回静岡県放射線技師会通常総会および 第9回静岡県放射線技師学術大会について
- 4. 会費納入状況及び会費未納について
- 5. その他
  - 1) 各部会費の見直しについて
  - 2) 会費の自動引き落としについて 上記協議事項は全員挙手により承認

第2回理事会

平成15年9月6日(土)

静岡県総合福祉会館

#### 協議事項

- 1. 静岡ふれあい広場について
- 2. 「医療安全学」講習について
- 3. 次年度役員選出について
- 4. 会費納入状況について
- 5. 新しい会費・会員制度について
- 6. その他
  - 1) ホームページ予算について
  - 2) 第45回東海四県放射線技師合同研究会
  - 3) 学術大会・研修会で「病院機能評価」の講演 を希望

上記協議事項は全員挙手により承認

第3回理事会

平成15年12月6日(土) 静岡県総合福祉会館

協議事項

- 1. 新春公開講演について
- 2. 事務所設立負担金について
- 3. 平成16年度事業計画案・認定講習会・AD講習会
- 4. 平成16年度予算案について
- 5. 次年度役員選出について
- 6. 会費納入状況および会費未納について 上記協議事項は全員挙手により承認

第4回理事会

平成16年2月7日(土) 静岡県総合福祉会館

#### 協議事項

- 1. 平成16年度事業計画について
- 2. 平成16年度予算案について
- 3. 放射線機器管理士·放射線管理士認定講習会
- 4. 第26回(社) 静岡県放射線技師会通常総会および 第9回静岡県放射線技師学術大会について
- 5. 会費納入状況について
- 6. 次年度役員選出の状況
- 7. その他

定款細則の変更について

「理事会は、会長、副会長、理事をもって構成する」

 $\downarrow$ 

「理事会は、会長、副会長、理事、その他会長が必要と認めた者をもって構成する」 上記協議事項は全員挙手により承認

平成16年度理事会報告

第1回理事会

平成16年4月3日(土) もくせい会館

#### 協議事項

- 1. 平成15年度事業報告について
- 2. 平成15年度会計報告について
- 3. 第26回(社) 静岡県放射線技師会通常総会および 第9回静岡県放射線技師学術大会について
- 4. 会費納入状況および会費未納者の処分について
- 5. その他
  - 1) 生涯教育委員会設立について
  - 2) 日放技会費直納問題について
  - 3) 役員間の連絡はE-mailを活用 上記協議事項は全員挙手により承認

第2回理事会

平成16年9月11日(土) 静岡県総合福祉会館

#### 協議事項

- 1. 静岡ふれあい広場について
- 2. AD講習会「救急医療学」開催について
- 3. 日本放射線技師会会費納入について
- 4. 会費納入状況について 上記協議事項は全員一致で承認
- 5. 災害緊急時対策委員会設立について 本理事会で検討 次回理事会で承認を得たい
- 6. 諸規定の改定・訂正について
  - 1) 会費および諸経費徴収規程の改定 全員一致で承認
  - 2)総会運営規程の改訂 定款細則第25条との整合性を図るため次回理事 会へ再提案

#### 7. その他

- 1) 管理士部会設立について 再検討の上、平成18年度設立を目指す
- 2) 会費免除に関する規程について 日放技に倣い静放技も会費免除規定を取り入 れることを次年度事業計画としたい

第3回理事会

平成16年12月4日(土) もくせい会館

- 1. 新春公開講演会について
- 2. 平成17年度事業計画案について
- 3. 平成17年度予算案について
- 4. 諸規程の改定 上記協議事項は賛成多数で承認
- 5. 会費免除に関する諸規程について 次回理事会にて承認を得る
- 6. 会費納入状況について
- 7. その他
  - 1)参加証明書の発行について
  - 2) 肺がん検診従事者講習会 開催日未定との連絡あり



第4回理事会

平成17年2月5日(土) もくせい会館

協議事項

- 1. 平成17年度事業計画案について
- 2. 平成17年度予算案について
- 3. AD講習会について
- 4. 第28回(社) 静岡県放射線技師会総会および 第10回静岡県放射線技師学術大会について
- 5. 会費免除に関する規程について
- 6. 会費納入状況について 上記協議事項は全員一致で承認

平成17年度理事会報告

第1回理事会

平成17年4月2日(土)

静岡県総合福祉会館

#### 協議事項

- 1. 平成16年度事業報告について
- 2. 平成16年度決算報告について
- 3. 第28回(社) 静岡県放射線技師会総会および 第10回静岡県放射線技師学術大会について
- 4. 会費納入状況および会費未納者の処分について
- 5. その他
  - 1) 放射線管理士等認定講習会の余剰金について
  - 2) 部会の経費の見直し
  - 3) 各地区会への補助金の見直しについて
  - 4) 新事務所購入準備について 上記協議事項は全員一致で承認
  - 5) 次年度の新事務所設立準備金への繰入金額に

ついて

本年度より繰り入れる 12

次年度より繰り入れる 13

保留 0

今年度の繰越金については1年間保留し次年度 から繰り入れることに決定

第2回理事会

平成17年9月3日(土)

もくせい会館

#### 協議事項

- 1. ふれあい広場について
- 2. 第10回サッカーフェスティバルin静岡について
- 3. 平成17年度災害緊急時対策研修会について
- 4. 東海四県放射線技師合同研究会について
- 5. 管理士部会新設について
- 6. 参加証明書について
- 7. 次期役員選出について
- 8. 会費納入状況について 上記協議事項は全員一致で承認

第3回理事会

平成17年12月3日(土) もくせい会館

#### 協議事項

- 1. 新春公開講演会について
- 2. 東海四県放射線技師合同研究会について
- 3. 平成18年度事業計画案について
- 4. 平成18年度予算案について
- 5. 新事務所設立準備金への繰入金について 上記協議事項は全員一致で承認
- 6. 次年度役員選出について 組織の見直しをするため検討課題とする
- 7. 会費納入状況について

第4回理事会

平成18年2月4日(土) 静岡県総合社会福祉会館

# 協議事項

- 1. 東海四県放射線技師合同研究会について
- 2. 平成18年度事業計画案について
- 3. 平成18年度予算案について
- 4. 第30回(社) 静岡県放射線技師会総会および 第11回静岡県放射線技師学術大会について
- 5. 役員改選について
- 6. 会費納入状況について 上記協議事項は全員一致で承認

平成18年度理事会報告

第1回理事会

平成18年4月15日(土)

もくせい会館

#### 協議事項

- 1. 平成17年度事業報告について
- 2. 平成17年度決算報告について
- 3. 第30回(社) 静岡県放射線技師会総会および 第11回静岡県放射線技師学術大会について
- 4. 会費納入状況および会費未納者の処分について 上記協議事項は全員一致で承認

第2回理事会

平成18年9月2日(土) 静岡県総合社会福祉会館

- 1. 静岡ふれあい広場について
- 2. 第21回県親善ソフトボール大会について
- 3. 災害緊急時対策研修会 地震·原子力編
- 4. 日本放射線技術学会第42回中部部会学術大会への 協力について
- 5. 会費納入状況および会費未納者の処分について
- 6. ジャーナル発送封入作業について 上記協議事項は全員一致で承認

第3回理事会

平成18年12月2日 (土)

静岡県教育会館

#### 協議事項

- 1. 平成18年度新春公開講演会プログラム
- 2. 平成19年度事業計画案
- 3. 平成19年度予算案
- 4. 災害時緊急連絡網
- 5. 会費免除規程の一部変更について
- 6. 会費納入状況および会費未納者の処分について
- 7. その他
  - 1) 大地震対策アンケートについて
  - 2) 生涯教育アンケートについて 上記協議事項は全員一致で承認

第4回理事会

平成19年2月3日(土)

もくせい会館

#### 協議事項

- 1. 平成19年度事業計画案
- 2. 平成19年度予算案
- 3. 災害時緊急連絡網
- 4. 第32回(社) 静岡県放射線技師会総会および 第12回静岡県放射線技師学術大会について
- 5. 会費納入状況および会費未納者の処分について
- 6. (社) 日本放射線技師会会費納入期限の改正に基づく(社) 静岡県放射線技師会の対応について

否決 0 賛成 24 保留 1 で承認

7. 新事務所設立準備金への繰入金額について 否決 0 賛成 22 保留 3 で承認

平成19年度理事会報告 第1回理事会

平成19年4月7日(土) もくせい会館

### 協議事項

- 1. 平成18年度事業報告
- 2. 平成18年度決算報告
- 3. 第32回(社)静岡県放射線技師会総会および 第12回静岡県放射線技師学術大会について
- 4. 会費納入状況および会費未納者の処分について 上記協議事項は全員一致で承認

第2回理事会

平成19年9月1日(土)

もくせい会館

#### 協議事項

- 1. 静岡ふれあい広場について
- 2. 第11回サッカーフェスティバルin静岡
- 3. (社)日本放射線技術学会第42回中部部会学術大会 共催(社)静岡県放射線技師会について
- 4. 平成19年度原子力災害緊急時対策研修会

地震・原子力対策編について

- 5. 平成19年度第1回医療安全セミナーについて
- 6. 会費納入状況および会費未納者の処分について 上記協議事項は全員一致で承認

第3回理事会

平成19年12月1日(土)

静岡県教育会館

#### 協議事項

- 1. 平成19年度新春公開講演会について
- 2. 平成20年度事業計画案について
- 3. 平成20年度予算案について
- 4. 会費納入状況および会費未納者の処分について 上記協議事項は全員一致で承認
- 5. 会費納入方法変更について

反対 11 保留 12 賛成 0

6. 次期役員選出状況について

第4回理事会

平成20年2月2日(土)

もくせい会館

## 協議事項

- 1. 平成20年度事業計画案について
- 2. 平成20年度予算案について
- 3. 第34回(社) 静岡県放射線技師会総会および 第13回静岡県放射線技師学術大会について
- 4. 会費納入状況および会費未納者の処分について また平成20年度会費納入時期について 納入期限について

4月1日 賛成 1 8月末 賛成 25 保留 0 請求時期

2月末 賛成 23 6月末 3 保留 0

- 5. 次期役員選出状況について
- 6. 共立蒲原総合病院東部地区編入について

平成20年度理事会報告

第1回理事会 平成20年4月12日(土)

ペガサート

- 1. 平成19年度事業報告について
- 2. 平成19年度決算報告
- 3. 一般会計の繰入金について
- 4. 第34回(社) 静岡県放射線技師会総会および 第13回静岡県放射線技師学術大会について
- 5. 会費納入状況および会費未納者の処分について
- 6. その他
  - 1)旅費日当の見直しについて(200円アップ)上記協議事項は全員一致で承認
  - 2) ホームページの機能・運営について
  - 3) 生涯学習について



第2回理事会

平成20年8月30日(土) ペガサート

#### 協議事項

- 1. 静岡ふれあい広場について
- 2. 第22回ソフトボール大会について
- 3. 平成20年度原子力災害緊急時対策研修会 地震・原子力対策編について
- 4. 会費納入状況および会費未納者の処分について
- 5. ホームページ上での求人・求職情報について 上記協議事項は全員一致で承認
- 6. 新春公開講演会について (報告のみ)

第3回理事会

平成20年11月29日(土) 静岡県総合福祉会館教育会館

#### 協議事項

- 1. 平成20年度新春公開講演会について
- 2. 平成21年度事業計画案について
- 3. 会費納入状況について
- 4. 放射線技師研修会について 上記協議事項は全員一致で承認
- 5. ホームページリニューアルについて 次回理事会でさらに検討する

第4回理事会

平成21年2月7日(土)

静岡県総合福祉会館教育会館

#### 協議事項

- 1. 放射線技師研修会について
- 2. 平成21年度事業計画案について
- 3. 平成21年度予算案について
- 4. 会費納入状況および平成21年度の会費請求時期について
- 5. ホームページリニューアルについて 上記協議事項は全員一致で承認
- 6. その他

第14回学術大会テーマ

「診療放射線技師の資質向上に向けて」賛成多数

#### 平成21年度理事会報告

第1回理事会

平成21年4月11日(土)

静岡県総合福祉会館教育会館

#### 協議事項

- 1. 平成20年度事業報告について
- 2. 平成20年度決算報告について
- 3. 第36回(社) 静岡県放射線技師会総会および 第14回静岡県放射線技師学術大会について
- 4. 会費納入状況および会費未納者の処分について
- 5. 定款 会計事務取扱規程 第9章について 上記協議事項は全員一致で承認

6. 会費未納者、退会者に対する取り組みについて 退会届けをホームページ上に載せること 賛成5 反対23 否決

第2回理事会

平成21年8月29日(土)

静岡県社会福祉会館

#### 協議事項

- 1. 静岡ふれあい広場について
- 2. 第12回サッカーフェスティバルについて
- 3. ホームページリニューアルについて
- 4. 会費納入状況について 上記協議事項は全員一致で承認
- 5. 次期選出の常任理事について

第3回理事会

平成21年11月28日(土)

静岡県社会福祉会館

#### 協議事項

- 1. 新春公開講演会について
- 2. 東海四県放射線技師学術大会について
- 3. 平成22年度事業計画案について
- 4. 放射線技師研修会および 第37回静岡県放射線技師会通常総会について 上記協議事項は全員一致で承認
- 5. MRI部会の磁気共鳴認定機構の申請について 賛成 1 反対 22 保留 1
- 6. 会費納入状況について

第4回理事会

平成22年2月6日(土)

静岡県総合福祉会館教育会館

#### 協議事項

- 1. 平成22年度事業計画案について
- 2. 平成22年度予算案について
- 3. 役員改選について
- 4. 放射線技師研修会について
- 5. 会費納入状況および平成22年度会費請求時期 上記協議事項は全員一致で承認

## 平成22年度理事会報告

第1回理事会

平成22年4月17日(土)

静岡県総合社会福祉会館 601会議室

- 1. 平成21年度事業報告について
- 2. 平成21年度決算報告について
- 3. 第38回(社)静岡県放射線技師会総会および 第15回静岡県放射線技師学術大会について
- 4. 会費納入状況および会費未納者の処分について
- 5. 事務所購入の検討について 上記協議事項は全員一致で承認

第2回理事会

平成22年8月28日(土)

静岡県総合社会福祉会館 602会議室

#### 協議事項

- 1. 新事務所購入経過と移転計画について
- 2. 日放技の代議員選出について
- 3. ふれあい広場への参加について
- 4. ホームページの運用について 上記協議事項は全員一致で承認

第3回理事会

平成22年12月4日(土)

静岡県総合社会福祉会館 104会議室

#### 協議事項

- 1. 会費納入状況について
- 2. 新春公開講演会について
- 3. 事務所運営について
- 4. 法人化について 上記協議事項は全員一致で承認

第4回理事会

平成23年2月5日(土)

静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1. 平成23年度事業計画案について
- 2. 静放技入会金・再入会金の無料化、免許取得 1年以内の入会者の年会費5000円について 上記協議事項は全員一致で承認
- 3. 日放技と静放技会費の合算請求及び静放技会費納入期限の延長(9月30日)について 反対 0 保留 2 賛成 21 賛成多数で承認
- 4. 平成23年度予算案について
- 5. 公益社団法人に向けての進捗状況について上記協議事項は全員一致で承認

平成23年度理事会報告

第1回理事会

平成23年4月16日(土)

静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1. 平成22年度事業報告について
- 2. 平成22年度決算報告について 上記協議事項は全員一致で承認
- 3. 第40回静岡県放射線技師会総会・第16回放射線 技師学術大会(大会テーマについて)
  - ・県民と協働して安心・安全な医療をめざして 賛成多数により決定
- 4. 災害連絡網について
- 5. サーバーCAL (同時使用権利) の購入について
- 6. 理事、その他役員メールのWEBメール (@shizuhogi.jp) への移行について 上記協議事項は全員一致で承認

平成23年度臨時理事会

平成23年6月25日(土)

静岡県放射線技師会事務所

#### 報告事項

- 1. 公益法人化に向けての経過報告
- 2. 次期役員就任予定者について

#### 協議事項

- 1. 技術学会中部部会共催セミナー開催について
- 2. 胃がん従事者講習会の参加証について
- 3. 定款と規程について 上記協議事項は全員一致で承認

第2回理事会

平成23年8月27日(土)

静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1. 放射線技術学会中部部会合同研修会について
- 2. 東部地区ふれあい広場について
- 3. 新春公開講演会、アール祭について
- 4. 公益社団法人に向けての定款・諸規程案承認の件
- 5. 公益法人化に向けたホームページの変更点の説明
- 6. 緊急連絡網について 上記協議事項は全員一致で承認

第3回理事会

平成23年12月3日(土)

静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1. 地区会/部会運営状況と委託金/助成金について
- 2. 西部地区ふれあい広場について
- 3. 平成23年度静岡県放射線技師研修会について 上記協議事項は全員一致で承認

第4回理事会

平成24年2月4日(土)

静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1. 平成24年度(公社)静岡県放射線技師会事業計画案について
- 2. 平成24年度(公社)静岡県放射線技師会 収支予算案について
- 3. (公社) 静岡県放射線技師会申請書類について
- 4. 平成23年度 緊急時災害防災連絡網の実施
- 5. 会費納入状況について
- 6. 平成24年度静岡県放射線技師学術大会テーマについて

「県民に貢献する放射線医療」 賛成多数

- 7. 旧事務所譲渡について
- 8. 第43回静岡県放射線技師会通常総会・第17回静岡県 放射線技師学術大会組織図について
- 9. 企画申請書・企画報告書について
- 10. 表彰・叙勲規程について 上記協議事項は全員一致で承認



平成24年度理事会報告 第1回理事会

公益社団移行 平成24年4月12日(土) 静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1.平成23年度(社)静岡県放射線技師会 事業報告の件
- 2.平成23年度(社)静岡県放射線技師会 決算報告の件
- 3.平成23年度(社)静岡県放射線技師会 監査報告の件
- 4.(公社)静岡県放射線技師会 理事辞任に伴う補欠選挙の件
- 5.(公社)静岡県放射線技師会 副会長及び常任理事選定の件
- 6.(公社)静岡県放射線技師会 業務執行理事選任
- 7.(公社)静岡県放射線技師会 理事会会議形式変更
- 8. 役員等の保険加入の件
- 9. 会費納入状況について
- 10. 第43回(公社)静岡県放射線技師会総会及び 第17回静岡県放射線技師学術大会開催のついて 上記協議事項は全員一致で承認

第2回理事会

平成24年8月25日(土) 静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1. 役員等旅費支給の件
- 2. 講師謝金等の基準について
- 3. 平成24年度一次補正予算書承認の件
- 4. 旧事務所売却承認の件
- 5. 福島県「県民健康管理調査」に対する協力依頼
- 6. 静岡ふれあい広場の件
- 7. 秋季公開講演の件
- 8. 医療画像情報精度管理士移行講習(静岡県) 開催計画の件
- 9. 抜針・止血の講習会開催の件
- 10. 静放技65周年記念式典日程の件
- 11. 平成24年度静岡県放射線技師研修会について
- 12. 報告書・収支報告書の書き方について 上記協議事項は全員一致で承認

第3回理事会

平成24年12月1日(土) 静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1. (公社) 日本診療放射線技師会代議員 (平成25・26年度) 選挙の実施について
- 2. 災害時緊急連絡網の見直しについて
- 3. 会費未納者対策について(依頼)
- 4. その他

1)日本消化器がん検診精度管理評価機構学術大会

- 2)イントラネット・ホームページ講習の件
- 3) 静岡県放射線技師学術大会の件上記協議事項は全員一致で承認

第4回理事会

平成25年2月23日(土)

静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1.平成25年度(公社)静岡県放射線技師会 事業計画(案)について
- 2.平成25年度(公社)静岡県放射線技師会 収支予算(案)について
- 3.会費納入規程の一部改訂について 上記協議事項は全員一致で承認
- 4.平成25年度静岡県放射線技師学術大会 大会テーマについて

「県民医療の向上に向けた放射線技術の結集」 上記テーマは賛成多数により承認

平成25年度理事会報告

第1回理事会

平成25年4月20日(土) 静岡県放射線技師会事務所

#### 協議事項

- 1. 平成24年度(公社) 静岡県放射線技師会事業報告について
- 2. 平成24年度(公社)静岡県放射線技師会決算報告について
- 3. 賛助会員(団体)会費について
- 4. 新webメール移行への提案について 上記協議事項は全員一致で承認

第2回理事会

平成25年8月31日(土) 静岡県放射線技師会事務所

- 1. 学術大会演題募集手順の変更承認の件
- 2. 創立65周年記念式典承認の件
- 3. 新春公開講演会承認の件
- 4. 第55回東海四県放射線技師学術大会承認の件
- 5. 平成25年度静岡県放射線技師研修会について
- 6. 医療安全推進委員会アンケートについて 上記協議事項は全員一致で承認

## 【地区会 東部】

## ○東部地区会長(平成10~25年度)

平成10・11年度	田方保健医療対策協会付属病院	桑沢	啓治
平成12・13年度	社会保険三島病院	中津川	大三
平成14・15年度	富士宮市立病院	深澤	英史
平成16・17年度	聖隷沼津病院	笠原	典彦
平成18・19年度	富士市立中央病院	井出	宣考
平成20・21年度	順天堂大学医学部附属静岡病院	篠田	雅弘
平成22・23年度	NTT東日本伊豆病院	滝口	昇吾
平成24・25年度	富士宮市立病院	玉田	宏一

## ○東部地区会事業

平成10年度 ———		
平成10年 6月27日	東部地区会ボウリング大会 柿田川パークレーンズ	4 3 名参加
平成10年 9月12日	第2回放射線セミナー 三島市民文化会館	5 4 名参加
平成10年11月28日	第3回放射線セミナー サイクルスポーツセンター研修室	47名参加
平成10年11月29日	第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 サイクルスポーツセンター研修室	3 4 名参加
平成11年 3月13日	第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 韮山町文化センター 「胃X線検査の基本と応用 学会認定放射線技師 講師:日本消化器集団検診学会 東海北陸支部 会長	
平成11年度 ———		
平成11年 8月28日	東部地区勉強会 大仁町民会館 「医療事故防止に向けて各施設の現状報告」	3 2 名参加
平成11年10月23日	第2回放射線セミナー 韮山町文化センター・映像ホール 「総合画像診断-体幹部」 第1回胃がん検診従事者講習会	3 3 名参加
	重山町文化センター・映像ホール 「腹部超音波検査―初心者講座」	3 2名参加
平成12年1月29日		

講師:東京電力(株)原子力センター

副長 石沢 昇 先生

「災害時における機器固定」

講師:慶應月ヶ瀬リハビリテーションセンター

石井 博 先生

平成12年1月30日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

南熱海パストラル松風苑

4 1 名参加

20名参加

「超音波造影剤レボビストについて」

講師:日本シェーリング(株) 東海支店 園田 英昭 先生

「腹部超音波検査―講演及び実技指導」

講師:藤枝市立総合病院 超音波科 杉山 髙 会員

平成12年2月26日 東部地区会ボウリング大会

柿田川パークレーンズ

平成12年度 —

平成12年 8月26日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

三島市社会福祉会館 40名参加

「はじめよう注腸検査」

講師:田方保健医療対策協会付属病院 秋山 洋 会員

「注腸用バリウムについて」

講師:共成製薬株式会社 原 耕三 先生

「下部消化管エコーの基本」

講師:富士宮市立病院 岩田 敏秀 会員

平成12年10月28日 第1回放射線セミナー

県総合健康センター(三島市)

「ネットワークの現状と将来につて」

講師:GE横河メディカル株式会社 大橋 俊之 先生

「心の健康」

講師:荻野クリニック主任カウンセラー 山田 州宏 先生

平成13年 1月27日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

けんぽ長岡 33名参加

「ペプシノゲン法を利用した胃検診」

講師: (株) ダイナボット

ヘルスマネージャー 江森かほる 先生

「造影剤の開発の現況」 講師: (株) エーザイ

造影剤担当プロモーター 本川 靖政 先生

「バイク隊と救護ネットワーク」

講師:NPO日本救難バイク協会静岡県支部

副支部長 笠原 英男 先生

平成13年 2月24日 東部地区会ボウリング大会 柿田川パークレーンズ

15名参加

平成13年度 -

平成13年 8月4日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

三島市民文化会館ゆうゆうホール

31名参加

「放射線部内のネットワークシステム」

講師:東芝メディカルシステムズ株式会社 網代 啓志 先生

「胃の内視鏡および超音波内視鏡像」

講師:三島社会保険病院 外科 梶浦 謙 先生

「最近話題の疾患ー肺塞栓症」

講師:三島社会保険病院 内科 佐藤 康弘 先生

平成14年 1月26日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

清雲荘

平成14年 3月 2日 東部地区会ボウリング大会

柿田川パークレーンズ

平成14年度 —

平成14年 7月20日 東部地区会バーベキュー

沼津千本浜海岸 会員34名・家族18名 計52名参加

平成14年 8月 3日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

富士宮市立病院

3 7 名参加

「医療過誤と損害責任」

講師:東京海上火災保険株式会社 代理店ユーサポート株式会社

上柳 暢政 先生

「当院のMRI検査の紹介」

講師:富士宮市立病院 診療技術部 中央放射線科

原 陽一 会員

「緊急頭部MRI検査の実演」

講師:富士宮市立病院 診療技術部 中央放射線科

玉田 宏一 会員

「救急画像」

講師:富士宮市立病院 診療部

放射線科医長 関 明彦 先生

平成15年 1月18日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

富士ハイツ

46名参加

「最新の放射線治療」

講師:名古屋大学医学部難治感染症部

中津川重一 先生

「日本酒と健康」

講師:岩池酒店 岩池 英司 先生



平成15年 3月 8日 東部地区会ボウリング大会 ラウンドワン 富士

25名参加

平成15年度 ---

平成15年 8月 2日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

KKRホテル熱海

25名参加

「感染症の最近の話題」

講師:国際医療福祉大学付属熱海病院

内科教授 伊藤 章 先生

「DICOM規格の概要について」

講師:横河エンジニアリングサービス(株)

医療情報サービス事業部 医療システム営業部

加納 伸哉 先生

平成16年 1月17日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

清雲荘

50名参加

「サプリメント(健康食品)について」

講師:大塚製薬株式会社 ヘルスケア事業部 製品部

情報支援担当 高尾 洋香 先生

「病院機能評価が与える影響について(診療報酬医療の安全について)」

講師:富士フィルムメディカル株式会社 営業本部 販売企画部

課長 野口 雄司 先生

「MDCTの現状について」

講師: 東芝メディカルシステムズ株式会社 G E 横河メディカルシステムズ シーメンス旭メディテック

平成16年 2月24日 東部地区会ボウリング大会

柿田川パークレーンズ

19名参加

平成16年度 -

平成16年 7月31日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

三島商工会議所

70名参加

平成17年1月29~30日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

御殿場高原ビール会議室

61名参加

「ビール製造について」

講師:御殿場高原ビール(株)

門倉 栄 先生

「消化管読影レポートの記載法」

講師:四日市健診クリニック

西川 孝 先生

平成17年度 -

平成17年 8月 6日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

三島市民文化会館

53名参加

「電子カルテシステムについて」

講師:株式会社ビー・エム・エル 医療情報システム営業部

青山 竹彦 先生

「動画で学ぼうルーチン撮影と追加撮影のポイント」

講師:伊豆保健医療センター 秋山 洋 会員

平成18年 1月28日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

御殿場高原ビール会議室

57名参加

[ISO]

講師:聖隷沼津病院

笠原 典彦 会員

「第6回東部消化管画像研究会 陥凹性病変の描出」

講師:伊豆保健医療センター 私

秋山 洋 会員

平成18年 2月18日 東部地区会ボウリング大会

柿田川パークレーンズ

18名参加

平成18年度 -

平成18年 8月 5日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

沼津医師会館

4 6 名参加

「コニカミノルタ NEOVISTについて」

講師:コニカミノルタエムジー

窪谷 大樹 先生

「胃がん検診車の現状報告と今後について」

座長:伊豆保健医療センター

秋山 洋 会員

報告協力施設:三島社会保険病院

中村 洋介 会員

池田病院

中司 政章 会員

聖隷沼津病院 東海検診センター 和田 健 会員

伊豆保健医療センター

三井 健一 会員野田 鈴 会員

平成18年11月18日 東部地区会ボウリング大会

柿田川パークレーンズ

3 1 名参加

平成19年 2月 3日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

清雲荘

59名参加

「放射線技師のためのAED講習会」

講師:富士市消防本部

伊藤 敏之 先生

「検診業務におけるPACS」

講師:富士フィルムメディカル株式会社

中村 哲男 先生

「胃部X線検査の基本的な読み方」

講師:伊豆保健医療センター

秋山 洋 会員

平成19年 3月24日 特別講演会「最新X線CTの実践」

富士市立中央病院

53名参加

「オムにパークシリンジのICタグについて」

講師:第一製薬株式会社

竹中 康悟 先生



「CTの基礎から臨床」

講師:鈴鹿医療科学大学 教授 金森 勇雄 先生

「CTの機械原理」

講師:岐阜医療科学大学講師 小野木満照 先生

「胸部疾患について」

講師:厚生連中濃厚生病院 院長藤野明俊先生

平成19年度 —

平成19年 8月 4日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

沼津医師会館

3 4 名参加

「熱中症の基礎」

講師:大塚製薬

篤本 健治 先生

「胃がん検診の造影剤について」

講師:堺化学工業株式会社

篠原 雅史 先生 竹内 修平 先生

株式会社伏見製薬所

協力施設:三島社会保険病院

聖隷沼津病院

芹沢病院

伊豆保健医療センター

平成19年11月15日 東部地区会ボウリング大会

柿田川パークレーンズ

22名参加

平成20年 1月26日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

富士ロゼシアター

3 6 名参加

「災害時(地震)を想定した機器固定について」

講師:オータムハート株式会社

近藤 克俊 先生

「阪神・淡路地震、福知山脱線事故を経験して」

講師:兵庫医科大学 中央放射線部 源 貴裕 先生

「胃部エックス線検査の撮影と考え方―ダイジェストー」

講師:伊豆保健医療センター 秋山 洋 会員

平成20年 3月22日 特別講演会」

三島文化会館

4 9 名参加

「認知症の臨床と解剖-VSRADを通して-」

講師:富士市立中央病院

神経内科部長 森田 昌代 先生

平成20年度 -

平成20年 8月 2日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

順天堂大学医学部附属静岡病院

79名参加

「カプセル内視鏡について」

講師:公立学校共済組合 • 東海中央病院

消化器内科部長 石川 英樹 先生

「第3次救急における脳神経外科疾患の治療について ~くも膜下出血を中心に~」

講師:順天堂大学医学部附属静岡病院

脳神経外科准教授 山本 拓史 先生

「画質評価の第一歩」

講師:静岡県立静岡がんセンター 秋田富二代 先生

平成21年 1月31日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

順天堂大学医学部附属静岡病院

52名参加

「早期胃がんにおける最近の内視鏡的治療」

講師:大垣市民病院

久永 康宏 先生

「静岡県東部地区における救急医療に対する現状と展望」

講師:順天堂大学医学部附属静岡病院

卯津羅雅彦 先生

「第三次救急における診療放射線技師の役割」

講師:順天堂大学医学部附属静岡病院

伊藤 周子 会員

平成21年度 -

平成21年 8月 8日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

ホテルサンバレー富士見

51名参加

「胃癌に対する化学療法」

講師:静岡県立静岡がんセンター

廣中 秀一 先生

「医用画像装置の現状と未来」

講演:東芝メディカルシステムズ株式会社

フィリップスメディカルシステムズ株式会社

「320列 Area detector CTの画質特性」

講師:静岡県立静岡がんセンター

瓜倉 厚志 会員

平成22年 1月30日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

大仁市民会館

5 4 名参加

「カプセル内視鏡について」

講師:株式会社スズケン 担当係

「医用画像装置の現状と未来」

講演:シーメンスメディカルシステムズ

GE横河メディカルシステムズ

「陽子線治療について」

講師:静岡県立静岡がんセンター 浅田 義弘 会員

平成22年度 —

平成22年 8月 7日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

三島商工会議所

52名参加

「胃がんX線検診における基準撮影法前壁撮影編」

講師:伊豆保健医療センター

秋山 洋 会員

「安全・安心な放射線検査の確立

~医療被ばく低減施設認定の必要性~ |

講師:東京慈恵会医科大学附属病院 放射線部

庄司 友和 先生

「富士フィルム医用画像情報システム

SYNAPSEの最新情報について」

講師:富士フィルムメディカル株式会社 南関東営業本部

ITソリューションセンター 西山 和宏 先生

平成22年11月 6日 東部地区会ボウリング大会

ジョイランド原

18名参加

平成23年 1月29日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

NTT東日本伊豆病院

「発泡剤の有効活用」

講師:伏見製薬所昭和町工場

西岡 茉美 先生

「当センターにおける胃部X線ルーチン撮影法について」

聖隷沼津病院

川口 直紀 会員

「当院における上部消化管撮影の現状と問題点」

三島社会保険病院

中村 洋介 会員

「CT750HDの特徴と導入に伴う検査の推移」

順天堂大学医学部附属静岡病院

清水 匡大 会員

「脳血管3DCTA 撮像プロトコル」

国際医療福祉大学熱海病院

杉村 俊樹 会員

「当院における肺がんCT検診について」

NTT東日本伊豆病院

丸山 健 会員

「死後造影CT撮影プロトコルの検討」

沼津市立病院

岡藤 康明 会員

奥田 幸佑 会員

「頸部・胸部の移行部の撮像方法の工夫と、

脂肪抑制画像の工夫、及び検証について」

英志会渡辺病院

「当センターにおけるデュアルエナジーサブトラクション

撮影法について」

聖隷沼津病院

富士宮市立病院

川口 直紀 会員

「当院におけるVideoFluorography導入に

関する報告」

前林 晴也 会員

「乳腺エコーの基礎」 富士市立中央病院

神田 直樹 会員

「INNOVA2100 IQ Proの使用経験」

三島中央病院

土屋 慶太 会員

平成23年度 -

平成23年 7月 2日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

韮山文化センター

5 4 名参加

「胃X線検診の基礎知識 検診を中心に」

講師:静岡県立静岡がんセンター

伊藤 宏明 会員

「災害時の医療装置の現状と今後の対応」 講演:東芝メディカルシステムズ株式会社

日立メディコ

GEヘルスケアジャパン

平成23年10月22日 東部地区ふれあい広場

「市民ふれあい広場」 (伊豆の国市) に参加

実施内容: 医療被ばく相談 放射線測定体験

骨密度体験

平成23年11月 5日 東部地区会ボウリング大会

ジョイランド原

20名参加

平成24年 1月28日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

順天堂大学保健看護学部講

71名参加

「ABC検診による胃の健康度評価

- 胃がん検診の新しい考え方-」

講師:和光純薬工業株式会社 臨床検査薬事業部

臨床検査薬開発部 中井 剛史 先生

「当院一般撮影における線量計算システム(SESD10)の検証」

富士宮市立病院

加藤 聡子 会員

「当院における検像の実際」

富士中央病院

増田 裕司 会員

「当院におけるMRCP撮像と着想」

聖隷沼津病院

原田 真 会員

「当院におけるマンモグラフィ検査について」

国際医療福祉大学熱海病院

岩崎真奈美 会員

「CT750HDよる頭部3DCTA撮影」

順天堂大学医学部附属静岡病院

小野 直人 会員

平成24年度 ——

平成24年 7月21日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

富士市交流センター

59名参加

「手指衛生の重要性と製品紹介」

講師:株式会社エスアールエル感染防止サポート部

木元 勇夫 先生

「院内感染対策の歩み」

講師:富士宮市立病院

診療技術部長

鈴木 弘文 先生

「~読影補助業務を考える~ 基準撮影と所見の見方・考え方」

講師:伊豆保健医療センター

秋山 洋 会員

平成24年10月20日 東部地区ふれあい広場

「市民ふれあい広場」(伊豆の国市)に参加

参加会員9名

実施内容:医療被ばく相談(2名)

放射線測定体験(約60名) 無料骨密度体験(70名)

平成24年11月17日 東部地区会ボウリング大会

柿田川パークレーンズ

18名参加

平成25年 2月 2日 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

富士市交流センター

63名参加

「胃がんの治療について」

講師:富士宮市立病院

外科 科長

礒垣 淳 先生

「高分解能関数を用いた下肢3D CTAの撮影法」

順天堂大学医学部附属静岡病院

落合 史朗 会員

「TBT (test bolus tracking) 法の臨床応用」

順天堂大学医学部附属静岡病院

井上 香林 会員

「「BADの診断」MRIぷらす1シーケンス」

共立蒲原総合病院

浅見 浩明 会員

「TL負荷心筋シンチ検査における撮像条件の検討

~WG報告推奨撮像条件との比較~|

富士宮市立病院

小林 邦和 会員

「Area Ditector CTを用いた心臓CT検査」

沼津市立病院

澤口 知映 会員

「ワイヤレスカセッテ型DRを用いた一般撮影の検討」

聖隷沼津病院

戸塚 美香 会員

平成25年度 ———

平成25年 6月17日 東部地区ふれあい広場

「2013健康まつり」(富士市)に参加

参加会員7名

実施内容:医療被ばく相談・放射線測定体験(30名)

超音波検査体験(132名)

平成25年 7月20日 東部地区会ボウリング大会

柿田川パークレーンズ

22名参加

平成25年11月16日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

富士市交流センター

6 2 名参

「Body MRI ~MRIの特性からみた画像診断~」

講師:浜松医療センター 副参事

長谷川進一 先生

「上部消化管検診のルーチン検査について」

座長:伊豆保健医療センター

秋山 洋 会員

画像提示施設:聖隷沼津病院

国際医療福祉大学熱海病院 伊豆保健医療センター 三島社会保険病院 共立蒲原総合病院

## 【地区会 中部】

中部地区会のあゆみ

<平成10年度>

4/23 中部地区会NEWS 春号発行

5/17 第1回レクリエーション(バーベキュー大会)宝探しゲーム・じゃんけんゲーム

清水市興津川 参加者62名

7/17 中部地区会NEWS 夏号発行

7/26 県親善ソフトボール大会 "優勝" 2連覇

9/20 身障者の方への「胃及び超音波」の無料検診

胃透視13名 超音波検査20名

9/26 第2回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 日興会館 参加者75名

「異文化間のコミュニケーション」

東海大講師 グレゴリ・オーダウト 先生

「胃X線撮影(今これだけは知っておきたい!)」

日本消化器集団検診学会東海北陸支部技師部会会長 馬場 健硯 先生

10/20 中部地区会NEWS 秋号発行

10/25 サッカーフェスティバルin静岡

11/21 第3回放射線セミナー 静岡市メディアシティ

「私と超音波との出会いから今へ・そしてこれから」

藤枝市立総合病院 超音波科科長 杉山 高 会員

「スポーツは楽しい、苦しい!?」

清水エスパルス チームドクター 福岡 重雄 先生



- 11/28 第2回レクリエーション(ボウリング大会) 静岡市ボウルアピア
- 2/3 中部地区会NEWS 冬号発行
- 3/6 平成10年度中部地区会総会及び第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者59名

## <平成11年度>一

- 5/17 中部地区会NEWS 春号発行
- 6/13 県親善ソフトボール大会 "優勝" 3連覇
- 7/20 第1回中部地区会レクリエーション(バーベキュー大会) バーベキューセンター 紅葉館 びく石 参加者72名
- 8月 中部地区会NEWS 夏号発行
- 9/25 第2回放射線セミナー ブケ東海静岡
  - 「X線個体検出器の現状と将来」

直接変換・動画用平面検出器とは 目的とする平面検出器 研究開発の動向

東芝メディカル株式会社

宮内 厚 先生

「気の科学と実践について」

気を科学的に解明しようとする試み、気を利用して自然治癒力を高めようとする試みなど 総合病院清水厚生病院 佐久間哲也 先生

- 10/24 サッカーフェスティバルin静岡
- 11/15 中部地区会NEWS 秋号発行
- 11/20 第3回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 静岡ベルアージュ 「画像診断のためのCT撮影」

群馬県立医療短期大学

鈴木 英樹 先生

「注腸検査のポイント」

総合病院清水厚生病院

石井清二郎 会員

- 12/18 第2回レクリエーション(ボウリング大会) 静岡市ボウルアピア 参加者40名
- 3/4 中部地区会総会及び第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 パネルディスカッション「間接撮影7枚撮りに物申す」

#### <平成12年度>-

- 5/15 中部地区会NEWS 春夏号発送
- 7/9 県親善ソフトボール大会 参加者23名 "優勝"4連覇
- 9/1 中部地区会NEWS 秋号発送
- 10/1 中部地区 バーベキュー大会 開催 静岡市梅ケ島 参加者50名余 ヤマメのつかみ取り、ヤマメの姿焼きなど 催し物たくさん。
- 10/14 第1回放射線セミナー 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 静岡市 メディア シティー 「下部消化管画像評価法について」

埼玉県立癌センター 放射線診断部

腰塚 慎二 先生

「放射線管理士の役割について」

帝京大学医学部附属 市原病院 放射線科

山森 和美 先生

- 2/8 地区会NEWS 新春号発行
- 3/10 中部地区会総会及び第2回放射線セミナー第2回胃がん検診従事者講習会 もくせい会館

#### <平成13年度>--

5/15 中部地区会NEWS 春夏号発送

9/1 中部地区会NEWS 秋号発送

9/29 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 静岡市メディア シティー 「造影剤をより安全に使用する為には 特に腎不全を中心に」

第一製薬株式会社 名古屋支店医薬学術課

加藤 誓 先生

「MRIの基礎よりよい画像を得るためのコツ」

神戸大学医学部附属病院 中央放射線部

川村 秀明 先生

「上部消化管撮影法 見逃しやすい部位と残胃の撮影」

癌研究会付属病院 放射線科

松本 史樹 先生

10/14 中部地区バーベキュー大会開催 静岡市梅ヶ島 参加者60名余 ヤマメのつかみ取り、ヤマメの姿焼きなど



- 2/8 地区会NEWS 新春号発行
- 3/2 中部地区会総会及び第2回放射線セミナー第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会もくせい会館

#### <平成14年度>

6/16 県親善ソフトボール大会



## 第18回親善ソフトボール大会

## 中部地区5連覇 11回目の優勝

平成14年6月16日(日) 三共製薬 袋井工場グラウンド

- 9/ 1 中部地区会NEWS 秋号 発送
- 10/5 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者38名

「MRI用造影剤プロハンスシリンジについて」

エーザイ株式会社 医薬事業部

今西 良一 先生

「MRの臨床利用」

聖路加国際病院 放射線科

鈴木 弘和 先生

「DR消化管撮影と臨床評価」

慶応義塾大学医学部 中央放射線技師室

田中 耕次 先生

- 10/2 中部地区会 バーベキュー大会 静岡市梅ヶ島 魚魚の里 参加者60名 バーベキューと魚のつかみ取り
- 10/27 第8回サッカーフェスティバルin 静岡 第一製薬(株)静岡工場グランド 参加者15名
- 2/3 地区会NEWS 新春号発行
- 3/1 中部地区会総会及び第2回放射線セミナー第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

もくせい会館

「フラットパネル搭載X線TVシステムについて」

日立メディコ 営業企画本部 林 富夫 先生

「FPD装置の基本性能について」 東芝医用システム社 青木 邦夫 先生

「FPD搭載Cアーム型撮影装置の臨床現場からの使用経験」

慶応義塾大学病院 放射線技術室 都筑 史郎 先生

#### <平成15年度>

5/6 地区会NEWS 夏号発行

6/8 県親善ソフトボール大会 榛原総合運動公園 ぐりんぱる

9/ 1 地区会NEWS 秋号発行

9/27 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館

「オムニパークプラスチックボトル開発背景について」

第一製薬株式会社 医学学術部 市川 卓 先生

「動画対応FPDの現状と今後の展開」

島津製作所医用マーケティング部 塩見 剛 先生

「上部消化管検診の精度向上 新撮影法を中心として」

横浜市立病院 検診センター 今村 清子 先生

10/5 中部地区親善バーベキュー大会 静岡市梅ヶ島 魚魚の里 参加者50名

10/26 第9回サッカーフェスティバルin 静岡 第一製薬(株) 静岡工場グランド 参加者16名 結果4位

2/2 地区会NEWS 新春号発行

3/6 中部地区会総会及び第2回放射線セミナー第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

もくせい会館

「マルチスライス C T における造影剤の選択」 エーザイ医薬部 高月 幸二 先生

「BM vs 16MD-CT」大腸検査における現状と将来像

埼玉県立がんセンター放射線技術部 腰塚 慎二 先生

青木 良介 先生

「間接集団胃集検における発見癌の検討」

藤枝市立総合病院 放射線科 佐藤 慎祐 会員

#### <平成16年度>

6/1 地区会NEWS 春夏号発行

6/27 県親善ソフトボール大会 東芝富士工場グランド

8/23 地区会NEWS 秋号発行

9/26 中部地区バーベキュー大会 静岡市梅ヶ島 魚魚の里

10/2 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診従事者講習会 もくせい会館

「造影剤の適正使用について」 第一製薬株式会社 学術担当 天野 喜弘 先生 「FPDの臨床応用」 株式会社 日立メディコ 小田 和幸 先生

「上部消化管 X 線造影剤について」 境科学工業株式会社 医薬事業部 松本 俊彦 先生

2/7 地区会NEWS 新春号発行

3/5 中部地区会総会及び第2回放射線セミナー第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

もくせい会館

「エーザイの気持ち」 エーザイ株式会社

「直接変換方式FPDの原理及び有用性について」

東芝メディカルシステムズ(株)営業本部営業技術部 X線担当 金子 哲也 先生

「高濃度低粘性バリウムを使用した胃検診の有用性」

藤枝市立総合病院 放射線科 佐藤 慎祐 会員

#### <平成17年度>---

5/16 地区会NEWS 夏号発行

8/26 地区会NEWS 秋号発行

9/25 中部地区バーベキュー大会

10/1 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 「非イオン性MRI造影剤 オムニスキャン」

第一製薬株式会社 学術担当 岩本 宜大 先生

「X線テレビシステム日常点検」

株式会社島津製作所 医用機器事業部品質保証部 土屋 定男 先生

「うちは、こう撮る!! 各病院のルーチン撮影の紹介」 清水厚生病院 望月 英紀 会員

静岡厚生病院 青木 隆 会員

桜ヶ丘総合病院 片山 昇 会員

10/23 サッカーフェスティバルin静岡 第一製薬グラウンド 参加者20名

2/6 地区会NEWS 新春号発行

#### <平成18年度>-

3/4 中部地区会総会及び第2回放射線セミナー第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会もくせい会館

「MRIによる早期AD診断支援システム(VSRAD)」 エーザイ株式会社 藤本 康久 先生「自動現像機およびドライプリンターの精度管理」

コニカミノルタエムジー株式会社 山谷 晃子 先生

「うちは、こう撮る!!各病院のルーチン撮影紹介と症例検討」

座長 清水厚生病院 石井清二郎 会員

パネラー 共立蒲原総合病院 岩本 智宏 技師

静岡済生会総合病院 中村 英明 会員

静岡市立静岡病院 赤池 正久 会員

市立島田市民病院 鈴木陽一郎 会員

5/12 地区会NEWS 発送

6/11 中部地区バーベキュー大会 静岡市梅ヶ島 魚魚の里 参加者大人40名 子供24名

9/ 7 地区会NEWS 発送

9/30 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者57名 「MDCT至適造影法を語る会より」

エーザイ株式会社 医薬事業部 造影剤領域室 市川 篤 先生「よりよいマンモグラフィーを目指して」 浜松医科大学 放射線科 井美恵美子 先生

「読影医が望む画像とは」 社会保険中央総合病院 内科部長 浜田 勉 先生



2/7 地区会NEWS 新春号発送

3/3 中部地区会総会

第2回放射線セミナー及び第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

グランシップ 参加者74名

「オムニパークシリンジICタグ製剤の概略と機能」

第一製薬株式会社 静岡工場 固形剤技術センター

永田 亮 先生

「マンモグラフィーの精度管理の必要性と現状」

国立病院機構名古屋医療センター 放射線科

遠藤登喜子 先生

「胃がん検診ステップアップポイント」

静岡市立静岡病院消化器科•内視鏡科 部長

田中 俊夫 先生

#### <平成19年度>

4/18 地区会NEWS 春夏号発送

5/20 バーベキュー大会 静岡市梅ヶ島 魚魚の里 参加者大人46名 子供30名

9/29 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者50名 「Gd造影剤における最新の安全性情報」

エーザイ株式会社医薬事業部 造影剤領域室

市川 篤 先生

「マルチスライスCTの最新臨床応用について」ー循環器領域・消化管領域を中心に一

東芝メディカルシステムズ株式会社 東京本社 C T事業部

宮谷 美行 先生

「どのようなX線像に注目するか」ー読影を指向して一

東京都保健医療公社東部地域病院 副院長

浜田 勉 先生

10/21 第11回サッカーフェスティバルin静岡 第一三共プロファーマグラウンド 参加者18名 "優勝"



## 3/1 中部地区会総会

第2回放射線セミナー及び第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館

「超音波診断用造影剤 ゾナゾイドについて」

第一三共株式会社 竹中 康悟 先生

「スポーツ医学におけるオープンMRIの有用性」

国立スポーツ科学センター 研究員医師

土肥美智子 先生

「胃 X 線検査精度向上をめざして」 枝川内科胃腸科医院 技師 前川 進 先生

## <平成20年度>

6/19 地区会NEWS 夏号発行

9/27 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

もくせい会館 参加者34名

「どのようなX線像に注目するか」一読影を指向して一

東京都保健医療公社東部地域病院 副院長

浜田 勉 先生

「腎機能の低下した患者さまに対し、造影剤で注意すること」

エーザイ株式会社医薬事業部 造影剤領域室

市川 篤 先生

「MRI/UP to DATE〜乳腺について〜」 フィリップス株式会社

廣瀬加世子 先生

10/19 第22回県親善ソフトボール大会 参加者10名

10/31 地区会NEWS 秋号発行

11/30 ボウリング大会 プラザアピア静岡 参加者31名

2/6 地区会NEWS 新春号発行

3/7 中部地区会総会

第2回放射線セミナー及び第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者55名 「早期胃癌に対してのESD」 市立島田市民病院 消化器科医長 高橋 正彦 先生

「オムニパークについて」

第一三共株式会社

「乳ガン診療における画像診断の重要性」

静岡市立清水病院 乳腺外科科長

谷口 正美 先生

#### <平成21年度>─

7/10 地区会NEWS 夏号発行

9/26 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者55名 「どのような X 線像に注目するか」 一読影を指向して 一

東京都保健医療公社東部地域病院 副院長

浜田 勉 先生

「胃がんX線検診における基準撮影法の解説」 藤枝市立総合病院

佐藤 慎祐 会員

10/18 第12回サッカーフェスティバルin静岡 第一三共ファルマテックグラウンド 14名参加 "優勝"



#### 10/31 地区会NEWS 秋号発行

11/21 ボウリング大会 プラザアピア静岡 参加者34名

2/9 地区会NEWS 新春号発行

3/6 中部地区会総会

第2回放射線セミナー及び第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者57名 「胃がんのX線像と内視鏡との比較」 静岡市立静岡病院 内視鏡科科長 田中 俊夫 先生



「診療報酬改定について(放射線領域を中心に)」

第一三共株式会社 東海支部 医療環境担当

「非イオン性等浸透圧造影剤ビジパークについて」

第一三共株式会社 東海支部 造影剤担当

津田 裕男 先生

竹中 康悟 先生



#### <平成22年度>

7/22 地区会NEWS 夏号発行

9/25 第1回放射線セミナー 藤枝市立総合病院2階講堂 参加者45名

「検査直前の飲水による非イオン性ヨード造影剤の副作用軽減効果について」

エーザイ株式会社 日本事業本部 東海エリア 静岡医薬一部

櫻井 裕 先生

「マンモグラフィー読影の勘ドコロ」

藤枝市立総合病院 放射線診断・治療科

五十嵐達也 先生

「整形外科医が望む X 線写真」 藤枝市立総合病院 整形外科

鈴木 重哉 先生

11/6 地区会NEWS 秋号発行

11/27 ボウリング大会 プラザアピア静岡 参加者31名

2/14 地区会NEWS 新春号発行

3/12 中部地区会総会

第2回放射線セミナー及び第1回胃がん検診エックス線撮影従事講習会

もくせい会館 参加者32名

「胃癌治療に対するトポテシンの有効性について」

第一三共株式会社 東海支店 癌担当

稲葉 隆広 先生

「患者満足度を上げるクレーム対応」

第一三共株式会社 東海支店 医療環境担当

津田 裕男 先生

「基準撮影法と病変発見のための工夫」

医療法人社団綾和会 浜松南病院 放射線科

佐藤 慎祐 先生

#### <平成23年度>-

6/19 地区会NEWS 夏号発行

7/16 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

藤枝市立総合病院2階講堂 参加者31名

「高濃度硫酸バリウム造影剤について」

伏見製薬株式会社 営業企画課

竹内 修平 先生

「当院における胃X線撮影について」

藤枝市立総合病院 放射線科

蒔田 鎮靖 会員

「胃X線像と内視鏡検査治療も含めて」

藤枝市立総合病院 第一診療部長 丸山 保彦 先生



10/8 第1回放射線セミナー 藤枝市立総合病院 参加者33名

10/16 地区会NEWS 秋号発行

11/12 ボウリング大会 プラザアピア 参加者29名

2/15 地区会NEW 新春号発行

3/3 中部地区総会

第2回放射線セミナー及び第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者44名 「造影剤 最近話題について」

第一三共株式会社東海支店 造影剤・肝臓領域担当

佐々木 達 先生

「2012年度 診療報酬の改訂について」

第一三共株式会社 東海支店 医療環境担当

佐藤 智英 先生

「胃ガン検診の考え方」 市立島田市民病院 消化器内科部長

森下 宗自 先生

#### <平成24年度>—

7/30 地区会NEWS 夏号発行

9/15 第1回放射線セミナー及び胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者33名 「CTを用いた消化管画像診断技術」

金原 明史 先生

逢坂 和昌 先生

松浦 裕司 先生

東芝メディカルシステムズ株式会社

「大腸CT用検査食について」 株式会社 伏見製薬所

「外傷時の初期診療」

JA静岡厚生病院 外科

9/30 第33回静岡ふれあい広場参加

青葉シンボルロード 地区会より参加者13名

11/17 ボウリング大会 ボウルアピア 参加者36名

3/9 中部地区会通常総会

第2回放射線セミナー及び胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館 参加者36名

「人間尊重のコミュニケーション力向上」

キャリア・コンサルタント&産業カウンセラー 田代 保廣 先生 「読影ができるようになろう~模擬試験と解説~」

医療法人社団綾和会 浜松南病院 放射線科 佐藤 慎祐 先生





#### <平成25年度>─

8/24 ボウリング大会 ボウルアピア 参加者26名

9/8 第34回静岡ふれあい広場参加 青葉シンボルロード 地区会より参加者12名

10/5 第1回放射線セミナー及び胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 グランシップ映像ホール 参加者23名

> 「がんと臨床検査」 JA静岡厚生連清水厚生病院 臨床検査科技師長 三宅 和秀 先生 「症例から学ぶ胃 X 線読影」 藤枝市立総合病院 放射線科

蒔田 鎮靖 会員



## 【地区会 西部】

平成10~25年度 歷代組織理事(西部地区会会長)挨拶

平成10~11年度 増井 成充 (遠州総合病院)

県組織理事を担当することになりましたが、理事会に出席しやっと役務への責任感を持ち始めた次第であり、また会への協力を怠りがちでありましたので抱負を持ち合わせておりませんが、前任者の皆様方の実績や功績を無駄にしないよう努力してまいりますので、地区会並びに県技師会の皆様のご協力をお願い申し上げます。厳しい医療情勢におかれておりますが、新しい時代に向け若い会員皆様に希望が持てる技師会になりますことを願い、一言とさせてもらいます。



平成12~13年度 伊藤 雅夫(袋井市立袋井市民病院)

組織理事を務めさせて頂きます。県技師会の役職を務めさせて頂くのは、初めてのことで、組織あるいは機構がいまだ理解し得てないことから、戸惑い、不安感は拭えませんが、西部地区幹事、委員の皆様のご協力を頂き県技師会、西部地区会の発展の為、微力ではございますが、会運営に尽力いたす所存でおります。2年間、よろしくお願い致します。



平成14~15年度 日下部 行宏(聖隷浜松病院)

この度、西部地区会会長・県組織理事を務めさせていただきます。今回の診療報酬改定により、病院淘汰の厳しい時代の襲来を肌で感じている会員も多くいらっしゃることと思います。私たち放射線技師も、この厳しい淘汰の時代に何をすべきかを真剣に考え、時代に適応すべく変化する時に来ています。その意味でも、少しでも会員の皆様のお手伝いができるように新しい技師会の運営に協力できればと考えています。



2年間どうぞよろしくおねがいします。

平成16~17年度 北野 光浩(浜松赤十字病院)

会員の皆さんこんにちわ、西部地区会から選出されました組織理事の北野です。浜松赤十字病院に勤務しております。静岡県放射線技師会が昨年度事務所購入の関係で、会費を値上げしそれが今年度から適用されます。当然、2000円という少しの額(個人によって感じ方は違いますが)であっても、会員の皆さんの中には動揺が起こっていると思うのです。会



員の退会と言う最悪の事態も想定されます。私は、組織理事として委任されたました。 小さな力ではありますが、会員の方々と話し合い一方的ではなく同意を得られることに力 を尽くしていきたいと思っています。そして、それが会の発展に繋がっていけばこれから の二年間の苦労は、逆に楽しいものとなるのではないかと考えています。皆さん、どうぞ 宜しくお願いします。

平成18~19年度 原田 晴二(掛川市立総合病院)

この度、西部地区会会長と県組織理事に就任いたしました原田です。 技師会の活動は参加したことが無く、非常に責任の重さを痛感しています。 先輩諸氏を見習い、これまでの西部地区会の活動方針と県技師会の組織、活動状況を継承 して県技師会、西部地区会の発展のために一生懸命頑張っていく所存であります。 皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



平成20~21年度 山本 英雄(聖隷三方原病院)

この度、西部地区から組織理事:を担当します聖隷三方原病院の山本です。学術理事を 2 年間務めさせていただきましたが、まだまだ技師会活動の中身を理解し切れていません。 昨今、日本放射線技師会の動きに疑問を持つ声を多く聴き、退会者が増え入会を渋る状況が伺えます。そのような情勢の中、我々技師はどうすればいいのか、県技師会がどのような動きをして唯一の職能団体を活性化していくのかが問われていると思います。地区と県との情報交換、交流を深め、連携を強化し、皆様の声を聴きながら活動して行きたいと思いますので、ご指導ご協力のほど宜しくお願い致します。



平成22~23年度 窪野 久行(JA静岡厚生連 遠州病院)

この度、西部地区から組織理事を担当します、JA静岡厚生連遠州病院の窪野です。学術理事を2年間務めさせていただきましたが、見ると行うでは大きな違いがあり、前任者の方々のご苦労を実感いたしました。学術理事を通じて技師会の動きが少しずつ理解してきたつもりですが、国、県、地区に限らず会の有り方に疑問を持つ会員が増えてきたのは事実と思います。何故、自分たちの職能団体の活性化が図れないのでしょうか?とても大きな問題と思いますが、時代という言葉で流すのでなく、解決して行かなければ未来はないのでしょうか?たかだか西部地区の組織理事ですが、西部地区会員の皆さんは一人でも多く参加していただき、ひいては県技師会行事や部会活動も参加していただけるよう努力いたします。微力ではありますが頑張りますので、ご指導とご協力のほど宜しくお願い致します。





平成24~25年度

寺田 理希(磐田市立総合病院)

今年度より2年間、組織理事に就任することとなりました磐田市立総合病院の寺田です。

静岡県放射線技師会が公益社団法人として新たな出発を迎えた節目の年であり、今まで 以上に県民・会員に貢献できるように会務に努力していこうと思っております。

2年間、学術理事として活動して会員の期待や不信感など色々と感じる事ができました。これらの経験を生かして、これからの技師会がみなさんから信頼されるような会になっていくように改善・改革を行っていきたいと思います。是非、技師会の企画事業に参加していただき、みなさんの声を聴かせていただきたいと思います。ご協力の程よろしくお願いいたします。



## 静岡県放射線技師西部地区会の軌跡(平成10~25年度)

〈平成10~11年度経過記録〉

会長: 增井成充、副会長: 伊藤雅夫

幹事会(11回開催)

平成10年3月26日、4月13日、5月11日、6月8日,7月13日 9月7日、10月12日、11月9日、12月14日、1月18日、2月8日

レクリエーション行事

5月23日 西部地区ソフトボール大会 第7ブロック優勝 100名参加 8月 9日 第2回レクリエーション 鮎の掴み取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園 116名参加



9月26日 第1回勉強会・第2回放射線セミナー 58名参加(浜松名鉄ホテル)

「胃一主に基本の解剖から一」

大垣市民病院 放射線科 遠藤斗紀雄 先生

「ヨード造影剤の禁忌のメカニズム」

第一製薬名古屋支店 医薬学術部 加藤 誓 先生

「スパイラルテーピングの概要について」

スパイラルテーピング協会 田中 信孝 先生

12月12日 第2回勉強会

3月 6日 西部地区総会 第3回勉強会

・「マルチスライスCTスキャナの現状」 工藤 正幸 先生

・「早期胃がんに対する内視鏡的治療の適応と限界」

浜松医科大学 内科学 第1講座 荒井 肇 先生



幹事会(9回開催)

平成11年4月12日、5月10日、6月7日、7月12日、 9月6日、10月4日、11月8日 12月、1月10日

4月18日 身障者の「胃無料検診」実施





レクリエーション行事

5月15日 西部地区ソフトボール大会 第7ブロック優勝 92名参加

6月13日 県親善ソフトボール大会 江ノ島高校グランド

8月 1日 第2回レクリエーション 「鮎の掴み取り」

竜ヶ岩洞鮎狩り園123名参加 11月26日 ボウリング大会 毎日ボウル 57名参加



勉強会

9月11日 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会及び 第2回放射線セミナー 浜松医科大学

「大腸ガンの外科治療-進歩と限界-」

愛知県がんセンター消化器外科部 副部長

「ヨード造影剤遅発性副作用の統計的結果」

「医療事故と法的責任」 加藤法律会計事務所

11月 6日 第3回放射線セミナー 聖隷浜松病院

「マルチスライスCTの臨床」

聖隷浜松病院 画像診断センター

マルチスライスCTの見学

「プロハンスの適応拡大及びエイテストKLー6の紹介」

エーザイ株式会社

相坂 力 先生

平井 孝 先生

加藤済仁 弁護士

片山 元之 先生

第一製薬 学術部

「緑茶によるがん予防」

静岡県立大学短期大学部 教授

小國伊太郎 先生

- 3月 4日 西部地区会総会及び第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 及び地区勉強会 浜松商工会議所
  - ・胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

「ヘリコバクターピロリ菌と上部消化管疾患」

浜松医科大学第1内科

高島みさ子 先生

地区勉強会

「新しい研究グループ」(楽しい研究活動の進め方)

藤田保健衛生大学衛生学部

辻岡 勝美 先生

〈平成12~13年度経過記録〉

会長:伊藤雅夫、副会長:日下部行宏

幹事会(12回開催)

平成12年3月27日、4月10日、5月15日、6月5日、7月5日、8月7日、







9月4日、10月2日、11月6日、1月15日、2月

#### SEIBU TIPS

3月31日 地区だより「SEIBU TIPS」 Vol27発行 6月 1日 地区広報誌「SEIBU TIPS」 第28号発行 10月 1日 地区広報誌「SEIBU TIPS」 第29号発行 2月 1日 地区広報誌「SEIBU TIPS」 第30号発行

11月26日 身障者胃無料検診 共立菊川総合病院 受診者数:10名(視覚3名、聴覚7名)

協力:共立菊川総合病院 放射線科、 菊川町社会福祉協議会(手話通訳者)

#### レクリエーション行事

5月13日(土) 西部地区ソフトボール大会 天竜川河川敷(浜松市側) 101名参加

優勝 第7ブロック聖隷三方原病院 聖隷予防検診センター 他 準優勝 第4ブロック 遠州病院、浜松日赤病院 他

7月 9日 第17回県親善ソフトボール大会 (聖隷三方原病院、遠州病院 他 18名参加)

8月 6日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園 (大人59名、小人15名、幼児26名 合計100名参加)

1月26日 ボウリング大会 毎日ボウル 56名参加

優 勝 松岡千秋(聖隷三方原病院)

(県西部浜松医療センター付属診療所 先端医療技術センター)

準優勝 管野敏彦

(県西部浜松医療センター付属診療所 先端医療技術センター)

第3位 延澤秀二

(県西部浜松医療センター付属診療所 先端医療技術センター)

#### 勉強会

7月 8日 第1回西部地区勉強会 浜松医科大学 臨床講義棟 小講義室 57名参加

・「FPDの基礎と最新動向」

GE横河メディカルシステム株式会社 鈴木 敦 先生

・「感染症―最近の話題」

第一製薬株式会社名古屋支店 医薬学術部 加藤 誓 先生

特別講演 「救急医療-救命救急の現場から」

浜松中消防署 救命救急士 上条 美昭 先生

11月11日 第2回西部地区勉強会、第2回放射線セミナー サンピア浜松 33名参加

「介護保険-概要と問題点」

神戸市立看護大学 教授

岡本 祐三 先生



「非イオン性ヨード造影剤の安全性と最近の話題」

エーザイ(株)臨床研究六室

日野 裕児 先生

「医療現場における放射線関係法令改正への対応」

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 放射線部

諸澄 邦彦 先生

3月3日 平成12年度地区総会(参加50名)・第3回西部地区勉強会

第2回地区勉強会(参加70名) 浜松商工会議所10階会議室B+C

○シンポジウム

「リスクへの対応と安全管理の取り組み」

シンポジスト・県西部浜松医療センター診療放射線技術科 和田 健

· 浜松医科大学医学部附属病院放射線部 坂本 眞次

• 共立湖西総合病院診療技術部放射線科 伴 隆幸

・聖隷浜松病院画像診断センター放射線部 立石 甲吉

・ (株) 東芝医用システム社 品質保証部 松本 浩二

懇親会 シャンボールガーデン(浜松商工会議所)

#### 幹事会(12回開催)

平成13年3月5日、4月9日、5月7日、6月4日、7月2日、8月6日、9月3日、10月1日、11月5日、11月30日、1月7日、2月4日

#### SEIBU TIPS

 10月15日
 SEIBU TIPS発行 No32

 2月 1日
 西部地区会記念誌発行

#### レクリエーション行事

5月13日 オリエンテーリング大会 静岡県浜北森林公園 62名参加 結果(クイズの正解率による)

グループに子供のいない部門

優 勝 下部グループ(聖隷浜松病院)

準優勝 木村グループ(聖隷三方原病院)

第3位 野沢グループ(聖隷三方原病院)

グループに子供のいる部門

優勝 水間グループ (袋井市立市民病院)

準優勝 石川グループ (聖隷予防検診センター)

第3位 長屋グループ(聖隷三方原病院)

8月 5日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園

参加者数 大人:46名 子供:47名 合計:93名

11月22日 ボウリング大会 毎日ボウル (浜松有玉南)

(貸し靴代は自己負担) 参加者数:53名

結 果

優 勝 公立森町病院 藤川眞巳

第2位 袋井市民病院 山城寛

第3位 聖隷浜松病院 谷崎雪絵







#### 勉強会

7月14日 第1回西部地区勉強会、第1回放射線セミナー

県西部浜松医療センター講堂(2号館3階) 参加者数:66名

「今なぜ、マンモグラフィーか」

浜松医科大学医学部附属病院 放射線部

井美恵美子 先生

「造影剤をより安全に使うために一腎障害を中心に」

第一製薬株式会社名古屋支店 医薬学術課

加藤 誓 先生

「乳房に関する画像の読影と診断」

藤枝市立総合病院 放射線診断・治療部

五十嵐達也 先生

11月11日 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会、

第2回西部地区勉強会 浜松医科大学臨床講義棟 小会議室

参加者数:49名(非会員3名)計52名

「あなたの保険は大丈夫?-保険業界の現状と展望-」

(せっかく加入したのに・・・とならないよう傾向と対策)

石野リスクコンサルタント

石野不二夫 先生

「痴呆とは」

エーザイ (株) 医薬事業部 情創部 人材開発室 石川 昭浩 先生 「上部消化管検査の理論的アプローチ」

-高濃度バリウム、撮影法、読影、病理までを理論的に解説-

医療法人 尚豊会築港診療所総合健康管理センター

産業保険課 放射線室

西川 孝 先生

3月 2日 平成13年度西部地区会総会、第3回西部地区会勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C 参加者数:94名

「消化管癌の診断と新しい内視鏡治療」

浜松医科大学附属病院光学医療診療部助教授

花井 洋行 先生

「癌検診の定量的評価-特に肺癌と乳癌を中心に-」

放射線医学総合研究所 客員研究員

飯沼 武 先生

懇親会 シャンボールガーデン 17:15~

6月 2日 西部地区会会長選出に関する会議 袋井市立袋井市民病院

出席:地区会正副会長、組織委員長、技師長等施設代表者

(19施設:17名、委任状2名) 同席:庶務、会計

〈平成14~15年度経過記録〉

会長:日下部行宏、副会長:北野光浩、庶務:中島俊一、会計:氏原誠、

幹事:土井良高、野末定伯、澤田通文、松山秀夫、山村信彰、永井英治、中野仁

幹事会(11回開催)

3月4日、4月15日、5月13日、6月3日、6月27日、7月1日、9月2日、10月7日、11月11日、12月2日、1月10日、2月10

レクリエーション行事

5月19日 トレジャーハンティング大会 県立浜北森林公園 参加者:大人40人、小人16人 7月28日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園

参加者:大人75人、小人80人

11月22日 ボウリング大会 毎日ボウル 参加人数62名

優勝:谷崎雪絵(聖隷浜松病院) 2位:斉藤隆次(聖隷三方原病院) 3位:瀧澤昌丈(聖隷浜松病院)

#### 勉強会

9月28日 第1回地区勉強会・放射線セミナー開催 受講者数 56名 [浜松医科大学臨床講義棟小講義室]

「診療報酬の動向と今我々診療放射線技師がやるべきこと」

「患者さまから求められる技師像」 「放射線技師による接遇」

11月16日 第2回地区勉強会及び放射線セミナー開催 [アクトシテイ] 参加人数51名

「画像診断のためのCT画像―あなたならどう撮るー」

群馬大学医学部核医学科 非常勤講師

鈴木 英樹 先生

「CT検査のピットホール」 木沢記念病院 放射線科 木戸 靖司 先生

「古くて新しい結核」 国立診療所天竜病院 内科 白井 正浩 先生

3月 1日 平成14年度総会及び第3回地区勉強会 [浜松商工会議所] 参加人数84名

平成14年度地区会会員演題発表

・X線検査 [E処理によるCR腰椎側面像の描出領域の改善]

聖隷三方原病院 鈴木 康太

[マンモグラフィにおける画像評価改善因子について]

袋井市立総合病院 天野 宜委

[腸骨動脈領域の画像評価 - SH. CT Dental softwareの応用]

共立湖西総合病院 中山 親一

[腹部・四肢血管動脈瘤に対する3D-DSAの有用性]

浜松医科大学医学部附属病院 竹井 泰孝

[簡単なデジタルファントム作成法の紹介]

磐田市立総合病院 神谷 正貴

・MR検査 [FIESTAを用いた造影cine MRIの評価]

聖隷三方原病院 長屋 重幸

[ASSETを使用したFRFSEによる呼吸停止T2強調画像]

聖隷浜松病院 杉村 正義

[膵臓・胆道領域におけるASSET法併用した

呼吸同期medium TE SSFSE法の評価

聖隷三方原病院 天野 智康



· 核医学 · 放射線治療

[標準脳座標系を用いた統計的脳血流解析(SPM)について、

ノーマルデータ数の考察 掛川市立病院

天野 仁志

[核医学管理システムを利用した患者さんへの検査説明の有効性について]

[二層式マイクロマルチリーフコリメーターの有用性

-透過・漏洩線量の評価-] 聖隷浜松病院

戸塚 大輔

#### 幹事会(10回開催)

平成15年4月7日 5月12日 6月2日 7月7日 9月1日 10月6日 11月10日 12月1日 1月19日 2月2日

レクリエーション行事

5月11日 潮干狩り 村櫛海水浴場 参加者:大人53名 小人30名

優 勝 三城千波(聖隷三方原病院)

準優勝 佐藤幸夫 (浜松赤十字病院)

3 位 夏目愛季(社会保険病院)

8月3日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園

参加者:大人62人、小人52人

11月28日 ボウリング大会 毎日ボウル 参加人数54名

優勝:菅野俊彦(県西部医療センター)

2位:谷崎雪絵(聖隷浜松病院)

3位:高林秀和(聖隷健康診断センター)

#### 勉強会

6月21日 第1回地区勉強会・放射線セミナー開催

県西部浜松医療センター 講堂 受講者数 51名

「MRI入門編」 浜松医科大学医学部放射線医学講座 那須 初子 先生

「造影剤使用に際してのリスクマネージメント」

第一製薬株式会社 学術課

加藤 誓 先生

「IHEが現場にどう役立つか」

浜松ホトニクス中央研究所

田中 雅人先生

11月 8日 第2回地区勉強会・第2回胃がん検診エックス線撮影講習会

開催 ウエルサンピア浜松

受講者数 39名

「腹部領域における高速撮影法の種類と臨床画像の問題点」

松波総合病院 放射線科室長

幅 浩嗣 先生

「MRI造影剤の現状と今後の方向性」

エーザイ株式会社 医薬事業部

今西 良一先生

「浜岡原発臨界事故放射線技師として何ができるか?」

国立病院東京火災医療センター

麻生 智彦 先生

3月 6日 平成15年度総会及び第3回地区勉強会 [浜松商工会議所] 参加人数84名

〈平成16~17年度経過記録〉

会長:北野光浩、副会長:天野仁志

幹事会(7回開催)

平成16年3月12日 新旧合同幹事会(聖隷浜松病院) ・引き継ぎ

4月19日、5月30日、6月14日、8月9日、10月12日、12月13日、1月12日

#### SEIBU TIPS

11月 1日 SEIBU TIPS発行 No41

レクリエーション行事

5月16日 陶芸体験 森町体験の里

アクティ森 参加者:大人50名 小人33名

8月 1日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園

参加者:大人83人、小人63人 合計146名

11月25日 ボウリング大会 毎日ボウル 参加人数65名

#### 勉強会

9月11日 第1回地区勉強会・放射線セミナー開催

県西部浜松医療センター 講堂 受講者数 57名

「X線装置の危機管理一胃集団検診用X線装置の点検マニュアル」

「造影剤容器の安全性と工夫」

「診断用高精細モニターの画像管理と性能評価」

11月13日 第2回地区勉強会放射線セミナー開催 ウエルサンピア浜松 受講者数 53名

「バリウム製剤の変性と安全性について」

株式会社伏見製作所

竹内 修平 先生

「後発医薬品とは」 エーザイ株式会社 医薬事業部 高月 幸二 先生「CT検査の被ばく低減について」

藤田保健衛生大学 診療放射線技術学科 助教授 辻岡 勝美 先生 3月 5日 平成16年度総会及び第3回地区勉強会 [浜松商工会議所]

参加人数73名

「画像診断と医療経済について」

日本シェーリング株式会社 診断薬事業部 学術部 中川 裕幸 先生 「最新のデジタル方式X線一般撮影システム」

東芝メディカルシステムズ(株) 営業技術部 右近 弘栄 先生 「島津直接変換方式一般撮影システム Radiotex Safireの紹介」

島津製作所 医用マーケティング部

髙濵 公大 先生



#### 幹事会(7回開催)

平成17年4月11日、6月13日、8月8日、10月11日、12月12日、1月10日、3月 10日

### SEIBU TIPS

5月下旬 SEIBU TIPS発行 No43 2月下旬 SEIBU TIPS発行 No45

レクリエーション行事

4月24日 潮干狩り 渚園 参加者:66名

7月31日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園

参加者:大人77人、小人63人 合計140名

11月22日 ボウリング大会 毎日ボウル 参加人数54名

#### 勉強会

6月25日 第1回地区勉強会・放射線セミナー開催

浜松商工会議所10F会 議室BC 受講者数 62名

「処方箋医薬品と添付文書について」

第一製薬株式会社

永田 康二 先生

「検診における個人情報保護について」(株)エルクコーポレーション 医療情報コンサルティング部 鍵谷 昭典 先生

「デジタル装置における被ばく線量の解析」

藤田保健衛生大学 診療放射線技術学科 教授 鈴木 昇一 先生

10月22日 第2回地区勉強会・第2回胃がん検診エックス線撮影従事者

講習会開催 ウエルサンピア浜松 受講者数 62名

「造影剤のリスクマネージメント」

日本シェーリング株式会社

中川 裕幸 先生

「マンモグラフィについて」

聖隷浜松病院 画像診断センター

弘島 隆史 先生

「胃がん検診撮影テクニック・精度と問題点」

早期胃がん検診協会 画像研究室 技師長

木村 俊雄 先生

3月 4日 平成17年度総会及び第3回地区勉強会 [浜松商工会議所] 参加人数101名

「CTの進化に伴う注入プロトコールの確立」

根元杏林堂

荒木 朋之 先生

「急性腹症のCTのポイント」

浜松医科大学 放射線部助教授

竹原 康雄 先生

平成17年度西部地区通常総会 参加者72名

懇親会 シャンポールガーデン 参加者40名

〈平成18~19年度経過記録〉

会長:原田晴二、副会長:山本英雄、庶務:天野仁志、会計:武田真典 幹事:西浦巧一、大坪健一、竹井泰孝、水野洋行、中山親一、滝澤昌丈、 野沢滋幸

幹事会(5回開催)

平成18年4月13日、6月15日、9月、11月17日、1月19日

SEIBU TIPS

6月下旬 SEIBU TIPS発行 No46

10月下旬 SEIBU TIPS発行 No47

3月 SEIBU TIPS 48号発行

レクリエーション行事

5月14日 陶芸体験教室 [アクティ森] 参加者大人44名、子供17名の計61名

7月30日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園 参加者:大人74人、小人46人 合計120名

10月22日 第21回県親善ソフトボール大会 [第一ファルマチックKK静岡工場グランド 参加者17名]

11月22日 ボウリング大会 毎日ボウル 参加人数68名

## 勉強会

7月15日 第1回西部地区勉強会 第1回放射線セミナー (ウエルサンピア浜松) 受講者数 55名

《肝造影CTにおける高濃度造影剤の有用性》

日本シェーリング株式会社 診断薬事業部学術情報課 樽見 忠亜 先生

金子 栄蔵 先生

《胃がん検診の今後を考える》 ~ペプシノーゲン法を中心にして~

《実体験から検証するPCI》~症例報告と患者心理~

昭和大学藤が丘病院 中央放射線部 加藤 京一 先生

10月21日 第2回西部地区勉強会・第2回放射線セミナー [ホテルコンコルド浜松 参加者38名]

【肝臓Dynamic CTにおける至適造影法】

浜松医科大学名誉教授

エーザイ株式会社 医薬部 造影剤領域室 市川 篤 先生

【早期AD診断支援システム「VSRAD」(Voxel-Based Specific Regional

Analysis System For Alzheimer's Disease) の使用経験】

新城市民病院放射線課 副課長 安形 司 先生

座長 浜松PET健診センター 中村 明弘

【造影剤腎症の発生機序に関する最新の知見】

岡山大学医学部歯学部付属病院薬剤部

助教授・服薬剤部長 千堂 年昭 先生

座長 聖隷三方原病院 鈴木 千晶

3月 3日 第3回放射線セミナーおよび第2回胃がん検診エックス線 撮影従事者講習会 参加者 101名



「放射線科医の立場から考える肝造影 C T 検査 」

山梨大学大学院医学工学研究部 放射線科 助教授 市川 智章 先生

・「CT造影理論と応用ー肝臓造影検査プロトコル作成方法」

長野赤十字病院 中央放射線部技師長

八町 淳 先生

「オムニパークの最近の話題」

第一製薬株式会社 医療情報提供

竹中 康悟 先生

平成18年度西部地区会通常総会

幹事会(5回開催)

平成19年4月9日、6月19日、9月20日、11月29日、1月24日

4月20日 第32回通常総会及び第12回学術大会の会場視察

[浜松地域情報センター] 参加者8名(本部3名・地区5名)

5月27日 第32回通常総会及び第12回学術大会

11月10日 日本放射線技術学会第42回中部部会学術大会 アクトシティ浜松

## SEIBU TIPS

6月 SEIBU TIPS49号発行

10月下旬 SEIBU TIPS発行 No50

## レクリエーション行事

5月13日 そば打ち体験 [そば処 ほっとり(森町間詰)]

7月29日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園 参加者:123名

10月21日 第11回サッカーフェステバルin静岡

11月21日 ボウリング大会 浜松毎日ボウル

# 勉強会

7月14日 第1回西部地区勉強会・放射線セミナー

JA静岡厚生連遠州病院

3 F 参加者79名

「GD造影剤とNSF-最新の話 題」 エーザイKK 市川 篤 先生 「胃がん検診に伴う画像情報のセキュリティー対策」

NTT東日本関東病院 放射線部技師長

若松 修 先生

「医療事故を防ぐ接遇・コミュニケーションのスキル」

東京海上日動メディカルサービス(株)

内山 圭子 先生

終了後、新装オープンした遠州病院の施設見学を開催。

10月20日 第2回西部地区勉強会 サーラシティ浜松 参加者30名

「超音波造影剤ソナゾイド注射用について」 第一三共KK

「急変時の対応-BLSを中心に」

浜松医科大学救急医学講座 准教授

吉野 篤人 先生

「胃がん検診の精度管理について 認定技師制度の改革を中心に」

東京医科大学霞ヶ浦病院 放射線部

鶴田 恭央 先生

3月 1日 第3回西部地区会勉強会 参加者 117名

・「造影剤腎症Up to Date」 バイエル薬品

樽見 忠亜 先生





- ・「西部地区における心臓CT検査の実際」
- ・「心臓CTの基礎と撮影技術」

藤田保健衛生大学院

井田 義宏 先生

平成19年度西部地区会通常総会 参加者58名

懇親会 シャンポールガーデン 参加者50名

〈平成20~21年度経過記録〉

会長:山本英雄、副会長:窪野久行、庶務:加藤浩千、会計:深津真吾

幹事:秦葉豊、井上和康、大石直樹、鈴木幸広、白澤梅男、弘島隆史、水田真一

幹事会(5回開催)

平成20年3月7日 新旧合同幹事会(JA静岡厚生連 遠州病院) ・引き継ぎ

4月17日、6月19日、9月18日、11月27日、1月22日

#### SEIBU TIPS

6月下旬 SEIBU TIPS発行 No52

10月下旬 SEIBU TIPS発行 No53

3月 SEIBU TIPS 54号発行

レクリエーション行事

6月 1日 そば打ち体験 [そば処 ほっとり(森町間詰)] 参加者49名

8月 3日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園 参加者:大人65人、

小人35人 合計100名

11月21日 ボウリング大会 浜松毎日ボウル 参加人数63名

優勝:服部忍、中村文俊、杉村雅志(県西部医療センター)

2位:高橋弘、有谷航、追平智子(県西部医療センター)

3位:坪井孝達、水野洋行、猿田忠司(浜松赤十字病院)

個人成績 1位:松芳圭吾(磐田市立総合病院)

2位:安藤澄香(聖隷健康診断センター)

## 勉強会

7月12日 第1回西部地区勉強会(浜松フォルテ8階会議室) 受講者数61名

「造影剤関連情報」

第一三共(株) 放射線・癌領域担当

壁谷 貞明 先生

「胃がん検診の現状と問題点」

浜松医科大学 第一内科

伊熊 睦博 先生

「光を用いた生体計測」 浜松ホトニクス(株) 山下 豊 先生

10月25日 第2回西部地区勉強会

[浜松赤十字病院研修ホール 参加者58名]

「2008年度診療報酬改定のポイント」 バイエル薬品(株)

診断薬事業部 学術企画課学術情報

樽見 忠亜 先生

「医療被ばく低減施設認定の申請から認定されるまで」

常葉リハビリテーション病院

本多 正英 先生









「小腸疾患と内視鏡カプセル」

公立学校共済組合 東海中央病院 消化器内科部長 石川 英樹 先生終了後 浜松赤十字病院見学

2月28日 第2回西部地区勉強会 (浜松商工会議所10F会議室B+C) 参加者 80名

・「高ヨード造影剤の有用性」

エーザイ (株) 医薬部 造影剤領域室

市川 篤 先生

「東芝Area Detector CT:AquilionONE-開発経緯とその最新情報-」
 東芝メディカルシステム(株)
 谷口 彰先生

・「放射線業務から見た大規模災害時救急対応の問題点と対策-異なる 2つの大規模災害を経験した立場から-」

兵庫医科大学病院 中央放射線部

源貴 裕先生

平成20年度西部地区会通常総会 参加者 62名

懇親会 シャンポールガーデン

幹事会(6回開催)

平成21年4月23日、6月18日、9月17日、11月26日、1月21日、 2月15日

#### SEIBU TIPS

6月 SEIBU TIPS発行 No 5 5 10月下旬 SEIBU TIPS発行 No 5 6 1月下旬 SEIBU TIPS発行 No 5 7

レクリエーション行事

6月 7日 そば打ち体験 [そば処 ほっとり(森町間詰)] 参加者 37名

8月9日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園参加者:大人60名、小人25名

10月21日 第11回サッカーフェステバルin静岡

11月20日 ボウリング大会 浜松毎日ボウル 参加 人数55名

優勝:土屋甲司、遠藤嘉夜泰、大形美咲、河合陽子(聖隷浜松病院)

2位:市川篤志、中村文俊、杉森雅志(県西部医療センター) 3位:坂本昌隆、松芳圭吾、山田英司(磐田市立総合病院)

個人成績 男性:市川篤志(県西部医療センター)

女性:追平智子(県西部医療センター)

#### 勉強会

7月25日 第1回西部地区勉強会 サーラシティ浜松2階萩 参加者53名 「基準撮影法と画像評価」 校川内科胃腸科医院 前川 進 先生 「イオパミロン注シリンジICタグについて」

バイエル薬品(株)診断薬事業部学術企画課 樽見 忠正 先生







「CT colonography ~当院の現状~」

特定医療法人社団松愛会 松田病院 放射線部 岩月 健麿 先生 10月17日 第2回西部地区勉強会 聖隷予防検診センター 4F 参加者47名

「医療現場におけるコミュニケーションスキルとは」

エーザイ株式会社

久田 邦博先生

「最近のバリウム製剤・トピックスをまじえて」

株式会社伏見製作所製造技術室

福岡 幹巳 先生

「これからのドクターヘリ」聖隷三方原病院 院長補佐

ドクターヘリネットワークデイレクター 岡田 眞人 先生

終了後ドクターへリ見学

3月 6日 第3回西部地区会勉強会 参加者 70名

• 「造影剤関連情報提供」

第一三共株式会社東海支店 癌・造影剤担当 高木 幹雄 先生

・「Aiの成り立ち」

筑波メディカル病院 放射線技術科 主任 小林 智哉 先生 第1回放射線セミナー

・「身の回りから始める情報セキュリティ対策」東京大学医学部付属病院 企画情報運営部 特任講師 渡辺 宏樹 先生

平成21年度西部地区会通常総会

懇親会 シャンポールガーデン

〈平成22~23年度経過記録〉

会長:窪野久行、副会長:寺田理希、庶務:川合宏明、会計:大場明日香

幹事:毛受義孝、大石哲也、野村孝之、坪井孝達、杉森雅志、高藤里江、塚原等

幹事会(5回開催)

平成22年4月13日、6月16日、9月8日、11月17日、1月19日

## 社会活動

1月22日 第16回JAとぴあ農業祭 浜松市総合産業展示館

- ・骨密度測定125名 ・診療放射線技師の啓蒙活動
- ・被ばくやマンモ撮影等に関する相談

# SEIBU TIPS

6月 SEIBU TIPS発行 No58

10月下旬 SEIBU TIPS発行 No59

1月下旬 SEIBU TIPS発行 No60

10月29日 西部地区職場長会議 磐田市立総合病院 21名参加

・ブロック編 成の見直し、会費納入方法の見直し











レクリエーション行事

5月30日 そば打ち体験 [そば処 ほっとり(森町間詰)]

8月 1日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園

参加者: 大人52名、小人11名 合計63名

11月19日 ボウリング大会 浜松毎日ボウル 参加人数55名

優勝:川合陽子、竹村実紀、山本英雄(聖隷三方原病院)

2位:有谷航、杉森洋祐、菅野敏彦(県西部医療センター) 3位:山梨翔子、窪野久之行(JA静岡厚生連 遠州病院)

個人成績 1位:松芳圭吾 (磐田市立総合病院)

2位:菅野敏彦 (県西部浜松医療センター)

3位:河合陽子(聖隷三方原病院)

# 勉強会

7月10日 第1回西部地区勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C 参加者73名

「造影剤の安全性に関する最近の話題」

エーザイ株式会社 造影剤領域室

市川 篤 先生

「胃部X線撮影の理論的アプローチ」

医療法人尚豊会 四日市健診クリニック 西川 孝 先生

「診療放射線技師に必要な心電図」

医療法人社団 田貫会 高瀬クリニック

近藤 武 先生

11月 6日 第2回西部地区勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C 参加者48名

「造影剤関連情報提供」

第一三共株式会社東海支店 造影剤担当 佐々木 達 先生

「X線TV装置の特性(I.I,DR,FPDを中心に)」

東芝メディカルシズテムズ 中部支社営業推進部 中島 光道 先生

「CT Colonography (CTC) の実際~CT装置を用いた大腸Screening検査 の現状と将来(前処 置から画像解析まで)~」

医療法人山下病院 放射線科

山崎 通尋先生

- 3月 5日 第3回西部地区会勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C 参加者 86名
  - ・「胸腹部ルーチン造影CTにおける造影」 バイエル薬品(株) 診療薬事業部 学術企画 学術情報 樽見 忠亜 先生
  - 「医療での放射線被ばくに関する患者さんの不安にこたえるために」 総合病院国保旭中央病院 放射線科 五十嵐隆元 先生
  - 「胸部単純写真を侮ってはいけないよ!

Pitfallにはまらないための系統的読影

朝日大学付属村上記念病院 放射線科 教授 桐生 拓司 先生 平成22年度西部地区会通常総会

懇親会 シャンポールガーデン







## 幹事会(5回開催)

平成23年4月20日、6月15日、10月3日、11月16日、1月17日

#### 社会活動

1月22日 第17回JAとぴあ農業祭 浜松市総合産業展示館

・骨密度測定295名 ・診療放射線技師の啓蒙活動・被ばくや マンモ撮影等に関する相談

## SEIBU TIPS

6月 SEIBU TIPS発行 No61

10月 SEIBU TIPS発行 No62

2月 SEIBU TIPS発行 No63

# レクリエーション行事

6月12日 潮干狩り [海の家 南海壮] →天候不順のため中止

8月 1日 鮎のつかみ取り竜ヶ岩洞鮎狩り園参加者: 大人57名、小人25名 合計82名

11月11日 ボウリング大会 浜松毎日ボウル 参加人数58名

1位:鈴木 涼亮・竹村 実紀・佐藤 広英(聖隷三方原病院) 148.7点

2位:渥美 裕・望月 卓馬(聖隷浜松病院)/143.5点

3位:高城 正宏・三浦 祐揮・朝比奈克至(磐田市立総合病院)/140.8点

個人成績 (2ゲーム合計・女性HDCP込み)

1位:佐藤 広英(聖隷三方原病院)/350点

2位: 判澤 勝明(富士フィルムメディカル株式会社)/339点

3位:八重 樫拓(磐田市立総合病院)/337点

# 勉強会

7月 9日 第1回西部地区勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C 参加者65名

「救急撮影技術 ~外傷を中心に~」

大阪府立泉州救命救急センター 西池 成章 先生

「非イオン性等浸透圧造影剤「ビジパーク」について」

第一三共株式会社 東海支店 造影剤担当 佐々木 達 先生

「高濃度硫酸バリウム製剤について」

伏見製薬株式会社 営業企画課 竹内 修平 先生

11月 5日 第2回西部地区勉強会 サーラシティ浜松 2階「萩」参加者76名

#### 「Gd造影剤の安全性」

バイエル薬品(株)診断薬事業部 学術情報 高橋 宏成先生

「胃がんX線診断の求め方」

太陽会 安房地域医療センター 消化管診断科 馬場 保昌 先生

「肩関節の機能解剖と疾患別至摘撮影法」











医療法人 とうかい整形外科かわげ

難波 一能 先生

3月 3日 第3回西部地区会勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C 参加者 98名

「Gd造影剤(プロハンスを中心に)の安全性に関する最近の情報について」 エーザイ株式会社 東海エリア 画像診断領域担当 市川 篤 先生

「放射線科医が望む乳房画像(MMG・MRI)」

浜松医科大学医学部附属病院 放射線科

那須 初子 先生

「整形外科の画像診断 -読影のポイントー」

聖隷浜松病院 整形外科 骨・関節外科部長

森 諭史 先生

平成23年度西部地区会通常総会

懇親会 シャンポールガーデン

〈平成24~25年度経過記録〉

会長:寺田理希、副会長:片山善博、庶務:山田英司、会計:天野宜委 幹事:高橋洋一、内田千絵、福岡通大、江口幸民、小嶋亨、高山雄一 幹事会(5回開催)

平成24年4月27日、6月19日、9月11日、11月13日 、1月15日

11月3,4日 第5回中部放射線医療技術学術大会 アクトシティ浜松コングレス センター

#### 社会活動

9月23日 第33回浜松友愛広場 可美公園総合センター・骨密度測定202名・乳癌検診無料相談26名

# SEIBU TIPS

7月 SEIBU TIPS発行 No64 10月 SEIBU TIPS発行 No65

2月 SEIBU TIPS発行 No66

#### レクリエーション行事

8月 5日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園 参加者:93名 10月19日 ボウリング大会 浜松毎日ボウル 参加人数50名

チーム賞: 1位:聖隷健康診断センター

2位:聖隷浜松病院

3位:浜松医療センター

個人成績: 1位:タキザワ マサタケ (聖隷予防検診センター)

2位:マツオカ チアキ (聖隷健康診断センター)3位:タカヤナギ ユウキ (聖隷健康診断センター)







## 勉強会

6月30日 第1回西部地区勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C 参加者63名

「腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドラインのご報告」 バイエル薬品(株) R&I事業部東海営業所 高橋 秀剛 先生

「肝臓疾患の診断から治療まで」

聖隷三方原病院 肝臓内科部長 坂西 康志 先生

「症例から学ぶ 基準撮影法ですべきこと」

医療法人社団綾和会浜松南病院 放射線科 佐藤 慎祐 先生

11月17日 第2回西部地区勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C 参加者52名

「CTC用自動炭酸ガス送気装置プロトCO2Lについて」

エーザイ株式会社 営業本部 企画室 市川篤 先生

「腹部単純写真 ひとつの見方-急性腹症の立場から―」

朝日大学歯学部附属村上記念病院 放射線科教授 桐生 拓司 先生 「浜松市胃がん検診の実態と今後』幸田クリニック院長 幸田 隆彦 先生 3月 2日 第3回西部地区会勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C

参加者 59名

「原子力発電について」

中部電力株式会社 静岡支店 原子力グループ 朝比奈信夫 先生 「造影剤の副作用とリスク管理について」

第一三共株式会社 東海支店 造影剤担当 佐々木 達 先生 「急性腹症の診断におけるCTの位置づけ」 大阪府立急性期・総合医療 センター 救急放射線科 副部長 中森 靖 先生

平成24年度西部地区会通常総会

# 幹事会(4回開催)

平成25年6月7日、9月10日、11月19日、1月21日

5月26日 第2回(公社) 静岡県放射線技師会通常総会、第18回静岡県 放射線技師学術大会 アクトシティ浜松コングレスセンター

2月16日 第55回東海四県放射線技師学術大会 アクトシティ浜松コングレスセンター

# 社会活動

11月 4日 第34回浜松友愛広場 可美公園総合センター

- ・骨密度測定169名
- 乳癌検診無料相談30名

#### SEIBU TIPS

7月 SEIBU TIPS発行 No67 10月 SEIBU TIPS発行 No68

2月 SEIBU TIPS発行 No69

















レクリエーション行事

8月 4日 鮎のつかみ取り 竜ヶ岩洞鮎狩り園 参加者:93名

11月29日 ボウリング大会 浜松毎日ボウル 参加人数57名

チーム成績:1位:杉崎由美子・菅野敏彦・江口幸民(浜松医療センター)

2位:松芳圭吾・八重樫拓・山田英司(磐田市立総合病院)

3位:寺田理希・宮崎健介・大石哲也(磐田市立総合病院)

個人成績 1位:菅野敏彦(浜松医療センター)

2位: 判澤昌丈 (聖隷予防検診センター)

3位:渥 美裕(聖隷浜松病院)





## 勉強会

6月22日 第1回西部地区勉強会 浜松商工会議所10階会議室B+C 参加者63名

「転移性脳腫瘍の造影MRI」

エーザイ株式会社 中部・関西統括部 今西 良一先生

「一般撮影 整形 下肢について」

北里大学東病院 放射線部 主任

中嶋 規容先生

「トモシンセシス搭載AMULET Innovalityのご紹介」

富士フィルムメディカル株式会社

堀口真太郎 先生

12月14日 第2回西部地区勉強会 すずかけセントラル病院2F講堂

「胃X線診断に必要な胃癌病理の知識」

名古屋セントラル病院 消化器内科 主任医長 安藤 伸浩 先生 「造影剤の副作用とリスク管理について」

第一三共株式会社 東海支店 造影剤担当 佐々木 達先生

「デジタル一般撮影装置におけるトモシンセシス技術紹介」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 ヘルスケア統括本部

DGC Sales Specialists

洞口 優輔 先生

「デジタル断層装置トモシンセシスをどう使うか」

東京女子医科大学東医療センター 放射線科 油原 俊之 先生

3月 2日 第3回西部地区会勉強会

TKPアクトタワーカンファレンスセンター 25F ホールA

平成24年度西部地区会通常総会

懇親会 メヌエット











# 【管理士部会】

《第1期 2006.4~2008.3》

部会長:牛場 克明 (富士脳障害研究所附属病院)

役 員:中山 修 (掛川市立総合病院) 森 佳久 (市立島田市民病院)

深澤 英史 (富士宮市立病院) 秋山 敏一(藤枝市立総合病院)

畑 利浩 (市立島田市民病院) 鈴木 久士(市立御前崎総合病院) 倉田 富雄 (富士市立中央病院) 天野 守計(掛川市立総合病院)

池谷 幸一 (富士市立中央病院) 水間 健二 (袋井市立袋井市民病院)

#### 【セミナー開催】

◆第1回 放射線管理士部会セミナー 日時:2006.7.1 場所:静岡赤十字病院(参加者:44名)

1.メーカー講演

①「画像のセキュリティ」

コニカミノルタメディカル (株)

②「サーベイメータの取扱い」

アロカ(株)

2.会長挨拶、部会長挨拶

3.特別講演

①「放射線管理と放射線技師の役割」 日放技 放射線管理士部会長 岡田 富貴夫 先生

②「放射線機器管理と放射線技師の役割」 日放技前放射線機器管理士部会理事 安田 鋭介 先生

③「医用画像管理と放射線技師の役割」 日本医用画像管理学会総務理事 麻生 智彦 先生

◆第2回 放射線技師のためのセミナー 日時:2007.1.27 場所:静岡赤十字病院(参加者:50名)

1.最新機器技術講演

①「医用画像管理について (FPD)」

(株) 島津製作所

②「PACS医用画像のQCとは」

富士フィルムメディカル(株)

2.会員講演

①「放射線治療における日常点検について」 順天堂大学附属静岡病院 高橋 則和 会員

②「核医学検査における日常点検について」 市立島田市民病院 秋山 清純 会員

③「CT撮影検査における日常点検について」 掛川市立総合病院 糟谷 信貴 会員

3.特別講演 「非電離放射線の人体に対する影響」 鈴鹿医療科学大学 具 然和 先生

◆第3回 放射線技師のためのセミナー 日時:2007.6.30 場所:藤枝市立総合病院(参加者:41名)

1.最新機器技術講演

①「放射線部門システムの現状と将来」

東芝メディカルシステムズ (株)

②「フィルムレス運用に向けての画像管理について」 シーメンス旭メディック(株)

2.会員発表

①「御前崎病院のフィルムレス運用について」

市立御前崎病院 永田 素広 会員

②「富士宮市立病院の画像情報システム構築の状況と課題」 富士宮市立病院 玉田 宏一 会員

③「掛川市立総合病院の画像情報システム構築について」 掛川市立総合病院 中山 修 会員

3.特別講演「画像情報システム-ネットワーク・RIS・連携-」 国際医療福祉大学 小野木 雄三 先生

◆第4回 放射線技師のためのセミナー 日時:2007.11.25 場所:県立総合病院(参加者:33名) (平成19年度 原子力災害緊急時対策研修会)

1.「GMサーベイメータの原理と取扱い」

アロカ (株)

2.「救護所活動とスクリーニング」

元放射線医学総合病院 河内 清光 先生

3.「原子力災害におけるスクリーニング実習」中部電力浜岡発電所、アロカ(株)、県技師会管理士部会

◆第5回 放射線技師のためのセミナー 日時:2008.1.19 場所:市立島田市民病院(参加者:34名)

1.最新機器技術講演

①「オムニパークシリンジの有用性について」 第一三共(株)



②「マルチスライスCTの最新情報について」 GE横河メディカル(株)

#### 2.基調講演

「機器管理士の更新について」

静岡済生会総合病院 奥川 令 会員

## 3.会員講演

- ①「改正医療法における医療機器管理上の運用通知に関して」 市立島田市民病院 森佳 久 会員
- ②「医療機器に係る安全管理のための体制確保への取組み」 富士市立中央病院 池谷 幸一会員

4.特別講演 「医療機器の安全確保について」 日本画像医療システム工業会 野口 雄司 先生

# 【その他活動】

1.第27回静岡ふれあい広場参加 骨密度無料体験実施(2006.9.17)

第28回静岡ふれあい広場参加 骨密度無料体験実施(2007.9.16)

2.平成19年度静岡県原子力防災訓練参加(2008.2.13)

## 《第2期 2008.4~2010.3》

部会長:牛場 克明 (富士脳障害研究所附属病院)

役 員:中山 修 (掛川市立総合病院) 森 佳久 (市立島田市民病院)

秋山 敏一 (藤枝市立総合病院) 深澤 英史 (富士宮市立病院) 畑 利浩 (市立島田市民病院) 鈴木 久士 (市立御前崎総合病院) 白鳥 順一 (静岡済生会総合病院) 天野 守計 (掛川市立総合病院)

片岡 純也 (総合病院聖隷浜松病院) 水間 健二 (袋井市立袋井市民病院)

深井 智章 (静岡県立静岡がんセンター)

#### 【セミナー開催】

- ◆第6回 放射線技師のためのセミナー 日時:2008.6.28 場所:静岡赤十字病院(参加者:27名) 最新機器技術講演
  - ①「核医学施設の保守管理について」

(株) テクト

②「アイソトープ最新ソフトCardioGRAFの紹介」 富士フィルムRIファーマ (株)

基調講演 「放射線管理士の更新について」 静岡県放射線技師会教育委員 天野 守計 委員長 会員講演

①「当院における放射線管理の現状」

市立島田市民病院 畑 利浩 会員

- ②「当院における管理区域漏洩線量測定の実務」
- 袋井市立袋井市民病院 小嶋 友 会員
- ③「放射線障害防止法に基づく定期検査・定期確認の経験」 富士宮市立病院 酒井 洋和 会員 特別講演

「医療法に基づく病院立入検査」 静岡県東部福祉健康センター 地域医療課 土屋 成治 先生

- ◆第7回 放射線技師のためのセミナー 日時:2008.11.16 場所:県立総合病院(参加者:31名) (平成20年度 原子力災害緊急時対策研修会)
  - 1.「GMサーベイメータの原理と取扱い」

アロカ(株)

2.「ホールボディカウンターの原理と取扱い」

富士電機システムズ(株)

- 3.「原子力災害におけるスクリーニング実習」中部電力浜岡発電所、アロカ(株)、県技師会管理土部会
- ◆第8回 放射線技師のためのセミナー 日時:2009.1.17 場所:ニッセイ静岡駅前ビル(参加者:59名) 最新機器技術講演
  - ①「EHRに向けたフィルムレス化へのアプローチ」 東芝メディカルシステムズ(株)

②「フィルムレスの現状と課題」

コニカミノルタヘルスケア (株)

③「地域医療に貢献するネットワーク構築に向けて」 富士フィルムメディカル (株)

基調講演 「医用画像情報管理士の更新について」

富士市立中央病院 池谷 幸一会員

会員講演「フィルムレス運用」

①遠州病院 窪野 久行 会員 ②浜松赤十字病院 村松 真也 会員

③掛川市立病院 中山 修 会員 ④静岡済生会総合病院 石田 眞貴廣 会員

⑤沼津市立病院 下山 浩 会員

特別講演

「診療点数の仕組み(画像診断)」 日本メジフィジックス(株) 営業企画部 猪狩 礼男 先生

◆第9回 放射線技師のためのセミナー 日時:2009.6.27 場所:静岡赤十字病院(参加者:25名) 最新機器技術講演

①「医用X線の線量測定」 トーレック (株)

②「医療画像管理とCD/DVD」 リマージュジャパン(株)

資格更新の手続き等について

「放射線管理士に関して」 総合病院聖隷浜松病院 片岡 純也 会員 「放射線機器管理士に関して」 市立島田市民病院 森 佳久 会員

◆第10回 放射線技師のためのセミナー 日時:2009.11.15 場所:県立総合病院(参加者:24名) (平成21年度 原子力災害緊急時対策研修会)

1.「GMサーベイメータの原理と取扱い」 アロカ(株)

2. 「地震の教訓」 長岡赤十字病院(新潟県放射線技師会) 捧 和夫 先生

3.「災害時における簡易撮影装置」 キャノンマーケティングジャパン(株)

4.「原子力災害におけるスクリーニング実習」中部電力浜岡発電所、アロカ(株)、県技師会管理士部会

◆第11回 放射線技師のためのセミナー 日時:2010.1.16 場所:あざれあ(参加者:36名) 最新機器技術講演 「最新のMR装置について」 シーメンス旭メディカル(株) 会員講演

①「新人放射線技師教育」総合病院聖隷浜松病院小林秀行 会員②「各モダリティの研修方法」富士宮市立病院深澤英史 会員

③「障害防止法に基づく教育訓練」 静岡県立総合病院 孕石 圭 会員

特別講演 「職場における生涯教育のあり方」

昭和大学 統括放射線技術部 統括部長 中澤 靖夫 先生

## 【その他の活動】

1. 第29回静岡ふれあい広場参加 骨密度無料体験実施(2008.9.14) 第30回静岡ふれあい広場参加 骨密度無料体験実施(2009.9.13)

2. 平成20年度静岡県原子力防災訓練参加(2009.2.12)平成21年度静岡県原子力防災訓練参加(2010.2.4)

3. 被ばく相談窓口対応: 1件

《第3期 2010.4~2012.3》

部会長:片岡 純也 (総合病院聖隷浜松病院)

役 員: 牛場 克明 (富士脳障害研究所附属病院) 森 佳久 (市立島田市民病院) 白鳥 順一 (静岡済生会総合病院) 清 広和 (富士宮市立病院) 河井 淑裕 (藤枝市立総合病院) 榛葉 豊 (掛川市立総合病院) 有谷 航 (県西部浜松医療センター) 中嶋 俊一 (聖隷三方原病院)

深井 智章 (静岡県静岡がんセンター)

# 【セミナー開催】

◆第12回 放射線技師のためのセミナー 日時:2010.6.26 場所:遠州病院(参加者:51名) 最新機器技術講演

①「NSFに関する最近の話題」 テルモ(株)



②「ITEM2010情報 東芝CT最新技術紹介」 東芝メディカルシステムズ(株)

会員講演「CT装置の更新とその使用経験」

①フィリップス社製 C T 装置 磐田市立病院 神谷 正貴 会員

②東芝社製 C T 装置 静岡県立静岡がんセンター 瓜倉 厚志 会員 ③GE社製CT装置 総合病院聖隷浜松病院

特別講演「СT検査の線量評価と医療被曝」

藤田保健衛生大学 医療科学部放射線学科教授 鈴木 昇一先生

- ◆第13回 放射線技師のためのセミナー 日時:2010.11.14 場所:静岡県地震防災センター(参加者:35名) (平成22年度 原子力災害緊急時対策研修会)
  - 1.「GMサーベイメータの原理と取扱い」 アロカ(株)
  - 2.「原子力災害におけるスクリーニング実習」中部電力浜岡発電所、アロカ(株)、県技師会管理士部会
  - 3.「地震体験」
  - 4.「地震について」

静岡県地震防災センター 地震防災アドバイザー

山下 俊明 会員

- ◆第14回 放射線技師のためのセミナー 日時:2011.1.15 場所:藤枝市立総合病院(参加者:41名) 最新機器技術講演
  - ①「画像認識技術を利用した新しい3DシステムSYNAPSE VINCENT」富士フィルムメディカル(株)
  - ②「フィルムレスの現状と今後について」

G E ヘルスケアジャパン(株)

基調講演「医用モニタの品質管理と運用事例の紹介」 (株)ナナオ 会員講演1「モニター管理の実際」

①市立島田市民病院 鈴木 邦幸 会員

②掛川市立総合病院 中山 修 会員

会員講演2「画像管理の運用と問題点」

①富士宮市立病院 清広 和 会員

②磐田市立総合病院 大杉 正典 会員

③聖隷三方原病院 塚原 等 会員

- ◇第1回 5部会合同研修会 日時:2011.6.25 場所:静岡済生会総合病院(参加者:39名)
  - 1.アンギオ部会「X線照射によるペースメーカーの誤動作」
  - 2.MR I 部会「MRIの現状と今後の展望」
  - 3.管理士部会
    - ①「静岡県東部地震、計画停電による医療機関への影響」富士脳障害研究所付属病院 牛場 克明 会員
    - ②「福島原発事故における技師会の活動報告」

総合病院聖隷浜松病院 片岡 純也 会員

- 4.超音波部会「超音波の新技術 Ascendusとエラストグラフィー」
- 5.乳腺部会「マンモグラフィ装置の品質管理の必要性とQCキット、測定サービスの紹介」
- ◆第15回 放射線技師のためのセミナー 日時:2011.11.27 場所:県立総合病院(参加者:37名) (平成23年度 原子力緊急時災害対策研修会)
  - 1.「GMサーベイメータの原理と取扱い」 アロカ(株)

2. 「ホールボディカウンタの取扱い」

富士電機システムズ(株)

- 3. 「浜岡原子力発電所の津波対策について」 中部電力(株)浜岡原子力発電所環境保全部
- 4.「原子力災害におけるスクリーニング実習」中部電力浜岡発電所、アロカ(株)、県技師会管理士部会
- ◆第16回放射線技師のためのセミナー 日時:2012.1.14 場所:県技師会事務所(参加者:37名) 最新機器技術講演「医療情報のクラウド化を視野に入れたネットワークサービスinformityについて」 コニカミノルタヘルスケア (株)

会員講演「検像に関わる運用の実際」

①市立島田市民病院 榑松 文孝 会員 ②富士宮市立病院 利 旭央 会員

③掛川市立総合病院 鈴木 康章 会員 ④富士市立中央病院 井出 宣孝 会員

特別講演「読影促進と検像(精度保証)~われわれが今望まれていること~」

昭和大学藤が丘病院放射線部技師長 加藤 京一 先生

## 【その他の活動】

- 1. 第31回静岡ふれあい広場参加 骨密度無料体験実施(2008.9.14) 第32回静岡ふれあい広場参加 骨密度無料体験実施(2009.9.11)
- 2. 平成22年度静岡県原子力防災訓練参加(2010.10.21) 静岡県緊急被ばく医療研修参加(2012.1.22)
- 3. 被ばく相談窓口対応:1件

《第4期 2012.4~2014.3》

部会長:片岡 純也 (総合病院聖隷浜松病院)

役 員:白鳥 順一 (静岡済生会総合病院) 池谷 正治 (市立島田市民病院) 清 広和 (富士宮市立病院) 河井 淑裕 (藤枝市立総合病院)

榛葉 豊 (掛川市立総合病院) 有谷 航 (県西部浜松医療センター)

根岸 賢哉 (沼津市立病院) 神田 直樹 (富士市立中央病院)

松谷 季能 (聖隷予防検診センター)

#### 【セミナー開催】

- ◆第17回放射線技師のためのセミナー 日時:2012.6.30 場所:県技師会事務所(参加者:30名) 最新機器技術講演
  - 1.トモシンセシス装置
    - ① G E ヘルスケアジャパン (株)
    - ② (株) 島津製作所
  - 2.歯科用 C T 装置 朝日レントゲン工業 (株)

会員講演「被ばく相談窓口での対応」

- ①富士市立中央病院 倉田 富雄 会員
- ②総合病院聖隷浜松病院 片岡 純也 会員
- 特別講演「放射線カウンセリングとは」 日本放射線カウンセリング学会 会長 本間 光彦 先生
- ◆第18回放射線技師のためのセミナー 日時:2012.11.11 場所:県立総合病院(参加者:34名) (平成24年度 原子力緊急時災害対策研修会)
  - 1.「GMサーベイメータの原理と取扱い」 アロカ(株)
  - 2.「原子力災害におけるスクリーニング実習」中部電力浜岡発電所、アロカ(株)、県技師会管理士部会市民公開講座
  - 3.特別講演1 「東日本大震災と南海トラフ超巨大地震」静岡大学理学部教授 里村 幹夫 先生
  - 4.特別講演2 「静岡県における想定東海地震対策」静岡県地震防災センター所長 小林佐登志 先生
- ◆第19回放射線技師のためのセミナー 日時:2013.1.12 場所:県技師会事務所(参加者:22名)
  - 1.「遠隔読影について」
    - ・メーカー講演 ① (株) トライフォー ②G.I.Lab (株)
  - ・会員講演 ①静岡市立清水総合病院 大瀧 篤志 会員 ②聖隷予防検診センター 松谷 季能 会員 2.会員講演「RIS、PACSの更新経験」

①RISの更新について 掛川市立総合病院 糟谷 信貴 会員 ②放射線治療用RIS導入について 総合病院聖隷浜松病院 安間 啓 会員 ③PACS更新について 市立島田市民病院 池谷 正治 会員

- ◆第20回放射線技師のためのセミナー 日時:2013.6.29 場所:県技師会事務所(参加者:22名) 最新機器技術講演「放射線治療用RISの紹介」
  - ①三菱電機インフォメーションシステムズ(株) ②横河医療ソリューションズ(株)
  - ③有限会社 I T E Mコーポレーション

教育講演 「放射線治療における放射化物の管理」

株式会社日本環境調査研究所 静岡営業所 川口 順也 先生

特別講演 「認定資格のこれからと診療報酬」

公益社団法人 日本診療放射線技師会 理事 児玉 直樹 先生

- ◆第21回放射線技師のためのセミナー 日時:2013.11.30 場所:県立総合病院 参加者:21名 (平成25年度 原子力緊急時災害対策研修会)
  - 1. 公開講演「県の原子力災害に対する取組み」静岡県危機管理部原子力安全対策課 小澤 謙一 先生
  - 2.「GMサーベイメータの原理と取扱い」 アロカ(株)
  - 3.「原子力災害におけるスクリーニング実習」中部電力浜岡発電所、アロカ(株)、県技師会管理士部会

## 【その他の活動】

- 1. 第33回静岡ふれあい広場参加 骨密度無料体験実施(2012.9.30) 第34回静岡ふれあい広場参加 骨密度無料体験実施(2013.9.8)
- 2. 平成24年度静岡県原子力防災訓練参加(2013.2.15)
- 3. 被ばく相談窓口対応: 3件

# 【乳腺画像部会】

## ◆乳腺画像部会設立趣旨

1995年のわが国の女性の年齢調整癌罹患率では、乳癌が第 1 位であり、続いて胃癌、大腸癌、子宮癌、肺癌となっている。年齢別にみると、40歳代で最も高いピークを示し、続いて60歳代にもうひとつのピークを示す 2 峰性を示しており、比較的若い年齢層に多い特徴を示し、また死亡数も1975年~1998年の23年間に2.6倍となっており、現役世代での死亡率の増加傾向は大きな社会問題となっている。

乳癌検診は1987年、第2次老人保健法下、視触診によって開始されたが、がん死亡を確実に減少させるための十分な根拠がないと評価され、2000年の第4次老人保健事業から、50歳以上の女性について2年に1回の視触診とマンモグラフィの併用検診が始まった。

このような社会背景や、検診システムの変化(多くの自治体が婦人科検診としてMMGを取り入れた検診を始めている)により、マンモグラフィを取り巻く環境が大きく変化し社会的関心が高まった。

したがって、撮影技術、精度管理や乳腺疾患等幅広く学ぶ必要があり、われわれはマンモグラフィだけでなく乳癌の診断、治療に関するいくつかのモダリティに携わっているので、これらについても知識を得ることによって技師全体の乳腺疾患に関するレベルアップを図り、県民の健康福祉の増進に寄与することを目的に設立する。

# ◆乳腺画像部会 活動報告

- ■平成15年度乳腺画像部会活動報告
  - ●第1回乳腺画像部会研修会

【日時】平成15年7月12日【会場】静岡済生会総合病院【参加人数】62名「乳癌の薬物治療の動向」「マンモグラフィ読影のツボ」フィルム検討会

●第2回乳腺画像部会研修会

【日時】平成15年11月8日【会場】袋井市立袋井市民病院【参加人数】66名「乳癌の病理学」「デジタルマンモグラフィ」フィルム検討会

- ■平成16年度乳腺画像部会活動報告
  - ●第3回乳腺画像部会研修会

【日時】平成16年7月10日(土) 【会場】富士宮市立病院【参加者数】:112名「乳癌の全身療法」「乳癌の病理学」PARTⅡ「CRマンモグラフィ」

●第4回乳腺画像部会研修会

【日時】平成17年2月19日(土)【会場】もくせい会館【参加者数】146名 「乳房生検の実態」「エラストグラフィ」「乳癌の病理学」PARTⅢ 「マンモグラフィの読み方」「乳腺腫瘤について超音波の読み方」乳腺疾患の症例報告

- ■平成17年度乳腺画像部会活動報告
  - ●第5回乳腺部会研修会

【日時】平成17年7月9日(土) 【会場】静岡市東部勤労者福祉センター「清水テルサ」 【参加者数】75名「乳房X線撮影への位相コントラスト技術の応用」

「デジタル・マンモグラフィモニター診断における精度管理と最新技術」

「マンモグラフィの画質評価」PARTI(総論)

●第6回乳腺部会研修会

【日時】平成18年2月25日(土)【会場】静岡市東部勤労者福祉センター「清水テルサ」【参加者数】102名「マンモグラフィ装置」「超音波造影剤の現状と将来展望」「乳房の超音波検査」

「マンモグラフィの画質評価』PARTⅡ(入出力特性と特性曲線を描こう)

「車載式マンモグラフィシステム導入と使用経験』アナログVSデジタル

- ■平成18年度乳腺画像部会活動報告
  - ●第7回乳腺画像部会研修会

【日時】平成18年7月8日(土) 【会場】聖隷浜松病院【参加者数】57名 「乳がんにおけるPET検診」「追加撮影のポイント」「マンモグラフィの画質評価」

●第8回乳腺画像部会・第39回超音波部会合同研修会

【日時】平成19年2月24日(土)【会場】静岡県教育会館【参加者数】77名

「乳腺領域におけるエラストグラフィの有用性」「造影MRIマンモグラフィ」

「RSNA発表報告とデジタルマンモグラフィ教育プログラム体験記」

「乳腺画像の特性および病理画像との関わり~画像診断は、どのように病理画像を反映しているか?~」

- ■平成19年度乳腺画像部会活動報告
  - ●第9回乳腺画像部会研修会

【日時】平成19年7月7日(土)【会場】静岡済生会総合病院【参加者数】77名

「新型マンモグラフィ装置ペルルの紹介と最近のマンモグラフィの動向」

「マンモグラフィ撮影において大切なこと」 ~ 接遇について ~

「乳腺画像診断の実際」マンモグラフィ、US、MRIを中心に

●第10回乳腺画像部会・第42回超音波部会合同研修会

【日時】平成20年3月15日(土)【会場】静岡赤十字病院【参加者数】86名

「微細石灰化の描出について」「肝腫瘍における新しい診断方法について」

「超音波による乳がん検診ガイドラインについて」症例検討

乳腺部会第10回記念特別講演

「デジタルマンモグラフィの画像評価」-画像の質を科学的に評価するために-

- ■平成20年度乳腺画像部会活動報告
  - ●第11回乳腺画像部会研修会

【日時】平成20年7月5日(土)【会場】静岡済生会総合病院【参加者数】47名

「島津デジタルマンモグラフィのご紹介」

「乳癌診療ガイドラインに基づいたエビデンスと技師の役割」

「乳がん画像のピットフォール」

●第12回乳腺画像部会・超音波部会合同研修会

【日時】平成21年2月28日(土)【会場】もくせい会館【参加者数】70名

「エラストグラフィについて」「乳がんの薬剤療法について」「カテゴリー分類について」

「デジタルマンモグラフィのソフトコピー診断について」

①モニタの精度管理 ②ソフトコピー診断の特徴 ③САDの現状と将来の展望

- ■平成21年度乳腺画像部会活動報告
  - ●第13回乳腺画像部会

【日時】平成21年7月4日(土) 【会場】浜松市リハビリテーション病院 【参加者数】39名

「乳腺領域のMRI画像診断について」「CRパラメータについて」

「デジタルマンモグラフィの画像処理 W階調のご紹介』

「マンモグラフィのポジショニングについて」

●第14回乳腺画像部会・第48回超音波部会合同研修会

【日時】平成22年2月27日(土) 【会場】静岡済生会総合病院【参加者数】48名「乳腺の画像診断について」 -最近のトピックも含めて-

「高精細50μマンモグラフィAMULETのご紹介」「SONIMGE512」の紹介

「当院における病理の実際」『甲状腺疾患の臨床」

●西部地区 マンモグラフィポジショニング・精度管理講習会

【日時】平成21年6月20日(土) 【会場】聖隷浜松病院【参加者数】25名

●中部地区 マンモグラフィポジショニング講習会

【日時】平成21年7月18日(土)【会場】静岡検診クリニック【参加者数】17名

●東部地区 マンモグラフィポジショニング講習会

【日時】平成21年8月8日(土)【会場】聖隷沼津病院【参加者数】21名

●第6回日本乳癌学会 中部地方会

【日時】平成21年9月12日(土)~13日(日)

【会場】浜松市アクトシティコングレスセンター【参加者数】700名

# ■平成22年度乳腺画像部会活動報告

●第15回乳腺画像部会研修会

【日時】平成22年7月3日(土) 【会場】浜松労災病院【参加者数】33名「ポジショニングのポイント」 ポジショニング実習

●第51回超音波部会・第16回乳腺画像部会合同研修会 53名参加

【日時】平成23年2月27日(土) 【会場】聖隷三方原病院【参加者数】53名

「Real-time Tissue Elastographyの発展」「マンモトーム生検について」

「乳腺超音波読影の基礎」「マンモグラフィの基礎」 症例検討(超音波部会)

特別講演ブレストイメージングの総合理解「何を」「いつ」・「なんのために」用いるか?

# ■平成23年度乳腺画像部会活動報告

●静岡県放射線技師会5部会合同研修会(第17回乳腺画像部会合同研修会) 【日時】平成23年6月25日(土)【会場】静岡済生会病院 「マンモグラフィ装置の品質管理の必要性とQCキット、測定サービスの紹介」

●第18回乳腺画像部会合同研修会

【日時】平成24年2月25日(土) 【会場】藤枝市立総合病院【参加者数】15名 「デジタルマンモグラフィの最新技術 —Digital Breast Tomosynthesis-」 「追加撮影の意義や撮影法について」

## ■平成24年度乳腺画像部会活動報告

●診療放射線技師基礎技術講習会 乳房撮影

【日時】平成24年6月17日(土) 【会場】アクトシティ浜松コングレスセンター 【参加者数】33名

「乳がんの臨床」「読影とカテゴリー分類」「マンモグラフィの基礎と品質管理」 「デジタルマンモグラフィ」「撮影技術と臨床画像評価基準」

「乳腺超音波」『乳腺MRI」

- ●第19回乳腺画像部会・第37回MRI部会・第57回超音波部会 合同部会研修会 【日時】平成25年1月26日(土)【会場】静岡県立総合病院【参加者数】50名 「MR対応のペースメーカについて」「乳腺腫瘍における造影超音波検査について」 「MR エラストグラフィについて」
- ●第20回乳腺画像部会研修会 西部地区マンモグラフィポジショニング講習会 【日時】平成25年2月16日(土)【会場】聖隷予防検診センター【参加者数】16名

## ■平成25年度乳腺画像部会活動報告

- ●第21回乳腺画像部会研修会 中部地区マンモグラフィポジショニング講習会 【日時】平成25年7月27日(土)【会場】県立総合病院【参加者数】24名 マンモグラフィポジショニング実習 画像評価(質問コーナー)
- ●第22回乳腺画像部会研修会 東部地区マンモグラフィポジショニング講習会 【日時】平成25年9月28日(土)【会場】県立がんセンター【参加者数】21名 マンモグラフィポジショニング実習 画像評価(質問コーナー)

#### ◆静岡県マンモグラフィ講習会

- ・第1回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会(同時開催) 【日時】平成15年7月5日(土)~6日(日)【会場】県立静岡がんセンター
- ・第2回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会(同時開催)
  - 【日時】平成16年9月4日(土)~5日(日)
  - 【会場】県立静岡がんセンター(撮影技術)・東レ総合研修センター(読影)
- ・第3回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会
  - 【日時】平成17年1月29日(土)~30日(日)(撮影技術)
  - 【日時】平成17年2月19日(土)~20日(日)(読影)【会場】浜松医科大学
- ・第4回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会(同時開催)
  - 【日時】平成17年8月6日(土)~7日(日)
  - 【会場】県立静岡がんセンター(撮影技術)・東レ総合研修センター(読影)
- ・第5回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会(同時開催) 【日時】平成17年11月12日(土)~13日(日)【会場】浜松医科大学
- ・第6回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会
  - 【日時】平成18年11月11日(土)~12日(日)(撮影技術)
  - 【会場】 県立静岡がんセンター (撮影技術)
  - 【日時】平成18年11月25日(土)~26日(日)(読影)
  - 【会場】 静岡県立大学(読影)
- ・第7回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会
  - 【日時】平成19年11月3日(土)~4日(日)(撮影技術)
  - 【日時】平成19年10月20日(土)~21日(日)(読影)
  - 【会場】県立静岡がんセンター
- ・第8回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会
  - 【日時】平成20年11月1日(土)~2日(日)(撮影技術)
  - 【日時】平成20年12月13日(土)~14日(日)(読影)
  - 【会場】県立静岡がんセンター
- ・第9回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会
  - 【日時】平成21年10月31日(土)~1日(日)(撮影技術)
  - 【日時】平成21年11月14日(土)~15日(日)(読影)
  - 【会場】県立静岡がんセンター
- ・第10回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会
  - 【日時】平成22年11月13日(土)~14日(日)(撮影技術)
  - 【日時】平成22年11月6日(土)~7日(日)(読影)
  - 【会場】県立静岡がんセンター
- ・第11回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会
  - 【日時】平成24年3月17日(土)~18日(日)(撮影技術)
  - 【日時】平成24年3月24日(土)~25日(日)(読影)
  - 【会場】県立静岡がんセンター

- ・第12回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会
  - 【日時】平成24年11月17日(土)~18日(日)(読影)
  - 【日時】平成24年11月23日(金)~24日(土)(撮影技術)
  - 【会場】県立静岡がんセンター
- ・第13回静岡県マンモグラフィ撮影技術・読影講習会
  - 【日時】平成25年11月2日(十)~3日(日)(撮影技術)
  - 【日時】平成25年12月21日(金)~22日(土)(読影)【会場】県立総合病院
- ◆静岡県マンモグラフィ事前講習会
  - 第 4回【日時】平成17年 7月16日(土)撮影技術・17日(日)読影【会場】静岡県立大学
  - 第 5回【日時】平成17年10月29日(土)撮影技術・30日(日)読影【会場】浜松医科大学
  - 第 6回【日時】平成18年10月29日(日)撮影技術・読影【会場】県立静岡がんセンター
  - 第 7回【日時】平成19年 9月23日(日)撮影技術・読影【会場】県立静岡がんセンター
  - 第 8回【日時】平成20年10月19日(日)撮影技術・読影【会場】県立静岡がんセンター
  - 第 9回【日時】平成21年10月18日(日)撮影技術・読影【会場】県立静岡がんセンター
  - 第10回【日時】平成22年10月 3日(日)撮影技術・読影【会場】県立静岡がんセンター
  - 第11回【日時】平成24年 1月29日(日)撮影技術・読影【会場】聖隷三方原病院
  - 第12回【日時】平成24年10月28日(日)撮影技術・読影【会場】聖隷三方原病院
  - 第13回【日時】平成25年 9月22日(日)撮影技術・読影【会場】聖隷三方原病院
- ◆その他(講演など)

東海四県放射線技師合同研究会

【日時】平成18年2月19日(日)

「がん検診~21世紀のがん検診のクオリティコントロール~」~乳がん検診~

#### 市民公開講演

【日時】平成23年11月19日

「乳がん検診について」~診療放射線技師の立場から

静岡市ふれあい広場への参加

【日程】毎年9月開催

【内容】自己触診のすすめ・マンモグラフィによる乳がん検診への啓蒙活動



# 【アンギオ部会】

アンギオ部会の前身は昭和63年に、和田 健会員が発起人となり立ち上げた「静岡県血管撮影研究会」である。 「循環器領域、頭部領域、腹部領域の「Interventional Angiography」の技術的な情報交換、更には共同研究の推進」 を掲げた「静岡県血管撮影研究会」は、血管撮影に留まらず、CT、MRI、エコーと画像診断のモダリティから疾患・領域ごとの画像診断の知識を増やし、DSA装置の発達と共に「Interventional Radiology」へと発展を遂げていくことを先回りするかのごとく、熱心な会員の技術と知識の研鑚の場となる研究会であった。

時代は平成へと移り、CT、MRIをはじめとする画像診断機器の画期的は発展を振り返れば「静岡県血管撮影研究会」活動はいかに充実したものであったかを窺い知ることができる。

平成11年8月21日、社団法人 静岡県放射線技師会 アンギオ部会として、第1回の研修会が開催された。 初代アンギオ部会長の安間 武会員は、急速な画像診断機器の発展と技術向上に伴い、血管撮影の役割が変わりつつある転換期に任期を務めた。

最新の装置や技術に逸早く着目した、その活動内容を振り返る。

- ・第1回アンギオ部会研修会 平成11年8月21日 総合病院静岡赤十字病院 「DSA画像による3D画像構築」「マルチスライスCTについて」
- ・第2回アンギオ部会研修会 平成11年11月27日 富士市文化センター 「X線画像のデジタル化」「3D造影MRAについて」
- ・第3回アンギオ部会研修会 平成12年3月11日 県西部医療センター 付属診療所PETセンター 「全身FDG-PETを用いた悪性腫瘍の診断」
- ・第4回アンギオ部会研修会 平成12年7月1日 掛川市立総合病院 「3D-CTAについて」
- ・第5回アンギオ部会研修会 平成12年11月18日 県西部医療センター 「デジタル化に伴うネットワーク構築について」
- ・第6回アンギオ部会研修会 平成13年3月10日 県立総合病院 「心臓カテーテル インターベンションの現状」
- ・第7回アンギオ部会研修会 平成13年6月30日 浜松プレスタワー 「頭頚部領域におけるMRA・DSA・CTA」(MRI部会合同開催)
- ・第8回アンギオ部会研修会 平成13年11月17日 袋井市立袋井病院 「最新3DRA導入による、脳神経外科領域の診断と治療の役割」
- ・第9回アンギオ部会研修会 平成14年2月23日 富士市立中央病院 「医療現場における放射線防護と安全」

平成14年度からは、荒井 準会員が部会長を務めた。

CTやMRIの著しい技術革新は血管撮影装置を凌駕する画像が得られるようになり、血管撮影装置は検査装置という立場からIVRを主体とする治療装置へと位置づけられるようになった。モダリティの枠にとらわれず様々な視点、また、医療の質と患者様と術者の医療被ばく低減についても取り組み、静岡県下各施設の血管撮影装置の患者皮膚被ばく線量の把握をした。

- ・第10回アンギオ部会研修会 平成14年2月23日 富士市立中央病院 「カテーテルアブレーションについて」
- ・第11回アンギオ部会研修会 平成14年11月2日 「最新の血管撮影装置・マルチスライスCTについて」
- ・第12回アンギオ部会研修会 平成15年3月15日 静岡がんセンター 「IVR - CTの有用性について」「MRI用 肝特異性造影剤について」
- ・第13回アンギオ部会研修会 平成15年6月28日 聖隷浜松病院 「ICD(埋め込み型除細動器)について」「フラットパネルディテクタについて」
- ・第14回アンギオ部会研修会 平成15年10月25日 静岡市立清水病院 「脳動脈瘤と血管内手術;その適応と血管撮影、3D画像の有用性」
- ・第15回アンギオ部会研修会 平成15年3月20日 岡村記念病院 「経皮的冠動脈インターベンション (PCI) の現状と最近の話題」
- ・第16回アンギオ部会研修会 平成16年6月26日 掛川市立総合病院「MDCT AQUILION 16におけるCT Angiography」
- ・第17回アンギオ部会研修会 平成16年10月23日 県立総合病院 「カテ室で役立つ循環器基礎知識」「面積線量計によるIVR被ばく測定の実際と問題点」
- ・第18回アンギオ部会研修会 平成17年3月12日 富士宮市立病院 「薬剤溶出ステントの現状と展望」「新しい冠動脈治療の展開」
- ・第19回アンギオ部会研修会 平成17年3月12日 袋井市立袋井病院 「血管内治療の最近の進歩」
- ・第20回アンギオ部会研修会 平成17年9月17日 静岡県総合研修所「もくせい会館」 「IVR治療における患者の被ばく対策」 「静岡県下各施設の血管撮影装置の患者皮膚被ばく線量測定」
- ・第21回アンギオ部会研修会 平成18年2月11日 富士市立中央病院 「肝臓のIVRと最近の画像診断」 「静岡県下各施設の血管撮影装置の患者皮膚被ばく線量測定」

平成18年度からは、井出 宣孝会員が部会長を務めた。

血管撮影装置は透視を主体とした治療機器として位置づけられつつあり、CTやMRIの血管描出能の著しい向上により、 診断における血管撮影装置の役割は低下すると考えられる中で、他のモダリティにはないチーム医療(他職種との連 携)、動画像管理、ディバイスに関する知識向上、さらには、医療被ばくや装置管理に目を向けつつ、他部会との連携 をとり部会運営を行った。

- ・第22回アンギオ部会研修会 平成18年6月17日 聖隷浜松病院 「脳動脈瘤の血管内手術」「動画ネットワークの管理」
- ・第23回アンギオ部会研修会 平成18年10月28日 焼津市立総合病院 「これからのIVRを考える」「動画ネットワークについて」「FPDについて」



- ・第24回アンギオ部会研修会 平成19年2月10日 沼津市立病院 「CT造影理論」「脳血管4D画像について」「体幹部および四肢血管について」
- ・第25回アンギオ部会研修会 平成19年6月16日 静岡県立総合病院 「PCIの最近の現状について」「脳血管4D画像について」「体幹部および四肢血管について」
- ・第26回アンギオ部会研修会 平成19年10月27日 JA静岡厚生連 遠州病院 「心疾患例の予後に対する慢性腎臓病(CKD)と造影剤腎症(CIN)の影響」
- ・第27回アンギオ部会研修会 平成20年2月9日 富士市立中央病院 「頭頸部領域のMRI」「血管造影専門技師の動向」「血管造影室の被曝管理のあり方」
- ・第28回アンギオ部会研修会 平成20年6月17日 浜松赤十字病院 「循環器領域における画像診断と治療」「IVRにおける多軸血管撮影装置の有用性」
- ・第29回アンギオ部会研修会 平成20年10月29日 医療法人社団宏和会 岡村記念病院 「PCI時における心臓CTの有用性」「血管撮影・インターベンション専門技師制度について」
- ・第30回アンギオ部会研修会 平成21年2月24日 静岡県総合研修所「もくせい会館」 「動画用FPDの精度管理とFPD搭載循環器専用装置の現状」 「FPD搭載型X線TV装置について」
- ・第31回アンギオ部会研修会 平成21年6月13日 静岡県立総合病院 「循環器病センターと地域連携」「情報システムを利用した循環器領域のワークフロー改善」
- ・第32回アンギオ部会研修会 平成21年10月24日 磐田市立総合病院 「当院での心臓CT診断」「フィリップス ブリリアンスiCTを用いた心臓CT検査」
- ・第33回アンギオ部会研修会 平成22年2月13日 富士市立中央病院 「心臓MRIと冠動脈MRA」「多目的血管装置について」

平成22年度からは、長屋重幸会員が部会長を務めた。

技師会の目的の一つは「教育」と考え、血管撮影という枠にとらわれず、領域別をテーマにした研修会を企画した。 また、脳血管領域、循環器・大血管領域について、MRI部会と合同開催を行った。

- ・第34回アンギオ部会研修会 平成22年6月12日 アクトシティ浜松 コングレスセンター「コーンビーム CTの使用経験と画像評価」「シックスシグマを活かした病院運営のヒント」
- ・第35回アンギオ部会研修会 平成22年10月23日 三島市文化会館 「骨盤・下肢の血管撮影と血管内治療について」「脂質異常症の病態とスタチン治療の意義」
- ・第36回アンギオ部会研修会 (MRI部会との共同開催) 平成23年2月12日 静岡産業交流センター 「CAS〜最近の現状〜」「頭頚部MRI撮像・最新技術」「より安全な造影検査のために」
- ・第37回アンギオ部会研修会 平成23年6月18日 浜松市福祉交流センター 「心臓MRIと心臓CTの実際」「循環器用血管撮影装置・超音波装置について」

- ・第38回アンギオ部会研修会 平成23年10月27日 三島市文化会館 「救急医療とIVR」「スタチンの血管に対する効果」
- ・第39回アンギオ部会研修会 平成24年10月22日 静岡県コンベンションアーツセンター 「不整脈治療におけるカテーテルアブレーション」 「インターベンションの被ばく管理に対する診療放射線技師の関わり方」
- ・第40回アンギオ部会研修会 平成25年2月9日 三島市文化会館 「救急医療とIVR」「スタチンの血管に対する効果」
- ・第41回アンギオ部会研修会 平成25年10月26日 悪天候のため中止 「心臓CTを用いた心疾患の評価」 「外傷性血管損傷に対して骨盤部TAE、大動脈ステントグラフト内挿術を行った症例」
- ・第41回アンギオ部会研修会 平成26年2月15日予定 静岡第一ホテル 「心臓CTを用いた心疾患の評価 ~冠動脈イメージングを越えて~」 「外傷性血管損傷に対して骨盤部TAE、大動脈ステントグラフト内挿術を行った症例」 「4D-FLOWの臨床について」「MDCTによる術前大血管精査」 「ハイブリッドオペ室でのコーンビームCTの使用経験」 「コーンビームCTの原理について」



# 【超音波部会】

第10回超音波部会研修会 平成9年6月21日 もくせい会館(静岡市) 74名参加 メーカー発表

「超音波画像デジタルファイリングシステムについて」コニカメディカル(株)

「超音波診断装置の最近の展望」 アロカ(株)

会員発表 「肝限局性病変のCT画像」 社会保険浜松病院 加藤 宏幸

「肝の限局性病変におけるMR」 総合病院清水厚生病院 飯塚 知幸 「脂肪肝の超音波診断」 総合病院静岡厚生病院 山本 満 「限局性肝疾患の超音波診断」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

特別講演 「肝がんの早期診断早期治療と超音波医療の役割」静岡県立総合病院 伊東 和樹 先生

第11回超音波部会研修会 平成9年10月18日 もくせい会館(静岡市) 61名参加

メーカー発表 「超音波造影剤について」 日本シェーリング(株)

「日立-ATL ハーモニックFCT」 ATL社

会員発表 「虚血性心疾患の超音波診断」 藤枝市立総合病院 北川 敬康

「小児領域における心・血管核医学の応用」静岡県立こども病院 矢野 正幸 「冠動脈interventionにおけるステントの効果」 岡村記念病院 岡田 晃 「腹部・四肢血管の血流 正常例を中心に」富士市立中央病院 遠藤 佳秀 「腹部血管の異常血流」 藤枝市立総合病院 秋山 敏一

第12回超音波部会研修会 平成10年2月21日 もくせい会館(静岡市) 69名参加

メーカー発表 「最新超音波診断技術の現状」 東芝メディカル(株)

「最近のドライレーザーイメージャの動向」コニカ(株)

会員発表 「乳房について」 総合病院静岡厚生病院 山本 満

「乳腺のエックス線診断」 市立島田市民病院 横田 政則 「MRIによる乳腺診断について」 富士市立中央病院 杉山 伸一

トピックス 「整形領域の超音波診断」 総合病院清水厚生病院 吉田 忠尚

第13回超音波部会研修会 平成10年6月20日 もくせい会館(静岡市) 62名参加

メーカー発表 「ドライイメージャードライスター2000および3000について」日本アグファゲバルト(株)

「パワーフローの原理と正しい使い方」 アロカ(株)

会員発表 「胃のエックス線診断」 総合病院清水厚生病院 石井 清二郎

 「注腸検査のDRによる最近の工夫とEUS」松田病院
 川嶋
 正義

 「胃疾患の超音波診断」
 藤枝市立総合病院
 秋山
 敏一

 「回盲部疾患の超音波診断」
 富士市立中央病院
 遠藤
 佳秀

 「腸疾患の超音波診断」
 藤枝市立総合病院
 北川
 敬康

第14回超音波部会研修会 平成10年11月7日 もくせい会館(静岡市) 51名参加

メーカー発表 「新製品 Power Vision 6000の紹介」 東芝メディカル(株)

「Aモードのドプラ装置について」 (株)マンソン

会員発表 「当院における脳スペクトとアンギオ」 社会保険浜松病院 児玉 博英

「中枢神経領域におけるMR診断」 富士脳障害研究所附属病院 牛場 克明 「頸動脈の超音波診断」 静岡県立総合病院 望月 守 「四肢血管病変の超音波診断」 藤枝市立総合病院 北川 敬康

トピックス 「中枢神経領域における超音波」 藤枝市立総合病院 杉山 髙

第15回超音波部会研修会 平成11年2月20日 もくせい会館(静岡市) 66名参加

メーカー発表 「画像記録の現状について」 (株)ネクサス

「超音波の最近の動向」 横河メディカル(株)

会員発表 「胃後壁の隆起性腫瘍と下腹部にpseudo-kidney signを認めた一症例」

静岡県立総合病院 三浦 孝夫

「急性腹症における腸管疾患について」 静岡済生会総合病院 増田 和道 「小児科領域における急性腹症」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

「血管外科の急性疾患における超音波診断」 藤枝市立総合病院 北川 敬康 「循環器科の急性疾患における超音波診断」 藤枝市立総合病院 溝口 賢哉

「整形外科領域の急性疾患における超音波診断」総合病院清水厚生病院 吉田 忠尚

第16回超音波部会研修会 平成11年6月19日 もくせい会館(静岡市) 71名参加

メーカー発表 「パルスインバージョン and THI」 (株) 日立メディコ

「フェリデックス製品概要及び造影検査の新たな展開」田辺製薬(株)

会員発表 「肝領域のピットフォール」 静岡済生会総合病院 奥川 令

「胆道領域のピットフォール」 静岡県立総合病院 望月 守 「膵領域のピットフォール」 共立菊川総合病院 伊藤 誠一 「後腹膜領域のピットフォール」 島田市民病院 榑松 文孝

「消化管領域のピットフォール」 藤枝市立総合病院 秋山 敏一

「掃化管領域のピットフォール」 藤枝巾立総合病院 秋山 戦一 「婦人科領域のピットフォール」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

第17回超音波部会研修会 平成11年11月6日 もくせい会館(静岡市) 60名参加

メーカー発表 「デジタルRFデータが活きる心エコー」 アロカ(株)

「腹部超音波診断におけるレボビストの有用性」日本シェーリング(株)

会員発表 「肝における悪性腫瘍の超音波診断」 静岡県立総合病院 西尾 孝次

「胆道系における悪性腫瘍の超音波診断」 総合病院静岡厚生病院 八木 秀視 「消化管における悪性腫瘍の超音波診断」 静岡済生会総合病院 増田 和道 「膵における悪性腫瘍の超音波診断」 藤枝市立総合病院 北川 敬康 「腎・膀胱における悪性腫瘍の超音波診断」 藤枝市立総合病院 溝口 賢哉

「婦人科領域における悪性腫瘍の超音波診断」富士市立中央病院 遠藤 佳秀 「腹部領域における悪性腫瘍の超音波診断」 富士宮市立病院 岩田 敏秀

第18回超音波部会研修会 平成12年2月11日 もくせい会館(静岡市) 69名参加

メーカー発表 「富士ドライイメージャーについて」富士メディカルシステム(株)

「最新の超音波診断についてーCHI・フュージョン3Dを中心にー」東芝メディカル(株)

会員発表 「乳癌の超音波診断」 清水市立病院 河合 秀紀

 「乳癌の超音波診断」
 静岡済生会総合病院
 奥川 令

 「甲状腺癌の超音波診断」
 富士市立中央病院
 遠藤 佳秀

 「頸部悪性疾患の超音波診断」
 藤枝市立総合病院
 秋山 敏一

「前立腺を中心とした超音波診断」 総合病院静岡厚生病院 山本 満

第19回超音波部会研修会 平成12年6月17日 もくせい会館(静岡市) 86名参加

メーカー発表 「超音波診断装置の最近の動向」 GE横河メディカル(株)

「画像ファイリングシステムの超音波診断装置における有用性」GE横河メディカル(株)

会員発表 「腹部超音波検査法」 NTT伊豆逓信病院 滝口 昇吾

 「胆道疾患の超音波診断」
 社会保険桜ヶ丘総合病院
 工藤 司

 「肝疾患の超音波診断」
 掛川市立総合病院
 天野 守計

 「膵疾患の超音波診断」
 市立島田市民病院
 福島 知之



第20回超音波部会研修会 平成12年10月21日 もくせい会館(静岡市) 62名参加

メーカー発表 「超音波診断装置 EUB-6000の紹介」

(株) 日立メディコ

「携帯用超音波装置Sono Site 180の有用性について」 オリンパス販売(株)

特別講演(1) 「急性腹症の超音波診断」 藤枝市立総合病院

杉山高

特別講演(2) 「心疾患と超音波診断の有用性」 掛川市立総合病院 日比 範夫 先生

第21回超音波部会研修会 平成13年2月10日 もくせい会館(静岡市) 77名参加

メーカー発表 「カラードプラの定量化」 アロカ(株)

症例検討(症例呈示)

 富士市立中央病院
 遠藤 佳秀

 静岡済生会総合病院
 奥川 令

 藤枝市立総合病院
 秋山 敏一

(解答者) NTT東日本伊豆病院 滝口 昇吾

総合病院清水厚生病院 吉田 忠尚 特定医療法人社団松愛会松田病院 川嶋 正義

特別講演 「乳腺疾患の診断と治療」 聖隷浜松病院 吉田 雅行 先生

第22回超音波部会研修会 平成13年6月16日 もくせい会館(静岡市) 64名参加

メーカー発表 「超音波造影剤めぐる最新技術」 東芝メディカル(株)

「超音波画像ファイリングについて」
コニカメディカル(株)

会員発表 「肝臓のピットフォール」 富士宮市立病院 玉田 宏一

「胆道・膵臓のピットフォール」 共立菊川総合病院 高橋 洋一

「尿路のピットフォール」 社会保険桜ヶ丘総合病院 工藤 司

症例検討 (症例提示)

(解答者)

 N T T東日本伊豆病院
 滝口 昇吾

 総合病院清水厚生病院
 下野 有美

 特定医療法人社団松愛会松田病院
 川嶋 正義

 富士市立中央病院
 古郡 良三

 市立島田市民病院
 榑松 文孝

 社会保険浜松病院
 伊吹 重敏

第23回超音波部会研修会 平成13年10月20日 もくせい会館(静岡市) 51名参加

メーカー発表 「Sie Scape技術とその応用」 シーメンスウルトラサウンドジャパン(株)

「医用画像ネットワークシステムについて」 アレイ (株)

会員発表 「上腹部のピットフォール」 NTT東日本伊豆病院 和田 幸司

「下腹部のピットフォール」 藤枝市立総合病院 北川 敬康 「体表のピットフォール」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

症例検討(症例提示)

 富士宮市立病院
 岩田 敏秀

 市立島田市民病院
 榑松 文孝

 社会保険浜松病院
 伊吹 重敏

 (解答者)
 静岡検診クリニック

 清水市立病院
 山本 彰彦

 掛川市立総合病院
 天野 守計

第24回超音波部会研修会 平成14年2月16日 もくせい会館(静岡市) 71名参加

メーカー発表 「最新の超音波診断装置」 GE横河メディカルシステム(株) 小崎 正博

「近年におけるネットワークシステムについて」コダック(株) 片岡 亮二

会員発表 「頸動脈の超音波検査」 富士市立中央病院 古郡 良三

「四肢血管の超音波検査」 藤枝市立総合病院 北川 敬康 「経頭蓋の超音波検査」 藤枝市立総合病院 林 健太郎 「腸炎の超音波検査」 特定医療法人社団松愛会松田病院 川嶋 正義

「イレウスの超音波検査」 静岡済生会総合病院 奥川 令 「虫垂炎の超音波検査」 総合病院清水厚生病院 吉田 忠尚

第25回超音波部会研修会 平成14年7月13日 もくせい会館(静岡市) 46名参加

メーカー発表 「最新のカラードプラ技術」 東芝メディカル(株)

「グローバルスタンダードPACS-IMPAX-について」日本アグファ・ゲバルト(株)

会員発表 「腹部検査法について」 富士宮市立病院 玉田 宏一

「腹部急性疾患について」 藤枝市立総合病院 山田 浩之 「腹部悪性疾患について」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

特別講演 「腹部カラードプラの必要性」 杉山 髙

第26回超音波部会研修会 平成14年10月12日 もくせい会館(静岡市) 56名参加

メーカー発表 「静岡がんセンターの画像ネットワーク(SYNAPSE)について」富士フィルムメディカル(株)

「知っておきたい超音波検査 基礎(物理)」 アロカ(株)

会員発表 「知っておきたい超音波検査 循環器疾患」 藤枝市立総合病院 溝口 賢哉

「知っておきたい超音波検査 急性腹症」 静岡県立総合病院 三浦 孝夫

症例報告

症例報告

「胆嚢癌が疑われた一症例」 富士宮市立病院 岩田 敏秀 「肝脂肪腫の一例」 総合病院静岡厚生病院 渡邉 敏成 「診断に苦慮した肝腫瘤性病変の一例」 掛川市立総合病院 春田 孝博

第27回超音波部会研修会 平成15年2月22日 もくせい会館(静岡市) 90名参加

メーカー発表 「乳腺超音波検査の最新技術」 (株)日立メディコ

「マンモグラフィシステム セピオ」 (株)島津製作所

会員発表 「乳癌の発生と原因」 掛川市立総合病院 天野 守計

 「マンモグラフィのABC」
 袋井市立袋井市民病院
 天野 宜委

 「乳腺エコーのABC」
 市立島田市民病院
 福島 知之

 「仮性動脈瘤の一例」
 共立菊川総合病院
 福島 浩

「胎児奇形」 総合病院清水厚生病院 吉田 忠尚 「肝SOL(動態視力をつけよう)」 藤枝市立総合病院 中村 元哉

第28回超音波部会研修会 平成15年6月21日 もくせい会館(静岡市) 68名参加

メーカー発表 「最新の超音波診断装置の動向について」GE横河メディカルシステム(株)

「超音波デジタル画像の運用について」 コニカメディカル (株)

パネルディスカッション「報告書」

 静岡済生会総合病院
 増田 和道

 藤枝市立総合病院
 溝口 賢哉

 特定医療法人社団松愛会松田病院
 川嶋 正義

 富士市立中央病院
 倉田 富雄

 市立島田市民病院
 宿島 久志

会員発表 「腹部におけるエコーサイン」 藤枝市立総合病院 北川 敬康

症例報告

「甲状腺疾患」 NTT東日本伊豆病院 和田 幸司 「診断に苦慮した胆嚢疾患」 静岡市立清水病院 河合 秀紀



「救急外来にてUSが有用であった肝損傷の一例」 社会保険浜松病院 水野 寛之

第29回超音波部会研修会 平成15年10月25日 もくせい会館(静岡市) 76名参加

メーカー発表 「表在領域における最新の超音波診断装置」東芝メディカル(株)

「最新の超音波画像ファイリングシステム」(株)スリーゼット

会員発表 「頸動脈エコー」 掛川市立総合病院 榛葉 豊

> 「腹部血管エコー」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀 「下肢動脈エコー」 静岡済生会総合病院 奥川 令 「下肢静脈エコー」 藤枝市立総合病院 林 健太郎

「甲状腺の超音波検査」 総合病院静岡厚生病院 八木 秀視

症例報告 「腹部領域における非特異的な超音波画像」富士宮市立病院 岩田 敏秀

> 加藤 始 「読影に苦慮した腹部疾患の一症例」 静岡県立総合病院 「腸骨静脈血栓の一症例」 共立菊川総合病院 戸塚 敏

第30回超音波部会研修会 平成15年2月14日 もくせい会館(静岡市) 56名参加

メーカー発表 「超音波診断装置の新技術について」 アロカ (株)

「ダイレクトサーマルイメージャーDRYSTER5500について」 日本アグファ・ゲバルト(株)

症例報告 「消化管疾患の一例」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

> 「水腎症をきたした転移性リンパ節の一例」社会保険桜ヶ丘総合病院 工藤 司

奥川 令 「診断に苦慮した肝血管腫の一例」 静岡済生会総合病院 特別講演 「超音波消化管診断」 天竜厚生会診療所所長 湯浅 肇

平成16年6月19日 もくせい会館(静岡市) 52名参加 第31回超音波部会研修会

メーカー発表 Real-time Virtual Sonography (株)日立メディコ

> 「動画像ファイリングの現状」 ソニックジャパン(株)

和田 幸司 会員発表 「当院における人間ドック腹部エコー」 NTT東日本伊豆病院

> 山田 浩之 「腹部におけるドプラ法の活用」 藤枝市立総合病院

「当院で経験した停留精巣」 岩田 敏秀 症例報告 富士宮市立病院

> 「胞状奇胎の一例」 総合病院清水厚生病院 吉田 忠尚

荒木 重雄 「診断に苦慮した超音波で診断できなかった肝腫瘤」掛川市立総合病院 掛川市立総合病院 天野 守計

実技指導 NTT東日本伊豆病院 和田 幸司

> 藤枝市立総合病院 山田 浩之

「アメリカ留学を終えて」

平成16年10月16日 もくせい会館(静岡市) 第32回超音波部会研修会 54名参加

メーカー発表 「超音波診断装置における最新Technology」 G E 横河メディカルシステム (株)

「ラジオ波焼灼療法について~原理から臨床まで~」センチュリーメディカル(株)

「超音波検査士試験対策」 玉田 宏一 会員発表 富士宮市立病院

「超音波の基礎と限界」 藤枝市立総合病院 秋山 敏一

「肝疾患の一例」 市立島田市民病院 福島 知之

富士市立中央病院

遠藤 佳秀

春田 孝博 「骨盤内に低エコー腫瘍陰影が見えた症例」掛川市立総合病院

溝口 賢哉 会員発表 「心エコー検査のツボ」 藤枝市立総合病院

「血管エコー検査のツボ」 藤枝市立総合病院 北川 敬康

実技指導 藤枝市立総合病院 溝口 賢哉

> 北川 敬康 藤枝市立総合病院

「診断に苦慮した胆嚢炎の一例」

凱旋報告

症例報告

第33回超音波部会研修会(乳腺部会と合同開催)平成17年2月19日もくせい会館(静岡市)146名参加

メーカー発表 「乳房生検の実態」 東芝メディカルシステムズ株式会社

「エラストグラフィ」 株式会社日立メディコ

講演 「乳癌の病理学」PARTⅢ 浜松医科大学医学部附属病院 三浦 克敏先生

会員発表 「マンモグラフィの読み方」 静岡県立静岡がんセンター 秋田富二代

「乳腺腫瘤について超音波の読み方」 静岡済生会総合病院 奥川 令

症例報告 「嚢胞内病変の一例」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

「非浸潤性乳管癌の一例」 藤枝市立総合病院 秋山 敏一 「乳頭腺管癌の一例」 掛川市立総合病院 天野 守計

第34回超音波部会研修会 平成17年6月4日 藤枝市立総合病院 73名参加

メーカー発表 「超音波・内視鏡画像ファイリングシステム」 住商エレクトロニクス(株)

「超音波診断装置  $\alpha-10$ について」 アロカ(株)

特別講演 「腹部エコーの実学・のの字の2回走査」 志太医師会検診センター 杉山 高

教育講演 「腹部MRIのABC」 藤枝市立総合病院 放射線診断治療科 五十嵐達也 先生

症例報告 「下部胆管癌の一例」 富士宮市立病院 玉田 宏一

施設紹介・見学 藤枝市立総合病院 北川 敬康

第35回超音波部会研修会 平成17年10月29日 富士市立中央病院 36名参加

メーカー発表 「超音波とPACS "Impaxによるシステム連携"」 アグファ (株)

「血管診療に役立つ最新の超音波技術」
東芝メディカルシステムズ(株)

会員発表 「偶然見つかった腎腫瘍の一例」 富士宮市立病院 玉田 宏一

「超音波検査で発見された小腸GISTの一例」社会保険桜ヶ丘総合病院 斎藤 友紀 「胆嚢癌と診断した1症例」 掛川市立総合病院 春田 孝博

ハンズオン 「下肢動静脈エコーの走査とポイント」 藤枝市立総合病院 北川 敬康 特別講演 「肝細胞癌の臨床とIVR」 富士市立中央病院 放射線科部長 萬 直哉

施設紹介・見学 富士市立中央病院 井出 宣孝

症例報告

第36回超音波部会研修会(乳腺画像部会と合同開催)平成18年2月25日 清水テルサ 102名参加

メーカー講演 「デジタルマンモグラフィ GEの考えるトータルバランス」GE横河メディカル(株)

「超音波造影剤の現状と将来展望」日本シエーリング株式会社

会員報告 「乳房の超音波検査」 藤枝市立総合病院 秋山 敏一

「マンモグラフィの画質評価 P A R T II」県立静岡がんセンター 秋田富二代

「車載式マンモグラフィシステム導入と使用経験 アナログVSデジタル」

遠州総合病院 小栗 裕香

聖隷予防検診センター斉藤 忍「悪性葉状腫瘍の一例」富士市立中央病院遠藤 佳秀

「乳腺腫瘍の一例」 静岡済生会総合病院 奥川 令

第37回超音波部会研修会 平成18年6月24日 藤枝市立総合病院 49名参加

メーカー発表 「超音波診断用ゼリーについて」 フクダ電子(株)

「最新超音波診断装置について」
アロカ(株)

バンズオン 「消化管走査のポイント」 藤枝市立総合病院 林健 太郎 症例報告 「胆嚢癌を疑った 1 症例」 富士宮市立病院 玉田 宏一



「診断に苦慮した3症例」 JA静岡厚生連静岡厚生病院 渡辺 敏成 「胆嚢癌との鑑別に苦慮した胆嚢腺筋腫症の1例」 市立島田市民病院 福島 知之

第39回超音波部会研修会 平成18年10月28日 掛川市立総合病院 51名参加

メーカー発表 「I-PACSシステムの紹介」コニカミノルタ エムジー (株)

「超音波診断装置における液晶モニターの薦め」東芝メディカルシステムズ(株)

ハンズオン 「頸動脈の超音波検査」 掛川市立総合病院 天野 守計

新刊紹介 「杉山 高先生の超音波手技大原則 C D」

症例報告 「腹部巨大腫瘍の一例」 富士市立中央病院 澤口 信孝

「急性腎不全の一例」 藤枝市立総合病院 北川 敬康 「嚢胞性病変の 2 症例」 菊川市立総合病院 福島 浩

「桜井正児先生のイメージトレーニング C D」の紹介

特別講演 「小児の超音波検査」 聖マリアンナ医科大学病院 超音波センター 桜井 正児

第39回超音波部会研修会(乳腺部会と合同開催)平成19年2月24日(財)静岡県教育会館 77名参加

メーカー発表 「乳腺領域におけるエラストグラフィの有用性」(株)日立メディコ

「造影MRIマンモグラフィ」 日本シエーリング(株)

症例検討 「組織診断に苦慮した乳癌の一例」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

「乳房温存術後に発生したDCISの一例」 藤枝市立総合病院 中村 元哉 「当院で経験した嚢胞性腫瘤」 静岡県立総合病院 加藤 始

会員報告 「北米放射線学会発表報告とアメリカにおけるマンモグラフィの現状」 秋田富二代

特別講演 「乳腺画像の特性および病理画像との関わり」

東京慈恵会医科大学附属青戸病院 松原 馨先生

第40回超音波部会研修会 平成19年7月21日 静岡済生会総合病院 39名参加

メーカー発表 「超音波診断装置SSD-ALPHA10における最新技術」 アロカ(株) 鈴木 秀樹

「超音波診断用造影剤ソナゾイドについて」 第一三共(株) 竹中 康悟 会員発表 「腹部超音波検査のツボ」 藤枝市立総合病院 秋山 敏一

定例報告 「当院における急性腹症の1例」 静岡済生会総合病院 増田 和道

「超音波検査で発見された食道癌 心筋浸潤の1例」 清水厚生病院 吉田 忠尚 「後腹膜腫瘍の1例」 掛川市立総合病院 春田 孝博

特別講演 「肝疾患の超音波診断と超音波造影検査」 大垣市民病院 消化器科部長 熊田 卓先生

第41回超音波部会研修会 平成19年10月6日 藤枝市立総合病院 37名参加

メーカー発表 「乳腺・体表血管領域における超音波装置の進歩」 持田シーメンスメディカルシステム(株)

「ZONE Sonograhyを用いた FAZONE Mについて」 富士フィルムメディカル(株)

症例報告 「読影に苦慮した胆嚢疾患の1例」 富士宮市立病院 岩田 敏秀

「両側に発症した急性腹症の1例」 桜ヶ丘総合病院 斉藤 友紀 「膵頭部癌の1例、どこまで読みますか?」 掛川市立総合病院 天野 守計

特別講演 「超音波検査に必要な生化学データの見方、考え方」 大垣市民病院 川地 俊明先生

実技指導 「消化管のワンポイントレクチャー 虫垂について」 藤枝市立総合病院 林 健太郎 「乳腺のワンポイントレクチャー 精度管理について」 藤枝市立総合病院 山田 浩之

「下肢静脈のワンポイントレクチャー ヒラメ静脈について」藤枝市立総合病院 北川 敬康

第42回超音波部会(乳腺部会と合同開催)平成20年3月15日 静岡赤十字病院 86名参加

メーカー発表 「微細石灰化の描出について」 東芝メディカルシステムズ(株)

「新製品紹介」
バイエル製薬(株)

会員発表 「超音波による乳がん検診ガイドラインについて」 藤枝市立総合病院 秋山 敏一

症例検討 富士宮市立病院(岩田敏秀)静岡県立総合病院(三浦孝夫)掛川市立総合病院(天野守計) 特別講演 「デジタルマンモグラフィの画像評価」 国立病院機構九州医療センター 井手口 忠光 先生

第43回超音波部会研修会 平成20年6月21日 藤枝市立総合病院 38名参加

メーカー発表 「Elastographyの新しい展開」 日立メディコ (株)

「汎用画像の取込み~680HMのご紹介」 コニカミノルタヘルスケア (株)

症例報告 「診断に苦慮した腎腫瘍の1例」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

「男性乳がんの1例」 市立島田市民病院 福島 知之

「診断に苦慮した卵巣腫瘍軸捻転の1例」 菊川市立総合病院 福島 浩

特別講演 「知っておきたい表在エコーのポイント」 浜松南病院画像診断部 杉山 高

特別講演 「血尿患者の超音波検査」 浜松医科大学泌尿器科 麦谷荘一先生

第44回超音波部会研修会 平成20年10月11日 静岡済生会総合病院 42名参加

特別企画 超音波検査士受験対策基礎講座 アロカ(株) 武藤和彦 先生

メーカー発表 「超音波診断装置SSD-ALPHA7における最新機能について」アロカ(株)

「いつでも持ち出せる次世代型超音波装置 FAZONE M」富士フィルムメディカル(株)

症例報告 「異物による腸重積が疑われた症例」 静岡市立清水病院 山本彰彦

「当院における妊婦検診の試行」 藤枝市立総合病院 熊谷暢子 「乳腺の1症例」 社会保険浜松病院 杉本真里

特別講演 「知っておきたい超音波の基礎知識」 アロカ株式会社 武藤和彦 先生 特別講演 「知っておきたい産婦人科領域の超音波診断」 聖隷三方原病院 宇津正二 先生

第45回超音波部会(乳腺画像部会と合同開催)平成21年2月28日 もくせい会館(静岡市)76名参加

メーカー発表
「エラストグラフィについて」
東芝メディカルシステムズ(株)

「乳がんの薬剤療法について」
バイエル製薬(株)

会員発表 「カテゴリー分類について」 藤枝市立総合病院 山田 浩之

症例検討 富士市立中央病院(遠藤佳秀)静岡県立総合病院(藤下真澄)掛川市立総合病院(春田孝博)

特別講演 「デジタルマンモグラフィのソフトコピー診断について」

GE横河メディカル(株) 小山田 薫

第46回超音波部会研修会 平成21年6月21日 グランシップ (静岡市) 38名参加

メーカー発表 「HI VISION Preirus(ハイ ビジョン プレイラス)の新技術」 (株) 日立メディコ

「超音波診断用造影剤ソナゾイドについて」 第一三共(株)

症例報告 「超音波検査が有用であった1症例」 富士宮市立病院 岩田 敏秀

 「リウマチの関節エコー」
 静岡厚生病院
 八木 秀視

 「腹痛を伴ったGISTの1例」
 菊川市立総合病院
 原崎 美佳

 「診断に苦慮した腸管内高輝度エコーの一例」
 掛川市立総合病院
 春田 孝博

特別講演 「肝腫瘤性病変の超音波像と診断」 大垣市民病院 竹島賢治 先生

第47回超音波部会研修会 平成21年10月10日 富士市立中央病院 19名参加

メーカー発表 「乳癌検診の近未来乳がん集検用超音波システムの開発」 アロカ(株)

「運動器の超音波診断」 (株) ユー・エス・ディー

症例報告 「回腸末端炎」 富士宮市立病院 玉田 宏一

「多発性内分泌腫瘍」 静岡済生会総合病院 奥川 令 「膿瘍形成を伴った壊疽性虫垂炎」 掛川市立総合病院 槽谷 信貴

特別講演 「誤診例から学ぶ超音波診断」 聖マリアンナ医科大学病院 辻本文雄 先生



第48回超音波部会(乳腺画像部会と合同開催)平成22年2月27日 静岡済生会総合病院 48名参加

メーカー発表 「超音波診断装置 『SONIMGE』の紹介」コニカミノルタヘルスケア (株)

症例報告 「葉状構造を伴った線維腺腫」 富士市立中央病院 遠藤 佳秀

「粘液癌3症例」 静岡済生会総合病院 増田 和道 「腺様嚢胞癌」 掛川市立総合病院 天野 守計

特別講演 「甲状腺腫瘍性疾患について」 藤枝市立総合病院 横山日出太郎 先生

第49回超音波部会研修会 平成22年6月19日 藤枝市立総合病院 37名参加

メーカー発表 「超音波画像の最新技術」 東芝メディカルシステムズ(株)

「Ultrasound LOGIQ E9の臨床応用」 GEヘルスケア・ジャパン (株)

症例報告 「腹部疾患の一症例」 富士宮市立病院 玉田 宏一

 「腫瘤形成性白血病の一例」
 市立島田市民病院
 福島 知之

 「腹部疾患の一例」
 菊川市立総合病院
 中山 謙

会員発表 「固体物の超音波像」 掛川市立総合病院 天野 守計

「広げよう超音波検査」 藤枝市立総合病院 秋山 敏一

第50回超音波部会研修会 平成22年10月16日 静岡県産業経済会館 32名参加

メーカー発表 「整形領域の超音波検査」 アロカ (株)

「超音波診断用造影剤ソナゾイドについて」 第一三共(株)

症例報告 「多発性膵腫瘍の一例」 富士市立中央病院 澤口 信孝

「黄食肉芽種性胆嚢炎が疑われた一例」 藤枝市立総合病院 北川 敬康 「総胆管破裂をきたした小児症例」 掛川市立総合病院 春田 孝博

特別講演 「乳腺疾患の超音波Flow Imaging」 東京慈恵会医科大学 宮本幸雄先生

第51回超音波部会(乳腺画像部会と合同開催)平成23年2月26日 聖隷三方原病院 53名参加

メーカー発表 「Real-time Tissue Elastographyの発展」 (株)日立メディコ

「マンモトーム生検について」 (株)ジョンソン&ジョンソン

会員発表 「乳腺超音波読影の基礎」 富士市立中央病院 神田 直樹

「マンモグラフィーの基礎」 掛川市立総合病院 天野 守計 「超音波部会提示」 富士宮市立病院 玉田 宏一

「乳腺画像部会提示」 掛川市立総合病院 松浦久美子

特別講演 「ブレストイメージングの総合理解」 静岡がんセンター 植松孝悦先生

第52回超音波部会(第1回静岡県放射線技師会 五部会合同研修会)平成23年6月25日 静岡済生会総合病院

超音波部会講演 「超音波の新技術 Ascendus とエラストグラフィー」 (株) 日立メディコ

第53回超音波部会(MRI部会と合同開催)平成23年10月15日 静岡県立総合病院 46名参加

メーカー発表 「最新Aplioの新技術のご紹介」 東芝メディカルシステムズ(株)

会員発表 「当院における下肢血管の基本的な検査方法」富士市立中央病院 遠藤 佳秀 症例報告 「膵臓の高エコー腫瘤の一例」 富士宮市立病院 玉田 宏一 「肝内胆管拡張を伴う肝腫瘤性病変の一例」 静岡市立清水病院 山本 彰彦

「肝腫瘤の一例」 菊川市立総合病院 落合 輝幸

特別講演 「避難所で実践する下肢静脈超音波検査」 関西電力病院 佐藤 洋先生

第54回超音波部会研修会 平成24年2月19日 静岡済生会総合病院 25名参加

メーカー発表 「GE Ultrasound 最新技術に関して」 GEヘルスケア・ジャパン(株)

症例報告 「小腸GISTの一例」 富士市立中央病院 澤口 信孝

「FNHの一例」 静岡済生会総合病院 奥川 令

「高齢で発症したシェーンライン ヘノッホ紫斑病に一例」 浜松南病院 中村 元哉

症例報告

会員発表 「ライブデモ・「消化管の系統的走査方法」 藤枝市立総合病院 林 健太郎 特別講演 「消化器疾患の臨床検査」 藤枝市立総合病院 丸山 保彦先生

第55回超音波部会研修会 平成24年6月16日 静岡済生会総合病院 25名参加 メーカー発表 「最新の超音波診断装置の動向」 (株)日立アロカメディカル

症例報告 西部:榛葉豊 中部:宿島久志 東部:玉田宏一(各1症例)

会員発表 「肝臓のMRの基本と症例」 菊川市立総合病院 高橋 洋一

「始めよう超音波検査 腹部・体表から心臓・血管まで」藤枝市立総合病院 秋山 敏一

第56回超音波部会研修会 平成24年10月13日 静岡県放射線技師会事務所 27名参加

メーカー発表 「最新の超音波診断装置の動向」 富士フィルムメディカル(株)

特別講演 「腎血管性高血圧症における超音波検査について」 静岡市立静岡病院 杉山 弥生先生

症例発表会 「救急外来で指摘された free air の一例」 菊川市立総合病院 鴨川 真也

「膵動静脈奇形の一例」 島田市民病院 廣澤 和美

 「O-157 の症例」
 富士宮市立病院
 玉田 宏一

 「胃GISTの症例」
 富士宮市立病院
 利 旭央

「IgG4関連自己免疫性膵炎の一例」 藤枝市立総合病院 平井 和代

「診断に苦慮した乳腺腫瘍の一例」 富士市立中央病院 神田 直樹 「偶然発見された巨大な後腹膜腫瘤」 掛川市立病院 春田 孝博

「人間ドックが有用であった無症候性胆嚢癌の1例」 社会保険桜ヶ丘病院 小野 翔

「福島県の超音波検査による小児甲状腺スクリーニングの報告」

静岡済生会総合病院 奥川 令

第57回超音波部会(合同部会研修会)平成25年1月26日 静岡県立総合病院 44名参加

メーカー講演 「MR対応のペースメーカについて」 メドトロニック(株)

「乳腺腫瘍における造影超音波検査について」 第一三共(株)

「MR エラストグラフィーについて」 GEヘルスケア・ジャパン(株)

症例の読影 乳腺疾患症例検討(展示症例の解説) 浜松医科大学 那須 初子先生



# 【MRI 部会】

MRI部会は、平成7年より各地区から選出された委員により構成され、同年7月に第1回MRI部会研修会が開催の運びとなった。また部会を構成する委員は若手の技師を中心に大変熱心にその運営に取り組み、後2年で4回のMRI部会研修会を開催した。

以下に平成9年よりMRI部会長とその折開催されたMRI部会研修会について振り返る。

平成9年よりMRI部会長として取り組まれた、慶応大学月ヶ瀬リハビリテーション病院 石井 博会員は平成9年9月7日第6回MRI部会研修会を主催し、また会員発表として「腹部における高速撮像」や「MRCPについて」の企画を行った。

特別講演としては慶應義塾大学病放射線診断部 百島 祐貴 先生による「最近の超高速撮像法EPIの臨床応用への可能性」を演題とする講演をいただいた。

当時はまだまだ馴染みの少ない内容でもあったが、将来のMR検査として脳機能、MRCP等における臨床への有効性および発展を期待されるものであった。

平成10年4月から平成12年3月については、聖隷浜松病院 石津 文夫 会員が部会長を務め、以下にその折に開催されたMRI部会研修会について振り返る。

この時期はMRIにおいて技術革新が目覚ましく、放射線技師がこの進歩についていくことに不安を感じるほどであった。

平成10年10月3日 第7回MRI部会研修会では「神経系MRIはどこまでわかるか」をテーマに開催され、学術講演として 聖隷浜松病院放射線科 伊藤 龍彦 先生にご講演いただいた。

この際、【主に「何が見えるのか?」ではなく「何を見ようとするのか?」によって撮像方向もシーケンスも変わってくる。大切なのは検査を行う技師が、何を目的に検査をしているのかをしっかりと把握することである。】というご指摘をいただいた。

また、この部会研修会当時には、前部会委員の作成した、MRIテクニカルテキストの配布がなされた。

平成11年3月20日 第8回MRI部会研修会学術講演では、熊本大学医学部放射線医学教室助教授 興梠 征典 先生から「神経放射線における正常解剖と異常所見」というテーマでご講演いただいた。

講演後の画像検討会では興梠 征典 先生にもご参加いただき、頭部の画像を中心に他施設ではどうなのか?他にもっと有効な撮像方があるのか?など大変盛況な会となりました。

平成11年9月18日 第9回MRI部会研修会が開催された。

学術講演では浜松医科大学放射線医学教室 磯貝 聡 先生から「胆、膵のMRI」というテーマでご講演いただきました。胆道病変にはMRI検査は大変有効なのだが、CT,血管撮影,USにここだけは敵わないという点などを詳しくお聞きしました。

現在のMRI検査の位置付けは、①US ②CT ③ERCP④MRIの順番ですが、近い将来③ERCPと④MRIが逆転するだろう。 それには呼吸運動によるアーチファクトを克服するために呼吸同期やRESP COMPを使用し鮮明な画像を提供する必要があるということでした。

パネルディカッションでは「ルーチンワーク・上腹部のMRIについて」という演題で座長を聖隷三方原病院 天野会員にお願いし、パネラーは焼津市立病院 村松会員、聖隷三方原病院 栗田会員、順天堂伊豆長岡病院 大和田会員に肝、胆、膵を中心に発表していただきました。平成9年当時ではまだまだ発展途上であったMRCPの検査が3DTSE法で撮像され始め、ERCPに比べ、非侵襲的なMRCPはますます発展していく分野だと考えられた。

平成12年2月5日 第10回MRI部会研修会が、「MRA」をテーマに開催された。

学術講演には、浜松医科大学放射線科 礒田 治夫 先生を招き「頭部造影MRAについて」ご講演いただいた。 会員からは「当院のMRA」と題し発表していただきました。 平成12年4月から平成14年3月の2年は、聖隷三方原病院 天野 智康 会員が部会長を務め、以下にその折に開催された MRI部会研修会について振り返る。

MRI部会発足以来、定期研修会の運営、自作テキストの発刊等、着実な成果をあげており、天野部会長のおりには、部会役員によるMRI基礎講座を定期部会研修会で行う運びとなった。

平成12年9月30日 第11回MRI部会研修会が、「頭部領域における拡散強調画像の有用性」をテーマに開催され、特別 講演ではもうすっかりおなじみとなった聖隷浜松病院放射線科 伊藤 龍彦 先生より「誰でもわかる拡散強調画像」と 言うタイトルでご講演をいただきました。

伊藤先生にはフレンドリーな口調で、拡散強調画像は何を見ているのか、どのような症例に有効なのか、難しい理論を抜きにしてお話していただき、最後に拡散強調画像をルーチンに加えてほしいと言うところで話を終えられました。またMRI基礎講座では静岡県立総合病院 渥美 希義 部会員により「FSEとは」と言うタイトルで話をしていただきました。

平成13年3月24日 第12回MRI部会研修会が「最新のMRI装置の動向」というテーマで開催されました。

MRI基礎講座では聖隷予防検診センター 伊藤 和彦 会員より「アーチファクトについて」と題した講演においてMRI 撮像における様々なアーチファクトをその原因と主な画像上の特徴、さらには対処方法まで丁寧に説明していただきました。

平成13年6月30日には、浜松のプレスタワーにおいて、「頭部領域におけるMRA,DSA,CTA」と題して、アンギオ部会との初の合同部会が開催されました。

特別講演として浜松医科大学放射線医学教室 磯貝 聡 先生による「頭部領域におけるultra fast MRA」のご講演があり、MRAの弱点である撮像時間が長いことや血流によるアーチファクト(乱流・渦流による偽狭窄)をカバーするために造影MRAが有効であることが話された。しかし造影MRAにも欠点(造影剤による副作用・撮像タイミングがむずかしい・ダイナミックの手技がむずかしい等)があり、造影MRAと非造影MRAの使い分けが重要であることについても同時に指摘された。

平成13年9月1日 第13回MRI部会研修会が開催された。

今までは、神経領域を中心に、時折、腹部領域をテーマに開催されていたがこの年、初めて「婦人科領域のMRI」をテーマに開催された。

特別講演として浜松医科大学放射線科 小平 奈美 先生による「婦人科領域のMRI・・・鑑別診断のために」と題してご講演して頂いた。

またMRI部会員による基礎講座「脂肪抑制について」も行われた。

平成14年3月30日 第14回MRI部会研修会が、「最先端のMRI」と題して開催された。MRI部会員による基礎講座は「MRAについて」最先端技術として、フィリップスメディカルシステムズ株式会社による「最新MRの臨床応用」と題してご講演をいただいた。

最先端技術は、SENSEとBlancedFFEの技術的な説明とその臨床応用・利点について講演していただき、2D、3DにおけるSENSE factorと撮像時間の関係について詳細な説明を受けた。

平成14年4月から平成16年3月は、焼津市立総合病院 村松 晴幸 会員が部会長を務めた。

研修会は前任から趣向を変えビギナーズとエキスパートの二部構成となり、また、他モダリティを含めた研修会となり ました。

平成14年9月28日 第15回MRI部会研修会では、特別講演として聖隷浜松病院 脳神経外科 田中 篤太郎 先生による「救急時頭部検査におけるモダリティーの選択と役割」についてご講演いただきました。

緊急時検査にCTとMRIどちらを選択していくべきかについて症例ごとに特徴をお話しいただき、またCTについては今後MDCTの普及が予想され今まで以上に高速化により一層重要性も増してくると考えられた。

基礎講座ではシーメンス旭メディテック(株)MRグループによる「S/N」についての講演をいただいた。



平成15年2月15日 第16回MRI部会研修会では、基礎講座は「MRIの安全性」と題して東芝メディカル株式会社、講演は「乳腺画像(マンモグラフィー・超音波・MRI)」と題して袋井市立袋井市民病院 天野 「宜委 氏より講演をいただきました。

乳腺の組織学的構造や分類をはじめマンモグラフィー、超音波、MRI画像における読影についてわかりやい解説を受け、乳腺腫瘍の画像診断において腫瘤の正しい鑑別の必要性、またそのためには病変の画像からみた鑑別事項が重要であり、また多彩な乳腺腫瘍の種類や組織型分類を正しく知っておく必要がある事を強く認識した。

平成15年9月20日第17回MRI部会研修会では、基礎講座は「work stationについて」ということで、ソフトの紹介及び 実体験が行われた。その後の講演では、CTA vs MRAと題して講演が行われた。

平成16年4月から平成18年3月についても、前任の焼津市立総合病院 村松 晴幸 会員が部会長を引き続き行うこととなった。

平成16年7月17日 第19回MRI部会研修会では、基礎講座として「各シーケンスの基礎(タイミングチャートと特徴)」と題してGE横河メディカルシステム株式会社及び「マルチスライスCTの基礎」と題して、東芝メディカル株式会社より講演が行われた。また、会員発表としては、第17回に引き続きCTAとMRAをテーマにして、行われた。

平成16年11月20日 第20回MRI部会研修会では、基礎講座としてMRIでは、シーメンスジャパン株式会社、CTではGE横河メディカルシステム株式会社より最新の話題を提供して頂きました。

また、会員発表では、「心臓」をテーマにして、CTとMRIについて発表して頂いた。CTに関しては、被ばく量が多い点、MRIに関しては、検査時間が非常に長くなってしまうことが問題として提起されました。

平成17年3月19日 第21回MRI部会研修会では、基礎講座として、「拡散強調画像の基礎と応用」フィリップスメディカル株式会社より講演が行われた。

その後特別講演として、横浜共済病院 高橋 光幸 先生より「全身の拡散強調画像」についてご講演頂いた。

平成17年7月23日 第22回MRI部会研修会では、メーカ講演として「Open型超伝導MRIのファーストステップ」と題して、フィリップスメディカル株式会社、「Open MRIについて」と題して、日立メディコより講演が行われた。

基礎講座としては、「アーチファクトとその対策方法について」と題して、CTでは東芝メディカルシステムズ、MRI では、シーメンス旭メディテック株式会社より講演が行われた。

平成18年2月13日 第23回MRI部会研修会では、「耳鼻科領域」をテーマとして、教育講演では、「耳鼻科領域の画像 診断」と題して、静岡市立清水病院 放射線科 塚本 浩 先生にご講演頂いた。

頸部領域を専門とする放射線科医は全国でも少ないこと、脳外科、耳鼻科、口腔外科、外科、呼吸器科と担当科が多岐にわたる領域であることなど非常に解剖が複雑で難しい臓器であること等をユーモラスにわかりやすく、実務に沿った形でご講演頂いた。

平成18年4月から平成20年3月は、市立島田市民病院 畑 利浩 会員が部会長を務め、その折に開催されたMRI部会研修会について振り返る。

平成18年9月9日 第24回MRI部会研修会が「肝臓」をテーマに開催された。

教育講演では、市立島田市民病院消化器科科長 森下 宗自 先生に「MRI検査と肝臓疾患」についてご講演をいただきました。

胆石症の診断に関しては、腹腔鏡下胆摘術の術前評価として胆嚢癌の合併の除外診断を造影 C T で行い、総胆管結石の有無をMR C P で評価するのが一般的になりつつあるとのことでした。

平成19年2月17日 第25回MRI部会研修会が開催された。

教育講演は静岡県立総合病院整形外科 松岡 秀明 先生による「手の外科 各種疾患の画像所見とその治療法」であった。基礎編では、まず『関節のMRIを見ればその施設の力量が判る。特に肩、肘、手は難しい』との大変厳しいお話しがあった。

続いてフェイズド・アレイコイル、マイクロスコピーコイル、四肢専用コイルの使い分け、ポジショニング、スライス面の設定方法、撮像プロトコールについてのご講演をいただいた。基礎講座はシーメンス旭メディテック 松本 賢司 先生から「Parallel Imagingの基礎」について講演いただいた。

内容として、現在使用されているParallel Imaging法では(画像領域において補正を行うSENSE、mSENSE)と(k-space での補正が行われるGRAPPA、SMASH)に大別される。

両者にはアーチファクトやリファレンスラインの違いがあるとの事、またParallel Imagingの利点として撮像時間の短縮以外にモーションアーチファクトの軽減、コントラストの向上、SARの軽減、拡散強調画像の歪みの軽減、HASTEのT2ブルーミングの軽減等々があるとの事であった。

平成19年9月8日 第26回MRI部会研修会が「女性骨盤領域」に焦点をあて開催された。

教育講演は、静岡赤十字病院産婦人科副部長 根本 泰子 先生にご講演いただきました。

MRI画像において産婦人科医はどんなところに着目し、どのような治療に結びつけていくのかなど、臨床医ならではのお話が聞けました。また、普段あまり見ることのない摘出標本のカラー写真等もご呈示いただけた。基礎講座は、G E 横河メディカル(株) 梅原 一浩 先生 に「M R I の基礎」として、緩和過程からコントラストの成り立ち、パルスチャート、k-spaceといった正に「基礎」的なご講演をいただきました。

平成20年2月9日 第27回MRI部会研修会が開催された。

本会は平成13年に合同部会が開催されて以来のアンギオ部会との合同開催となった。

特別講演は東京慈恵会医科大学放射線医学講座准教授 尾尻 博也 先生をお招きして、頭頚部領域のMRI検査についてのご講演をいただきました。

先生は「副鼻腔疾患の画像診断ガイドライン」の作成にも携わっておられるこの領域の専門家であります。

まず先生のお話では「頭頚部領域の画像診断の基本はCT」であるとのことでした。ただ、腫瘍の浸潤範囲の同定などにはMRIが威力を発揮し、腫瘍と二次性変化との判別や疾患によっては予後の判別ができるなど、様々な症例を提示されながら分かりやすく解説していただきました。

MRIの最新トピックスの講演は、フィリップスエレクトロニクスジャパン(株) 廣瀬 加代子 先生から、血管・循環器 領域を中心としたご講演をいただきました。高速撮像シーケンスの進歩に伴いより早くより広範囲の撮像が可能となっていること、非造影MRA撮像技術の紹介、Black Blood法でのプラークの性状評価によるリスクの予測、最近盛んになりつつある心臓MRI、Coronary MRAの紹介等のお話をいただきました。

平成20年4月から平成22年3月についても前任の市立島田市民病院 畑 利浩 会員が部会長を引き続き行うこととなった。

平成20年9月20日 第28回MRI部会研修会が開催された。

テーマは「脳血管障害」ということで、拡散強調画像の基礎、頭部における撮像シーケンスの詳細、緊急時の対応についての講演となった。教育講演として、浜松医科大学放射線科 准教授 磯田 治夫 先生より脳血管障害の診断についての講演をしていただきました。

磯田先生からは、動脈瘤はどのようにして出来るのか、どのような動脈瘤が破裂しやすいのかを、血液の流れや血管壁と血液の摩擦力などで詳しく教えていただきました。また、血液の流れを一定の時間間隔ごとにベクトルで表示することにより、より詳しく動脈瘤内での血液の流れの様子を知ることができました。

近い将来は血液の流れをベクトルで診断する時代が来るかもしれないと予感さえ抱きました。シーメンス旭メディック株式会社様には拡散強調画像を撮像するにあたって、どのようなパラメーターに注意して撮像したら良いのかなどを、詳しく講演していただきました。



平成21年2月21日 第29回MRI部会研修会が、「肝臓」をテーマに開催された。

1年前に肝細胞特異性造影剤Gd-EOB-DTPA プリモビストがバイエル薬品株式会社より発売され、肝細胞がんをより早期に、正確に診断可能になると非常に期待されました。

教育講演では、「肝腫瘍の画像診断」と題して、聖隷三方原病院 放射線科医長 高橋 護 先生にご講演頂いた。 様々な症例を提示されながら、脂肪肝や肝硬変、各病変の見え方、撮影方法などわかりやすく解説頂きました。

また、ダイナミック造影に加えて肝機能の有無が評価できるプリモビストによって、CTやダイナミック造影相だけでは検出されず、肝細胞造影相で検出された小病変がある症例もご呈示頂きました。

平成21年9月21日 第30回MRI部会研修会が、「非造影MRA」をテーマに開催された。

教育講演として、県西部浜松医療センター画像診断科医長 長谷川 進一 先生より腎動脈を中心としたご講演を頂きました。

腎動脈はノーマルバリアントが豊富で分岐する場所も一定ではないので、腎動脈近傍のみではなく肝臓から腎臓が十分 含まれる範囲での撮像の必要があるとのことでした。

基礎講座として、東芝メディカル株式会社より、現在の非造影MRAで欠かせないと思われる定常状態での撮像の原理、また、東芝独自の技術についてお話しされました。

平成22年2月13日 第31回MRI部会研修会が「心臓」をテーマに、アンギオ部会と合同で開催された。

このころからはMRI部会研修会の参加人数が徐々に減少し、最盛期では100名超える参加人数であったが、この年になると30名程度の参加人数となってしまったこともあり、他部会との合同研修会の開催が増加した。

MRI部会では、特別講演として三重大学の佐久間 肇 先生に心臓MRIおよび冠動脈MRAについてのご講演を頂きました。ご講演では、疾患ごとに必要とされる画像が異なる点や読影に際しての注意点等について画像を交えて丁寧に解説していただきました。

撮像技術の点では、TI時間の設定の重要性を強調されておりました。フィリップス社MRI装置はLook Locker法により 比較的簡便に時間設定が可能ですが、時間の経過と共に最適なTI時間も徐々に変化していくので迅速さも求められるよ うです。「迷ったら長めに設定を」と助言いただきました。

また、島田市民病院より心臓MRI(フィリップス社製1.5T MRI装置、5ch心臓コイルを使用)についての報告がなされた。検査の流れとしては位置決め、血液抑制T2強調像、負荷および安静心筋perfusion、シネ画像、遅延造影画像等を撮像し約50分程度の時間を要するとのことであった。

平成22年4月から平成24年3月は、掛川市立総合病院 荒木 重雄 会員が部会長を務め、その折に開催されたMRI部会研修会について振り返る。

平成22年9月18日 第32回MRI部会研修会が、「乳腺領域」をテーマとして開催された。

教育講演として、浜松医科大学 放射線医学教室 那須 初子 先生に乳腺MRIの撮像法、読影法、臨床症例についてご 講演頂きました。撮像法として、主に浜松医科大学でのシーケンスを紹介して頂きました。

乳癌の画像診断は、MMG、USMRI、臨床診断、病理診断各々が補い合ってよい診断に結び付けていくことが重要であるということでした。

平成23年2月12日 第33回MRI部会研修会が、「頚部血管」をテーマに、アンギオ部会と合同で開催された。

特別講演として、袋井市立袋井市民病院脳神経外科部長 市橋 鋭一 先生に「CAS~最新の脳血管内治療の現状~」をご講演頂きました。2008年より「経皮的頸動脈ステント留置術(CAS)」は、「頸動脈内膜剥離術(CEA)」と比べて侵襲性が少なく、

また、術後の合併症も少ないことから非常に期待される治療法であり、CASを行う場合の事前情報に画像診断が重要な役割をしていることをご講演して頂きました。

また、基礎講演としては、フィリップスエレクトロニクスジャパンより「頭頚部MRI撮像・最新技術」に関する講義をして頂きました。3TMRIの普及に示されるように、MRIには高磁場による「高速化・高信号化」が求められています。その恩恵を受ける検査として造影剤を用いず脳の血流動態を評価する方法であるASL法があります。造影剤を使用しないということで非侵襲であり、リーズナブルな検査となります。

平成23年10月15日 第34回MRI部会研修会は、「下肢血管」をテーマに、超音波部会と合同で開催されました。

合同部会ながら2部構成とし、はじめに超音波部会。後にMR部会が行うといった形式でした。後半のMR部会のセッションでは、基礎講演として、GEへルスケアジャパン株式会社 寺島 健一 先生、シーメンスジャパン株式会社 新 俊幸 先生により非造影、造影MRA並びに血流動態等についてのトピックスについて講演していただきました。

ダイナミックスキャンにおいて空間分解能の低下なしに時間分解能を高める技術で、K空間の特定を考えてコントラストに大きく寄与するK空間の中心部分のデータのみ連続収集して、鮮鋭度に寄与する高周波部分は一度だけreferenceとして収集して画像を構成する技術について詳細に説明されました。

平成24年2月18日 第35回MRI部会研修会は、「各施設におけるMRI検査の安全対策」をテーマに、開催されました。 メーカー講演としてGEへルスケアジャパン株式会社より、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の発生後の病院の状況、特にMRI装置についてどのような状況であったかをお話頂き、またその状況に応じての対策や今後震災に対してどのように対処していけばよいか説明していただきました。

また、会員発表においても各施設から安全対策の現状について詳しく説明がされました。

平成24年4月からは、静岡県立総合病院 大川剛史 会員が部会長を務めさせていただきました。

平成24年10月13日 第36回MRI部会研修会が、「頭頚部領域」をテーマに開催されました。

教育講演では、静岡市立静岡病院 耳鼻咽喉科科長であります池上 聰 先生より「頭頚部がんについて」御講演頂きました。

頭頚部がんは、全癌の約5%、甲状腺がんは1%強という稀な癌ということになります。頭頚部がんの特徴としては、甲状腺がんを除くと90%以上が扁平上皮癌であることや、異時性、同時性に重複がんが発見されることが多いと言われているそうです。

頭頚部がんの治療に影響を与える因子としては、深達度、T分類(腫瘍の大きさ)、N分類(リンパ節)であり、CT・MRIによる画像診断が非常に有用であるということです。臨床医としての意見で、先ず軸位断にてスクリーニングを行い、局所を3mm以下のスライスで撮像。その後、舌癌などの外舌筋への浸潤、副鼻腔癌などの頭蓋底への浸潤、喉頭、下咽頭などの甲状軟骨浸潤には冠状断を、下咽頭、喉頭癌等の椎前隙への浸潤や副鼻腔などの頭蓋底への浸潤には矢状断の撮影を追加していく方法を提案するということでした。頭頚部がんでは、原発部位が判明している場合に、MR撮像を依頼する事がほとんどである為、原発部位の深達度や、T分類に関係する特定組織への浸潤が明らかになるような撮像を求めているということでした。

平成25年1月26日 第37回MRI部会研修会が、乳腺領域をテーマにし、「超音波部会、乳腺部会」と合同部会を開催されました。

MRI部会としては、初の症例検討会をメインとした研修会となった。各症例ごと、浜松医科大学 放射線医学教室 那 須 初子 先生に解説をして頂き、超音波、マンモモグラフィ、MRIの読影について講演していただきました。それ ぞれ、診断の為の樹形図を提示して下さました。マンモグラフィについては、技師の視点に立って頂き、撮像条件やポ ジショニング技術についてまで解説して下さりました。

超音波については、乳腺疾患の診断基準に基づいて腫瘤形成性病変と非腫瘤形成性病変に分けて説明していただきました。また、乳腺MRIにおいては、近年よく使用されているBI-RADSを元に読影方法を説明して頂きました。乳腺MRIにおいてのピットフォールとして、乳腺が濃染してしまうことがあり、感度が落ちることがあることには注意が必要とのことでした。

平成25年9月14日 第38回MRI部会研修会が「関節領域」をテーマに開催されました。

教育講演では、静岡市立静岡病院 放射線科 米山 優実 先生より「膝関節MRIについて」ご講演頂きました。ポジショニングから臨床所見についてまで、詳細に説明して頂きました。機器メーカ講演では、シーメンス・ジャパン株式会社 諸井 貴 先生に「3D撮影技術について~原理からアーチファクトまで~」について御講演頂きました。参考として、様々画像を紹介して頂きました。



SPACE法においては、T1WI,T2WI,FLAIR法の様々なコントラストを3Dで撮像できることに特徴があり、全身MRIや脊髄MRIで、撮像後、isovoxelで撮像してあることから、MPR処理ができるという特徴があり、非常に有用であるということでした。

50年記念誌が作成されてからのこの15年間において、MRIはソフト、ハード供に革新的な進歩を遂げました。

当初は、神経領域をテーマにした開催が非常に多かったが現在では、腹部、血管、心臓、乳腺といった以前では撮像しても情報をあまり得られなかった領域をテーマにした研修会の開催が多くなっている。

特にこのテーマの変遷について寄与したものとして、MRI部会研修会では平成14年に紹介されたSENSEという新たな技術による撮像時間の高速化が大きなものだったと考えられる。

また、この15年の過程で、MRI装置の高磁場化も進み、平成10年当初は、まだ、1.0Tでも十分高磁場であったが、現在では、3TMRIが広く普及して来ている。この高磁場化・高速化に加え、体動補正技術の進歩、K空間充填方法の進歩により今後もシーケンスの開発がなされ、さらに技術革新が行われていくことは確実である。

このような中、MRI部会としては、研修会において、常に、最新の話題を提供し、日々の診療の役に立つ情報を提供し 続ける義務があると考える。

# 【事務所検討委員会】

平成13年度メンバー

山本 満(委員長)、宮本 唯男、奥川 令、東山 誠三、中津川大三、佐藤 信之、伊藤 雅夫、途中宮本から吉村 正巳の交代

# 第1回事務所検討委員会報告

#### <趣旨説明>

前常任理事会からの引継検討事項の中に、事務所の問題がありました。今の事務所は築22年で老朽化していると共に、何かと手狭で技師会活動に支障を来しており、また駐車場がない等の理由で検討していただきたいとのことでした。

理事会において、技師会事務所検討委員会の設置が承認されましたので平成13年7月19日、技師会事務所にて、 第1回検討委員会を開催した。

第1回目は事務所を設置された時の会長、小林名誉会員にどのようにして事務所を設置したかを話していただきました。

「昭和23年、技師会が設立され30年以上に渡って技師会会長の勤務施設に事務所を設置し、そこに勤務されている技師の皆さんに多大な事務処理をお願いして来ましたが、それではいけないと言うことで、昭和55年、篠原氏宅をお借りして事務所にしました。しかし、いつまでも個人の自宅をお借りできないので、技師会独自の事務所を持とうと言うことになり、事務所設置委員会を作り検討した結果、会員から24,000円を募金していただくとともに、施設や一般からの寄付で昭和62年、待望の事務所を持つことができました。また、法人格取得のためには事務所保有が必要条件であり、自分の田畑を売ってでも技師会事務所を作ろうと思いました」とのことでした。

宮本名誉会員は「私にはそんな財産はないが、小林会長がそこまでやろうとしているので必死でやり、事務所を購入しました」とのことでした。

### <今後、技師会事務所をどうするか?>

①このまま今の施設を使用する

古い、理事会を開催するぐらいのスペースが欲しいだけでは会員は納得しないのではないか。技師会への思い入れが気薄化している中での募金は難しいのではないか。反対に募金集めをすることで会員が技師会を辞めていくのではないか等の意見があった。

## ②新しい場所に移転する

常任理事会の11名が座るにも窮屈であり、資料などを保管する場所もない。水道管などの老朽化が激しい。駐車場が無い。せっかくの財産をなくす訳にはいかない等の意見があった。賃貸については、今の年間予算ではやっていけないので会費値上げになる。それよりは新規購入した方が良い。

# 事務所設立推進委員会

平成14,15年度メンバー

山本 満(委員長)、吉村 正巳、四方 健一、奥川 令、東山 誠三、中津川大三、深澤 英史、佐藤 信之、 杉村 俊樹、伊藤 雅夫、日下部行宏

事務所に関するアンケート調査結果報告書

平成15年1月31日 集計

会員総数 (平成14年12月6日現在) 897名 アンケートハガキ回収枚数 312枚

回収率 34.8%



#### 設問1 あなたの年齢は?

A:20代67名 (21.5%)B:30代107名 (34.3%)C:40代79名 (25.3%)D:50代50名 (16.0%)E:60代以上11名 (3.5%)

## 設問2 あなたの所属している地区は?

A:東部72名(23.1%)B:中部153名(49.0%)C:西部91名(29.2%)

## 設問3 あなたは技師会事務所へ行ったことが

A:ある 143名(45.8%) B:ない 179名(57.4%)

## 設問4

設問3で A 技師会事務所へ行ったことがあるを選んだ方(複数選択可) その時の事務所の印象は?

①: a 新しい建物 3名 (0.96%) b ちょっと古い建物 181名 (58.0%) c 古い建物 56名 (17.9%)

②: a 分かりにくい場所にある 106名 (34.0%) b 分かりやすい場所にある 30名 (9.6%)

③: a 狭い102名(32.7%)b ちょうど良い広さ10名(3.2%)c 広い0名(0.0%)

④: a 内装がしっかりしている 3 4名(10.9%)b 壁のヒビや錆が目立つ 9 5名(30.4%)

⑤: a 立地条件は良い60名(19.2%)b 交通の便が悪い44名(14.1%)

⑥:a 物品が整理されている 36名(11.5%)b 物品が散らかっている 92名(29.5%)

# 設問3で B を選んだ方

⑦: 事務所に

a 行ってみたい 58名 (18.6%) b 興味ない 199名 (38.1%)

設問 5 事務所検討委員会が答申した件で、事務所の建物が地震対策されていない、老朽化してきた事、スペースが狭い等で事務所の建物に問題があることについて

A:理解できる B:理解できない 276名 (88.5%) 30名 (9.6%) 設問6 将来的には新たに事務所の移転、改築等について考えるべきだと

A:思う 262名 (84.0%) B:思わない 49名 (15.7%)

設問7 上記の問題について解決策として。新たな資金が必要なことが

A:理解できる225名(72.1%)B:理解できない85名(27.2%)

設問8 将来事務所を新たに構えるとして、購入するか?賃貸にするか?

A:購入する(3000万円位の物件) 176名(56.4%) B:賃貸にする(20万/月の賃貸料で3000円値上げ)101名(32.4%)

設問9 事務所を購入するとした時の資金の集め方は?

A:毎年一定額集め積み立てをする 154名(49.4%) B:購入時に必要な金額だけ一括で集める 35名(11.2%) C:設問8で賃貸を記した 87名(27.9%)

事務所アンケート調査に寄せられた意見・希望

- 3000万円の物件は高すぎる。静岡市街から離れても良いのではないでしょうか。 少し離れると2000万円でも良い物件があると思われます。ご検討下さい。
- もっと安い物件を探して。
- 県に場所を貸してもらったら。
- 月に5~6万で借りられないのか。
- 会費の値上げは個人的に厳しい。
- 会費値上げ反対、現状の会費内でうまく運営して欲しい。
- 賃貸料20万円は高すぎる。もっと地方にしたらどうですか。
- このご時世もっとお金がかからないように考えましょう。地方に移すとか。
- 静岡周辺でなくとも良いのではないか。
- アンケートの取り方がおかしい。購入させようとするアンケートだ。
- 月々20万くらいの賃貸料というのは誰が決めたのか。集め方を決める段階ではない。
- 静岡市にこだわらなくともいいのでは。
- 静岡市にこだわらず、掛川・富士なども検討してみたらいかがでしょうか。
- 事務所を購入しなくて良い。会費の値上げはしないで欲しい。
- 事務所は現状のままで良いと思う。



#### 平成16,17年度メンバー

伊藤 雅夫(委員長)、笠原 典彦、庄 也寸志、松嶋 俊光、遠藤 正利、北野 光浩 25回通常総会にて事務所購入のため会費 2,000円値上げ、その特別基金を事務所購入資金として蓄え、10年後をめどに新事務所を購入することが決定された。

平成18,19年度メンバー

伊藤 雅夫(委員長)、奥川 令、金刺 明男、庄 也寸志、井出 宣孝、市川 和秀、原田 晴二 物件条件

- 1. 新築であること
- 2. 広さは70平方メーター以上
- 3. 静岡駅から徒歩20分以内
- 4. 価格は3,000万円程度

の4項目を満たすものとし、不動産を通じ物件探しを行う。

また、資金不足が発生する場合の融資の可能性も検討を行う。

4条件を満たす物件が見つかり、常任理事会へ上申する運びとなる。

#### 平成20.21年度メンバー

奥川 令(委員長)、篠田 雅弘、平田 哲生、丹羽 潤児、金刺 明男、安藤 文明、伊藤 雅夫、山本 英雄

\*21年度より金刺 明男氏が委員長となる。

## 第34回 通常総会にて 事務所購入手順案の承認を得る

事務所設立委員会にて検討し、2/3以上の賛成をもって承認された物件を、

常任理事会で再検討し、2/3以上の賛成をもって承認し、県技師会長が最終決定する。

(否決:37 賛成:460 保留:6)

上記決定を受け、物件(2200万円)を検討したところ、事務所設立委員では賛成、

常任理事会では、2/3以上の賛同を得られなかった。

理由としては、資金不足により借入金が発生することでした。

## 平成22年3月10日(平成21年度第2回事務所設立推進委員会)

①新物件について検討

フェリス本通の物件がまだ残っている。1,800万円に下がっている。他物件を見たが適当な物件はなかった。手持ち資金で購入可能と判断する。

②事務所設立資金について確認

積立金は、2,000万円余りになっており充分購入できると判断する。

③新物件に対する委員会採決

賛成4、反対2、保留1となり、購入の旨を伝え常任理事にメールアンケートを実施する。

④今回の話が決着するまでは金刺氏が引き継ぐこととなった。

平成22年4月14日(平成21年度第3回事務所設立推進委員会)

①常任理事会結果報告

常任理事アンケート結果報告 賛成11 反対0 であった。 3月25日の常任理事会において「フェリス本通」購入の承認がされた。

②物件内容の詳細確認

第一不動産より計算書の説明がされた。

### 事務所購入までの経緯

平成22年4月17日 第1回 理事会(理事会で承認)

平成22年5月12日 新事務所説明会(歴代委員長+委員)

平成22年5月20日 常任理事会 (最終報告)

平成22年5月26日 売買契約 (金刺、田中、山本立会い) 平成22年8月25日 決済 (金刺、田中、山本立会い)

平成22年8月28日 第2回 理事会報告

# 平成22,23年度メンバー

山本英雄(委員長)、丹羽潤児、滝口昇吾、大木義彦、窪野久行、菊地直樹、田中睦月

委員会名称変更「事務所運営委員会」 平成22年8月28日 理事会承認 新事務所を購入しました。

7月のジャーナルと同封の速報版にて報告した物件を8月25日(水)静岡銀行伝馬町支店において金刺会員(前事務所設立推進委員長)、田中会員(会計担当常任理事)、山本会員(副会長・事務所設立推進委員長)3名立会いの下、決済の手続きを行いこの日から静岡県放射線技師会の所有となりました。

平成13年から老朽化、耐震構造、スペース等の問題から新事務所購入を検討し、平成16年より購入資金の調達として会費を2,000円上乗せし積み立てを開始しました。物件購入の際の条件として①新築であること ②70平方メートル以上であること ③静岡駅から徒歩で20分以内であること ④価格は3,000万円程度で10年を目処に購入するということでした。

それから、委員会、理事会を中心に資金の調達(経費削減)、物件探しを行い、平成20年にこの物件が出てきました。この物件は、購入条件の①の新築であること以外の条件を満たしており、委員会では賛同を得ましたが、自己資金が足りず借り入れまでして購入する必要はないとの常任理事会の判断で見送りとなりました。

その年の総会にて「事務所購入にあったては委員会で承認された物件を常任理事会で承認し、会長が最終決定する」という案が承認されました。その後適当な物件は無く、22年に入りこの物件の価格が下がっていてまだ残っているとの話があり、再度委員会で検討したところ 資金面でも問題なく購入できると判断し、常任理事会、理事会で承認、会長の決定で購入することとなりました。

今後「事務所設立推進委員会」は8月28日の理事会において「事務所運営委員会」と名称を変更し、引越し準備、 備品購入、運用方法を検討していきます。

今後のスケジュールですが、正式に事務所を移転する場合は所在地が変わるので定款の改定が必要となります。それには、総会を開いて会員の4分の3以上の同意、かつ主務官庁の認可が必要となります。会員の皆様、3月総会にて議案として提案しますので是非賛同願います。

この定款改定が完了するまでは、理事会等の会議及び50名ぐらいの勉強会が開催できるよう机、イスを準備し、会議室として活用を考えています。一度使ってみてください。

購入後も事務所維持費として会費を徴収しますので会員の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。



# 【企画調査委員会】

企画調査委員会は、平成13年度第4回理事会(平成14年2月2日開催)で、〔組織機構の変更:企画(理事・委員会)と調査(理事・委員会)を統合し企画調査とし、その理事を常任理事から外し、常任理事である庶務理事を2名とする〕が可決承認され、企画調査委員会として平成14年4月に発足。

現在の主な主催・担当事業は、静岡県放射線技師研修会と、災害対策委員会と管理士部会で共催している原子力災害緊急時対策研修会(災害緊急時対策研修会)があり、この他には静岡県放射線技師学術大会テーマの起案や適時に行うアンケート調査などがある。

#### ≪学術大会テーマ≫

当委員会の役割には、静岡県放射線技師学術大会テーマの起案がある。平成10年からのテーマを振り返ると、人として社会人としての資質を問う言葉(優しさ・思いやり・知性・感性・包容力)と診療放射線技師としての資質を問う言葉(知識・技術・責任)が何度か使われており、患者様とのコミュニケーションに係る言葉として、信頼・安心・安全・インフォームドコンセントという言葉も多く用いられている。

また、近年は公益法人移行に伴い"県民"が含まれていることが特徴で、時代背景によりテーマが変化する様子がうかがえる。

#### ≪放射線技師研修会≫

放射線技師研修会も、技師長等管理者研修会→中堅診療放射線技師研修会→静岡県放射線技師研修会へと、名称や内容が変わってきている。この研修会は、放射線業務に直接的に係る内容ではないだけに、医療業界全体の変遷がうかがい知れる。以下に平成10年度からの主な開催内容を掲載する。

\_\_\_\_\_

平成10年度 技師長等管理者研修会

平成11年1月21日(木) 静岡県総合研修所「もくせい会館」第2会議室

「在宅医療における放射線技師の役割」

愛知医科大学付属病院 中央放射線部 副技師長 高橋 喜久彌 先生

「リーダーとしての心構え、役割及びリーダーシップ」

(株)アドホック医療経営センター 所長 深堀 幸次 先生

「変革の時代 -産業としての医療-」

日本画像医療システム工業会 野口 雄司 先生

- 「座談会」①各施設における機器固定の現状と今後の対策
- ②時間外業務の現状と対応(当直制・オンコール)
- ③技師会に望むこと

\_\_\_\_\_

## 平成12年度 技師長等管理者研修会

平成12年10月19日(木) 静岡県総合研修所「もくせい会館」第1会議室 「病院のリスクマネージメントと診療放射線技師」

株式会社矢野経済研究所 遠藤 邦夫 先生

「プリセプターシップ -新人指導養成のシステム・方法-」

大和市立病院 診療放射線科 技師長 上前忠幸 先生

「医療の展望 -医療改革はどこまで進められるか-」

日本画像医療システム工業会 野口 雄司 先生

「討論会」

\_\_\_\_\_

## 平成13年度 中堅放射線技師研修会

平成13年10月19日(金) 静岡県総合研修所「もくせい会館」第1会議室「今、EQの時代・・・他人と接し方の上手い、下手はEQ力にかかっている」「心を元気にするコミュニケーション術」

E&Eプロモーション株式会社 石割 郁子 先生

「優しい暮らしの経済」①資産形成の基本的な考え方

メリルリンチ日本証券株式会社 花田 雅実 先生

②将来のマネー設計

メリルリンチ日本証券株式会社 安藤 雄司 先生

「リスクの対応と安全管理の取り組み」

東芝メディカル株式会社 二又紳一郎 先生

\_\_\_\_\_

平成17年度 静岡県放射線技師研修会

平成18年3月11日(土) 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階大会議室「平成18年度診療報酬改定のポイントとその影響」

デンドライトジャパン・ユートブレーン事業部 松原 喜代吉 先生 「診療放射線技師の生涯教育」

(社) 静岡県放射線技師会 生涯教育委員長 奥川 令 会員

\_\_\_\_\_

平成18年度 静岡県放射線技師研修会

平成19年3月11日(日) 静岡県総合研修所「もくせい会館」第1会議室 「放射線技師のミッションとは」

(社) 静岡県放射線技師会 和田 健 会長

「好感/安心感をもたれるマナーについて」

中北薬品株式会社 マナーインストラクター 北原 百合子 先生

\_\_\_\_\_

平成19年度 静岡県放射線技師研修会

平成20年3月9日(日) 静岡県総合研修所「もくせい会館」第2会議室 「医療法等の改正と医療機器安全管理について」

東海大学医学部附属病院 診療技術部長 津田 政行 先生 「放射線技師に役立つパソコン講習」

パソコンスクール ウインメイト

\_\_\_\_\_

平成20年度 静岡県放射線技師研修会

平成21年3月8日(日) 静岡県総合研修所「もくせい会館」第2会議室 「患者はなぜ怒る!」

学校法人慈恵大学 総務部渉外室長 横内 昭光 先生「DPCと造影剤」

バイエル薬品株式会社 診断薬事業部 学術情報 中川 裕幸 先生

平成21年度 静岡県放射線技師研修会

平成22年3月7日(日) 静岡県総合研修所「もくせい会館」第1会議室 「法人改革に伴う今後の方向性について」

NBNコンサルティング 取締役 経営支援室長 藤森 秀幸 先生「RSNAの最新情報」

バイエル薬品株式会社 診断薬事業部 営業 渡邊 直也 先生 \* (社) 静岡県放射線技師会通常総会と同時開催

\_\_\_\_\_

平成22年度 静岡県放射線技師研修会

平成23年3月13日(日) 静岡県総合研修所「もくせい会館」第1会議室「禁煙は愛」

静岡市保健 所長 加治 正行 先生 「アレルギーの種類とその病態・治療」



第一三共株式会社 三島第二営業所 主任 山田 和俊 先生

\*(社)静岡県放射線技師会通常総会と同時開催

平成23年度 静岡県放射線技師研修会

平成24年3月11日(日) パルシェ7階 第1会議室

「ヒューマンエラー防止への工学的アプローチ」

中央大学理工学部経営システム工学科 教授 中條 武志 先生

「肝臓領域における診断から治療まで」

バイエル薬品株式会社 ラジオロジー&インターベンショナル事業部 中川 裕幸 先生

\*(社)静岡県放射線技師会通常総会と同時開催

平成24年度 静岡県放射線技師研修会

平成25年3月10日(日) 静岡県総合研修所「もくせい会館」第1会議室

「うつ病の現状と治療薬」

グラクソ・スミスクライン株式会社 難波 祐介 先生

#### 【公開講演】

「職場のメンタルヘルスと管理監督者」

常葉学園大学 教育学部 心理教育学科 教授 西尾 明 先生

\* (公社) 静岡県放射線技師会に移行したことに伴い、一部公開講演とした。

-----

平成25年度 静岡県放射線技師研修会

平成26年3月15日(土) 静岡県産業経済会館 第1会議室

アンケート調査報告-「静岡県における上部消化管検査読影補助の現状」

(公社) 静岡県放射線技師会 企画調査委員会

「バリウム検査における安全性情報」

株式会社伏見製薬所 安倍 由佳子 先生

「読影補助の定義と教育について -その後-」

(公財) 早期胃癌検診協会 松本 史樹 先生

シンポジウム-「上部消化管検査における読影補助業務」

\*平成22年4月30日付けで、「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」(医政局0430第1号)の中で、診療放射線技師の更なる役割として(1)画像診断における読影の補助を行うこと(2)放射線検査等に関する説明・ 相談を行うことが求められたことから、(公社)静岡県放射線技師会では、独自の取り組みとして読影補助業務に関する研修会を開催することとした。

≪調査≫

企画調査委員会の役割には、各種の調査があります。ここでは、各委員会や部会で実施した調査(「しずおかジャーナル」に報告を掲載したもの)と、企画調査委員会が平成10年と平成15年に実施した「放射線機器固定実態調査報告」を掲載する。

平成10年度

技師会事業に対するアンケート調査

放射線機器固定実態調査

-----

平成11年度

診療放射線技師部門における組織及び職制等のアンケート調査 県下主要施設放射線部門における1日当たりの業務量調査 平成12年度

会誌「しずおかジャーナル」に関するアンケート調査

\_\_\_\_\_

## 平成13年度

保健衛生学士(放射線技術学科)についてのアンケート調査 技師会未加入の皆様へのアンケート調査及び入会案内

平成13年度「技師研修会」アンケート調査

\_\_\_\_\_

# 平成14年度

技師会事務所に関するアンケート調査

\_\_\_\_\_

#### 平成15年度

リスクマネージメントについてのアンケート調査 日本医療機能評価機構認定施設アンケート調査 MRI部会に関するアンケート調査 放射線機器固定実態調査 原子力災害時の動員計画に関する実態調査

\_\_\_\_\_

## 平成17年度

アンケート(女性技師のみなさまへ)

-----

## 平成19年度

生涯教育アンケート調査 放射線業務におけるヒヤリ・ハットのアンケート調査

平成25年度

造影剤に関するアンケート調査 上部消化管検査における読影補助についての調査

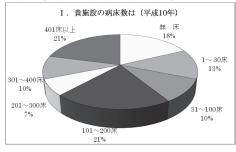
放射線機器固定実態調査 \*平成10年、平成15年とも同内容

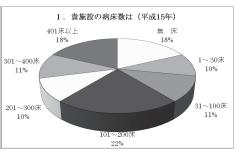


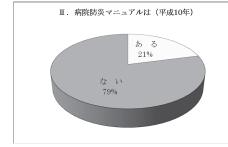
放射線機器固定実態調査	* 巫成 10 年	平成15年とも同内容
	か 平成 10 平、	平成 10 平 C 竹田四谷

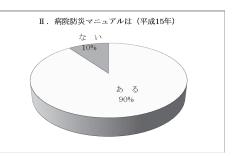
瓜别	<b>黎懷帝</b> 回正夫悲調宜	* 半成 1	10年、平成15年と	PHI	勺谷		
Ι.	貴施設の病床数は	1.	無 床	4.	101 床~200 床	7.	401 床以上
		2.	1 床~ 30 床	5.	201 床~300 床		
		3.	31 床~100 床	6.	301 床~400 床		
$\Pi$ .	病院防災マニュアルは	1.	ある	2.	ない		
Ш.	放射線科内マニュアルは	1.	ある	2.	ない		
	「ある」と答えた方の病床数は	1.	無 床	4.	101 床~200 床	7.	401 床以上
		2.	1 床~ 30 床	5.	201 床~300 床		
		3.	31 床~100 床	6.	301 床~400 床		
	「ある」と答えた方で、						
	地震対策マニュアルは	1.	ある	2.	ない		
IV.	機器固定の考え方は	1.	必要あり	2.	不必要	3.	その他
V.	機器固定状況は	1.	全機器固定済み	2.	一部固定済み	3.	未固定
	「全機器固定済み」						
	と答えた方、その為の方法は	1.	予算計上			4.	その他
		2.	機器更新時固定(費用込み)				
		3.	機器点検時または機器修理時(費用込み)				
	「一部固定済み」と答えた方						
	固定に向けた努力や活動は	1.	行っている	2.	行っていない		
	今後の固定予定は	1.	ある	2.	ない		
	「未固定」と答えた方						
	固定に向けた努力や活動は	1.	行っている	2.	行っていない		
	今後の固定予定は	1.	ある	2.	ない		
			· · · -				

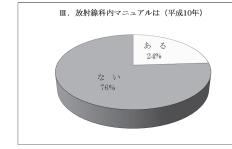
## 放射線機器固定実態調査結果

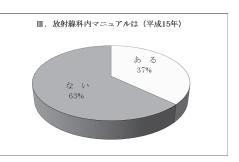


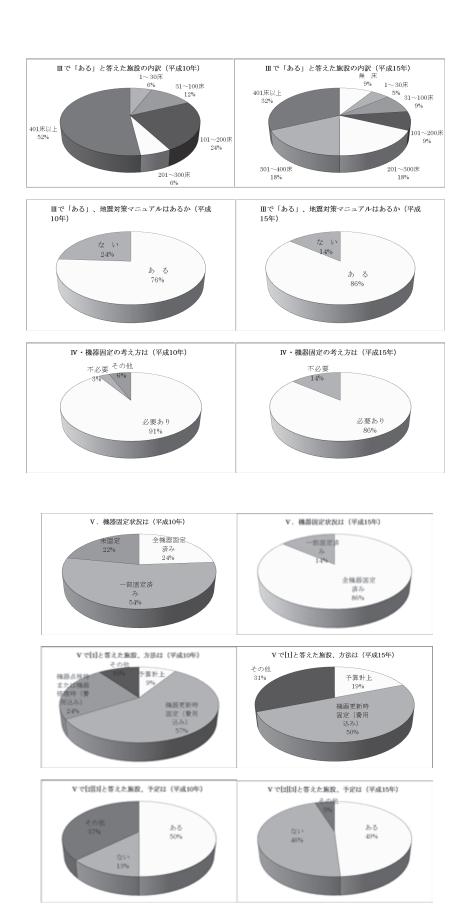












以上、平成10~25年度の企画調査委員会活動を述べた。

(企画調査委員長:秋山洋)



# 【医療安全推進委員会】

さまざまな医療事故が報告される中、会員の意識・認識を高め、知識の向上を図り、ヒヤリ・ハットから重大事故に 至るような事例に会員が巻き込まれないように、平成18年から発足された委員会です。

委員の構成としては、東部・中部・西部各地区会より1名ずつと管理士部会から2名、委員長を加えて6名から成り、会員誌しずおかJOURNALへの「医療安全推進委員会だより」の掲載、静岡市社会福祉協議会が開催する「静岡ふれあい広場」での「医療被ばく相談」、毎年12月におこなう「医療安全セミナー」の三つが活動の主になります。

#### 歴代委員長と主な活動

第 I 期(平成18年4月1日~平成22年3月31日)

委員長 井美 恵美子 浜松医科大学付属病院 医療安全推進委員会だより

> しずおか JOURNAL Vol.16 N o.4 2007 しずおか JOURNAL Vol.17 N o.1 2007 しずおか JOURNAL Vol.17 N o.2 2007 しずおか JOURNAL Vol.17 N o.3 2007 しずおか JOURNAL Vol.17 N o.4 2007 しずおか JOURNAL Vol.18 N o.1 2008 しずおか JOURNAL Vol.18 N o.2 2008 しずおか JOURNAL Vol.18 N o.4 2008

## 静岡ふれあい広場

平成19年9月16日 静岡駿府公園 平成20年9月14日 静岡駿府公園

平成21年9月13日 静岡青葉シンボルロード

### 第1回医療安全セミナー

平成19年12月8日 静岡赤十字病院

教育講演1 オムニパークとヨード造影剤の安全性について

教育講演2 ヒヤリ・ハットアンケート調査結果報告

教育講演3 RISの使用経験

特別講演 医療法改正から見た医療安全

### 第2回医療安全セミナー

平成20年12月13日 静岡商工会議所

教育講演 同意書・問診票調査報告

特別講演 放射線診療におけるリスクマネージメント

### 第3回医療安全セミナー

平成21年12月12日 静岡商工会議所

教育講演1 造影剤腎症について

教育講演2 造影剤腎症に関するトピックス

教育講演3 事例報告・意見交換

医療安全全国共同行動「静岡フォーラム」

放射線分科会参画

平成21年7月12日 静岡グランシップ

#### 第Ⅱ期(平成22年4月1日~平成26年3月31日)

# 委員長 鈴木 久士 市立御前崎総合病院

#### 医療安全推進委員会だより

しずおか JOURNAL Vol.20 No.1 2010 しずおか JOURNAL Vol.20 No.2 2010 しずおか JOURNAL Vol.21 No.2 2011

#### 静岡ふれあい広場

平成22年9月16日 静岡青葉シンボルロード 平成23年9月14日 静岡青葉シンボルロード 平成24年9月13日 静岡青葉シンボルロード 平成25年9月13日 静岡青葉シンボルロード

## 第4回医療安全セミナー

平成22年12月11日 静岡赤十字病院

会員発表 電子カルテ・オーダリング・RISにおけるエラーファクター

富士宮市立病院 聖隷三方原病院 島田市民病院

特別講演 「クレーム対応」=暴言・暴力対応を含めて=

#### 第5回医療安全セミナー

平成23年12月10日 県放射線技師会事務所

教育講演 造影剤の腎障害について

特別講演 被ばく電話相談に至った経緯および3.11以降の監視体制について

### 第6回医療安全セミナー

平成24年12月8日 県放射線技師会事務所

教育講演 造影剤の副作用対処法~即時型アレルギーから造影剤腎症まで

教育講演 放射線技師と感染対策

会員発表1 ペパリン起因性血小板減少症(heparin-induced thrombocytopenia:HIT)の一例

会員発表2 当院における医療事故に対する取り組み

会員発表3 硫酸バリウムによる上部消化管造影検査後に起こした大腸穿孔の一例

#### 第7回医療安全セミナー

平成25年12月14日 県放射線技師会事務所

教育講演1 造影剤使用におけるアンケート結果報告

教育講演2 今、そこにある危機

特別講演 非イオン性ヨード造影剤の安全性について

造影検査のリスクマネジメント

#### 静岡県病院協会 「医療事故防止対策研修会」

平成22年9月22日 男女共同参画センター「あざれあ」 安全と安心の大きな違い 東京大学名誉教授 唐木 英明 先生

### 静岡県病院協会 「医療事故防止対策研修会」

平成24年11月9日 静岡県総合研修所「もくせい会館」 病院の医療安全力 名古屋大学付属病院教授 長尾 能雅 先生 静岡ふれあい広場における医療被ばく相談、内容

質問 ご主人(79歳)半年入院中ですが、いろいろ検査ばかりで被ばくが心配です。74歳 女性

回答 検査の内容、回数等を正確に伺わないとわかりませんが、同じ病院で検査をしていのであれば、 気を病むほど心配する必要はないと思います。我々放射線技師は少ない放射線量で検査をするように心が けています。

質問 知人のがん治療(放射線)について

知人が手術は無理ということで、放射線治療を受けることになった。県がんセンターにかよっているらしいが、近くにY市立病院がある。

回答 部位がわからないため詳しいことはわかりませんが、治療効果が期待できるため選択されたのではないか。また、放射線によって腫瘍を小さくし手術ということも考えられる。がんセンターには国内でも少ない陽子線治療があるので選ばれたのかもしれない。

質問 CT、MRIの違いは?

回答 CTはレントゲンを使用して撮影をしていますが、MRIは大きな磁石とラジオの電波のようなものを利用して撮影をしています。目的部位や疾患によって使い分けされています。

質問 胃カメラと胃透視はどちらがいいか?

回答 どちらがいいということはわかりませんが、胃カメラですと直接中を観察できますし組織をとることも可能です。しかし、Baの検査は検査をするまでが簡単でコスト的にも安く済みます。

質問 R I の過剰投与があったが、

回答 本来、あってはならないことですね。県内の施設は大丈夫だと思います。

質問 また、福島原発事故関連では静岡の地下水は大丈夫か?

回答 地下水は長い時間をかけてきますので地表におちた放射性物質が入り込むことはかんがえなくてもよいと 思います。

質問 円形脱毛になったが、逆算すると事故のあと雨に打たれている。関係はないか?

回答 被ばくと脱毛の関係は言われていますが、脱毛をおこすにはかなり多くの線量を被ばくしないとなりません。ましてや部分的に脱毛は考えられませんので、今回の原発事故とは関係はないと思われます。

質問 最近、腰痛がひどいが、セシウムの検出されたお茶やレタスを食べたのが影響していないか?

回答 体内に入るとセシウムは体中に分配され特に筋組織で高いですが、土の中からレタスに吸収される量はそんなに多くなく、お茶に関しても暫定基準量以下になっていますので影響はないと考えます。

質問 被ばくした人に接しても放射線がうつることはないか?

回答 被ばくは外から放射線があたっただけですから、移ることはありませんが汚染されている場合はご本人以外にも放射性物質が広まる可能性があります。

ただ、この場合はふき取ればほとんど取ることができます。

- 質問 放射線は本当に安全か?福島では、東電の事故により大量の放射線が放出されているがどうか。あなた達のような職業は原発賛成か。
- 回答 放射線が安全とは言い切れません。確定的・確率的影響をはなし、低線量での影響をはなした。また、広島、長崎の原爆の疫学的調査から放射線のリスクもタバコや化学物質のリスクも変わらないというデータもあることを伝えた。原発に対しては、皆さんと同じように反対の方も賛成の方もいると思います。
- 質問 PETやCTやら多くの検査をしているが、その際、子供には少しの間近づかないようにしたが、本人の影響は大丈夫か?
- 回答 治療や検査の効果が本人の生命にとって、被ばくより効果が多い場合は、必要なことと考えます。主治医 とよく話をして、納得されることが必要です。
- 質問 ガンは女性の方が多いのか?
- 回答 そうばかりとはいえません。最近は日本人の二人に一人がガンにかかると言われていますので、検診は受けたほうがよいです。
- 質問 医療被ばくが本当に体に影響がないと言えるのですか?何十年も経ってからがんになった場合、医療被ば くに関係がないと言えるのですか?
- 回答 体に影響がないとは、たしかに言い切れません。しかし、治療や検査の効果が本人の生命にとって、被ばくより効果が多い場合は、必要なことと考えます。また、細胞は常に生まれ変わりますし、ダメージからの回復もします。何十年も経ってから罹患したものが、以前の検査の影響と考えることは少し乱暴かもしれません。
- 質問 胸の検診を受けたいが、被ばくが心配です。
- 回答 胸の検診での被ばく線量は非常に少なく、体に影響の出る値ではないので大丈夫です。(自然放射線や、胸部、胃の検査における被ばく線量の表を提示し説明)

このような質問が寄せられ、提示したお答えをしました。(質問や回答が現存しているもののみ掲載)

職場で起こった事故等や同意書のとり方等のアンケート調査をセミナーにて会員に発信してきましたが、会員の参加が伸びず我々委員会の努力が足りなかったように反省しています。

今後はホームページを利用した方法等も構築し、会員の皆様の安全や安心につながるような情報提供をしていく場としていきたいと考えます。また、ふれあい広場等を通じ公益法人として、市民の皆様にも医療被ばくや放射線検査における説明等を行うことも委員会として大事な要素ですから、積極的に参加をすることも必要と思います。



# 【学術委員会】

学術委員会は、学術関連事業の企画、立案を担当すべく平成4年に発足しました。主な活動は「新春公開講演の公開講演と教育講演」及び「静岡県放射線技師学術大会の公開講演と学術大会開催」です。メンバーは、「超音波部会」「MRI部会」「アンギオ部会」「乳腺画像部会」「管理士部会」から各1名と各地区から1名ずつ選出された8名の委員と、委員長で構成(9名)されます。

# I. 歴代委員長と主な活動

第4期(平成10年4月1日~平成12年3月31日)

委員長 浅野 愉喜夫 (県西部浜松医療センター)

○第3回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成10年5月30日(土) 13:30~31日(日)

【会場】 カリアック(商工会議所福利研修センター)

〒431-1207 浜松市村櫛町4597 浜名湖頭脳公園内

【特別講演】「脳死と臓器移植 ~コーディネーターの立場から~」

(社) 全国臓器移植ネットワーク 東海北陸ブロックセンター

チーフコーディネーター 加藤 治 先生

○第4回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成11年5月29日(土) 13:00~30日(日)

【会 場】 藤枝エミナース(静岡国民年金健康センター) 〒426-0077 藤枝市駿河台6丁目1番1号

【特別講演】「星の生から死まで」

国立天文台 広報普及室長 渡辺 潤一 先生

○第7回アール祭

【日 時】 平成12年1月22日(土) 13:30~

【会 場】 ベルパレス鷹匠(旧:鷹匠会館)

〒420-0839 静岡市鷹匠2-8-4

【公開講演1】「臨界事故から学ぶ」

放射線医学総合研究所 人間環境研究部 部長 藤元 憲三 先生

【公開講演2】「感染の話 ~結核から水虫まで~」

県西部浜松医療センター 感染対策科 科長 矢野 邦夫 先生

第5期(平成12年4月1日~平成14年3月31日)

委員長 日下部 行宏(聖隷浜松病院)

○第5回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成12年5月27日(土) 13:00~28日(日)

【会場】 静岡厚生年金休暇センター

〒410-0301 沼津市宮本80-27

【特別講演】「温泉の効用」

静岡県厚生連 中伊豆温泉病院名誉院長 齋藤 幾久次郎 先生

○第8回アール祭

【日 時】 平成13年1月20日(土) 13:30~

【会場】 ベルパレス鷹匠(旧:鷹匠会館)

〒420-0839 静岡市鷹匠2-8-4

【公開講演1】「私の生き方・・・身近な自然をまもるため」

サンクチュアリジャパン 代表 馬塚 丈司 先生

【公開講演2】「ヒト遺伝子の解析と遺伝子治療」

株式会社エスアールエル 遺伝子染色体解析センター 遺伝子検査課 担当課長 医学博士 横山 安伸 先生

○第6回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成13年5月26日(土) 13:00~27日(日)

【会 場】 カリアック(商工会議所福利研修センター)

〒431-1207 浜松市村櫛町4597 浜名湖頭脳公園内

【公開講演】「静岡県の自然の特徴とその生い立ち」

静岡大学名誉教授 伊藤 通玄 先生

※会員より発表された演題数は「32」であった。

○第10回アール祭

【日 時】 平成14年1月19日(土) 13:30~

【会 場】 ベルパレス鷹匠(旧:鷹匠会館)2階 鳳凰

〒420-0839 静岡市鷹匠2-8-4

【公開講演1】「再生医療を通じて何がどうかわるのか

- ティッシュエンジニアリングの現状と将来展望 -」

名古屋大学 医学部 組織工学講座 助教授 畠 賢一郎 先生

【公開講演2】「子供の虐待について」

静岡県立こども病院 小児内科 医長 小林 繁一 先生

第6期(平成14年4月1日~平成16年3月31日)

委員長 北野 光浩(浜松赤十字病院)

○第7回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成14年5月25日(土)13:00~26日(日)

【会場】 ベルパレス鷹匠(旧:鷹匠会館)

〒420-0839 静岡市鷹匠2-8-4

【公開講演】「医療現場におけるアロマセラピーについて」

山下内科医院 山下 えり子 先生

※会員より発表された演題数は「23」であった。

○第11回アール祭

【日 時】 平成15年1月25日(土) 13:30~

【会場】 ベルパレス鷹匠

〒420-0839 静岡市鷹匠2-8-4

【公開講演】「戦国時代の静岡」

静岡大学 教育学部 教授 小和田 哲男 先生

【教育講演】「患者さんとの信頼関係を得る為の

コミュニケーションの基礎とコツ」

E&Eプロモーション 石割 郁子 先生

○第8回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成15年5月24日(土) 13:00~25日(日)

【会場】 富士ハイツ



〒417-0801 富士市大淵115

【公開講演】「深海底の謎ー世界最大の熱水の謎を探るー」

グローバルオーシャンディベロップメント 観測部長 藤岡 換太郎 先生

※会員より発表された演題数は「25」であった。

○第12回アール祭

【日 時】 平成16年1月24日(土) 13:30~

【会場】 もくせい会館

【公開講演】「駿河湾の生き物と魚の性転換」

東海大学 社会教育センター 総合業務室総務課

農学博士 日置 勝三 先生

【教育講演】「日本の病院の現状と将来像-患者から求められる病院機能とは-|

特定医療法人厚生会 木沢記念病院

総合企画部長 佐合 茂樹 先生

第7期(平成16年4月1日~平成18年3月31日)

委員長 天野 仁志(掛川市立総合病院)

○第9回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成16年5月30日(日)

【会場】 浜松プレスタワー

〒430-0927 浜松市旭町11-1 TEL:053-452-8800

【公開講演】「プロ選手に対するメディカルサポート

チームドクターはつらいよ 一」

聖隷浜松病院 整形外科主任医長 小林 良充 先生

※会員より発表された演題数は「18」であった。

○第13回アール祭

【日 時】 平成17年1月22日(土) 13:30~

【会 場】 静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ 6階 交流ホール

〒422-8005 静岡市池田79-4 TEL: 054-203-5710

【公開講演】「リスクに対する専門家と市民の捉え方の違い

~市民の疑問や不安に答えるために~ |

(財) 電力中央研究所 経済社会研究所 上席研究員 土屋 智子 先生

【教育講演】「医療と経済について」

(社)日本画像医療システム工業会 (JIRA)

経済評価委員会委員長 野口 雄司 先生

○第10回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成17年5月29日(日)

【会 場】 静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ 11階 会議ホール(風)

〒422-8005 静岡市池田79-4 TEL: 054-203-5710

【公開講演】「気象災害から身を守る」

静岡地方気象台

小口 與四夫 先生

※会員より発表された演題数は「14」であった。

#### ○第14回アール祭

【日 時】 平成18年1月21日(土) 13:30~

【会 場】 静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ 11階 会議ホール(風)

〒422-8005 静岡市池田79-4 TEL:054-203-5710

【公開講演】「サプリの上手な活用法」

静岡県立大学 食品栄養科学部 栄養学科

教授 横越 英彦 先生

【教育講演】「臨床医学概論1 感染症について」

鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 放射線技術科学科

教授 金森 勇雄 先生

「臨床医学概論2 中枢疾患について」

厚生会 木沢記念病院 放射線科 診療技術部長 井戸 靖司 先生

第8期(平成18年4月1日~平成20年3月31日)

委員長 山本 英雄(総合病院聖隷三方原病院)

# ○第11回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成18年5月28日(日)

【会 場】 国際医療福祉大学附属熱海病院 地下1階 大会議室 〒413-0012 熱海市東海岸町13番地1号 TEL:0557-81-9171

【公開講演】「消化器画像診断の最近の動向」

国際医療福祉大学 内科教授

日本画像医学会 会長 唐澤 英偉 先生 ※会員より発表された演題数は「20」であった。

#### ○第15回アール祭

【日 時】 平成19年1月21日(日) 13:30~

【会 場】 静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ 11階 会議ホール(風)

〒422-8005 静岡市池田79-4 TEL:054-203-5710

【公開講演】「メタボリックシンドロームからあなたを守る緑茶パワー

~アディポネクチンを緑茶で増やそう~ |

掛川市立総合病院 緑茶医療研究センター

(掛川市立総合病院副院長) センター長 鮫島 庸一 先生

【教育講演】「DPC 最近の話題と今後の方向性」

三菱ウェルファーマ株式会社 谷澤 正明 先生

## ○第12回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成19年5月27日(日)

【会場】 浜松市地域情報センター 1階 ホール

〒430-0929 浜松市中区中央一丁目12番8号 TEL:053-456-5000

【公開講演】「車文化と環境」

株式会社 エー・アール・シー

社長 田中 裕二 先生

※会員より発表された演題数は「18」であった。



○第16回アール祭

【日 時】 平成20年1月20日(日) 13:30~

【会場】 静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ 11階 会議ホール(風)

〒422-8005 静岡市池田79-4 TEL: 054-203-5710

【公開講演】「ちょっと役立つ放射線治療のお話

~放射線治療最前線~ |

静岡県立総合病院 放射線部 部長(兼PETセンター長) 中島 信明 先生

【教育講演1】「内用放射性医薬品 メタストロン注について」

日本化薬株式会社 名古屋医薬支店 学術室

内藤 穂積 先生

【教育講演2】「放射線分野におけるモンテカルロシュミレーション法」

藤田保健衛生大学 医療科学部 診療放射線技術学科教授 加藤 秀起 先生

第9期(平成20年4月1日~平成22年3月31日)

委員長 窪野 久行(JA静岡厚生連 遠州病院)

○第13回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成20年5月25日(日)

【会場】 静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ 11階 会議ホール(風)

〒422-8005 静岡市池田79-4 TEL:054-203-5710

【公開講演】「公開パネルディスカッション

早期発見!乳がん検診へ行こう~患者さんの不安に答えます~」

Breast Cancer Network Japan — あけぼの会

星野希代絵氏 新川由利子氏 瀧戸亜貴子氏

※会員より発表された演題数は「22」であった。

○第17回アール祭

【日 時】 平成21年1月25日(日) 13:30~

【会 場】 静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ 11階 会議ホール(風)

〒422-8005 静岡市池田79-4 TEL: 054-203-5710

【公開講演】「メタボリックを予防する為の食生活」

聖隷保健事業部 健康支援課 渡瀬 優子 先生

【教育講演】「ジェネリック薬品の最近の話題

~たかがジェネリック、されどジェネリック~」

JA静岡厚生連 業務部保健・医療・福祉課 薬局長 望月 裕夫 先生

○第14回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成21年5月31日(日)

【会 場】 長岡総合会館「アクシスかつらぎ」

〒410-2201 伊豆の国市古奈255 TEL:055-948-0255

【ランチョンセミナー】

「これからのドクターへリ」

聖隷三方原病院 院長補佐

ドクターヘリ ネットワークディレクター 岡田 眞人 先生

【公開講演】「患者さんの視点からみた医療とは

~こんな放射線技師いたらいいな~」

NPO法人ヘルスケア・リレーションズ

いいなステーション代表

和田 ちひろ 先生

※会員より発表された演題数は「18」であった。

○第18回アール祭

【日 時】 平成22年1月24日(日) 13:30~

【会場】 静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ 11階 会議ホール (風)

〒422-8005 静岡市池田79-4 TEL:054-203-5710

【公開講演】「新型インフルエンザの現状と対策」

県西部浜松医療センター 副院長 矢野 邦夫 先生

【教育講演】「X線単純撮影技術の見直し」

(元) 日本医科大学千葉北総病院

川村 義彦 先生

第10期(平成22年4月1日~平成24年3月31日)

委員長 寺田 理希(磐田市立総合病院)

○第15回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成22年5月23日(日)

【会 場】 アクトシティ浜松 コングレスセンター 3F 31会議室

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1 TEL:053-451-1111

【ランチョンセミナー】

「診療報酬の改定について」

バイエル薬品株式会社 診療薬事業部

マーケティング部マネージャー 松坂 雄二 先生

【公開講演】「他施設からのデータCDの取り扱い問題

~ファイルメーカーを使ったHISからの患者属性抽出~」

浜松医科大学 医療情報部 医員

渡辺 浩 先生

※会員より発表された演題数は「20」であった。

○第19回アール祭

【日 時】 平成23年1月23日(日) 13:30~

【会場】 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5F第3会議室

〒422-8063 静岡市駿河区馬渕1丁目17-1 TEL:054-255-8440

【公開講演】「静岡がんセンターからのメッセージ」

静岡県がんセンター 放射線治療科 部長 西村 哲夫 先生

【教育講演】「救急撮影認定技師による救急放射線技術の確立に向けて」

泉州救命救急センター 坂下 恵治 先生

○第16回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成23年5月22日(日)

【会 場】 清水テルサ(静岡市東部勤労者福祉センター) 7F

〒424-0823 静岡市清水区島崎町223番地 TEL:054-355-3111

【ランチョンセミナー】

「地域医療連携の現状と東芝の取り組み」

東芝メディカルシステムズ(株) SI事業部 伊藤 祥啓 先生

「グループ間施設における整形PACSの共同利用」

インフォコム株式会社 ヘルスケア事業本部

放射線システム部 高柳 亮太郎 先生



【公開講演】「知っておきたい認知症の基本

~認知症診療における脳画像検査を考える~」

社会医療法人 財団新和会 八千代病院 神経内科 川畑 信也 先生 ※会員より発表された演題数は「17」であった。

○第20回アール祭

【日 時】 平成24年1月21日(土) 13:30~

【会 場】 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」4F 第1研修室

〒422-8063 静岡市駿河区馬渕 1 丁目17-1 TEL: 054-255-8440

【教育講演】
「CT認定の動向と画像再構成法について」

順天堂大学医学部附属順天堂練馬病院 放射線科 木暮 陽介 先生

【公開講演1】「診療放射線技師の役割と実践」

倉田 富雄 会員

【公開講演2】「放射線・放射能の理解と人体への影響」

首都大学東京健康福祉学部 放射線学科 教授 福士 政広 先生

第11期(平成24年4月1日~平成26年3月31日)

委員長 片山 善博(聖隷健康診断センター)

○第17回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成24年5月27日(日)

【会場】 富士市勤労者総合福祉センター「ラ・ホール富士」

〒417-0052 富士市中央町2丁目7番11号 TEL:0545-53-4300

【ランチョンセミナー】

「最新のMRI装置における情報提供(技術から臨床)」

聖路加国際病院 診療放射線技師 船田 重和 先生

【公開講演】「わが国におけるがん検診の現状と将来への展望」

聖隷健康サポートセンターShizuoka 所長 鈴木 美香 先生

※会員より発表された演題数は「21」であった。

○第21回アール祭

【日 時】 平成25年1月19日(土) 13:30~

【会場】 静岡労政会館 6Fホール (静岡勤労者総合会館6階)

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 TEL:054-221-6280

【公開講演】「医療用手術ロボット ダビンチシステムの現状と展望」

静岡県がんセンター 胃外科部長 寺島 雅典 先生

【教育講演】「股関節疾患のX線撮影法と読影

~我々の技術で鑑別される大腿骨頭壊死症とFAI~」

医療法人 とうかい整形外科 かわげ

診療放射線技師 難波 一能 先生

○第18回静岡県放射線技師学術大会

【日 時】 平成25年5月26日(日)

【会場】 アクトシティ浜松 コングレスセンター 41会議室

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1 TEL:053-451-1111

【ランチョンセミナー】

「SOMATOM CTのCutting Edge Technology」

~Right DoseとDual Energyの実際~

演者 I 東海大学医学部付属病院 放射線技術科 池田 秀 先生演者 I 済生会川口総合病院 放射線技術科 富田 博信 先生

【公開講演】「脳卒中と画像診断」

聖隷三方原病院 脳卒中科部長

名倉 博史 先生

※会員より発表された演題数は「18」であった。

○第22回アール祭

【日 時】 平成26年1月25日(土) 13:30~

【会場】 静岡労政会館 6Fホール (静岡勤労者総合会館6階)

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 TEL:054-221-6280

【教育講演1】「最新の血管外科治療について」

静岡県立総合病院 心臓血管外科 医長 新谷 恒弘 先生

【教育講演2】 「大血管ステントグラフトの撮像及び画像処理技術について」

静岡県立総合病院 放射線技術室 大川 剛史 会員

【公開講演】 「循環器疾患の現状と展望」

静岡県立総合病院 副院長兼循環器病診療部長 土井 修 先生



# 【情報管理委員会】

#### ■ はじめに

情報管理委員会は、平成14年2月18日の第4回理事会にて情報管理委員会(仮称)が検討され、委員会を新設することが決定されました。その後、平成15年5月新設委員会として定時総会にて承認され情報管理委員会が設立されました。この年、乳腺部会も新設承認されました。

現在(平成25年12月)、設立から10年7ヶ月が経過しています。

#### ■ 平成15年度(第一期)

委員会設立は、役員任期の途中でしたので、任期一年でした。委員長はコンピューターに精通した共立蒲原総合病院の前田技師長が勤められました。また、業務としてはマイクロソフトのAccessベースで、学術大会やJARTのポイントが付加される事業等の出席実績データベースの開発などを行っていました。

委員長 前田 光一郎 共立蒲原総合病院

委 員 奥川 令 静岡済生会総合病院

高橋 真 榛原総合病院

酒井 博孝 静岡赤十字病院

東山 誠三 司馬医院

斉藤 健一 藤枝市立総合病院

加藤 和幸 島田市立島田市民病院

池谷 幸一 富士市立中央病院

岩谷 篤 榛原総合病院

#### ■ 平成16・17年度(第二期)

引き続き、共立蒲原総合病院の前田氏が委員長を務められています。この第二期では、ホームページの仕様策定やホームページ作成業者の選定やホスティング会社(サーバーやドメインの管理会社)の選定を行いました。また、この時期は情報管理委員会も頻繁に行われていたと記憶しています。

17年度・第1回理事会にて、当会ホームページの契約が完了し、ドメイン: http://shizuhogi.jp、ホームページ容量 100Mb、メールアドレス10個の仕様にて運用の準備が完了したことが報告されました。

社団法人・静岡県放射線技師会のホームページは、18年1月1日より開設され運用が始まりました。

委員長 前田 光一郎 共立蒲原総合病院

委 員 池谷 幸一 富士市立中央病院

床 也寸志 静岡市立静岡病院

斉藤 健一 藤枝市立総合病院

加藤 和幸 市立島田市民病院

岩谷 篤 榛原総合病院

#### ■ 平成18・19年度(第三期)

この第三期も、引き続き共立蒲原総合病院の前田氏が委員長を勤められています。この時期は、ホームページの内容について検討され、会員専用ページ、放射線に関するQ&Aコーナーの設置など掲載項目が充実していきました。また、平成19年度学術大会の演題申込書等がホームページよりダウンロード可能になっています。

ハプニングとして、ホスティング会社の不手際から3週間程度ホームページの閲覧が出来ないトラブルが発生しています。最低限の費用にて運用していましたが、サーバー管理会社の重要性に気づかされた出来事でした。

委員長 前田 光一郎 共立蒲原総合病院 委 員 池谷 幸一 富士市立中央病院 床 也寸志 静岡市立静岡病院

 斉藤
 健一
 藤枝市立総合病院

 加藤
 和幸
 市立島田市民病院

 野末
 恭弘
 市立島田市民病院

 藤原
 仁
 榛原総合病院

#### ■ 平成20·21年度(第四期)

この第四期から富士市立中央病院の池谷(執筆者)が委員長を勤めています。

この期間から、公益法人化に向けてのホームページリニューアルの検討を開始しました。また、平成20年度には、「理事用メーリングリストの運用」「問い合わせフォームの設置」を行いました。

平成21年に予算申請が通り、同年10月1日に初回のホームページリニューアルを行いました。ホームページ保存容量の 大幅増加に加え、信頼性の高いシステムへの移行が実現しています。

新規の事業として、会員専用ページの開設、事業報告や講演会のPDF等の掲載およびダウンロードを会員ページにて開始しました。

委員長 池谷 幸一 富士市立中央病院 委員 平田 哲生 静岡県立総合病院 本杉 悟郎 藤枝市立総合病院 深津 信央 榛原総合病院

#### ■ 平成22・23年度(第五期)

第五期も引き続き、富士市立中央病院の池谷(執筆者)が委員長を勤めています。この期間は会員および県民に向けた新たな事業および付加機能が充実していきました。平成22年4月より、求人求職情報の掲載開始。

平成23年1月より、記念誌:25年史、35年史、50年史を電子化(PDF)公開。平成23年4月より、会務イントラネットサービスの運用開始し、編集委員会に向けたジャーナル編集業務を運用開始しました。

平成23年6月より、全ての理事・常任理事・役員用のwebメールの運用開始。

平成23年10月より、放射線検査・被ばく相談コーナーの開設を行い、現在、県民からの様々な質疑応答が行われています。この質疑応答には、各部会長、学術理事、西部副会長等に対応していただいています。

委員長 池谷 幸一 富士市立中央病院 委員 畑 利浩 市立島田市民病院

足立 敏明 社会保険 桜ヶ丘総合病院

 鈴木
 武成
 焼津市立総合病院

 稲垣
 充
 静岡赤十字病院

## ■ 平成24・25年度(第六期)

第六期も引き続き、富士市立中央病院の池谷(執筆者)が委員長を勤めています。平成24年は、公益法人移行にともない2回目のホームページリニューアルを平成24年9月1日に実施いたしました。定款、定款細則、各種申請書類等をホームページにて公開し、電子広告として事業報告および決算報告を掲載しました。

平成25年6月1日には新webメールへの移行し、2年以上のメール容量を確保し会務に役立てています。

委員長 池谷 幸一 富士市立中央病院 委員 畑 利浩 市立島田市民病院

片山 昇 社会保険 桜ヶ丘総合病院

西谷 収利 焼津市立総合病院 島田 洋一 静岡赤十字病院



#### ■ 最後に

この記事の執筆時「平成25年12月現在のホームページ」および「会務支援システム」についてまとめてみたいと思います。



- Copyright F 2012 企業性型主人 原用基金制度放弃者 Al Rights Reserve
- (1) 基本的な仕様として、会告・ニュースの掲示・電子公告機能・事業計画・該当年度役員の掲示。
- (2) 管理士部会、乳腺部会、超音波部会、アンギオ部会、MRI部会、東部地区会、中部地区会、西部地区会の専用ページを開設。これにより、研修会、学術発表、論文等の掲載が可能となっています。
- (3) 資料の電子化事業として、平成10年以降の静岡ジャーナル、各記念誌(25年史、35年史、50年史)、学術大会 抄録集(平成24年以降)の電子化に取り組みました。
- (4) 学術大会の演題申し込み。書式のダウンロード。
- (5) 求人求職の掲載。
- (6) 県民からの検査・被ばく相談コーナー。
- (7) メール・メーリングの機能として、全役員へメールアドレスを準備し、また、常任理事用、全役員用メーリング リストを運用しています。
- (8) イントラネットとして、事務所および設備の予約機能、予定カレンダー、編集委員会の在宅編集作業支援、各常任理事専用ホルダーによる書類保存機能等が利用可能となっています。

以上が、歴代のメンバーが築いてきた情報管理委員会の沿革です。約11年間会務お疲れさまでした。そして、情報管理 に携わった全ての会員の皆様に感謝し文末といたします。

# 【災害対策委員会】

#### ◇歴代委員長

平成10年~13年度 三井田 基善:順天堂伊豆長岡病院 (現順天堂大学医学部附属静岡病院)

平成14年~15年度 山田 豊 : 沼津市立病院

平成16年~17年度 橋本 和明 : 国際医療福祉大学附属熱海病院

平成18年~19年度 古郡 良三 :富士市立中央病院

平成20年~23年度 廣瀬 信雄 :順天堂大学医学部附属静岡病院

平成24年~25年度 田沢 範康 : 聖隷沼津病院

### ◇研修会

#### 平成10年度災害緊急時対策研修会

日時:平成10年11月14日(土) 13:00~17:00

場所:静岡県もくせい会館 2階 第1会議室

内容: •講演

「放射線機器固定実態調査結果報告」

(社) 静岡県放射線技師会

副会長 三井田 基善

・講演「東海地震発生のメカニズムと予知手法

- 最新の知見と今後の課題 - 」

地震防災対策強化地域判定会

会長 溝上 恵先生

・講演「日本のエネルギー事情と原子力発電所から出る使用済み燃料の対策について」 日本原燃株式会社 六ヶ所本部 再処理事業所 電気計装部長 金井 英次 先生

### 平成12年度災害緊急時対策研修会

日時:平成12年11月25日(土) 13:55~17:00

場所:静岡県総合社会福祉会館

4階 第7会議室

内容:・講演「伊豆・東海そして南海

- 21世紀の地震災害を考える - 」

京都大学 防災研究所 地震予知センター

助教授 橋本 学先生

・講演「浜岡原子力発電所における防災対策について」

中部電力株式会社 浜岡原子力発電所 担当部長(防災担当) 金井 英次 先生

## 平成13年度災害緊急時対策研修会

日時:平成13年12月1日(土) 14:00~17:00 場所:静岡県総合社会福祉会館 4階 第7会議室

内容:・講演「今そこにある危機

- 震災医療ボランティアからの再提言 - 」

市立境病院 放射線技術科 古藤 行敏 先生

- 講演「緊急被爆医療
  - 発電所と近隣医療機関における初期被爆医療 」

中部電力株式会社 浜岡原子力総合事務所 浜岡診療所長専属産業医 道家 義和 先生







#### 平成14年度災害緊急時対策研修会

日時:平成14年11月30日(土) 14:00~17:00

場所:ベルパレス鷹匠

内容:・講演「東海地震取材班からの情報提供」

静岡新聞社 社会部 柳川 実 先生

・講演「放射線災害と緊急医療について」

国立病院 東京災害医療センター

麻生 智彦 先生



# 平成15年度災害緊急時対策研修会

日時:平成15年11月29日(土) 13:30~17:00

場所:静岡県地震防災センター

内容:・地震防災センター内の見学・地震体験

家具の固定対策コーナー、津波シミュレーション、

地震体験コーナーなど

講演「地震!その時あなたはどうする

- 巨大地震への新たな対策を考える - 」

静岡県地震防災センター・地震アドバイザー 川端 信正 先生



日時:平成16年11月27日(土) 13:30~16:00

場所:静岡県総合社会福祉会館 4階 第7会議室

内容:・講演「核災害時における医療機関の対応について」

原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所 神 裕 先生

・ビデオ上映「緊急被爆医療」

- 医療機関における実際の対応 -



### 平成17年度災害緊急時対策研修会

日時:平成17年11月26日(土) 14:00~17:00

場所:静岡県立総合病院 1階 大講堂

内容:・講演「サーベイメーターによる放射線測定

- スクリーニングの実際 - 」

元三菱重工株式会社 原子力部長 河波 篤美 先生

・実習「サーベイメーターによる汚染検査実習」

中部電力浜岡原子力発電所 放射線課員・

静岡県放射線技師会管理士部会



日時:平成18年11月26日(日) 13:00~17:00 場所:静岡県教育会館 スンプラーザ 4階 B会議室

内容:・講演「(社)兵庫県放射線技師会における

災害対策の考え方と取り組み」



(社) 兵庫県放射線技師会 常任理事 瀧本 恒雄 先生

・講演「静岡県地域防災計画(原子力対策編)の中での

静放技の役割 - 原子力防災訓練に参加して - 」

富士宮市立病院

深澤 英史 先生

・講演「東海地震における被害想定について」

静岡県地震防災センター所長 小澤 邦雄 先生



## 平成19年度原子力災害緊急時対策研修会

日時:平成19年11月25日(日) 13:30~17:00

場所:静岡県立総合病院 仮設講堂

内容:・講演「GMサーベイメーターの原理と取り扱い」

アロカ株式会社 細田 順先生

・講演「救護所活動とスクリーニング」

元 放射線医学総合研究所 研究総務 河内 清光 先生

・実習「原子力災害におけるスクリーニング実習」

中部電力浜岡原子力発電所 放射線安全課

神野 岳彦 先生

# 静岡県放射線技師会管理士部

## 平成20年度原子力災害緊急時対策研修会

日時:平成20年11月16日(日) 13:30~17:00

場所:静岡県立総合病院 6階会議室

内容:・講演「GMサーベイメーターの原理と取扱い」

アロカ株式会社

山口 宏明 先生

・講演「ホールボディーカウンターの原理と取り扱い」

富士電機システムズ株式会社

藪谷 孝志 先生

・実習「原子力災害におけるスクリーニング実習」

中部電力浜岡原子力発電所 放射線安全課 鈴木 健 先生

静岡県放射線技師会管理士部会



# 平成21年度原子力災害緊急時対策研修会

日時:平成21年11月15日(日) 13:30~17:00

場所:静岡県立総合病院 6階 つつじホール

内容:・講演「GMサーベイメーターの原理と取り扱い」

アロカ株式会社

富松 英彦 先生

・講演「地震の教訓」

新潟県放射線技師会 長岡赤十字病院 捧 和夫 先生

・講演「災害時における簡易撮影装置」

キャノンマーケティングジャパン株式会社 西田 省三 先生

・実習「原子力災害におけるスクリーニング実習」

中部電力浜岡原子力発電所 人事保健課

静岡県放射線技師会管理士部会





#### 平成22年度原子力災害緊急時対策研修会

日時:平成22年11月14日(日) 13:30~17:00

場所:静岡県地震防災センター

内容:・講演「GMサーベイメーターの原理と取り扱い」

アロカ株式会社 中西 良和 先生

・実習「原子力災害におけるスクリーニング生涯実習」 中部電力浜岡原子力発電所 人事保健課・

静岡県放射線技師会管理士部会

・地震防災センター内の見学・地震体験

家具の固定対策コーナー、津波シミュレーション、地震体験コーナーなど

講演「地震」

静岡県地震防災センター・地震防災アドバイザー 中村 先生

#### 平成23年度原子力災害緊急時対策研修会

日時:平成23年11月27日(日) 13:00~17:00

場所:静岡県立総合病院 6階 つつじホール

内容:・講演「GMサーベイメーターの原理と取り扱い」

アロカ株式会社 中西 良和 先生

・講演「ホールボディーの原理と取り扱い」

富士電機システムズ株式会社 藪谷 孝志 先生

・講演「浜岡原子力発電所の津波対策について」

中部電力浜岡原子力発電所 環境保全部 環境管理課長 椎名 浩成 先生

・実習「原子力災害におけるスクリーニング実習」

中部電力浜岡原子力発電所 人事保健課・

静岡県放射線技師会管理士部会

#### 平成24年度原子力災害緊急時対策研修会

日時:平成24年11月11日(日) 13:00~17:00

場所:静岡県立総合病院 6階 つつじホール

内容:・講演「GMサーベイメーターの原理と取り扱い」

アロカ株式会社 山口 宏明 先生

・実習「原子力災害におけるスクリーニング実習」

中部電力浜岡原子力発電所放射線安全課 •

静岡県放射線技師会管理士部会

・公開講演「東日本大震災と南海トラフ超巨大地震」

静岡大学理学部 教授 里村 幹夫 先生

・公開講演「静岡県における想定東海地震対策」

静岡県地震防災センター所長 小林佐登志 先生







#### 平成25年度原子力災害緊急時対策研修会

日時:平成25年11月30日(土) 14:00~17:00

場所:静岡県立総合病院 6階 つつじホール

内容:・公開講演「県の原子力防災に対する取り組み」

静岡県危機管理部 原子力安全対策課 主査 小澤 謙一 先生

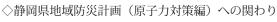
・講演「GMサーベイメーターの原理と取り扱い」

アロカ株式会社 大塚 洋英 先生

・実習「原子力災害におけるスクリーニング実習」

中部電力浜岡原子力発電所放射線安全課・

静岡県放射線技師会管理士部会



平成13年7月に改定

当時の役員のご尽力にて「スクリーニング及び診断除染活動の職種別人員構成」の職種名に放射線測定員から診療放射線技師又は放射線測定員と修正された。

平成18年8月に改定

当時の役員のご尽力にて、救助・救急、消火及び緊急被ばく医療活動の中に「スクリーニング及び線量評価は、県放射線技師会等の協力を得て行う。」と修正された。

#### ◇静岡県原子力防災訓練への協力

毎年、静岡県原子力防災訓練に参加している。この防災訓練は災害対策基本法、原子力災害対策特別措置法及び静岡県地域防災計画(原子力対策編)に基づき、国、県、関係市、防災関係機関が共同して行う訓練。 主に救護所のスクリーニング要員として活動している。

◇福島第一原子力発電所事故の対応

被ばく相談電話健康相談窓口対応

窓口名称: 静岡県放射線・放射能に関する相談窓口

期間:平成23年3月17日~31日

場所 : 静岡県庁

対応会員・・常任理事その他協力者

福島県遺体検案前サーベイ協力

期間:平成23年5月19日(木)~25日(水)

場所:相馬市、南相馬市

協力会員:廣瀬信雄(災害委員長)、片岡純也(管理士部会長)、塚本隆男

文責:田沢範康(平成24・25年度災害対策委員長)





#### 【生涯教育委員会】

平成16年設立

(平成16年4月3日第一回理事会にて承認)

平成16年11月07日

アドバンスド講習会「救急医療学」上級救命講習会 静岡市立静岡病院にて開催

平成16年11月14日

アドバンスド講習会「救急医療学」上級救命講習会 静岡赤十字病院にて開催

平成16年11月23日

アドバンスド講習会「救急医療学」上級救命講習会 静岡市追手町消防署講堂にて開催

平成16年12月19日

アドバンスド講習会「救急医療学」

静岡赤十字病院にて開催

平成17年06月12日

アドバンスド講習会「第一回 看護学」 静岡県立大学短期大学部にて開催

平成17年07月03日

アドバンスド講習会「第二回 看護学」

静岡県立大学短期大学部にて開催

平成17年07月24日

アドバンスド講習会「第一回 医療学」

静岡済生会病院にて開催

平成17年08月21日

アドバンスド講習会「第二回 医療学」

静岡済生会病院にて開催

平成17年10月02日

アドバンスド講習会「第三回 看護学」

静岡県立大学短期大学部にて開催

平成17年11月27日

アドバンスド講習会「第一回 医療安全学」

静岡市立静岡病院にて開催

平成17年12月11日

アドバンスド講習会「第二回 医療安全学」

静岡市立静岡病院にて開催

平成17年12月25日

アドバンスド講習会「第三回 医療安全学」

静岡市立静岡病院にて開催

平成17年12月26日

生涯教育委員会だより

「診療放射線技師の生涯教育について」を掲載

しずおかジャーナル Vol.15 No.3

平成18年03月29日

生涯教育委員会だより

「診療放射線技師の生涯教育について②」を掲載

しずおかジャーナル Vol.15 No.4

平成18年06月18日

アドバンスドセミナー「救急医療学」

第一回 上級救命講習会

総合病院聖隷三方原病院にて開催

平成18年06月25日

アドバンスドセミナー「救急医療学」

第二回 上級救命講習会

総合病院聖隷三方原病院にて開催

平成18年06月28日

生涯教育委員会だより

「診療放射線技師の生涯教育について③」を掲載

しずおかジャーナル Vol.16 No.1

平成18年07月02日

アドバンスドセミナー「救急医療学」

第三回 上級救命講習会

総合病院聖隷三方原病院にて開催

平成18年07月09日

アドバンスドセミナー「救急医療学」

総合病院聖隷三方原病院にて開催

平成18年07月23日

アドバンスドセミナー「第一回 医療学」

静岡県総合健康センターにて開催

平成18年07月30日

アドバンスドセミナー「第二回 医療学」

静岡県総合健康センターにて開催

平成18年09月27日

生涯教育委員会だより

「診療放射線技師の生涯教育について③」を掲載 しずおかジャーナル Vol.16 No.2

平成18年10月29日

アドバンスドセミナー「第一回 看護学」

社会保険三島病院にて開催

平成18年11月19日

アドバンスドセミナー「第二回 看護学」

沼津市立看護専門学校にて開催

平成18年11月05日

アドバンスドセミナー「第一回 医療学」

静岡市立静岡病院にて開催

平成18年11月12日

アドバンスドセミナー「第二回 医療学」

静岡市立静岡病院にて開催

平成18年12月17日

アドバンスドセミナー「第一回 医療安全学」

掛川市立総合病院にて開催

平成18年12月26日

生涯教育委員会だより「ADセミナーについて」を掲載 しずおかジャーナル Vol.16 No.3

C 9 4577 7 7 7 VOI. 10 NO. 3

平成19年01月14日

アドバンスドセミナー「第二回 医療安全学」

掛川市立総合病院にて開催

平成19年01月28日

アドバンスドセミナー「第三回 医療安全学」

掛川市立総合病院にて開催

平成19年06月17日

アドバンスドセミナー「第一回 医療学」ビデオ講習

掛川市立総合病院にて開催

平成19年06月24日

アドバンスドセミナー「第一回 医療安全学」

富士市立中央病院にて開催

平成19年07月08日

アドバンスドセミナー「第二回 医療学」ビデオ講習

掛川市立総合病院にて開催

平成19年07月22日

アドバンスドセミナー「第二回 医療安全学」

富士市立中央病院にて開催

平成19年08月26日

アドバンスドセミナー「第三回 医療安全学」

富士市立中央病院にて開催

平成19年10月28日

アドバンスドセミナー「第一回 看護学」

総合病院聖隷三方原病院にて開催

平成19年11月04日

アドバンスドセミナー「救急医療学」

第一回 上級救命講習会

三島市消防本部にて開催

平成19年11月18日

アドバンスドセミナー「第二回 看護学」

聖隷クリストファー大学にて開催

平成19年11月23日

アドバンスドセミナー「救急医療学」

第二回 上級救命講習会

静岡済生会総合病院にて開催

平成19年12月02日

アドバンスドセミナー「救急医療学」

第三回 上級救命講習会

三島市消防本部にて開催

平成19年12月16日

アドバンスドセミナー「救急医療学」

第四回 救急医学講義

富士市立中央病院にて開催

平成20年09月24日

生涯教育委員会だより

「放射線管理士更新と今後の技師会の方向」を掲載

しずおかジャーナル Vol.18 No.2

平成23年06月25日

第1回静岡県放射線技師会5部合同研修会

アンギオ、管理士、MRI、超音波、乳腺画像部会の基本 講演

静岡済生会総合病院にて開催



| 平成23年07月02日 | 第一回フレッシャーズセミナー | 静岡済生会総合病院にて開催

平成24年06月17日 診療放射線技師基礎講習(乳房撮影検査) アクトシティ浜松コングレスセンターにて開催

| 平成24年07月01日 | 第二回フレッシャーズセミナー | 静岡県放射線技師会事務所にて開催

| 平成24年12月9日 | 静脈注射に関する講習会 | アクトシティ浜松コングレスセンターにて開催

| 平成25年05月19日 | 第三回フレッシャーズセミナー | 静岡県放射線技師会事務所にて開催

平成25年09月08日 静脈注射(針刺しを除く)講習会 中東遠総合医療センターにて開催

25/11/23

医療加増情報制度管理士移行講習会 9月

### 【表彰委員会】

#### 平成10年度

勲五等端宝章 平成10年11月3日 下賜 井熊 信義

《松本賞》

和田 健 (県西部浜松医療センター)

《功労賞》

大木 義彦(藤枝市立総合病院)

望月 茂 (沼津市立病院)

《年勤続35年表彰》

鈴木 まさ(静岡健診クリニック)

杉山 高 (藤枝市立総合病院)

西尾 孝次(静岡県立総合病院)

宮崎 浄弐(本田技研工業浜松健康管理センター)

高田 保明(国立東静病院)

木村 修一(静岡医師会附属臨床検査センター)

山田 俊行(自宅)

仲 一彦(自宅)

山下 功 (山中湖クリニック)

峯野 力 (榛原総合病院)

岡村 彰二(結核予防会静岡県支部)

《年勤続20年表彰》

磯貝 明美 (総合病院浜松赤十字病院)

青野 誠冶(浜松市立診療所)

松島 俊光 (総合病院浜松赤十字病院)

山田 孝志 (静岡県立こども病院)

阿部 八郎 (遠州総合病院)

桑沢 啓治(田方保健医療対策協会附属病院)

高木 東 (浜松労災病院)

弘中 譲 (自宅)

北野 光浩 (総合病院浜松赤十字病院)

藤川 眞巳(公立森町病院)

吉川 保之(伊豆高原ゆうゆうの里診療所)

塩田 昭吉(NTT伊豆逓信病院)

村松 俊幸(県西部浜松医療センター)

酒井 博孝 (総合病院浜松赤十字病院)

石山 善久(市立島田市民病院)

宮城 政巳(宮城接骨院)

稲垣 達雄(共立菊川総合病院)

松下 尅三(小笠医師会立笠南医療センター)

垣内 幹夫(富士市立中央病院)

望月 守 (静岡県立総合病院)

馬場 健治(自衛隊富士病院)

#### 平成11年度

《勤続35年表彰》

湖海 周信(清水市立病院)

岡本 正幸(自宅)

鈴木 忠司(掛川医療センター)

大石 橙一(市立島田市民病院)

藤田 隆夫(自宅)

瀧口 清美(愛鷹病院)

《年勤続20年表彰》

渡邉 元市(伊豆韮山温泉病院)

佐藤 信之(県立総合病院)

名越 元威(県立総合病院)

大場 繁雄(国府台整形外科医院)

永井 靖郎(山名診療所)

石塚 伸夫 (総合病院聖隷三方原病院)

中島 英之(順天堂伊豆長岡病院)

辰巳 勝之(市立島田市民病院)

石向田鶴男 (静岡市立静岡病院)

井上 欽央(自宅)

藤田 孝 (藤枝市立総合病院)

桜井 八郎(社保桜ヶ丘総合病院)

早川 力也(自宅)

鈴木 久士(町立浜岡総合病院)

原 保和(順天堂伊豆長岡病院)

林 清和((財)田方保険医療対策協会)

武田 浩康(浜松医科大学医学部附属病院)

#### 平成12年度

《顕彰表彰》

吉村 正己((財)結核予防会静岡県支部)

庄 賢治(株式会社小糸製作所診療所)

《功労賞》

八木 秀視(総合病院静岡厚生病院)

塩津 敏之(清水市立病院)

永年勤続表彰者

《年勤続35年表彰》

横山 誠(共立湊病院)

大石 統彦(共立菊川総合病院)

服部 義男(小笠医師会立掛川医療センター)

《年勤続20年表彰》

江藤潤一郎(吉田胃腸科外科)



增田 淳 (富士宮市立病院) 千頭和洋行 (富士宮市立病院) 水口 好夫 (大橋小児科医院)

富永 賢道 (日本大学医学部附属稲取病院)

石津 文夫 (吉原病院)

安藤 孝雄 (焼津市立総合病院) 大木 義彦 (藤枝市立総合病院) 秋山 清純 (市立島田市民病院)

金刺 明男 (静岡市医師会健診センター)

守屋 計男 (浜松労災病院) 窪野 久行 (遠州総合病院) 佐々木幹晴 (遠州総合病院)

荒井 準 (袋井市立袋井市民病院) 伊藤 雅夫 (袋井市立袋井市民病院) 斉藤 隆二 (社会保険浜松病院)

#### 平成13年度

佐藤 好平

《永年勤続35年表彰》

原田 力三 (自宅)

松村 忠範 (浜松労災病院)

#### 《永年勤続20年表彰》

高木 省一 (富士市立中央病院) 岡田 昇 (岡村記念病院) 飯塚 義弘 (牛臥病院)

佐野 峯元 (城西神経内科クリニック)

(富士小山病院)

皆川 寅夫 (静岡健康管理センター) 寺田 直務 (静岡県立こども病院)

鈴木 清孝 (市立島田市民病院)

殿岡 正敏 (静岡済生会総合病院)

酒井 公敏 (静岡済生会総合病院) 菊池 直樹 (静岡済生会総合病院)

遠藤 正利 (清水市立病院)

中村 寛次 (藤枝市立総合病院)

秋山 敏一 (藤枝市立総合病院)

八木 秀視 (総合病院静岡厚生病院) 加藤 始 (静岡県立総合病院)

平田 哲生 (静岡県立総合病院)

望月悌司郎 (榛原総合病院)

杉浦 良樹 (聖隷予防検診センター) 山本 英雄 (聖隷予防検診センター) 山城 寛 (袋井市立袋井市民病院) 佐々木浩二 (袋井市立袋井市民病院)

(総合病院浜松赤十字病院)

平成13年度

《静岡県知事表彰》

吉村 正己 (結核予防会静岡県支部) 大石 雅史 (共立湖西総合病院)

《社団法人 静岡放射線技師会会長表彰》

功労表彰

白鳥 岩男 (結核予防会静岡県支部) 根岸 誠 (順天堂伊豆長岡病院)

藤田 隆夫 (自宅会員)

三井田基善 (順天堂伊豆長岡病院)

小峰 紀 (山形外科) 清王 尊仁 (自宅会員)

大木 義彦 (藤枝市立総合病院) 殿岡 正敏 (静岡済生会総合病院)

東山 誠三 (司馬外科医院)

上田 信司 (社会保険桜ヶ丘総合病院)

(故)清水 克豊

#### 平成14年度

《功労賞》

三井田 基善(順天堂伊豆長岡病院) 森 佳久 (市立島田市民病院)

永年勤続表彰者

《永年勤続35年表彰》

上野 良雄 (伊豆箱根鉄道健康保険組合診療所)

大石 春男 (榛原総合病院)谷越 修 (立岩整形外科病院)関塚 勝則 (スズキ株式会社診療所)大石 雄史 (共立湖西総合病院)

#### 《永年勤続20年表彰》

井出 宣孝(富士市立中央病院)東 茂(東伊豆赤十字病院)成川 秋彦(伊豆保健医療センター)

二宮 要 (熱函病院)

藤池 悟 (総合病院聖隷沼津病院)

佐野 孝之 (富士宮市立病院)

土屋 成治 (静岡県東部健康福祉センター) 大内 公則 (医療法人英志会渡辺病院)

望月 茂 (沼津市立病院) 鎌田 博幸 (伊東病院)

渡辺 建彦 (市立島田市民病院)

河合 秀紀 (清水市立病院)

松山 秀夫

井上 令子 (静岡医療福祉センター児童部) 田川均 (静岡赤十字病院) 土屋 益男 (共立蒲原総合病院) 村田 憲昭 (社会保険桜ヶ丘病院) 森 佳久 (市立島田市民病院) 児玉 吉彦 (総合病院静岡厚生病院) 山本 彰彦 (清水市立病院) 福島 知之 (市立島田市民病院) 小林 昭文 (浜松佐藤町診療所) 松下 収 (医療法人三石会中西病院) 本樫 崇輿 (浜松労災病院) 山本 朋巳 (小笠医師会立笠南医療センター) 白澤 梅男 (県西部浜松医療センター) 江口 幸民 (県西部浜松医療センター) 竹田 守 (県西部浜松医療センター) 片山 善博 (総合病院聖隷浜松病院) 新木 達哉 (共立菊川総合病院) 川嶋 正義 (社団松田病院) 中村 朋弘 (社会保険浜松病院) 竹内 智 (総合病院聖隷三方原病院) 太田 益弘 (総合病院聖隷浜松病院) 金原 富昭 (磐田市立総合病院) 大場 仁敏 (磐田市立総合病院) 澤井 俊雅 (磐田市立総合病院)

#### 平成15年度

西村 勝之

#### 《 永年勤続35年表彰 》

中津川 大三 (三島社会保険病院)

三浦 恒栄 (静岡県御殿場健康福祉センター)

(国立療養所静岡神経医療センター)

杉山 保夫 (清水厚生病院) 増井 重充 (遠州総合病院)

池田 良治 (浜松リハビリテーションセンター)

三井田 基善 (順天堂伊豆長岡病院)

 赤池
 慶徳
 (赤池接骨院)

 澤本
 光正
 (静岡赤十字病院)

 村松
 官司
 (浜松労災病院)

#### 《永年勤続20年表彰》

水野 光男 (裾野赤十字病院)
 下山 和巳 (根津クリニック)
 野寄 哲 (清水厚生病院)
 田邊 利夫 (静岡厚生病院)
 牧野 雅好 (清水市立病院)
 伊吹 重敏 (社会保険浜松病院)
 鈴木 博寿 (三島社会保険病院)

滝口 昇吾 (NTT東日本伊豆病院)

飯塚 知幸 (清水厚生病院)

奥川 令 (静岡済生会総合病院)

加藤 吉隆 (静岡県予防医学協会総合健診センター)

森下 好則 (浜松労災病院)

#### 平成16年度

《顕彰表彰》

白鳥 岩男 (自宅会員) 田島 剛二郎 (田島接骨院)

《功労表彰》

中瀬 静登 (富士脳障害研究所附属病院)

山田 豊 (沼津市立病院) 大石 雄史\* (共立湖西総合病院)

永年勤続表彰者

《永年勤続35年表彰》

望月 達巳 (自宅会員) 後藤 憲幸 (長良病院)

河原 昇 (杉山病院)

高橋 恵一 (御殿場石川病院)

小池 等 (芹沢病院)

和田 健 (県西部浜松医療センター)

#### 《永年勤続20年表彰》

三浦 孝夫 (静岡県立総合病院)

神山 司 (静岡県立総合病院)

望月 義弘 (静岡市立静岡病院)

近藤 仁 (静岡市立静岡病院)

小泉 健二 (静岡市立静岡病院)

東山 誠三 (司馬医院)

榑松 文孝 (市立島田市民病院)

疋田 洋一 (遠州総合病院)

佐藤 幸夫 (浜松赤十字病院)

望月 克敏 (静岡市立清水病院)

佐藤 洋代 (静岡市医師会健診センター)

赤堀 敏弘 (掛川市立総合病院)

天野 仁志 (掛川市立総合病院)

小澤 正実 (静岡厚生病院)

小泉 敬太 (富士病院)

殿岡 晃 (伊豆保健医療センター)

久保 幸功 (榛原総合病院)

戸塚 敏 (共立菊川総合病院)

中道 善章 (市立島田市民病院)

瀧澤 正明 (宮地医院)

山田 鎌太郎 (磐田市立総合病院)



#### 平成17年度

《永年勤続35年表彰》

服部 富夫 (菊川市立総合病院)

須摩 均 (浜松労災病院)

加藤 力 (自宅)

原田 晴二 (掛川市立総合病院)

陶山 誠 (静岡市立清水病院)

柳沢屋 純一(浜松労災病院)

山田 豊 (沼津市立総合病院)

新間 和喜 (焼津市立総合病院)

山本 博之 (焼津市立総合病院)

菅原 忠信 (富士市立中央病院)

《永年勤続20年表彰》

松下 収 (中西病院)

北川 敬康 (藤枝市立総合病院)

袴田 延一 (静岡市立清水病院)

佐野 孝之 (自宅)

大井 健 (榛原総合病院)

成瀬 彰彦 (榛原総合病院)

春田 孝博 (掛川市立総合病院)

日下部 行宏(総合病院聖隷浜松病院)

清水 健司 (加茂医師会)

谷崎 靖夫 (県西部浜松医療センター)

鈴木 明美 (総合病院聖隷浜松病院)

大村 幸弘 (静岡赤十字病院)

青島 芳仁 (焼津市立総合病院)

加藤 久佳 (焼津市立総合病院)

渥美 希義 (静岡県立総合病院)

#### 平成18年度

《叙勲 瑞宝双光章》

庄 賢治 名誉会員 (株式会社小糸製作所診療所)

《松本賞》

中村 文俊 (県西部浜松医療センター)

《功労表彰》

斉藤 健一 (藤枝市立総合病院)

《永年勤続35年表彰》

山屋 利晴 (リハビリテーション中伊豆温泉病院)

伊藤 生也 (静岡県立総合病院)

長島 眞 (石田医院)

山本 満 (静岡厚生病院)

中瀬 静登 (富士脳障害研究所附属病院)

松本 敏雄 (清水厚生病院)

奥村 正義 (静岡健診クリニック)

《永年勤続20年表彰》

北川 欣一 (長谷川胃腸科内科医院)

前田 光一郎 (共立蒲原総合病院)

稲葉 裕子 (遠藤クリニック)

中山 修 (掛川市立総合病院)

渡邉 学 (勝和クリニック)

永井 克明 (静岡市立清水病院)

白井 真理 (市立島田市民病院)

恒川 多賀志 (浜松市発達医療総合福祉センター)

真野 清道 (田沢病院)

大須賀 健 (三島社会保険病院)

天野 宜委 (袋井市立袋井市民病院)

大杉 正典 (磐田市立総合病院)

星名 泰幸 (遠州総合病院)

阿部 進 (静岡済生会総合病院)

石田 眞貴廣 (静岡済生会総合病院)

伏見 光代 (静岡済生会総合病院)

上田信司(社会保険桜ヶ丘総合病院)

中川 敬三 (社会保険桜ヶ丘総合病院)

喜多 慶子 (自宅)

#### 平成19年度

《厚生労働大臣表彰》

和田 健 (浜松南病院)

《松本賞》

秋田 富二代 (静岡県立静岡がんセンター)

《永年勤続35年表彰》 8名

上野 良雄 (伊豆箱根鉄道健康保険組合診療所)

清水 正義 (市立御前崎総合病院)

浅野 愉喜夫 (浜松市リハビリテーション病院)

生座本 義廣 (県西部浜松医療センター)

神能 俊一 (県西部浜松医療センター)

大石 正雄 (静岡県立総合病院)

安間 武 (磐田市立総合病院)

高橋 修司 (磐田市立総合病院)

《永年勤続20年表彰》 15名

長谷 守照 (八木医院)

杉村 俊樹 (焼津市立総合病院)

瀧井 達志 (焼津市立総合病院)

杉山 哲一 (沼津市立病院) 岩田 敏秀 (富士宮市立病院) 大原 明 (沼津市立病院) 高橋 則和 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

高橋 則和 (順大堂大学医学部附属静岡病院 小栗 徳彦 (袋井市立袋井市民病院)

土井 良高 (袋井市立袋井市民病院) 小山 雅之 (社会保険浜松病院)

加藤 宏幸 (社会保険浜松病院)

本田 正英 (常葉学園常葉リハビリテーション病院)

酒井 章雄 (社会保険桜ヶ丘総合病院) 廣畑 一哉 (社会保険桜ヶ丘総合病院) 橋本 和明 (国際医療福祉大学熱海病院)

#### 平成20年度

#### 《勤続35年表彰》

安池 健二 (自宅)

福吉 正利 (静岡赤十字病院) 伊藤 等 (富士宮市立病院)

本杉義比古 (青葉台福地整形外科消化器科医院)

小池 澄男 (静岡済生会総合病院)

#### 《勤続20年表彰》

足立 敏明 (社会保険桜ヶ丘総合病院) 佐々木 英治(NTT東日本伊豆病院)

松本 恭徳 (静岡県立総合病院)

石川 尚紀 (JA静岡厚生連 遠州病院) 長谷川 純 (静岡健康管理センター)

鈴木 和訓 (富士市立中央病院)

山田 理恵 (駿河西病院)

芹澤 和彦 (三島社会保険病院) 井上 忠之 (菊川市立総合病院)

荒木 重雄 (掛川市立総合病院)

村山 保男 (西焼津駅前クリニック)

深澤 敏之 (静岡健康管理センター)

畑 利浩 (市立島田市民病院)

鈴木 大輔 (袋井市立袋井市民病院)

伴 隆幸 (市立湖西病院)

井出 敦之 (富士市立中央病院)

天野 真由美 (自宅)

澤田 通文 (浜松医科大学医学部附属病院)

勝呂 節子 (根津クリニック)

#### 平成21年度

#### 《勤続35年表彰》

平野 道義 (聖隷予防検診センター)

中野 正実 (国立病院機構 駿河療養所)

赤池 正久 (静岡市立静岡病院)

廣瀬 信雄 (順天堂静岡病院)

四ノ宮 照夫(寺田クリニック)

#### 《勤続20年表彰》

櫻井 恵美 ((財)静岡県予防医学協会)

菅沼 由孝 (共立湖西総合病院)

河合 秀紀 (静岡市立清水病院)

前澤 章子 (自宅)

池谷 幸一 (富士市立中央病院)

草田 栄二 (総合病院聖隷三方原病院)

中山 親一 (共立湖西総合病院)

片岡 純也 (総合病院聖隷浜松病院)

近藤 賢治 (聖隷健康診断センター)

高藤 衣佐子(聖隷健康診断センター)

增田 秀道 (静岡市立静岡病院)

田中 睦生 (総合病院聖隷浜松病院)

遠藤 一弘 (富士市立中央病院)

後藤 善人 (静岡市立静岡病院)

長屋 重幸 (総合病院聖隷三方原病院)

望月 浩正 (静岡市立清水病院)

乙丸 亨 (静岡市立静岡病院)

佐藤 正明 (JA静岡厚生連 清水厚生病院)

岡村 隆次 (錦野クリニック) 髙橋 真 (榛原総合病院)

片山 昇 (社会保険桜ヶ丘総合病院)

天野 一郎 (せきおか整形外科)

庄 也寸志 (静岡市立静岡病院)

椙山 修光 (静岡済生会総合病院)

山下 俊明 (総合病院聖隷浜松病院)

中村 英明 (静岡済生会総合病院)

立石 甲吉 (聖隷健康診断センター)

内山 俊二 ((財) 東海検診センター)

山口 みえ子 (静岡市医師会健診センター)

平野 昌弘 (聖隷予防検診センター)

上原 譲 (リハビリテーション中伊豆温泉病院)

藤田 真史 (種部整形外科医院)

宮本 一宏 (総合病院聖隷三方原病院)

照屋 幸次 (浜松市リハビリテーション病院)

下山 浩 (沼津市立病院)

工藤 司 (社会保険桜ヶ丘総合病院)

宿島 久志 (市立島田市民病院)

河合 邦之 (西遠クリニック)



伊藤	宏明	(静岡県立静岡がんセンター)	秋山	洋	(伊豆保健医療センター)
大石	哲久	(社会保険浜松病院)	安藤	洋平	(浜松北病院)
殿岡	ひとみ	(東部メディカルセンター)	鈴木	滋	(公立森町病院)
児玉	博英	(社会保険浜松病院)	瀧谷	正人	(静岡市立清水病院)
望月	尚子	(社会保険桜ヶ丘総合病院)	鈴木	幸広	(JA静岡厚生連 遠州病院)
片山	順子	(総合病院聖隷三方原病院)	杉山	千晶	(静岡市立清水病院)
福島	浩	(菊川市立総合病院)	鈴木	篤	(浜松労災病院)
青木	茂生	(聖隷健康診断センター )	笠原	典彦	(聖隷沼津病院)
坂口	尚光	(浜名病院)	鈴木	雅則	(浜松医科大学医学部附属病院)
遠藤	佳秀	(富士市立中央病院)	伊藤	和彦	(聖隷福祉事業団法人本部事務局)
原	陽一	(富士宮市立病院)	野末	定伯	(磐田市立総合病院)
長田	貴光	(熱川温泉病院)	鈴木	定孝	(市立御前崎総合病院)
織田	和明	(丸山病院)	鈴木	智雄	(静岡済生会総合病院)
毛受	義孝	(袋井市立袋井市民病院)	増田	和道	(静岡済生会総合病院)
杉山	伸一	(富士市立中央病院)	寺田	理希	(磐田市立総合病院)
山田	薫	(総合病院聖隷浜松病院)			
村瀬	昌希	(聖隷健康診断センター)	平成2	23年度	
八木	啓	(総合病院聖隷浜松病院)		, ,,, ,	
石川	拓克	(浜松赤十字病院)	《永生	F勤続 35	年表彰》
山口	武	(引佐赤十字病院 健康管理センター)	中村	直	(菊池医院)
西澤	和彦	(国民健康保険 佐久間病院)	杉山	禎	(焼津市立総合病院)
中村	千弘	(北斗わかば病院)	村田	恒夫	(静岡県立総合病院)
土屋	益男	(共立蒲原総合病院)	延澤	秀二	(浜松医療センター)
内村	進	(東芝機械株式会社沼津本社)	野末	一司	(浜松医療センター)
成瀬	浩一	(浜松北病院)	今井	厚夫	(すずかけセントラル病院)
			《永生	F勤続 20	年表彰》
平成2	22年度		佐野	弘行	(メディトピア沼津内科クリニック)
			倉田	ゆかり	(自宅)
《永年	下勤続 :	35年表彰》	上野	由実	((財) 富士脳障害研究所附属病院)
菅野	敏彦	(西部浜松医療センター附属診療所)	藤下	由美子	(三島共立病院)
青木	隆	(中西整形外科医院)	深澤	英史	(富士宮市立病院)
三輪	則夫	(静岡済生会総合病院)	鈴木	達人	(富士宮市立病院)
塚本	隆男	(市立御前崎総合病院)	木内	浩	(富士宮市立病院)
倉田	富雄	(富士市立中央病院)	高城	正行	(沼津市立病院)
鈴木	貞子	(結核予防会静岡県支部)	田中	章	(沼津市立病院)
			菅原	和仁	(富士市立中央病院)
《永年	F勤続 :	20年表彰》	阪口	充	(沼津市立病院)
市川	和秀	(共立蒲原総合病院)	大熊	むつ子	(自宅)
渡邉	知巳	(共立蒲原総合病院)	植田	到	(きせがわ病院)
川守	剛靖	(社会保険桜ケ丘総合病院)	伊與日	日 高志	(静岡済生会総合病院)
佐野	裕文	(焼津市立総合病院)	粟原	春雄	(静岡済生会総合病院)
西谷	収利	(焼津市立総合病院)	鈴木	武成	(焼津市立総合病院)
	forter.	(A) A		744	(14)4-1-1-(// / 4444)

青島

常葉 勇介

神谷 正貴

小泉 雅廣

満

(焼津市立総合病院)

(静岡市立清水病院)

(磐田市立総合病院)

(医療法人社団綾和会 浜松南病院)

加藤 和幸 (市立島田市民病院)

高木 潤

鈴木 正和

塚原 等 (総合病院聖隷三方原病院)

横田 政則 (市立島田市民病院)

鈴木 康之 (JA静岡厚生連 清水厚生病院)

(磐田脳神経外科病院)

(磐田脳神経外科病院)

多々良 透 (総合病院聖隷浜松病院) 天野 守計 (掛川市立総合病院) 川瀬 俊浩 (袋井市立袋井市民病院) 武田 真典 (総合病院聖隷三方原病院)

平成24年度

《松本賞》

瓜倉 厚志 (静岡県立がんセンター)

《永年勤続35年表彰》

馬場 健治 (御殿場石川病院) 阿瀬川 敏 (順天堂静岡病院)

吉田 忠尚 (おおいしレディースクリニック)

近藤 方司 (静岡済生会総合病院) 熊野 宏晴 (静岡済生会総合病院) 吉田 光晴 (掛川市立総合病院)

背戸 好廣 (聖隷福祉事業団 法人本部事務局)

田中 敏夫 (総合病院聖隷三方原病院)

三野 努 (東海検診センター 浜松事業所)

矢野 正幸 (県立こども病院)

井美 恵美子 (浜松医科大学医学部附属病院)

《永年勤続20年表彰》

大倉 善郎 (伊豆保健医療センター)

森 明子 (賀茂医師会)

澤瀬 敏之 (共立蒲原総合病院)

大迫 久孝 (三島東海病院)

橋口 光 (自宅)

篠田 雅弘 (順天堂静岡病院) 愛甲 泰久 (順天堂静岡病院) 村瀬 渉 (沼津市立病院)

根岸 賢哉 (沼津市立病院)

影山 佳久 (裾野赤十字病院)

望月 有美 (JA静岡厚生連 清水厚生病院)

山崎 俊樹 (市立島田市民病院)野末 恭弘 (市立島田市民病院)

荻原 豊子 (自宅)

岩田 勉 (焼津市立総合病院) 鈴木 紀晶 (焼津市立総合病院)

望月 英紀 (静岡県産業労働福祉協会)

後藤 英樹 (静岡済生会総合病院)

斉藤 健一 (藤枝市立総合病院)

神谷 守孝 (引佐赤十字病院)

渡部 源五 (自宅)

大坪 健一 (磐田市立総合病院)

中嶋 俊一 (総合病院聖隷三方原病院)

濱渕 康司 (天竜吉田医院)

大坪 健一 (磐田市立総合病院)

中村 文俊 (浜松医療センター)

川島 和記 (静岡県立総合病院)

《35年永年勤続表彰》

石向 田鶴男(市立静岡病院)

高木 省一 (富士市立中央病院)

鈴木 清孝 (市立島田市民病院)

杉浦 良樹 (総合病院聖隷三方原病院)

八木 秀視 (JA静岡厚生連静岡病院)

小子 苯卅 (炒入壳炒加盐二十万壳炒)

山本 英雄 (総合病院聖隷三方原病院) 佐々木 浩二 (磐田市立総合病院)

佐藤 好平 (社団法人富士小山病院)

平田 哲生 (静岡県立総合病院)

秋山 敏一 (藤枝市立総合病院)

《厚生労働大臣表彰》

中瀬 静登 (おぎの整形外科)

平成25年度

≪永年勤続35年表彰≫

船坂 廣治 (渡辺整形外科医院)

塩田 昭吉 (NTT東日本伊豆病院)

松島 俊光 (静岡赤十字病院)

藤川 眞己 (みのる整形外科)

石川 善久 (自宅)

阿部 八郎 (自宅)

稲垣 達雄 (菊川市立総合病院)

高木 東 (浜松労災病院)

《永年勤続20年表彰》

水間 健二 (袋井市立袋井市民病院)

伊藤 正己 (豊橋医療センター)

大石 哲也 (磐田市立総合病院)

山田 浩之 (藤枝市立総合病院)

永島 暁人 (静岡済生会総合病院)

田爪 健二 (順天堂静岡病院)

鈴木 千晶 (総合病院聖隷三方原病院)

中司 政章 (池田病院)

山岡 真二 (総合病院聖隷浜松病院)

和田 幸司 (NTT東日本伊豆病院)

溝口 賢哉 (藤枝市立総合病院)

森下 元晴 (滝ヶ原駐屯地)

山内 邦明 (浜松労災病院)

≪永年勤続30年表彰≫



大木 義彦 (藤枝市立総合病院) 白澤 梅男 (浜松医療センター) 江口 幸民 (浜松医療センター) 藤池 悟 (聖隷沼津病院) 田川 均 (静岡赤十字病院) 村田 憲昭 (社会保険桜ケ丘総合病院) 森 佳久 (島田市立島田市民病院) 児玉 吉彦 (JA静岡厚生連静岡厚生病院) 片山 善博 (聖隷健康診断センター) 新木 達哉 (菊川市立総合病院) 竹内 智 (聖隷予防検診センター) 福島 知之 (島田市立島田市民病院) 澤井 俊雄 (磐田市立総合病)

(順不同 敬称略)

#### 【選挙管理委員会】

【平成16~17年度】

#### <選挙管理委員>

委員長 山城 寛 (袋井市立袋井市民病院)

深澤 英史(富士宮市立病院)

大須賀 健(三島社会保険病院)

斉藤 友紀(社会保険桜ヶ丘総合病院)

宿島 久志(市立島田市民病院)

白澤 梅男(県西部浜松医療センター)

#### <山城選挙管理委員長挨拶>

今年度より、選挙管理委員長を任命されることになりました。今まで県技師会には正直あまり参加していませんでしたが、これからの2年間は社団法人静岡県放射線技師会の発展のため、各地区(東・中・西部)の選挙管理委員との連携を密にし、選挙が円滑・公正に行われるよう一生懸命努力したいと考えます。今後とも会員の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

#### <平成16・17年度役員改選について>

定款第11条に基づいて、平成16~17年度役員選挙を行った結果、役員推薦候補者を下記のように受理した。

会 長 和田 健 (県西部浜松医療センター)

副会長(東部) 橋本 和明(国際福祉医療大学付属熱海病院)

副会長(中部) 山本 博之(焼津市立総合病院) 副会長(西部) 伊藤 雅夫(袋井市立袋井市民病院) 監 事(東部) 和田 幸司(NTT東日本伊豆病院)

監事(西部) 増井 成充(遠州総合病院)

役員選挙規定第10条に基づき、候補者が役員定員を超えないため上記候補者は無投票と当選となった。

#### <今後の役員改選ついて>

平成18年度までは役員改選のたびに忙しく決められてきた。このような状況を解消するため平成15年9月6日開催の平成15年度第2回理事会にて選挙規程の改訂が行われ、承認された。

平成18・19年度の役員改選はこの選挙規程に則り進められていく。

今後の予定では

- ① 第3回理事会頃に公示
- ② 年末に投票用紙を発送
- ③ 1月下旬位までに投票
- ④ 第4回理事会にて当選証書の授与となる予定

平成17年9月3日 第2回理事会資料

#### 【平成18~19年度】

#### <選挙管理委員>

委員長 宿島 久志(市立島田市民病院)

白澤 梅男 (県西部浜松医療センター)

北野 光浩 (総合病院浜松赤十字病院)

斉藤 友紀(社会保険桜ヶ丘総合病院)

深澤 秀史(富士宮市立病院)

笠原 典彦(聖隷沼津病院)



#### <宿島選挙管理委員長挨拶>

昨年度まで地区会幹事をやってきて「県技師会理事の皆さんはいつも大変だなぁ。」と感じていたのも束の間、今度は自分がやることになり少々戸惑っています。技師会のことは無知で何をすればいいのかさっぱりわかりませんが、やるからには任務を全うできるようにがんばります。みなさまのご協力、応援よろしくお願いいたします。技師会を通じて多くの皆さんと交流し、親睦を深め知識を習得し、自己研磨に努めていこうと思います。

#### <平成18・19年度役員改選について>

定款第11条に基づいて、平成18~19年度役員選挙を行った結果、役員推薦候補者を下記のように受理した。

会 長 和田 健 (医療法人社団綾和会 浜松南病院)

 副会長(東部)
 古郡 良三(富士市立中央病院)

 副会長(中部)
 村田 憲昭(社会保険桜ヶ丘病院)

 副会長(西部)
 伊藤 雅夫(袋井市立袋井市民病院)

 監 事(東部)
 和田 幸司(NTT東日本伊豆病院)

監 事(中部) 山本 満 (JA静岡厚生連静岡厚生病院)

役員選挙規定第10条に基づき、候補者が役員定員を超えないため上記候補者は無投票と当選となった。従って、第 29回通常総会にて和田健会長候補の信任投票のみ行われた。結果賛成540名、否決2名、無効7名だった。賛成が今 回会員の過半数を満たしており、定款24条により承認された山城 前選挙管理委員長より報告された。

#### 【平成20~21年度】

#### <選挙管理委員>

委員長 笠原 典彦(聖隷沼津病院)

井出 宣孝(富士市立中央病院)

斉藤 友紀(社会保険桜ヶ丘総合病院)

山﨑 俊樹(市立島田市民病院)

北野 光浩 (総合病院浜松赤十字病院)

塚本 隆男(市立御前崎総合病院)

#### <笠原選挙管理委員長挨拶>

今期、選挙管理委員長を務めます聖隷沼津病院の笠原です。過去には、組織理事として参加しましたが、選挙管理 委員長としては、初めてのことで何をしたらよいのかと考えています。かなり先ではありますが、役員選出時には、 出番がやってくると思います。静岡県放射線技師会が皆様のお役に立てるように、微力ではありますが、努力してい きたいと思います。2年間よろしくお願いします。

#### <平成20・21年度役員改選について>

定款第11条に基づいて、平成20~21年度役員選挙を行った結果、役員推薦候補者を下記のように受理した。なお今回会長は立候補ではなく、推薦による候補者推薦届が選挙管理委員会に提出された。役員選挙規程第3章だい6条の2に推薦者は20名以上とする定めがあるが、和田会長は46名の推薦者による立候補となった。

会 長 和田 健 (医療法人社団綾和会 浜松南病院) 副会長(東部) 廣瀬 信雄(順天堂大学医学部付属静岡病院) 副会長(中部) 村田 憲昭(社会保険桜ヶ丘病院) 副会長(西部) 延澤 秀二(県西部浜松医療センター) 監 事(中部) 山本 満 (JA静岡厚生連静岡厚生病院) 監 事(東部) 天野 仁志(掛川市立総合病院) 2月2日に役員公示を行い、役員選挙規程10条に基づき役員は定数を超えないので上記候補者は無投票と当選となった。 会長のみの信任投票となり、第33回通常総会において会長候補信任についての結果は有効表決数552名、否決4名、無効 3名、賛成545名となり、賛成が本会会員数の過半数を満たしており定款24条により総会にて承認され たことを宿島前選 挙管理委員長より報告された。

#### 【平成22~23年度】

#### <選挙管理委員>

委員長 塚本 隆男(市立御前崎総合病院)

井出 宣孝(富士市立中央病院)

篠田 雅弘 (順天堂大学医学部付属静岡病院)

山﨑 俊樹(市立島田市民病院)

飯塚 知幸(JA静岡厚生連 清水厚生病院)

加藤 浩千(聖隷三方原病院)

#### <塚本選挙管理委員長挨拶>

久しぶりに、県技師会のお手伝いをさせていただくことになりました。厳しい社会情勢の中、会員、役員の皆様が 奮闘努力されて静岡県放射線技師会を育て、成長させています。微力ですが協力させていただきます。ご指導の程宜 しくお願い致します。

#### <平成22・23年度役員改選について>

定款第11条に基づいて、平成22~23年度役員選挙を行った結果、役員推薦候補者を下記のように受理した。

会 長 和田 健 (医療法人社団綾和会 浜松南病院)

副会長(東部) 廣瀬 信雄(順天堂大学医学部付属静岡病院)

副会長(中部) 石向 田鶴男(静岡市立静岡病院)

副会長(西部) 山本 英雄(聖隷三方原病院)

監事(東部) 倉田 富雄(富士市立中央病院)

監事(西部) 天野 仁志(掛川市立総合病院)

役員選挙規定第10条に基づき、候補者が役員定員を超えないため上記候補者は無投票と当選となった。従って、第 37回通常総会にて会長のみの信任投票が行われた結果、反対5名、賛成576名で承認された。

#### 【平成24~25年度】

#### <選挙管理委員>

委員長 飯塚 知幸(JA静岡厚生連 清水厚生病院)

井出 宣孝(富士市立中央病院)

篠田 雅弘 (順天堂大学医学部付属静岡病院)

增田 秀道(静岡市立静岡病院)

加藤 浩千(聖隷三方原病院)

川合 宏明(JA静岡厚生連 遠州病院)

#### <飯塚選挙管理委員長挨拶>

今まで委員会等のお仕事はいくつかさせていただきましたが、この度はからずも選挙管理委員長の大役を仰せつかりました。いま我々放射線技師が病院をはじめとして一般社会で、その存在を認められているのも技師会あってのことだと思います。はじめてのことでもあり、なにもわからない状態ですが、選挙の管理執行に万全を期して公益社団法人静岡県放射線技師会発展の一翼を担えばと思います。



#### <公益社団法人静岡県放射線技師会 平成24·25年度役員>

平成24年度より公益法人登録を目指して認定申請の作業が行われたが、申請には総会で承認された「役員等就任予定者の名簿」及び「法人の最初の会長」の記入が必要となるため、定款及び役員選挙規程に則り、法人登録後の候補者が下記のごとく決まった。候補者が役員定数を超えてないため、選出投票は行わない。ただし、会長の信任及び会長以外の理事ならびに監事の承認が必要となる。

会 長	和田 健	(医療法人社団綾和会 浜松南病院)
副会長(東部)	田沢 範康	(聖隷沼津病院)
副会長(中部)	大木 義彦	(藤枝市立総合病院)
副会長(西部)	山本 英雄	(総合病院聖隷三方原病院)
理 事	藤池 悟	(聖隷沼津病院)
理 事	片山 昇	(社会保険桜ヶ丘総合病院)
理 事	三浦 孝夫	(静岡県立総合病院)
理 事	島田 洋一	(静岡赤十字病院)
理 事	畑 利浩	(市立島田市民病院)
理 事	西谷 収利	(焼津市立総合病院)
理 事	佐々木幹晴	(JA静岡厚生連遠州病院)
理 事	玉田 宏一	(富士宮市立病院)
理 事	児玉 吉彦	(JA静岡厚生連静岡厚生病院)
理 事	寺田 理希	(磐田市立病院)
理 事	田中 睦生	(聖隷浜松病院)
理 事	秋山 洋	(伊豆保健医療センター)
理 事	片山 善博	(聖隷健診センター)
監 事	倉田 富雄	(富士市立中央病院)
監 事	近藤 仁	(静岡市立静岡病院)

臨時総会(平成23年9月4日)にて理事17名・監事2名の役員が承認された。

#### <理事辞任に伴い補欠選挙の件>

中部地区会推薦 大木義彦理事に関して、諸般の事情があり理事辞任となった。したがって、定款第21条第2項の理事辞任に伴い理事1名の補欠選挙を定款第22条第1項により第1回公益社団法人 静岡県放射線技師会総会(平成24年5月27日)にて行った。

#### 【候補者氏名】 森佳久(市立島田市民病院)

総会第4号議案理事辞任に伴う補欠選挙承認の件は、表決はがきによる採決結果は、反対0名、保留0名、賛成472名であった。また会場採決は反対0名、保留0名、賛成73名で賛成多数により可決された。

# 放射線技師の過去、現在それで表来へ

これからの人達に望む事 これからを担う人達 未来の技師会を担う人達



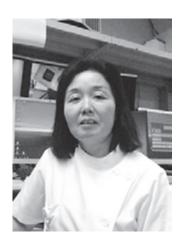
# 【これからの人達に望む事】~50代~

聖隷浜松病院 鈴木 明美

静岡県技師会65周年、おめでとうございます。

30年余を放射線技師として歩ませていただき、この間の装置・機器の進歩は目を見張るものがあります。かつての撮影室は薄暗く・使用する機器は重く、就職面接のときに「カセッテを10枚持って走れますか」ときかれたほどでしたが、今の方には通じないでしょう。患者様にとっても快適な空間といえるものではありませんでした。

わたしの就職動機は当時男性が圧倒的に多い職業で、患者様の半分は女性だと思ったとき女性として何か出来るのではと考えたからです。現在は女性技師も多くなり本当に心強いです。「わたしはなぜこの仕事を選んだんだろう」たまに問いかけてみるとよいかもしれません。技師として知識・技術も不可欠ですが、患者様に寄り添った放射線技師をめざしてほしいと思います。



中東遠総合医療センター 放射線室 副室長 天野 仁志

静岡県放射線技師会65周年、おめでとう御座います。私が静岡県に就職 し33年が経とうとしています。技師会は、それより30年以上前より活動 していたとは、大変驚きました。つまり放射線技師法施行して間もなく結 成されていた事になります。私が就職した当時でもまだ社会的知名度は低 く、会員も現在の半分ぐらいだったと思います。

当時の病院では、医師、看護婦(師)、薬剤師と他の医療従事者として扱われがちでした。私が技師会に期待したのは、社会的知名度の向上と会員の親睦であったと思います。その後、医療の高度化及び質の向上、専門性が高まるに従って放射線技師の知名度も上がり、社会から期待されるようになりました。

そこで後輩たちに望むとこは、社会の期待に応えられる職業団体となるように技師会が活動を続けることです。加えて会員の親睦もはかりお互い顔の見える団体とあって欲しいと願います。



# 【これからの人達に望む事】~50代~

JA静岡厚生連 清水厚生病院 放射線科 飯塚 知幸

スポーツなどでは、手足の巧みな動きを実現し、高いパフォーマンスを 発揮するため \*体幹トレーニング、の重要性が認識されるようになってき ている。手足を使う体のすべての動作に関わり、動きの基幹となるのが体 幹。

放射線業務にもこの \*体幹、はとても重要だと思う。放射線業務の \*体幹、とは、一般撮影を中心とした定型業務(各病院のローカルルールはある)だと思う。定型業務は一見地味であるが、疎かにしないのが一流技師。確かに超音波検査、消化管撮影、MRIなど専門業務は花があり、やりがいがあってとても大切だと思う。しかし、我々放射線技師の基礎はあくまでも一般撮影などの定型業務である。実際各専門分野で活躍する一流技師は一般撮影でも実にいい仕事をする。

スポーツの分野での体幹トレーニングは単調で即効性に乏しい。でも即効性が無いトレーニングの方が後で役立つことが多い。それと同じく一般撮影を中心とした技師の基礎的な定型業務は花が無く、ガラパゴス的な仕事かもしれない。しかし、実は花がなくガラパゴス的な仕事の方がきっとあなた方に役に立つことが多いと確信する。

若い皆さんは基礎が安定し、技術の軸がぶれない、放射線業務の \*体幹、がしっかりした一流技師を目指してもらいたい。



#### 藤枝市立総合病院 診療技術部 秋山 敏一

学会などに演題を持って参加していますか? まとめて人の前で発表する事は、勉強になります。苦労して得た知識は忘れませんし、力になります。演題の持ち合わせがない場合は、何を聞きたいのか事前に勉強しておき質問しましょう。ただ聞くだけの受け身の参加では力がつきません。質問参加することにより力となります。

発表の次のステップは投稿です。発表は一時的なものですが、投稿は活字となり残りますので一字一字に悩みます。苦労も大きいですが、その分得るものも大きいです。そして集大成として著書執筆を、なかなか1人では荷が重いですが、志を共にする仲間と取り組むことで達成しやすくなります。

そして、依頼されたら基本的に断らない、依頼されることは必要とされていることの証です。新しいことに挑戦する、人脈を広げることは全て、次のステップへのチャンスでもあります。

 $1 \times 1 = 1$ ですが、毎日頑張って $1 \times 1.001$ を1年続けると1.44となりますが、毎日さぼって $1 \times 0.999$ では1年で0.69となります。さあ、始めましょう、そして続けましょう。千里の道も一歩から、継続は力なりです。





# 【これからの人達に望む事】 $\sim 50$ 代 $\sim$

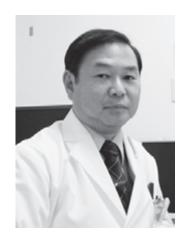
国際医療福祉大学熱海病院 放射線室 橋本 和明

熱海病院では、大学の放射線学科及び看護学科などの学生が、臨床実習を行っております。私は放射線学科の実習全てと、看護学科の実習の一部に関わっており、毎年学生に何故この道を選んだのか質問しますと、就職に困らないからという答えが多く返ってきます。また、臨床研修医も毎年4~5名入職され、同じ質問をさせていただくと、やはり就職と受験のハードルが、偏差値が高いのでという答えが返ってきます。その結果、1、2年しますと研修医は患者様とのトラブルが少ない産業医や放射線診断医、皮膚科などを選択し、看護師は健診や老人施設などの夜勤のない楽な施設へと移っていきます。全ての人達がとは申しませんが、医療人としての「志」がない、ただ資格に憧れて入った若い人達が今医療機関に増殖してきています。後輩の、特に20代の若い技師諸君に望みたい事は、今一度何故自分はこの道を選んだのか自問自答して頂きたい。我々は人間を相手にする、サービス業である事を再認識して頂きたいと思います。

それからもう一言言わせて頂きますと、学生や当院の20代若手技師を見ていて気が付きますのは、社会人としての社会常識、一般教養に欠ける技師が多いです。新聞や専門書以外の本を読まない、結果レポートや文章が、敬語が滅茶苦茶な若者がいかに多いか実感させられます。最低限新聞だけは(無論、スポーツ紙以外の)お読み下さい。一般企業では、採用時に徹底したマナー研修を行いますが、何故か医療機関では行う施設は少ないようです。当院も形だけの研修がありますが、ぜひ一流企業の若手社員と自分を見比べて下さい。この様に感ずるのは私だけではないようで、私共の大学の教授、先生方にお聞きしても同様の、「年々レベルは下がる一方です」と悲観的な答えが返ってきます。

私がいつも技師や学生に言う事ですが、患者様との接遇で一番大事なことは、患者様と最初に関わりをもった時の、自分の容姿、言葉遣い、立ち振る舞い、つまり「第一印象」が全てといっても過言ではありません。しかし、「第一印象」は一度の研修で、一朝一夕で変えられるものではありません。銀行やレストランなどのサービス業の方々と接し、頭にきた事、嫌悪感をもった事などが全て自分の鏡、反面教師となります。ぜひ、日々新聞や本に目を通し、社会での小さな事柄にまで目が行くようにして下さい。その積み重ねが、皆さんの「第一印象」を変えてくれるものと思います。

私達医療人が「白衣特権意識」に溺れ、加えてマナーの悪さに患者は怒る、患者とのトラブルに嫌気がさし辞めていく、結果医師、看護師不足になり、就職は売り手市場。この負のスパイラルは、若い方々が「志」を忘れず、社会人としての研鑽を積まれない限り永遠に続くものと思います。



# 【これからの人達に望む事】~50代~

富士宮市立病院 診療技術部 中央放射線科 科長 深澤 英史

静岡県放射線技師会創立65周年おめでとうございます。あらためて先人の方々の偉大さを感じております。私自身も診療放射線技師そして社会人となって30年目を迎えます。諸先輩から見ればまだまだ若輩者ですが、先日、高校の恩師からは、「知識・見識より胆識が必要な立場だ!」と指導頂きました。いつの間にかそんな年齢になったかと思うと共に、「知識も見識」も不十分な自分に赤面しておりました。

さて、医療を取り巻く環境は、ご承知の通り急激な変化を続けています。日本が、どの国も経験した事のない超短期間のうちに超高齢化社会を迎えるため、社会全体が乗り越えなければならない課題が故だと思います。我々にも、診療放射線技師の更なる役割として読影の補助が加わりました。これは社会の診療放射線技師への期待であり、諸先輩の努力の賜物かと思います。これら社会の期待に応えるには先ず、知識を得ることでしょう。ところが、我々の職業は知識だけでは患者様に還元できない時代かと思います。検査や治療の本質を見極め思慮や判断力が加わり意義のあるものとなります。これが見識と思います。見識を持つまでには長い道のりが必要です。また、更に胆力のある見識が胆識となります。社会は、院内にも地域にも社会にも先人の方々のような胆識を持った診療放射線技師を欲している時代かと思います。

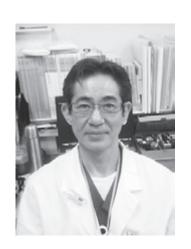


#### 沼津市立病院 望月 茂

私達放射線技は様々な機器を用いて病変の診断に役立つ画像提供するのが仕事です。これは良い画像を作る技術であると共に、診るという技能も重要になります。そのため技師は放射線の専門知識はもちろん、生理学、解剖学などの医学知識、画像を作るための電子工学やコンピュータの知識などが必要です。また、安全に放射線の取り扱うにあたり注意力や慎重さも求められます。

そのうえ、直接患者に接する機会も多いので、不安を抱く患者の気持ち を和らげる気配りも必要だと思います。こんな事を聞くと、放射線技師は 大変な仕事だなと思ってしまいます。しかし、これからの皆さんの技師人 生は、とても長いのです。

現在の放射線技師の世界は変化が速く、技術を習得するのも、必ずしも 順風満帆とはいかないでしょう。思い通りにいかず挫折することもあると 思います。そういう時には一歩下がり、今できることをしようと軽い気持 ちで行動するのも良いのではないでしょうか。





急がば回れと、時には少し回り道して山を越えていくことも必要だと思います。すなわち自分を取り巻く環境の変化にしなやかに、そしてしたたかに対応してほしいものです。

どんなに強い風を受けて倒れるように傾いても再び元の姿勢に戻る。竹のようなしなやかさ、バランス感覚がよいと思います。

どうぞ皆さん自信を持って活躍されることを願っています。

# 【これからを担う人達】 $\sim 30$ 代・40代 $\sim$

JA静岡厚生連 静岡厚生病院 放射線科 橋本 隆

私が横浜より静岡県放射線技師会に偏入したのは、静岡県放射線技師会がちょうど50周年を迎えた年と同じ平成10年でした。その頃の私は、静岡県放射線技師会に入会はしたものの、事務所の所在地は分からずましてや技師会の運営の事や役員の方々など全く存じ上げませんでした。まさか自分が技師会の役員としてお世話になるなどとは思ってもおりませんでした。

しかし、職場の先輩に、敷居が高かった技師会の委員に誘っていただいてから、15年の半分以上を技師会の役員や編集委員、企画調査委員として和田会長をはじめ様々な皆様にお世話になりました。近年技師会の会員数が少しずつ減少しておりますが、この先の15年後には、技師会の行事に参加する会員や一般の方々が増え、役員や各委員を積極的に引き受けてくれるような新しい会員がどんどん入会し、会員だけでなく家族みんなで参加したり協力できるような、県民のだれもが知っている魅力のある静岡県放射線技師会になっていたらうれしいです。そして私も、様々な勉強会に参加し15年後の自分のスキルを今よりももっともっと高めていくことが目標です。



菊川市立総合病院 伊藤 誠一

以前当直中、先輩技師と医師との間でこんなやり取りがありました。「こういった症状の場合どんな検査がいいでしょうか?」と尋ねられ「それならCTがいいんじゃないでしょうか」と返答し検査終了、読影などの助言したのち「じゃ入院させたほうがいいですかね?」と聞かれ「それは先生が判断してください」といったことがあったそうです。これってそれまでの判断が正確でこの技師をとっても信頼しているからこそ出た言葉だと思うのです。

技師は直接相対するのは患者のため患者が顧客のようですが、実際どんな検査をするか判断しオーダーするのは医師です。そのため医師から信頼されることは患者と接するのと同様に非常に重要だと思うのです。

人間自分の知らないことを知っている人を尊敬し信頼するもので、その為には技師会で行なわれる勉強会などを利用し、より検査について、読影について見識を深め技師会には認定技師など分野の充実を図っていただき、いつか医師に「入院は?」と聞かれるような信頼される技師になっていければと思います



#### JA静岡厚生連 遠州病院 和田 裕香

チーム医療の一員として貢献したいと漠然と考えていた学生時代。入職して20代は、チーム医療が大前提、その上で高い専門性を持ちスキルの向上にと取り組んできました。そして日々の生活や仕事にも色々な意味で慣れが出てきた30代となった今、改めて目標を考えてみました。

まず、今以上に「考える力」を身に付けていきたいと思います。この方法ならどのような画像が出るか、この画像を得るためにどのような方法が良いか、そして患者さんの状態と医師のニーズに合わせた、各患者にとって最適な画像を提供できるようになりたいです。また、仕事の完成度だけを求めるのではなく、患者さんへの対応も含め、一つの検査を大切に深く向き合っていきたいと思います。

医療技術の進歩、患者さんの医療への期待や知識も変化する今日において、私たちもそれに対応する必要があります。放射線技師としての質の向上を図るために、放射線医療だけでなく幅広い分野において、現場医療に基づく実用性のある学習の機会を技師会へ望みます。





#### 焼津市立総合病院 青島 満

私が焼津市立総合病院へ就職してから24年を迎える。24年もの歳月の中、医療を取巻く環境は目まぐるしく変化してきた。就職当時まさか医師不足が起こるとはだれが想像できただろうか。現場においてもデジタル化の波が押し寄せ、ダイヤルを回しながら撮影条件に頭を悩ませ、自現機から排出されるフィルムをドキドキしながら待っていた頃を懐かしく感じる。

私はコバルトの時代から長い間放射線治療に携わってきた。業務の専門性、細分化を望む医師の声により様々な認定制度が誕生した。長い間共にしてきたリニアックは老朽化し、待ったなしの状態に追い込まれている。病院経営が非常にシビアになっている現在、超高額機器の更新は非常に困難を極めるが、老朽化した当院のリニアックの更新に向け尽力に努めたいと思っている。今後も放射線治療に関わりながら放射線技師で良かったと思えるよう悔いなく業務を全うしていきたいと思う。

技師会については多忙の折での学会等行事の活動や管理、運営に奔走されている役員の方々には頭が下がる思いである。近年退会の話をよく耳にするが、会員としての誇りが持てるような魅力ある技師会を目指して活性化できるよう一会員として望むところである。



#### 市立御前崎総合病院 中山 雅巳

私の診療放射線技師としての目標は、接遇力、技術力の向上です。 今更、接遇と書くのもどうかと思いました。しかし、診療放射線技師として仕事をし、患者様に気分良く医療サービスを受けていただくうえで1番重要なことだと思い、襟を正す気持ちで、今一度書きました。

また、技術力ですが、日々進歩する医療技術に遅れないようにと思い、研究会や講習会に参加しています。最近ではCT認定技師や、放射線管理士などを受講し認定されています。認定を受けるために勉強し、得た知識は多いと思います。ただ、知識として知っているだけでなく、中堅の立場としてその知識を活かし、部署の内外にアピールできるよう日々の業務の中で貢献していきたいと思います。

技師会には、患者様に質の高い医療を提供できるように生涯教育や、啓 発などサポートしていただきたいと思います。



市立島田市民病院 診療放射線室 加藤 和幸

平成22年4月30日厚生労働省医政局長から「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」の通知があり、診療放射線技師のさらなる役割として1)画像診断における読影の補助を行うこと、2)放射線検査等に関する説明・相談を行うことが求められました。ただし、医師と同等の画像読影ができるようになるためには十分な教育訓練が必要との苦言もありますが、真摯に受け止め我々診療放射線技師への期待に応えなければなりません。患者さんを中心とした医療のため、医師・看護師・診療放射線技師・医療関係他職種が各々の立場でチームを組み、チーム医療の一員としての任務を全うすることが我々診療放射線技師の責務であり、日進月歩の医療技術の進展に対応するため研鑽を重ね、他職種との信頼関係を築き上げ、チーム医療の一員として認められるよう努力したいと思います。

最後に、会の運営のため技師会役員の方々の日頃の御尽力に感謝いたします。我々診療放射線技師のため、ひいては国民の安心・安全な医療のため、今後の活動に期待いたします。



#### 聖隷沼津病院 和田 健

静岡県放射線技師会創立65周年記念誌発行おめでとうございます。 僕が診療放射線技師になって16年が経ちました。働き始めたころの一般 撮影はまだアナログ画像が主流でしたが今やほとんどがデジタル化され、 CT、MRIなどの画像処理は複雑に、でもより分かりやすくなってきていま す。たった16年ながら時代の変遷、技術の進歩に驚かされます。そのた びに放射線技師会を通じて、技師として必要なことの情報を提供してもら い、各施設間同士またはメーカーとの情報交換のための場を用意したりし てもらいました。

技術革新のおかげで前に比べて技師の仕事はずいぶん楽になりました。 しかし逆にいろいろなことが出来るようになって新たな医療情報の提供が 求められています。今は、より技術、知識の専門化が進んでいます。チー ム医療の中での技師の役割の重要性をひしひしと感じます。また被ばくに 関しての相談を受ける機会も増えています。また接遇マナーが必要とされ る場面も多くなりました。

まだまだ自分がやらなければいけないことは多くあります。これからも 精進して技術、知識及び接遇の向上を行い、環境整備に努めより良い医療 の提供に向けて活動するつもりです。放射線技師会からの支援よろしくお 願いします。





沼津市立病院 田中 章

私は、診療放射線技師として入職して25年になります。その間、画像診断装置は格段に進歩し続けていますが、私たちが接しているのは、変わりなく患者さんという一人間です。私は常日頃、患者さんへの応対を大事にし、共に良い検査をしていければと思っています。医療というサービスを提供していく上で、商品説明(検査内容、意義、被ばくリスク等)も必要になり、日々知識を増やす努力をしていかなければと思います。

また最近、放射線技師の読影補助について盛んに言われています。自分の行った検査に対し責任を持ち、異常所見を的確に伝える事で、放射線技師の存在価値を上げる事につながります。単にきれいな画像を追求するのでなく、診断・治療に役立つ画像を依頼科へ提供することが大事です。その為には良好なコミュニケーションが必要で、それを保てるよう画像解剖などの知識を備えていなければなりません。

技師会には各種研修会を開いていただき、積極的に参加し仕事に対する 知識の裏付けを得ていきたいと思います。



富士宮市立病院 診療技術部 中央放射線科 酒井 洋和

現在の医療は患者を中心として、医師及び看護師、診療放射線技師等の様々な医療専門職がチーム医療を形成して、診断及び治療を行っている。「診療放射線技師は、その業務を行うに当たっては、医師その他の医療関係者との緊密な連携を図り、適正な医療の確保に努めなければならない。」とされており、医療現場で専門職として、最大の努力を日々行なってきている。診療放射線技師に課せられた責任及び役割は、画像部門及び放射線治療部門において7つの最重要分野を統合する専門家として①ペイシェントケア②技術の利用③線量の最適化④臨床責任⑤組織化⑥品質保証⑦教育・訓練があり、これらを技師としての目標とし全うすることで適正な医療の確保に結びついていく。

今後は、がん対策推進基本計画に基づく診療放射線技師の充実および環境整備、チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用、医療安全のための適切な管理体制の構築等を積極的に進めていただき、より一層の診療放射線技師の地位を確立させていただきたい。



#### 聖隷浜松病院 小出 若葉

放射線技師1年目として日々が過ぎるのはとても早く、もう2年目に入るのだと、驚いています。1年目はすべてが新しく、知らないことばかりで、与えられた目の前のものをこなすことに手一杯。新しいことを覚える"記憶"に必死な年でもありました。この1年で思ったことは、"良い検査"を提供できる技師になりたいということです。

検査の意味を理解し、求められている画像を提供できるようになること。これは当たり前のように思いますが、記憶に精一杯で意味を理解するところまで深く進めなかったものも多くあります。今後はもっと知識を身につけ、経験を積み、検査に対する理解を深め、良い画像が提供できるよう日々学んでいきたいと思います。

また私達は1日に検査・撮影を何度もしていますが、患者さまにとっては1度きりの検査であるので、患者さまと接する短い時間を大切にして、 丁寧な検査を心がけたいです。

"良い検査"を提供できる技師を目指していきたいと思います。



#### 磐田市立総合病院 高城 正宏

僕は3年間常勤で技師として、高いレベルのことを行うということができませんでした。しかし平成25年度の4月より、今の病院に常勤として就職することができました。これは僕が技師として大きく成長するチャンスを頂けたと思います。成長するためには勉強はもちろん必要です。近年の放射線発生機器はプロトコルや撮影部位を選択することで、後は機械任せになってしまう恐れもあります。つまり勉強を怠ってしまうと、機械任せに撮影を行うスイッチマンになってしまうことも危惧されます。また、実際に業務していく中で技師の読影能力の必要性についても強く感じました。

スイッチマンにならないために、撮影に関する知識を深め、読影能力を 高めたいです。そのためには勉強をして臨床経験を積み、学会などにも積 極的に参加します。そうすることで患者様にとって有益な診療放射線技師 になれるよう努力します。





静岡市立静岡病院

放射線技術科 大石 菜々

静岡県放射線技師会設立65周年に心よりお祝い申し上げます。これまで 静岡県放射線技師会に携わり、支えてこられた全ての方々に、改めて敬意 と感謝の意を表します。また、65周年記念誌の刊行に際しまして、寄稿の 機会をいただき、ありがとうございます。

私は、静岡市立静岡病院に平成24年度の4月より診療放射線技師として 働かせていただいています。晴れた日には、東館病棟の窓からとても綺麗 な富士山が見えます。石川県出身で富士山を直に見たことが無く、病棟へ 出張撮影に行った時に初めて堂々たる富士山を見て、大変感動した事を覚 えています。昨年、富士山が世界文化遺産に登録された際は、大変嬉し く、静岡県民として誇らしく思いました。そんな雄大な富士山と、優し く面倒見の良い先輩方に見守られ、励まされながら、時に失敗もしつつ、 日々放射線技師として貴重な経験を積ませていただいています。

さて、このように、私は静岡の温暖な気候の中で元気にのびのびと仕事をさせていただいているのですが、私生活では、昨年少し困ったことがありました。

家族が血管筋肉腫を患い、腎の摘出手術を受けたときのことです。その際に、CTをはじめとし、RI、MRI等の検査を受けることになりました。「この検査はどういう検査なのか」「検査画像をもらったけど、見方が分からない」等、いろいろな質問を受けました。しかし、技師経験が一年に満たない私には、携わったことのないモダリティも多く、解らないことばかりでした。また、解っているつもりのことでも、説明しようとすると、上手くいかないことも多くありました。本で調べたり、職場の先輩方に教えていただいたりして、なんとか本人に納得のいく説明をすることができました。仕事の範囲ではありませんでしたが、先輩方は快く、丁寧に教えてくれました。手術も無事に終わり、本人から、「聞いてみてよかった。安心して検査を受けられた」といってもらえたときは、放射線技師になってよかった、と心から思いました。

この経験から、人に説明し、納得してもらうことの難しさと、そのために、勉強していくことの大切さを学びました。近年、セカンドオピニオンの普及や原発事故の影響により、放射線の検査に対しても、積極的に質問をして下さる患者さんがたくさんいらっしゃいます。万人に理解していただけるような回答はなく、とても難しいですが、「患者さんに納得していただける検査」を抱負とし、できる限りの努力をしていきます。

今はまだ、先輩方のようにモダリティに対する深い理解や知識、経験などはありませんが、患者さんひとりひとりの話に耳を傾け、聞かれた事にしっかりと応えられるよう一生懸命勉強していきます。当病院、他病院の先輩方をはじめ、技師会の皆様からも、講習会やセミナーなどでご教授いただければ幸いです。



市立島田市民病院 前島 由佳

診療放射線技師としての今後の抱負は、知識を深め業務に活かしていく ことです。

島田市民病院に就職してもうすぐ3年が経ちます。最初は一般撮影から始まり、CT、エコーの業務を覚えてきました。最初は覚えることが多く、検査をするだけで精一杯でした。今はそれぞれの通常の業務はできるようになりましたが、難しい症例では悩むことも多いです。今は以前より余裕が出てきたので、より深い検査ができるように勉強していきたいです。機械の特性や病気のこと、解剖などの知識を少しずつ増やしていき、日々の業務に還元していきたいです。知識を増やすことで最適な撮影法でわかりやすい画像を提供したり、エコーの検査では見落としがないようにしていきたいです。

今後は勉強会などにも積極的に参加して知識を増やし、それを業務に還元していきたいです。



#### 独立行政法人地域医療機能推進機構 桜ヶ丘病院 本多 亘

「もし、放射線技師を仕事として選んでなかったら」と考える。

「なんとなくやりたいことが見つかるまで」などと言い大学にいっていたかもしれない。もともと勉強は好きではないし、野球をやっていたほうが断然楽しいと思っていた。そして、大学卒業後は就職活動に頭と体を疲弊させていたことだろう。そう思うと放射線技師という仕事を選び資格を取ることができてよかったのかもしれない。

放射線技師の仕事には撮影の他、治療や研究などやり甲斐のあるものが 沢山ある。でも資格を取るためだけに専門学校に行き、そして就職した私 としてはそのような大層な目的はないに等しい。国家試験の結果は紙一重 だったが、合格して得たものは紙切れ一枚。今は更衣室のロッカーの中で 眠っている。

病院に就職して、いろいろな人や職種と出会い、必要なのは人間関係の 大切さなのではと思うようになった。職場には沢山の装置がある。それら を巧みに操る技術も必要だが、実際に相手するのは画面でなく患者様であ り、明るい対応と聡明な言動が求められるのは言うまでもない。何事にも プロ意識をもって取り組む、それも仕事の一つだと思う。

今後、放射線技師として働くには様々な認定資格が必要となってくる。 自分も将来、自己啓発のためこのような認定試験等を受けることもあると 思うが、それとは別に、少しでも患者様に「またこの病院に来たい」「この 病院にしてよかった」と思ってもらえるよう、そのきっかけに成れるよう な放射線技師を目指し努力していきたい。





NTT東日本伊豆病院 鯉田 俊昭

静岡県放射線技師会創立65周年のお祝いを申し上げます。

私は、家族が医療系の仕事をしており、その様な職に就きたいと思い、診療放射線技師を目指すようになりました。私が勤務している病院は、主に地域医療と検診を行っており、日々働く中で、見る力が重要だと感じるようになりました。検診においては、放射線技師が医師の読影補助する仕事があり画像読影の知識が必要になってきます。勉強会の参加や撮影後の医師のレポートを読むなど勉強に励んでいます。また、ご高齢の方が多く来院されるので、患者様の状態を観察して、負担が少なくなるように検査を行うことが重要だと感じています。

私は、医療スタッフ・患者様にも信頼される診療放射線技師になりたいと思っています。今年度、技師会にも入会しました。諸先輩方が築いた65周年の歴史や技術を継承し、さらなる発展の礎となるように一人一人の患者様、一つ一つの業務に向き合いたいと思います。



#### 聖隷沼津病院 放射線科 和藤 基樹

私が診療放射線技師になり、早1年が経とうとしています。聖隷沼津病院から内定を頂き仕事をするという事に対する期待と不安を胸に秘め、昨年の4月を迎えたことがつい昨日のように感じます。

今、私はCT、MRIの部署で日々撮影スキル磨く毎日を送っています。特にMRIはまだ検査を行うようになってから約3ヶ月と日が短く、先輩方にご指導して頂きながら、私自身も日々勉強をしながら業務を行っています。また、仕事を始めたとき、先輩方から患者さんへの対応についてご指導をしていただきました。しかし、まだ私自身、患者さんに対する対応についてもっとこうすればよかったと反省する部分も多く見られます。ですから、診療放射線技師として働く上で患者さんに優しい技師になるという事を大きな目標と、今年はMRIの撮影を覚える事と、一般撮影の勉強を行っていくという目標に向かって、日々の診療業務に励んでいきたいと思います。



# 放射線関連企業の歩み

協和医科器械株式会社

日本メジフィジックス株式会社

富士フイルムRIファーマ株式会社

G E ヘルスケア・ジャパン株式会社

カイゲン株式会社

バイエル薬品株式会社

エーザイ株式会社

シーメンス・ジャパン株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社

テルモ株式会社 静岡支店

株式会社島津製作所

株式会社日立メディコ

堀井薬品工業株式会社

伏見製薬株式会社

コニカミノルタヘルスケア株式会社

富士フイルムメディカル株式会社

第一三共株式会社

株式会社ドクターネット

株式会社 千代田テクノル

株式会社日本環境調査研究所

キヤノンライフケアソリューションズ(株)

株式会社八神製作所

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン



#### 【協和医科器械株式会社】

#### 協和医科器械株式会社の歩み

協和医科器械株式会社は診断用 X 線装置、 X 線 C T 装置、 MRI等の先端医療機器から、注射針、ガーゼ等の消耗品 に至るまで、あらゆる医療器械の流通を担う総合ディーラーです。

協和医科器械株式会社は、公益社団法人静岡県放射線技師会の発足4年後に池谷医科器械店として創業しました。1959年7月に静岡県清水市仲町(現:静岡市清水区銀座)に3人の力で和をもって協力し発展させよう」という意味から、協和医科器械株式会社を設立しました。1975年8月にME事業部を創設し、修理及びメンテナンス事業を開始。レントゲン及び医用電子部門の専門性と販売を強化する為、1980年8月にME事業部を独立させ、静岡県清水市(現:静岡市清水区)に協和エム・イーを設立しました。2000年7月には企業体質の強化の為、株式会社協和エム・イー、株式会社はやしを合併。2006年9月に協和医科ホールディングス(現メディアスホールディングス)を設立しました。

#### 「15年の歩み」

この15年、X線装置においてはCTの多列化、FPD の登場等、大きな技術の進歩がありました。我々、協和医科器械も15年、少しずつ成長をしてきました。

2000年、協和エム・イーを合併し、画像診断販売部門 をイメージング営業部、サービス部門を技術部として 新たなスタートをしました。 2006年9月に協和医科ホールディングス(現メディアスホールディングス)を設立し、ジャスダック証券取引所(現大阪証券取引所ジャスダック市場)に上場。 現在は、協和医科器械株式会社、株式会社オズ(本社:

現在は、協和医科器械株式会社、株式会社オズ(本社: 静岡県静岡市)、株式会社栗原医療器械店(本社:群馬 県太田市)、メディアスソリューション株式会社(本 社:東京都千代田区)、株式会社ネットワーク(本社: 東京都新宿区)、株式会社秋田医科器械店(本社:秋田 県秋田市)の事業会社があります。



2007年には、サービスの質・社内の仕組みを継続的に 改善する為、ISO9001を取得。

2010年11月には、清水区草薙の本社を駿河区池田に移 転しました。

2013年には、メディアスホールディングスにおいて、 プライベートブランドASOURCEを立ち上げ、海外事業 としてインド共和国へ合弁会社を設立しました。



わたしたちがいつも変わらず持ち続けた理念は『笑顔のために私たちができること』です。これからも、患者さん その家族の笑顔のために、そして医療従事者の皆様の笑顔のために、わたしたち協和ができることをテーマに一歩 一歩前進していきます。

#### 【日本メジフィジックス株式会社】

静岡県放射線技師会65周年記念「15年の歩み」 名古屋支店 第二営業所

公益社団法人静岡県放射線技師会創立65周年おめで とうございます。これも和田会長をはじめとする歴代 会長、歴代の放射線技師会役員、放射線技師会会員皆 様方のご努力の賜物とご推察致します。弊社も微力で はございますが、賛助会社の一員として今後とも貴会 の益々のご発展を祈念致します。

この度はこの場をお借り致しまして、この15年での 弊社の新規製剤の紹介をさせて頂きます。

2004年6月に販売開始いたしましたベンゾダイン®注です。弊社にとってはカルディオダイン®注から10年ぶりとなる新製品であり、脳内ベンゾジアゼピン受容体分布を画像化できる医薬品です。この診断薬により「てんかん発作の焦点部位」を判断し、手術の適応に役立ちます。

次に弊社のエポックメイキングとも言える事業がPET 製剤の供給開始です。2005年8月よりFDGスキャン®注をデリバリーし、現在静岡県下の施設でご利用いただいております。

2007年11月には、がんの骨転移疼痛緩和剤として、 放射性同位元素(RI)内用療法剤であるメタストロン ®注が日本化薬㈱より発売されました。この治療は侵 襲の少ないがん治療法のひとつとして注目されていま す。

2014年1月に販売予定のダットスキャン®静注です。 黒質線条体ドパミントランスポーターの分布を反映した画像が得られる薬剤であり、既存の診断情報に本剤を用いた検査結果を追加することによりパーキンソン症候群やレビー小体型認知症の診断に貢献することが期待されています。

この15年間で核医学分野の役割は診断法のみならず 治療分野へと大きくその領域が広がりました。これも 診療放射線技師の先生方のご協力無くしてはあり得ま せん。これからも核医学技術発展に静岡県放射線技師 会と共に歩んで行きたいと考えております。最後にな りましたが、今後も技師会が益々繁栄されることを切 に願いましてお祝いの言葉といたします。







#### 【富士フイルム RI ファーマ株式会社】

富士フイルムRIファーマ株式会社 最近15年間の歩み

富士フイルムRIファーマ株式会社 名古屋支店

この度は、公益社団法人 静岡県放射線技師会が創立65周年を迎えられ、おめでとうございます。創立以来、多くの困難を乗り越え、今日の繁栄を成し遂げられたご努力に深く敬服致します。

弊社としましても本会の発展を祈念し、今後共、微力ながら協力させて頂きたく存じます。

さて、本題の「弊社の最近15年間の歩み」について、「会社の変遷」、「放射性医薬品関連」、および、新たに 参入した「造影剤」に分けて下記のようにまとめてみました。

#### <富士フイルムRIファーマ株式会社 最近15年間の歩み>

#### (1)会社の変遷

1998年 第一ラジオアイソトープ研究所として創立30周年を迎える

2000年 体外診断用薬販売委託開始〔(株)テイエフビー〕

2007年 富士フイルムRIファーマ株式会社へ社名変更

2008年 創立40周年を迎える

#### (Ⅱ)放射性医薬品関連

2002年 ・イオフェタミン(123])注射液「第一」発売

2007年 ・甲状腺治療情報サイト「甲状腺のアイソトープ療法 harecoconet」を開設

2008年 ・認知症情報サイト「撮って診る! 認知症genki55net」を開設

・ゼヴァリン インジウム(111In)・イットリウム(90Y)静注用セット発売 (国内初のR I 標識抗体療法剤)

2009年 ・テクネフチン酸キット「センチネルリンパ節の同定、およびリンパシンチグラフィ」効能追加

・ミオMIBG-123 I 注射液「腫瘍シンチグラフィによる神経芽細胞腫の診断」 効能追加

2010年 ・カーディオライト注射液第一/第一「副甲状腺シンチグフィによる副甲状腺機能 亢進症における局在診断」効能追加

2011年 ・ミオMIBG-123 I 注射液「褐色細胞腫の診断」効能追加

#### (Ⅲ)造影剤

2010年 ・(MRI用肝臓造影剤)リゾビストをバイエル薬品(株)より承継、販売元となる 〔製造販売元:アイロム製薬(株)〕

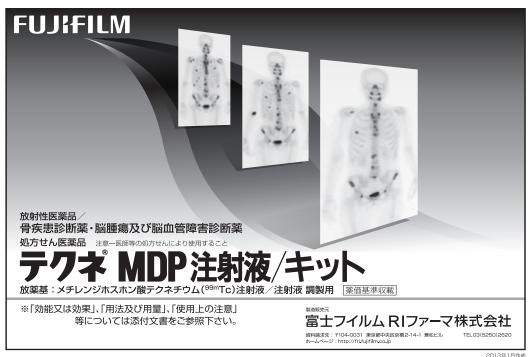
2011年 ・(非付2)性尿路・血管用ヨード造影剤)イオプロミド注「FRI」発売〔プロスコープの後発品として;製造販売元:バイエル・ファーマ社・ドイツ連邦共和国〕

弊社 富士フイルムRIファーマ株式会社は、1968年の創業以来45年間の長きに渡り、体外診断用・R I 診断用・R I 治療用放射性医薬品を製造・販売して参りました。R I 治療薬においては、2008年に国内初となる低悪性度 B 細胞性非ホジキンリンパ腫治療用のR I 標識抗体療法剤「ゼヴァリン」を発売し、リンパ腫治療に新たな道を切り開きました。また、1998年、2010年の「<sup>131</sup> I 退出基準見直し」により、外来での甲状腺R I 治療が可能となり、バセドウ病治療、甲状腺癌全摘後のアブレーションにご活用頂いております。R I 診断薬については、新たに効能を取得して過去とは全く異なる使い方でご利用頂いているものもあります。2012年には、<sup>123</sup> I -MIBGシンチグラムによるパーキンソン病やレビー小体型認知症の診断につき、厚労省より「医薬品の適応外使用に係る保険新利用上の取り扱い」通知が発出され、レビー小体病の診断に大いに活用されるようになっています。

弊社開発の画像解析ソフトについては、脳血流画像解析用の"eZIS"、骨シンチグラム解析用の"BONENAVI"といったPCで動く解析ソフトを開発して広く利用されており、15年前に比べて核医学検査の付加価値が高まったとの評価を頂いております。

2007年に富士フイルム・グループとなった後は、MRI・X線装置用の造影剤を取り扱うことで、診断モダリティの融合(フュージョン)画像の活用を支援し、総合画像診断薬メーカーとして歩み続けております。X線装置用のヨード造影剤イオプロミドについては、後発品(オーソライズド・ジェネリック)として、高品質の造影剤を後発品価格にて販売提供しています。

今後も、新たな診断価値・治療価値ある製剤の創造・提供と魅力ある臨床情報の提供を目指してたゆまぬ努力を続けると共に、富士フイルム・グループの総力を結集して医療と健康に貢献して参ります。



2013年1月作成



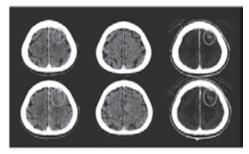
## 【GE ヘルスケア・ジャパン株式会社】

### 15年の歩み

静岡県放射線技師会65周年おめでとうございます。この15年の間に弊社も2009年に社名をGE横河メディカルからGEへルスケア・ジャパンへ変更いたしました。今回、弊社装置の15年の変貌をCT、MRIの2モダリティーについて纏めさせていただきます。

### CT (Computed Tomography)

15年前の最先端技術としては肝臓3Phase の3D画像や、頭部CTAの3D画像等、広範囲詳細3Dが上げられる。現在は多列化や回転速度の高速化が進みCTのスペックが大きく向上していることは周知の事実である。さらに新しい概念として"Dual Energy"という方向に向かって突き進んでいる。Dual Energy Scanによって今までのCTとは異なるコントラストを得ることができることが特徴の一つである。未破裂前交通動脈瘤 塞栓術直後の単純CTを撮影した際に、淡くCT値の高いエリアが出血なのか判断がつくだろうか? 実は特定物質のコントラストを得ることでその判断材料を得ることができる。(fig1.)この症例は、Water(Iodine)ではHiに出ず、Iodine(Water)でHiに出ている。これは術中使用したヨード造影剤のくも膜下腔あるいは皮質への漏出・蓄積を反映した所見であり、その機序としては、造影剤の高浸透圧性、化学毒性、粘稠性などによるblood-CSF barrierあるいはblood-brain barrierの一時的な破綻が原因と考えられている。CT新時代に突入したということを大いに感じさせられる。



単純 Water(Iodine)MD Iodine (Water)MD

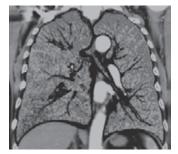
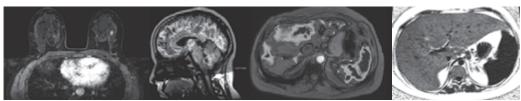


fig1. 未破裂前交通動脈瘤 塞栓術直後

### MRI (Magnetic Resonance Imaging)

この15年でのMRIの進歩は目覚ましく、高速・高分解能撮像および低侵襲な撮像法が確立されている。 まず、3.0T MRIにより高分解能画像を得ることが出来るようになった。頭部非造影MRA画像では末梢血管、穿通枝動脈の様子も詳細に把握できるようになった。 高速撮像技術も傾斜磁場能力を上げていくのは限界が見えてきたので、コイルの感度マップを用いたSENSE法や、間引いたk-Spaceを推測データで埋めていくSMASH法などによる倍速撮像法はルーチン検査に組み込まれている。非造影での体幹部血管撮像法によって、下肢動静脈、腎動脈、門脈などの血管領域の検査も増えている。また、非造影でのパフュージョン検査も可能になり、急性期検査におけるMRI画像情報提供の質が向上している。脂肪抑制技術も進化しており、従来のRFパルスによる抑制法から、DIXON法によるデータから水脂肪分離画像が得られるようになった。これにより乳腺領域でのMR検査が行いやすくなり、MRIでしか判らない乳がんもあると報告されている。この技術を応用して臓器内の脂肪含有率マップを取得したり、外部加振装置を用いて肝臓領域の相対的硬さをマッピングしたりする撮像法も出てきており、コントラスト分解能だけでなく数値での評価も可能になりつつある。



最後になりますが、65周年記念誌という貴重な機関紙に投稿の機会をいただき厚く御礼申し上げます。

## 【カイゲンファーマ株式会社】

### 15年の歩み

弊社は、1930年代から硫酸バリウム造影剤の販売を 行なっております。

昨今、撮影法の統一化・標準化が進んでおり、弊社 もその流れに適した高濃度低粘性の硫酸バリウム製剤 への需要は高まっております。

またX線装置も進歩しており、デジタル装置を保有されている施設が多数見受けられます。デジタル装置に適したバリウムの必要性が高まっており、撮影法の統一に加えデジタル装置特性をも踏まえた硫酸バリウム製剤を以下に示しますように、数製品開発し、発売しております。

撮影法の統一は、硫酸バリウムのみではなく、発泡 剤への要求の変化をもたらしました。従来、発泡剤は 水での服用を念頭に開発しておりましたが、安全面 (急激な炭酸ガス発生による一過性の血圧低下)、物 性面(少量化した硫酸バリウムに対し水添加による濃 度低下)等の問題により、硫酸バリウム製剤で服用さ れる施設が増加しております。

弊社では、従来の水での服用発泡顆粒として「バルギン発泡顆粒」に加え2009年に硫酸バリウム製剤での服用発泡顆粒「バックス発泡顆粒」を発売しました。

2002年 「バムスターS200」発売

2004年 「バリブライトゾル180」発売

2005年 「ネオバルギンUHD」発売

「新・胃X線撮影法ガイドライン」

2006年 「ネオバルギンEHD」発売

「バリコンクMX」発売

「バリブライトCL」発売

2008年 「バリブライトLV」発売

「基準撮影法」

2009年 「バックス発泡顆粒」発売

2011年 「硫酸バリウム散99.1%「共成」」発売

2013年 社名がカイゲンファーマ株式会社へ変更

弊社では時代の流れに取り残されないよう、決断の スピードアップを目指しています。その一環として本 年度より製販を一体化し、会社名も「株式会社カイゲ ン」から「カイゲンファーマ株式会社」に変更しまし た。諸先生におかれましては今後もご愛顧賜りますよ う、また何かご要望がございましたら何なりとお申し 付けいただけましたら幸いです。



## 【バイエル薬品株式会社】

バイエル薬品株式会社における15年の歩み

バイエル社の一事業グループであるバイエルヘルスケア社は、動物用薬品、一般用医薬品、メディカルケア(画像診断関連製品、血糖自己測定器等)、医療用医薬品の分野において事業活動を展開しており、革新的製品の研究開発・製造・販売を通じて、世界の人々と動物の健康に貢献しています。

2006年にドイツシエーリング社 Schering AG が、バイエル社Bayer AGと経営統合し、バイエル・シエーリング・ファーマ社 Bayer Schering Pharma となったことに伴い、2007年7月1日に旧バイエル薬品と経営統合し、新生「バイエル薬品株式会社」が発足致しました。

弊社は、日本におけるヘルスケア事業を担い、医療用医薬品、ラジオロジー&インターベンショナル(以下R&I)、動物用薬品の3事業を展開しています。ヘルスケア事業グループは、患者さんの「満たされない願い」をかなえる革新的な製品をできる限り早くお届けし、人々や動物のクオリティ・オブ・ライフに貢献することを使命としています。

また、画像診断に用いる造影剤の研究において世界で最も長い歴史を誇り、70年以上に及びマーケットリーダーとしての地位を確立しています。弊社はこの研究開発力を背景に、日本における造影剤のパイオニアとして非イオン性尿路・血管造影剤・MRI用造影剤・超音波診断用造影剤などをいち早く導入し、画像診断の発展に貢献して参りました。画像診断は、医師や診療放射線技師のたゆまぬ研究と新しい診断機器・技術や造影剤の開発に伴い、医学の世界においても最も進歩の著しい領域のひとつです。CT・MRIに代表される画像診断は、いろいろな病気の診断・治療に大きく貢献しています。R&I事業部は、バイエルヘルスケア社内の2つの世界的なリーダー(バイエル造影剤事業とメドラッド事業)の強みを組み合わせ、新設されました。

CT/MRI/USといった画像診断領域用の造影剤・自動 注入器・関連付属品を提供する中核事業に加え、イン ターベンション治療や医療情報システムへと事業をさ らに拡大しています。

1996 年	非イオン性尿路・血管ヨード造影剤 イオパミロン®注 300 シリンジ 承認・発売		
1999 年	超音波診断用造影剤 レボビスト®注射用 新発売		
2002 年	MRI 用肝臓造影剤 リゾビスト®注 新発売		
	(2010年 アイロム製薬に製造販売承認を承継,富士フイルム RI ファーマから発売)		
2003 年	非イオン性尿路・血管ヨード造影剤 イオパミロン®注 300 一部変更承認		
	(高速らせんコンピュター断層撮影において胸・腹部を撮影する場合に静脈内投与速度を撮影対象部位により		
	調節すること及び肝臓領域を撮影する場合に 150mL まで投与可能)		
2007年	MRI 用造影剤 マグネビスト®静注 一部変更承認		
	(新たな用法・用量として「腹部から下肢までを連続して血管撮影する場合は, 0.4mL/kg を静脈内注射する」)		
	MRI 用肝臓造影剤 EOB・プリモビスト®注シリンジ(Gd-EOB-DTPA) 承認・新発売		
2012 年	CT 用造影剤注入装置 SALIENT® 新発売		
	血管造影用インジェクションシステム MARK7 ARTERION® 新発売		
2013 年	大腸 CT 検査用の炭酸ガス注入装置 RadiCO2lon® 新発売		
	造影 CT 検査情報管理システム Certegra® Workstation 新発売		
	(CT 用造影剤自動注入装置「MEDRAD® Stellant® D」に標準搭載)		
	造影剤と画像診断の情報サイト リニューアル http://www.bayer-diagnostics.jp/		

## 【エーザイ株式会社】

### エーザイ株式会社の15年間の転換

この15年間は、当社にとって、90年代後半に発売した「アリセプト」、「パリエット」という2つの国際戦略品により、事業の国際化を大きく進展させ、グローバル製薬企業へと転換した時代でありました。さらに、先進国における成長鈍化と新興国や開発途上国における成長機会の拡大という大グローバリゼーション時代への転換に伴い、当社は、さらに多くの患者様に貢献し、グローバルトップティアのハイパフォーマンス企業へと転換することめざし、2011年度より中期戦略計画「はやぶさ」に取り組んでおります。

計画「はやぶさ」では、グローバルな成長の牽引役 となる日本と新興国への取り組みの強化、世界トップ 20 の市場すべての国への参入、オンコロジー領域に おける世界のトップ10入り、次世代を見据えた個別化 医療を含む新規治療法の創出によって患者様価値増大 に結びつくイノベーションを企図しております。これ からの基幹製品となる自社創製の抗がん剤「ハラヴェ ン」、抗てんかん剤「Fycompa」などの承認取得・ 上市、オンコロジー領域や新製品群の拡大、日本およ びアジアへの地域的転換の進行、ならびに効率的なオ ペレーションへの転換により、来たる成長を確実にす るための基盤を固めてまいりました。アンメット・メ ディカル・ニーズを充足する革新的医薬品を、それを 必要とされる世界の患者様に一日も早くお届けするた め、イノベーション力の一層の強化と新興国や開発途 上国の医薬品アクセス向上に貢献する新たなビジネス モデルの構築に積極的に取り組んでまいります。

創薬におけるイノベーション創出の原動力は、ヒューマンバイオロジーに基づく治療仮説をつくり出す力と、その治療仮説を化合物創出につなげるための現代的な合成技術力にあると考えております。エーザイグループは、iPS細胞や疾患に関与する遺伝子情報の研究などヒューマンバイオロジー分野の研究から生み出される新たな創薬ルートの実現に取り組んでおります。また、エーザイグループの強みは、治療仮説を立証する低分子から天然物、バイオロジクスまで幅広い化合物の合成力・創出力にあります。引き続き、この

二つの力を両輪とし、がん関連領域の治療薬や認知症 領域のパイオニアとしての次世代アルツハイマー型認 知症治療薬の開発に注力してまいります。

新興国・開発途上国における医薬品アクセスの向上 に関しては、当社は、計画「はやぶさ」期間中に、当 社製品が入手可能な国数を114カ国、貢献する患者様 数を5 億人に拡大することをめざしております。中間 所得者層の急速な拡大による大きな成長機会が見込ま れている新興国市場に当社のイノベーションを早期に お届けすることを企図し、患者様の所得レベルや医療 システムなどを考慮したアフォーダブルプライシング (患者様が購入しやすい価格設定) など、新たなビジ ネスモデルを展開してまいります。多くの新興国・開 発途上国においては、貧困や医療システムの不整備な どから、必要な医薬品が必要とされる患者様のもとに 届かないという問題(医薬品アクセス問題)を抱えて います。当社グループは、これらの国々における健康 福祉や医薬品アクセスを向上させることは、経済成長 や中間所得者層の拡大につながり、将来の市場形成へ の長期的な投資であると考え、hhc 理念にもとづいた積 極的かつ持続的な取り組みを行っております。

当社は、患者様とそのご家族の喜怒哀楽を第一義に考え、そのベネフィット向上に貢献することを企業理念としております。この理念のもとすべての役員および従業員が一丸となり、世界のヘルスケアの多様なニーズを充足することを通して、いかなる医療システム下においても存在意義のあるヒューマン・ヘルスケア(hhc)企業となることをめざしてまいります。



## 【シーメンス・ジャパン株式会社】

### SIEMENS社装置における将来について

静岡県放射線技師会創立65周年に際し、心よりお喜び申し上げます。また日頃よりシーメンス製品に対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「近年の技術革新の速度には目を見張るものがある」・・・いつの時代も常套句として「用いられる文言ですが、改めて振り返るとこの10数年間は、類稀なる飛躍的な技術革新を遂げた時代だったように思えます。一方で医療を取り巻く環境は急激に厳しさを増し、医療安全の確保、高齢化や医療コストの増大など多くの課題が顕在しています。私どもシーメンスはいつの時代でもイノベーションリーダーであり続けるため、さらにこの課題に対する答えを導くべく、さまざまなテクノロジー、ソリューションを提案してまいりました。以下にいくつかの事例をご紹介します。

### 1. CT装置

MSCTの登場以来、同時データ収集可能なスライス数の増加に対応するだけでなく、時間分解能の向上、被ばくの低減に注力して開発に取り組んできた結果、短時間での高精細3Dデータ収集、低侵襲な心臓CT検査の普及を実現しました。この領域でのフラッグシップとして位置づけているのが、2対のX線管・検出器システムを搭載した「Dual Source CT」です。Dual Source CT装置ならではの、ハーフリコンで75msecという高い時間分解能は、高心拍などの条件下でも高精細画像をご提供いたします。

また、被ばく線量に関しても、世界の年間自然放射線の平均値と言われる2.4mSvよりも少ない1mSv以下という低線量条件で心臓検査に対応することができました。また高速二重螺旋撮影(Flash Spiral)の技術により、さらなる高速撮影に対応可能です。2つのX線管と2つの検出器による同時データ収集は、従来では考えられない高ピッチ撮影を可能とし、成人胸部、腹部などの範囲を1秒以下で撮影することができます。これにより、実質的に呼吸止めが不要となり、呼吸器疾患や高齢の患者様、小児撮影、救急撮影等のケースにおいて極めて有用となります。

また近年、被ばくに対する関心がこれまで以上に高まってきた一方で、過度に"Low Dose"を追求する傾向

も見られました。そこで今一度"Dose"について振り返り、新たに"Right Dose"のコンセプトを提言しました。 「臨床要件を満たす至適線量」を再認識し、それを達成するためのテクノロジー(CARE Dose4D, CARE kV, X-CARE, SAFIREなど)を提案してきました。

さらにSOMATOM CTのチャレンジは続き、RSNA2013(北米放射線学会)では新型のCT装置が発表されました。

### 2. MRI装置

『MR装置といえばMAGNETOMシリーズ』だと考えていただけるよう、シーメンスは"世界初"へのチャンレンジを続けてきました。コイルシステムの軽量化、多チャンネル化に対応した「Timシステム」では、コイル交換の手間を省くことによる検査効率向上と同時に高画質化を実現、高精細全身MR撮像という新たな手法を提案しました。

また、快適なMRI検査環境の提供と特殊な体位での 検査を可能とするオープンボアシステムを開発。これ らの技術は、世界中で幅広く採用されていると自負し ております。3T MRIについては、RFの不均一を解消す るマルチトランスミット技術や70cmオープンボアマグ ネットを採用することで、それまでの3T MRIでは不得 意と言われていた体幹部への検査適応をルーチン化し ました。

2013年は、今までにないほど多くの新機能が登場した1年でした。その進化は新しい撮像ソフトウェア(syngo RESOLVE, CAIPIRINHA, syngo WARPなど)だけには留まらず初の機構となる"局所励起&局所サンプリング法 —TimTX TrueShape & syngo ZOOMit"や世界で初めてMRとPETの完全同時収集を可能にした統合型PET・MR装置 Biograph mMRが日本国内施設で導入され、稼動が開始されるなど多岐にわたります。

未来に少し目を向けると、北米放射線学会 (RSNA2013) のシーメンスブースでは、新しいアプリケーションとして、FREEZEit、MyoMaps、Quiet Suiteが発表されていました。

FREEZEitは、TWIST-VIBE法、Star-VIBE法、LiverLab

の3つの新しいアプリケーションで構成されており、 肝臓撮像における高精細化と定量評価を目的として開発されました。TWIST-VIBE法によって、造影ダイナミック撮像における更なる高時間分解能化を可能とし、StarVIBE法では自由呼吸下での高精細な3D T1撮影が可能です。LiverLabでは、定量評価を行なう為の撮像シーケンス、自動解析機能などが可能になります。 MyoMapsは、心臓心筋MR検査における精密な定量評価を行なう為の各種技術が搭載されています。心筋パーフュージョンダイナミック画像の動き補正を自動的に行う後処理が可能となり、心筋のT1, T2, T2\*マップの定量化が可能と紹介されていました。Quiet Suite は、各種撮像シーケンスの静音化を可能とします。

今までもMR検査の静音化の試みは色々行なわれてきましたが、Quiet Suiteは従来法と違い、全身領域の撮像に使用することができ、画像の質、撮像時間などを犠牲にせず、大きく進化した静音化検査が可能とのことでした。今後もMR技術はますます発展していくと考えております。

### 3. 血管撮影装置

Artis zeeシリーズでは、2007年に1号機の稼動を開始した後、低被ばくと高画質の両立を追求する CARE&CLEARの搭載、様々な先進的な機能を開発・提供し、順調に稼働実績を伸ばしてきました。国内の稼動実績は300台を超え、世界ではついに5,000台を突破しました。今後も、このArtis zeeシリーズを主力装置として提案していきます。そして、このArtis zeeシリーズに加え、新たなコンセプトを加えたモデルとしてArtis Q、Artis Q.zenを発表し、発売いたしました。

2013年はTAVR元年といえる年になりました。6月21日に本邦において初めてのデバイスが薬事承認され、TAVR/TAVIの運用も全国各地で本格的に稼動し始めました。このデバイスが薬事承認を取得する過程の治験においては、治験施設のほとんどがシーメンスのアンギオ装置を導入しています。また、より安全な治療環境を実現するために、手術室(OR)に血管撮影装置を設置するHybridORが、脳神経外科、血管外科などを中心

に、注目され始めています。

インターベンション時の不測の事態への外科的対応、外科手術時の術中3次元データの収集とナビゲーションを実現し、インターベンションチームと外科手術チームとの協働によるハイブリッド治療への応用が可能となりました。稼働環境においては他の機器・装置との組み合わせから防塵を含めHybridOR Systemは今後更に進化するものと考えております。

シーメンスは単に医療機器やサービスをご提供するだけでなく、先生方から信頼されるパートナーとなることを目指しています。今後とも先生方からの変わらぬご指導ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。

シーメンス・ジャパン株式会社 イメージング&セラピー事業本部 中部・西日本営業本部 中部・北陸営業部 静岡営業所 所長 公平 健一



## 【東芝メディカルシステムズ株式会社】

### 15年の歩み

この15年、画像診断機器は飛躍的な進歩を遂げてきた。画像の高画質化は勿論、形態診断から機能診断へ、また診断のみならず治療支援への応用、そしてより低侵襲な検査へと、その可能性は益々拡がりを見せている。

#### • CT:

1998年、東芝は世界初のハーフセカンドCT "Aquilion™"を発売した。1回転0.5秒のスキャンスピー ドは当時、長い息止めを必要とした胸部検査等の検査 効率向上に貢献した。その後マルチスライスCTの登 場で検出器の多列化が進む事により、高精細、高速ボ リュームスキャンを実現してきた。2004年に64列マル チスライスの"Aquilion64™"を発売、2007年には320列 のエリアディテクターCT "AquilionONE™"を発表した。 AquilionONEは、主要臓器を1回転で捉え、4Dデータの 収集が可能になったことで、従来の形態診断から機能 診断へと、CTに新たな概念をもたらした。2012年には 更なる高速スキャンや高速画像再構成、操作性等を向 上させた"Aquilion ONE™ / ViSION Edition"を発売し、今 なお進化を続けている。また、作成した3D画像を立体 的に見る事のできる医療用裸眼3Dディスプレイ"Hyper Viewer"が2013年に発売された。また近年、被ばくへ の関心の高まりと共に、検査の質は維持しつつ被ばくを低減するための工夫が益々重要となっている。2011年に発表した被ばく低減技術"AIDR 3D"は、逐次近似法を応用した独自の画像再構成技術で、従来比で最大50%のノイズ低減、75%の被ばく低減を実現するソフトウェアであり、現在発売中のCT全機種に標準搭載している。

### X線装置:

X線装置での大きな変化といえば、2000年頃のX線平面検出器FPDの登場である。TFTスイッチを使い、各画素に蓄積された電荷を読み出して画像化するもので、高画質で空間的な歪みがなく、リアルタイム性に優れる等、画期的な検出器である。FPDの登場を含めX線画像がデジタル化したことで、暗室作業から開放された事も大きな変化だ。また血管造影装置は、診断だけでなく治療支援等にも利用されている。1999年、東芝は回転撮影画像から3D画像を再構成する3Dアンギオを開発。脳血管内治療の発展に与えた影響は大きい。2001年には、I.I.とFPD両方に対応した"Infinix Celeve"を開発。FPDへアップグレードを行った施設も多くあった。2006年に登場したマルチアクセスCアームは、5軸の回転機構を搭載し、床置式ながら天井走行のような





自由な動作を実現、全身の血管へ対応可能となった。 更に2009年には画像処理"PureBrain"の導入により透視 画像が高画質化された他、手術台と組み合わせたハイ ブリッド手術用システム"INFX-8000H"を発売する等、 IVRに欠かせない存在となっている。また、透視中に関 心領域のみに照射範囲を絞る"スポット透視機能"や、 皮膚入射線量のモニタリングシステム"Dose Tracking System"の開発等、線量低減や線量管理等の工夫を積極 的に提案している。

### • MRI:

X線を用いず、磁場と電波を使用する画像診断装置 MRIは、侵襲性の少ない特長から、近年急速にその役 割を拡げている。東芝は1999年に開発した静音化機構"Pianissimo"、2011年に発売した71cmの大口径MRI "Vantage Titan™"により、静かで開放的な検査環境を実現。また東芝独自の非造影MRA技術"Time-SLIP"法により、血流の動態観察まで明瞭に可視化、造影剤を用いない血管撮影の普及に貢献している。受信コイルではマルチチャネル化が進み、飛躍的な画質向上、及び複数の受信コイルを組み合わせる事で全身検査に対応可能となり、コイル取替えの手間も解消した。そして、近年最も進化しているのが自動化技術といえる。2012年に開発した"Cardio Line"は、心臓基準6断面が自動的に位置決めできる新機能であり、難解であった心臓の位置決め作業が自動化され、検査ワークフローを大幅に改善している。

### 最後に:

2013年11月、東芝製CTは累計生産台数3万台を達成した。同月、高画質、簡便な検査環境、コンパクトな設置環境等、東芝技術の粋を集めた新製品MRI "Vantage Elan™"を発売した。東芝は国産の総合医療機器メーカーとして、よりよい検査と診断のため、患者にやさしい医療のため、これからも医療機関の先生方と共に歩み続けたい。





## 【テルモ株式会社】

### テルモの歩み

テルモは、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するために、北里柴三郎博士をはじめとする 医師らが発起人となり、1921年に設立されました。

社名の由来は、「体温計」を意味するドイツ語から命名"<u>Thermo</u>meter" (テルモメーター)されました。企業理念は「医療を通じて社会に貢献する」です。

事業領域は、心臓血管領域事業、ホスピタル事業、血液システム事業からなり、放射線科領域においては、カテーテル製品や造影剤製品での関わりがあります。創業時からの主な沿革は下記スライドの通りです。



ここ15年の放射線科領域での主な歩みとしては、

2006年 ゲルベ社(仏)造影剤4製剤順次販売開始

- ○マグネスコープ静注38%シリンジ10mL、15mL、20mL
- ○ヘキサブリックス320注20mL、50mL、100mL
- ○リピオドール480注10mL
- ○イマジニール300注20mL、50mL、100mL、
- ○イマジニール350注20mL、50mL、100mL

2008年 クリニカル・サプライ社の株式を取得し、テルモ・クリニカルサプライ株式会社設立(2009年)

2012年 ハイドロゲルコイル「AZUR」発売

オクリュージョンカテーテル「アテンダントデルタ」発売

2013年 リピオドール480注10mL添付文書改訂

TACE(肝動脈化学塞栓療法)での保険適応拡大(詳細は添付文書参照)

90年の歴史の中で培ったユニークで輝く技術を活用しながら、今後も「人にやさしい医療」をめざしてまいります。

### 【株式会社島津製作所】

(株)島津製作所 医用画像診断装置 15年の歩み

#### 1. はじめに

島津製作所の医用機器の歴史はレントゲン博士の1895年X線発見にまでさかのぼる。創始者である島津源蔵は1896年に日本でのX線撮影を成功させ、以来その技術は継承されさまざまな医用機器を創出している。X線の基礎はX線管とその検出器、高電圧発生装置で、さらにシステム化のための画像処理技術・機械技術などを組み合わせ商品となっている。その中でも2000年を境にX線検出器と画像処理技術の進歩は目を見張るものがあり近年の臨床診断技術の進歩に大きく貢献してきている。

#### 2. X線平面検出器の完成、商品化

島津製作所ではこの流れに合わせて1990年代からX 線平面検出器(以下FPDと記載)の開発を進め、2003年 に動画対応可能な直接変換方式FPDを搭載した血管撮影 システム、さらに一般撮影装置、X線透視撮影装置へと 次々に製品化している。また病棟で撮った画像を即読 影できるというコンセプトの元に回診車にFPDを搭載し た、MobileDaRtを全世界にむけ発売した。

島津製作所の医用機器

| Xiáp レビンステム | Xiá 単級システム | 図診用Xiá 最新システム |
| Xiá 血管線影システム | PET/CTシステム |

### 3. 臨床技術の開発

FPDの出現はX線画像のデジタル化を一気に進め、急速な画像処理技術の進化が高画質で歪のない高精度のX線画像を実現した。

島津製作所では未来に向けて装置作りとともに新しい臨床付加価値を創造するというコンセプトのもと、

株式会社島津製作所 医用機器事業部 グローバルマーケティング部 田中修二

それぞれの装置で独自性を持った臨床技術の開発を 行ってきました。

血管撮影では3DアンジオやCア-ムCT技術はもちろんのこと、動いても撮れるRSM-DSA技術、X線透視撮影装置ではX線を短冊状にしてつなぎあわせるスロットラジオロジィ技術、X線発見創世記からあった断層技術を進化させたトモシンセス技術などを開発、人工関節置換後のホロウアップが飛躍的にしやすくなったなど、臨床付加価値の高い装置の開発を行ってきている。

#### T-smart(逐次近似法)による整形トモシンセシス画像



### 4. Molecular Imaging

島津製作所では将来を見据えながらX線以外の医用装置PETや近赤外光イメージング装置なども開発・製品化しておりこれらは次世代医療に貢献するであろうと言われている。この開発には医用技術だけではなく分析計測技術も必要であり分析部門とも連携しながら開発が進められています。

#### 分子イメージング→次世代を開く医用機器と分析機器





## 【株式会社 日立メディコ】

静岡県放射線技師会殿65周年記念誌寄稿文章

貴技師会創立65周年おめでとうございます。長年に亘り、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展に 尽力され、もって静岡県の皆さまの健康維持増進に寄与されてきたご功績に心から敬意を表します。

日立メディコにおきましては、「患者さまにやさしい」をコンセプトにした医療機器、医療情報システムの提供を通じて、微力ながら静岡県の皆さまの健康維持増進の一助となれるよう願っております。

以下に1998年から2013年にかけての日立メディコの「15年の歩み」を製品ごとに振り返ります。

#### 1. MRI装置

日立メディコがMRI事業に参入したのは、常電導MRI装置を初めて出荷した1984年に遡りますが、翌1985年には永久磁石型MRI装置の開発に着手しました。

その後、1987年に永久磁石型MRI装置の1号機を出荷して以降、多くの永久磁石型MRI装置を世に送りだし、1998年には上下の磁石を非対称な2本の柱で支えるユニークな空間デザインにより「患者さまへのやさしさ」を形にした「AIRISII」を発売し「オープンMRIの日立」というブランドを確立しました。2002年に発売した1本柱の0.4テスラ装置「APERTO」は更なる開放感を実現し、海外展開も順調に進め、2012年には永久磁石型MRI装置の累計出荷台数が5000台を突破しました。



### 「APERTO |

また、永久磁石型オープンMRI装置はその空間の自由度が高いことから従来にない臨床応用が可能となり、国内で初めての術中MRIとして「AIRISII」を2000年に東京女子医

科大学殿に納めたのを皮切りに、治療ガイドなどにも活用 の場が広がっています。



#### 術中MRIの様子

一方、近年はMRIの高磁場化が進んでおり、日立メディコでは「患者さまへの真のやさしさは、高画質をより快適な空間で提供すること」との思想の下、充実したアプリケーションと高い操作性を兼ね備えた1.5テスラ超電導MRI装置「ECHELON Vega」を2006年に発売し、2008年には高磁場オープンMRI という新しいコンセプトの1.2テスラ超電導オープンMRI装置「OASIS」を発売し米国を中心に好調に台数を積み上げています。

2013年を振り返ると、1.5テスラで実績がある楕円形状の空間を持ち、更に4チャンネル4ポートの新技術を搭載した3テスラ超電導MRI装置「TRILLIUM OVAL」を発売し、これからも「患者さまへのやさしさ」を提供し続ける日立MRIに一層ご期待頂ける年になりました。



### TRILLIUM OVAL

### 2. X線CT装置

X線CT装置は、1999年に「Carino」、2001年に「Pronto」

シリーズと呼ばれるシングルスライスCTを発売しました。それまでのX線CT装置は、専用の操作ボタンと英語表記の操作画面、白黒の画像表示モニタが主流でしたが、「Carino」「Pronto」両シリーズでは当時としては最新のWindows OSを初めて採用したことにより、キーボードとマウス、タッチパネルモニタによる快適な操作性と、カラーモニタにより画像表示・解析、および完全日本語表示を実現しました。

また、「Pronto」シリーズではQuick Net (Q-Net)と呼ばれるソフトウェアを開発しました。Q-NetはCT本体上で動作する画像ビューワや3D/MPRなどの解析ソフトを診察室のパソコンにインストールし、CT本体から診察室のパソコンにネットワークを介してCT画像を転送することで、専用の3Dワークステーションを使わなくても、パソコン上で3D/MPRを作成することが可能になり、注目を集めました。

臨床の場で検査を進める診療放射線技師の皆さまに とって、わかりやすい表示や快適な操作性を提供すること が、「患者さまへのやさしさ」につながるものと日立メディ コは考えています。



また、1998年以降それまでのシングルスライスCTから、マルチスライスCTと呼ばれる体軸方向に複数の検出器を持つX線CT装置が開発され、短時間に広範囲の撮影が可能になりました。日立メディコは2003年に「ROBUSTO」(4スライスCT)と2007年に「ECLOS」(4/8/16スライスCT)を発売しました。「ECLOS」は施設の検査内容や設置スペースに合わせて最適なX線管(2/3.5/5MHU)、スライス数(4/8/16スライス)、寝台(Short/Long)、およびネットワークのカスタマイズが可能なマルチスライスCTです。

また、CT装置購入後の追加オプションで4→8→16スライスの変更が可能なため将来の検査数増加にも対応可能

という特長があります。



| FECLOS

その後、2010年に"やさしさをカタチに"したOpen Design CTである64列マルチスライスCTの「SCENARIA」を発売しました。「SCENARIA」は広い開口径 (75cm) と短い 奥行 (88cm) という非常に開放的なガントリサイズに加えて、開口部のカバー形状やカラーリングに工夫を施し、被検者に与える圧迫感が少ないデザインに仕上げました。

また、ガントリ正面上部には、検査中に様々な用途で使用することができる液晶モニタ「Touch Vision」を搭載しました。検査内容について説明したガイダンス表示や息止め練習機能などのメニューが10ヵ国語に対応しており、国内だけでなく海外の被検者が安心して検査を受けていただくためのコミュニケーション (対話) をサポートしています。



「SCENARIA」

#### 3. X線診断装置

1990年代のX線診断装置は消化管撮影画像のデジタル 化が進みました。当初はイメージインテンシファイヤ (I.I.) の出力画像は撮像管を使ったTVカメラで撮像されていましたが、1990年代後半には400万/100万画素のマルチモードCCDを搭載したTVカメラ、パソコンライクな操作性を実現したWindows版画像処理装置を装備した「DR-2000X」を発売しました。

2000年代はフラットパネル検出器 (FPD) の普及が進みました。FPDは、視野が矩形で周辺部に歪みがないこと、ダイナミックレンジが広いこと、厚みが薄いことなどの特長があり、システムとしては透視/撮影画質の向上とX線TVのテーブルが低い位置まで下がり、乗降が楽にできるなどのメリットを有しています。日立メディコは、2002年に世界で初めて40cm×30cmの大視野動画対応FPDを搭載したCアーム型X線TVシステム「VersiFlex」やオーバーチューブ型X線TVシステム「meditesCREA」を発売しました。



### [VersiFlex]

また、2003年には、このFPDを天井走行式Cアーム装置に搭載したアンギオシステム「PARTIRE」でコーンビーム撮影による3D画像やCT画像を再構成表示することを可能とし、動脈塞栓術 (TAE) などのIVRに威力を発揮しました。2004年に製品化した「CONCORD」はX線TVシステムでありながら、X線管球部とテーブルが独立しており、X線管球を支持するアームがないため、テーブル周囲に広いワークスペースを確保できました。

2007年、このコンセプトを継承し、他社にない2ウェイアームとオフセットオープン機構を搭載した「CUREVISTA」を発売しました。「CUREVISTA」は、テーブル奥側にも広いワークスペースを確保したことにより、車イスやストレッチャーからの載せ換え作業や、救急対応が迅速に行えるなど快適な操作環境を実現し、被検者や操作者の負担を和

らげた点などが評価され、機械工業デザイン賞朝日新聞 社賞及び全国発明表彰を受賞しました。臨床現場でスタッ フの皆さまが「患者さまへのやさしさ」を提供することへ のお手伝いが出来る装置として認めていただけたものと考 えます。翌2008年には標準的なスタイルのX線TVシステ ム「EXAVISTA」を発売し、その後、FPDサイズが17×17イン チ、30×30cmのシリーズ化も実現しました。

また、2013年には30×30cmのFPDを検診用RFテーブルに搭載した検診施設向けの装置「DIAVISTA」を発売し、X線TVシステムのラインアップを拡充させました。



### 「CUREVISTA |

一般撮影装置では、2005年に17×17インチのFPDを搭載したデジタル一般撮影システム「Radnext GENESYS」シリーズ、2012年に天井走行式X線管球保持装置「SX-A300」を発売しました。「SX-A300」と一般撮影X線システム「Radnext」シリーズを組み合わせた「Radnext PLUS」は、保持装置を天井レールに固定する電磁ロック音をできるだけ小さくしたこと、片手で位置決め操作ができるワンハンド操作器を特長としており、機械工業デザイン賞「日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞しました。



「Radnext PLUS」

#### 4. 医療情報システム

#### (1)画像システム

日立メディコは、DICOM規格制定前の1985年に医用画像管理システム「HIPACS」、1998年にはDICOM規格対応「OPEN-PACS」を発売するなど、一貫して医用画像の総合的な管理および診断支援の普及に努めてきました。

その後、パソコン・インターネットの普及に合わせて、 2003年、WebブラウザでDICOMデータ参照可能のWeb 画像システム「WeVIEW」を発売しました。「WeVIEW」は、 GUI・使用機能・画像参照環境を操作者のワークフローに 合わせカスタマイズできるようにしました。



「WeVIEW」

#### (2)病院情報システム

日立メディコは、1999年の「HOSPITAC」発売により病院情報システム事業を開始し、2003年、Web型電子カルテシステム「Open-Karte」を発売しました。「Open-Karte」は医事からオーダ、診療カレンダーをキーとした患者単位のパス

運用が可能で、放射線・看護などの部門システム機能を含んだオールインワンパッケージとなっており、Webベースのため端末の増設が容易という点に特長があります。

#### (3)健診システム

日立メディコは、1973年にフルオンライン健診システム、その後「オフコン型健診システム」を発売しました。1995年には他社に先駆けてパソコン利用のクライアントサーバー方式採用の健診システム「Hellseher」を発売し注目を集めました。

その後Hellseherシリーズとして、職域・地域健診システム「Hellseher authent」「Hellseher Neo」、特定保健指導業務支援システム「Hellseher Willing」、そして2011年に次世代型健診業務トータルサポートシステム「Hellseher Next」を発売しました。「Hellseher Next」は、健診施設の施設運営から健診データ処理、営業支援まで健診業務全体にわたるニーズに対応した最新のシステムです。

以上、ご紹介致しました製品の一つ一つが「患者さまへのやさしさ」を形にしたものであり、このような製品やサービスをこれからも皆さまにお届けし続けたいと考えております。

創立65周年記念誌という貴重な誌面に寄稿の機会をいただいたことに厚くお礼を申し上げます。

末筆ながら、貴技師会の今後の益々のご発展を心から お祈り申し上げます。

株式会社日立メディコ 執行役常務 事業企画本部長 前田 常雄



## 【堀井薬品工業株式会社】

### 「15年の歩み」

胃X線検査は1953年に白壁彦夫らによって開発された胃二重造影法によって著しく発展し、微細な病変も診断できるようになりました。胃二重造影法の普及により、胃癌による死亡率が著しく減少したことは周知の如くです。弊社も1967年『バロスパース』の発売、1970年『バロス発泡顆粒』の発売を皮切りに、1990年には日本で初めて高濃度バリウム「バリコンミール」を開発・製品化し現在に至っています。

この15年間では2004年に180W/V%を標準使用とした「バロスパースW」を発売して以来、しばらく新製品の商品化がなされていませんでしたが、2013年、より繊細な付着を目指した新高濃度バリウム『硫酸バリウム散98.8%「ホリイ」』を発売し、『バロス発泡顆粒-S』もバリウム液での服用にも適した新しい製品としてリニューアル致しました。

また、新しい分野への参入として、2013年4月より大腸3D-CT検査用に国産初の自動炭酸ガス送気装置「エニマCO2」の販売を開始しました。「エニマCO2」は高性能(多彩な機能設定)でありながら低価格に抑え、消耗品の「エニマCO2カテ(カテーテルセットK)」と併せて、高い経済性を実現しました。また、弊社では大腸3D-CT検査において、下剤「マグコロールP」・検査食「エニマクリン」シリーズを用いた前処置から、炭酸ガス送気装置までトータルに情報提供・製品供給を行っています。

### 【過去15年の経緯】

1998年 準高濃度バリウム『バロスパースW』発売 (160W/V%標準使用)

#### 2004年

準高濃度バリウム 改良『バロスパースW』発売 (180W/V%標準使用)

#### 2005年

新・胃X線撮影法(間接・直接)ガイドライン発刊 \*粉末高濃度バリウム・少量服用による二重造影主体 の検査が一般化

#### 2009年

NPO日本消化器がん検診精度管理評価機構による新しい基準撮影法の提案

### 2011年

新・胃X線撮影法(間接・直接)ガイドライン改訂版発

#### 2013年

大腸3D-CT検査用 自動炭酸ガス送気装置『エニマ CO2』発売

新高濃度バリウム『硫酸バリウム散98.8%「ホリイ」』 発売

改良『バロス発泡顆粒-S』発売









## 【伏見製薬株式会社】

胃X線検査・硫酸バリウム造影剤の15年の歩み

硫酸バリウム造影剤として、この15年間大きな変化 はありません。

それは決して進歩していないわけではなく、言い換えれば15年前には、すでに高濃度硫酸バリウム造影剤としてのかたちが出来上がっていたと言えます。

しかしながら、胃 X 線検査を取り巻く環境はこの 15年間大きな変化を遂げています。その最たるもの が撮影法の「基準撮影法の提唱」です。以前から胃 X 線検査は、微細病変の描出により救命可能ながんを発見することを目的としております。各施設において製剤の調製を工夫し使用していましたが、基準撮影法の

提唱、また厚労省の「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン」等により、多くの施設において高濃度硫酸バリウム造影剤を使用し胃 X 線検査を行うようになってきました。

新製品が、従来の製品より優れている前提で市場に 出される現代において、なおその形をかえずとも永く 使用して頂いております。

新たな動きとして受診者の苦痛が少なく、簡便に検査できる方法として、大腸CT検査が脚光を浴びています。これまで注腸X線検査、大腸内視鏡検査が大腸がん検診の2次スクリーニングとして行われてきまました



が、CT装置、ワークステーションの発展と共に大腸消 化管検査もCTで行われる時代がやってきております。

消化管検査において、「今以上に多くの情報量を備えた診断価値の高い画像を」という先生方からのご要望にお応えしつつ、受診者の方への負担の少ない検査を可能にする造影剤の開発に向け努力いたします。

医薬品業界では薬事法等の改正により以前にも増して高品質の医薬品の供給、安全性の確保とともに、市販後の安全性情報の収集、提供も医薬品製造販売会社の使命とされております。医薬品製造販売業である株式会社伏見製薬所と連携し、医療関係者、受診者様への情報提供や社会貢献に今後も一層努めてまいります。



## 【コニカミノルタ ヘスルケア株式会社】

15年の歩み

貴会創立65周年にあたり、心よりお祝いを申し上げます。

さて、画像診断の歴史は技術革新の歴史でもありますが、この15年間においては、特に一般撮影の領域で急速なデジタル化が進み、弊社がご提供する製品・サービスも大きく変化を遂げました。

弊社が、それまでの立位・臥位専用装置に加えて、新たにカセッテ型CR装置の展開を開始したのが、今からちょうど15年前の1999年となります。当時は、大型読取装置を中央に配した集中処理方式が主流でしたが、弊社は小型装置を効率的に配置して撮影動線の理想化を図る「分散処理」コンセプトを提唱、多くのお客様から高いご評価を頂戴しました。

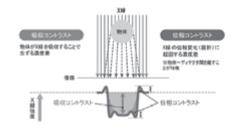
進化するREGIUS シリーズ



分散処理コンセプトは、リーダーとコンソールの分離、画像表示速度の向上等の洗練を重ねながら、その後も歴代の弊社CR装置へと受け継がれています。



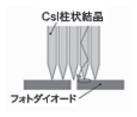
乳房撮影の領域では、2005年、世界で初めて乳房撮影に位相コントラスト技術を用いた「PCMシステム」を発表。位相コントラストによるエッジ効果と $25 \mu m$ 相当の高い解像力を活かした、独創的な高品位画像システムを実用化しました。



PCM原理概念

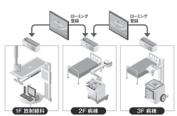
2011年には、ワイヤレス型カセッテDRシステム「AeroDR」を発売致しました。AeroDRでは、自社製CsIシンチレータをTFTセンサーパネルへ直接マウントすることにより、高いDQE性能を達成。低被爆と高画質を両立させています。また、搭載電源にキャパシタを採用、安全性を高めながら高速充電・長時間使用を可能としました。更に、カーボン製モノコック構造により軽量かつ高い堅牢性を兼ね備えています。





お陰さまで、AeroDRは発売以来、大変多くのお客様にご導入頂き、その優れた基本性能を高くご評価頂いています。また、当初の一般撮影領域から、病棟、手術場、在宅、災害医療へとその用途を拡大し続けています。





振り返りますと、この15年間に技術は大きく進化し、弊社製品もCRからDRへと変化を遂げました。反面で、お客様にとっての価値を追求し、真に信頼されるパートナーであり続けたいと願う弊社の思いは揺るぎません。

今後も弊社では、お客様のご意見、ご要望に沿った製品・サービスの提供に努めて参ります。

## 【富士フイルムメディカル株式会社】

### CRからFPDへ15年の歩み

一般撮影領域のデジタル化は、1983年のFCR101の登場から始まりました。FCR101は、横幅8090mmと非常に大きな装置でしたが、技術革新により小型化が進み、今日の卓上型CR FCR PRIMA T2では、横幅560mmとFCR101に比べて1/15のサイズとなっています。



図 1 FCR101(左)と小型CRシステムFCR PRIMA T(右)

### 小型化と高機能化を目指したCR

2013年7月現在では、FCRは日本のみならず全世界で普及し10万台を超える台数が導入されました。これまでの15年を振り返ると1999年にDICOM規格に対応したFCR5000シリーズが登場しました。FCR5000シリーズのFCR5501Dでは、高感度読取方式としてIPの両面から読み取る両面集光方式が開発され、それまでの片面集光方式に比べ30%以上の高感度化を実現しました。

21世紀に入った2001年には、大幅は小型化を実現したFCR XG-1が登場しました。FCR XG-1は小型CRシステムとして、クリニック様や病院のポータブル撮影などで数多く導入していただきました。

2003年には、高速読取を実現するラインスキャン方式が開発され、VELOCITYシリーズとして立位/臥位のビルトインタイプCRが登場しました。ラインスキャン方式では、ショット後3秒で画像表示が開始され10秒で読み取りが完了する高速読取が実現しました。

その一方で、より高精細で高感度な読取装置の要望を受け、両面集光読取方式を採用し $50\mu$ mの高精細読取を搭載したFCR PROFECT CSが商品化されました。FCR PROFECT CSはマンモグラフィで求められる微小石灰化の描出を向上させることができ、マンモグラフィ分野を中心に数多く導入されています。

### CRからFPDへ

ここ数年は、カセッテ型FPDの登場により、FPDシステムの導入が急速に広がってきています。富士フイルムは、より高感度なFPDを実現するために、蛍光体の前面(X線照射側)にTFT(画像の画素を構成)を配置し、X線変換効率を高めた独自のISS(Irradiation Side Sampling)方式を採用したCALNEOシリーズをリリースしました。

CALNEOは、世界で初めてFPDにX線検出機能(Smart Switch)を搭載することに成功しました。これにより、X線発生装置との接続が難しいポータブル撮影においても、FPDを用いて検査を行えるようになりました。

富士フイルムは30年以上にわたりデジタルX線画像を 追い求めてきましたが、これからも医療X線画像診断に 大きな革新をもたらす商品を生み出していきます。





### 【第一三共株式会社】

### 第一三共株式会社の造影剤について

この度は静岡県放射線技師会創立65周年おめでとう ございます。心よりお祝い申し上げます。

1970年代、ノルウェーのニコメッド社(現:GE Healthcare AS社)において水溶液状態で安定な非イオン性造影剤の開発が進められ、多くの化合物の中から低毒性、低粘稠度、高い安定性及び高濃度溶液化の条件を最も満たす化合物として、イオへキソール(オムニパーク)が1978年に見い出されました。

日本では、第一製薬株式会社(現:第一三共株式会社)により非イオン性低浸透圧造影剤として開発されました。

また医療事故防止対策として、販売名の変更を申請し、シリンジ製剤は2008年12月に、バイアル製剤及びプラスチックボトル製剤は2009年6月にそれぞれの名称変更が承認されました。

- ・1987年 6月 製造販売承認を取得
  - 10月 オムニパーク300(尿路・血管用)、 350(尿路・血管用)(血管用)、 180(脳槽・脊髄用)、240(脳槽・ 脊髄用)発売
- ・1988年 1月 オムニパーク140(血管用)、240 (尿路・血管用)、300(脊髄用)発売
- ・1993年 1月 イオヘキソール注射液をあらかじめ注 射筒に充填したシリンジ製剤の製造 販売承認取得
  - 7月 オムニパーク240シリンジ、300シリ ンジを発売
- ・1994年 1月 オムニパーク300シリンジ50mLを発 売
- ・1997年 8月 プラスチックボトル製剤を発売
- ・1998年 7月 オムニパーク300シリンジ80mL、 350シリンジ100mLを発売
- ・1998年 8月 静岡県放射線技師会様 創立50周年
- ・2001年 6月 オムニパーク300シリンジ150mLを 発売
- ・2001年 8月 オムニパーク300(血管用)プラス チックボトル製剤を発売
- ・2006年 8月 オムニパーク300シリンジ125mL、 350シリンジ70mLを発売
- ・2007年 4月 第一三共株式会社創立(旧:第一製薬株式会社と三共株式会社が統合合併)
- ・2009年 3月 シリンジ製剤の販売名変更品を発売
- ・2009年 9月 バイアル製剤及びプラスチックボトル

### 製剤の販売名変更品を発売

- ・2011年 7月 オムニパーク300注シリンジ110mLを 発売
- ・2013年 8月 静岡県放射線技師会様 創立65周年
- ・2013年 12月オムニパーク350注シリンジ45mL を 発売

第一三共株式会社は、1931年に国産第一号のX線造影剤モリヨドールを発売して以来、診断領域を重点領域のひとつとしてとらえ、画像診断のモダリティーに応じた各種造影剤を取り揃えています。一昨年10月に発売25周年を迎えた非イオン性造影剤オムニパークをはじめ、非イオン性MRI用造影剤オムニスキャン、超音波診断用造影剤ソナゾイド、非イオン性等浸透圧造影剤ビジパークなど画像診断に対応した、研究開発、効能追加、容量追加、各種改良等のライフサイクルマネジメントを行い、ユーザーニーズにお答えすべく鋭意努力をしております。



オムニパーク製品ラインナップ

造影剤情報サイト:コントラストラストメディアフォーラムのご案内

国内の医療関係者を対象に、医療用医薬品を適正にご使用いただくための情報を集約した第一三共株式会社Medicallibrary-dsc.info)の上、造影剤情報サイトのコントラストメディアフォーラムをぜひご覧ください。当社造影剤に関する製品情報や講演会情報、最新の画像診断、患者用資材など多数掲載しております。ぜひとも、日常診療にお役立ていただきたいと存じます。

### 【株式会社ドクターネット】

### 【遠隔画像診断サービスの歩み】

#### 静岡県放射線技師会創立65週年記念に寄せて

静岡県放射線技師会創立65周年おめでとうございます。65年にも及ぶ年月を重ねた実績は、弊社の歴史が足元にも及ばないものではございますが、遠隔画像診断サービスに関わるこの15年の歩みについて、稿を寄せさせて頂きます。

### 遠隔画像診断サービスとドクターネット

1997年より開始した遠隔画像診断サービスは、長年に渡って医療現場における読影ニーズをサポートし成長を続けて参りました。ドクターネットをはじめとする遠隔画像診断のサービスプロバイダは、遠隔医療の中でも古くから病院間や病院と医師間をネットワークでつなぎ、読影の現場と一緒に歩んで参りました。ドクターネットでも、現在(2013年11月末現在)、450を超える医療施設と360を超える放射線診断専門医のネットワークをもち、今後もこの遠隔読影ネットワークは拡大して行くものと考えております。

### ドクターネットの遠隔画像診断支援サービス「Tele-RAD」

医療施設からCT・MRI等の画像をお預かりし、読影 医が書いたレポートを、依頼元医療施設に納品すると いった流れが基本となっておりますが、この依頼され る画像の月間平均受託件数は、ドクターネットでは約4 万件にも達するほどになって参りました。

この一連の流れは、基幹システム「FOCUS」を介して確立されているため、送信されてきた実データを読影医側の端末に再配信(コピー)することなく読影できるASP化された環境も実現し、高いセキリュティの遠隔読影環境を実現できるものになっています。また、依頼と読影医をシステムが自動的にマッチングした上で、さらに経験を積んだオペレーターが入念にチェックし割振りを行なっており、遠隔画像診断のクォリティはシステムと人との融合で支えられているのです

15年前であれば、医用画像をネットワークで伝送するという技術は珍しく、フィルムを運ぶのがまだまだ一般的であったと思います。遠隔画像診断の進化は、まさにIT技術の進化に支えられ、また、その技術を日々磨いてきた結果と言っても過言ではありませ

ん。画像の圧縮技術の開発、通信インフラの革新、コンピューターの進化など、モダリティや医薬品などの 進化と同様に、遠隔画像診断も歩みを続けてきたので す

### クラウド型遠隔読影ASPサービス「Virtual-RAD」

この15年で大きく様変わりしてきた遠隔読影技術は、今や、読影医の勤務や生活にも少なからず影響を与えてきています。医療施設側から見ると、読影医が目の前にいない時でも、読影をお願いできる環境を構築することは、今では全く難しいことではなくなっています。またこの5年で読影医が読影する場所を固定しなくとも、読影を依頼できる環境が整備されてきました。「クラウド」と呼ばれる技術は遠隔画像診断をもう一歩進化させるものとなりました。

ドクターネットでは、遠隔画像診断インフラをASP サービス「Virtual-RAD」として、提供を行なっていま す。

医療施設側に読影医はいるものの、事情により遠くから医療施設まで足を運ばなければできなかった読影業務を自宅や外出先などでいつでもどこでもできるようになっており、医療施設においては、読影医師はいままでどおりでありながら、より迅速に読影を行うことを実現しています。初期の機器投資負担を省き、利用料をいただくサービス型とすることで、導入ももしやすく、読影医師はいつでもどこでも読影業務ができるようになるため、働き方を改善することも期待できます。遠距離移動の低減、日当直から宅直への切替、産体・育休時の在宅勤務などが挙げられますが、一方の医療施設においても、グループ医療施設内における読影ローテーションを向上できる、派遣非常勤医師の引き上げ後も医師と繋がっていられる、などの効果が期待できます。

#### おわりに

ドクターネットはこれからも、遠隔画像診断の現場を ネットワーク技術で牽引し、優れた画像診断支援サー ビスを通じて、医療の質の向上と人々の健康に貢献し て参ります。

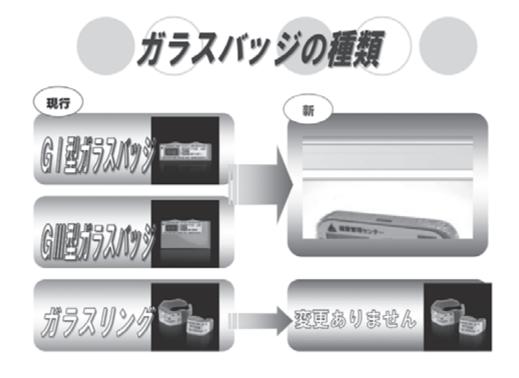
貴会のますますの発展と、会員様の日頃のお支えに 感謝し稿を終えたいと思います。



# 【株式会社 千代田テクノル】

フィルムバッジによるモニタリングサービスを開始して以来、数々の個人モニタを開始し、また、必要な設備を整理してまいりました。下記に示しますが平成10年以降のモニタリングサービスの歩みをここに紹介いたします。

平成11年 9月	JCO臨海事故発生。
平成12年 3月	ISO9001認証取得〔ガラスリング・ニューピットバッジのサービス〕
平成12年 6月	「原子力災害対策特別措置法」制定。
平成12年 7月	新測定センター開所〔Technol Radiation Monitoring Center〕
平成12年10月	『ガラスバッジ』によるサービスを開始。
平成14年 7月	営業業務におけるISO9001:2000認証登録
平成18年 7月	フランス放射線防護原子力安全研究所〔IRSN〕と『ガラス線量計
	モニタリングサービスシステム』の売買契約を締結。
平成19年10月	ガラスバッジによる測定件数2,000万件を達成。
平成20年 6月	会社創立50周年を迎える。
平成22年 9月	ガラスバッジによる測定件数3000万件を達成。
平成23年 3月	東日本大震災発生。
	福島第一原子力発電所事故発生。
平成25年 4月	ガラスバッジによる測定件数4000万件を達成。
平成25年12月	新測定センター開所。
平成26年 1月	新型ガラスバッジ運用を順次開始。



## 【株式会社日本環境調査研究所】

日環研15年のあゆみ

弊社は1977年3月民間企業で初めて作業環境測定機関(放射性物質)登録を行い、今年で創立40周年を迎えることができました。これもひとえに数多くのユーザ様のご支援によるものと心より感謝申し上げます。15年前に遡り1998年から2013年までの弊社のあゆみについてご紹介します。

### 【作業環境測定機間として】

弊社では年間約200施設において作業環境測定等の測定を実施しております。2003年3月、放射線施設における空気中、排水中などの放射性物質の量及び放射線の測定、並びこれらの測定に関する設計・開発においてISO9001認証を取得しました。更に環境に配慮して2010年より空気中の3H/14Cの採取方法を「同時捕集法」に切り替えました。現在では、放射性物質のみならずホルムアルデヒド、アスベスト、PCB、ダイオキシン、ディーゼル黒煙等粉塵、空気清浄度、細菌検査、気密測定等に付随する業務も行い、様々な作業環境ニーズに取り組んでおります。



【商品販売・各種設備設計・施工・コンサルタント】

2005年には、ワンハンド型GM汚染サーベイメータ「アララサーベイ」をJIS準拠して開発しました。最大の特徴は汚染判定機能を有し、プロからビギナーまで使用される方を限定しないという全く新しいコンセプトの放射線測定器を具現化したことです。2006年には、「高度管理医療機器等販売・賃貸業許可」を取得し、販売を開始しました。

また、RI施設の運営面においては、施設の新設、 改修、移転、廃止などの基本計画立案、スケジュー ル、設計協力、施工、各種設備(遮蔽、排気、排水) 能力計算、施設検査準備、検査時の立ち会い補助な ど、一貫したサービスをご提供し、多くのユーザ様か らのご要望にお応えしております。



### 【東日本大震災に伴う原子力災害対応業務】

東京電力福島第1原子力発電所より放出された放射性物質による環境汚染に対し、当初は、浄水等の放射能測定受託対応、原発安定化の為の作業員安全確保対策ツールを開発・提供し、現在も、放射性物質測定機関としての合理的な直轄環境除染対応、様々な方々への放射線教育・講習対応、オンサイト・オフサイトに関わらずシビアアクシデント対策対応、東電1Fサイト廃炉検討等に取り組んでおります。

今後も、私ども、 会とででは、私どもの。 会とは、放射性物質に対する専門家として、大切なりででででは、私たちが守りない。 は、私たちが守ります。

今後とも、変わら ぬご愛顧を賜ります ようお願い申し上げ ます。





## 【キヤノンライフケアソリューションズ株式会社】

皆様、こんにちは、キヤノンライフケアソリューションズの田中です。

「キヤノン」「キヤノン…?」「?」「?」、どこの会社?聞いたことのない会社では?・・・。皆様の中で、こう思われた方も多いのではないかと思います。

弊社は、平成24年に、エルクコーポレーション株式会社から、改称いたしました。ここで、やっと、ああ「エルク」かと、思っていただける方もいらっしゃるとも思います。

さらに遡れば、平成12年に西本産業株式会社から改称しております。

振り返ってみますれば、この15年の中で、社名が2回も変わるなんて、社員としては何てことだと思ってしまいます。組織は、それ以上に変わっておりますが、どんどん何かが、変化していっていると実感している15年間でございました。名前だけ変わってもこまりますが。さらに、付け加えるなら、弊社の主たるパートナー会社であった、コダックヘルスケアも、ケアストリームヘルス株式会社と医療部門のみが独立改称しております。

もともと、弊社は、X線フィルムの販売会社なのですが、世の流れは、アナログからデジタルへ、見事に移り変わりました。当然、あんなにあった、フィルム・現像定着液は皆様の周りから消え、私共には、納品業務もなくなりました。フィルムのあった頃は、週に1・2度の運送会社からの商品受け入れと、当日出荷する商品の積み込みで、毎日、汗をかいていたのですが、今はそれもありません。だから、私も以前は痩せていたのに、少しメタボ気味のようでございます。

過去も現在も、医用画像ならびに放射線科周辺の商品を取り扱う会社として、診療放射線部門の皆様に、商品・サービスを提供させていただいております。医用画像がメインであることは、フィルムからデジタルに変わっても、変わっておりません。FRD・3DPACS・PACS・RIS・放射線周辺各種機器をメインに取り扱っております。これからもよりよい製品・サービスを提供させていただけますよう精進いたす所存でございます。末永く、ご愛顧ならびに、ご厚情のほど、よろしくお願いいたします。

この機会に、お伝えした事がございます。「キヤノン」の「ヤ」は大文字でございます。私も、社名が変わって、初めて知りましたが、電器量販の会社でも知れ渡っていないようです。よって、皆様一人一人が、できますれば、「一口知識…」「知ってる…?」として、3人の方にお伝え願えないでしょうか。そうすれば、かなり広まるのではと期待しております。当然、「Canon」のほうが知れ渡ってはいますが、何かの折の話題として、軽いお話として、広げていただければと思います。よろしくお願いいたします。

## 【株式会社 八神製作所】

### 15年の歩み

公益社団法人 静岡県放射線技師会様の創立65周年にあたり「65年史」が刊行されますこと賛助会員を代表し、心よりお祝い申し上げます。

この15年間を振り返ってみると本当に様々な出来事がありました。1998年には、長野オリンピックが開催され、日本スキージャンプ団体が金メダルを獲得し日本中が歓喜に沸きました。2001年には、20世紀から21世紀へと歴史が大きく変わり新たな時代の幕開けに世界中が期待に旨を膨らませておりました。2012年には、京都大学 IPS研究所所長 山中 伸弥教授が iPS細胞の研究によりノーベル生理学、医学賞を受賞され、今後の再生医療の発展と加速に大きく寄与されました。この事により、これまでの治療方法が根本的に変わりうる出来事となりました。ただ、うれしいニュースがある一方で、2008年に起きたリーマンショクによる世界同時不況、2011年に起きた、東日本大震災等こころを痛める出来事もありました。

さて、弊社㈱八神製作所の15年間としては、2001年8月に静岡県を拠点に活動していた㈱フジイカと合併し、浜松営業所、沼津営業所を移転。同年、福祉用具の販売、レンタル、住宅改修を行うヤガミホームヘルスセンター静岡店を開設。2003年には、静岡営業所を新築移転。2013年には、沼津営業所から三島営業所に移転し、静岡県放射線技師会様をはじめとする、静岡県内のお客様に、よりきめ細かいサービスが提供できる体制作りを進めて参りました。現在全国に25の営業所、11のホームヘルスセンター店舗を開設し、サービスの提供を行っております。また、2011年には、セイエイ・エル・サンテホールディング株式会社を設立し、弊社を含む8企業と共に生衞(生を衞ること)と保健の実現を目指し活動しております。

最後に、これまでの15年間は、世界中、日本中、弊社にとっても本当に様々な出来事がありました。超高齢化社会が進む中、これからの15年間、さらに我々の取り巻く環境は変化していきます。技術の発展と共に、想像も出来ない世の中になっているかもしれません。ただ、人を想う気持ちや、助け合う心は、変わらぬ物であると信じ、これからの15年も勤倹力行を基本に活動して参ります。

この度は、このような機会を頂き大変ありがとうございました。

株式会社 八神製作所 静岡営業所 所長 西 浩明



(2013年12月31日静岡営業所より撮影)



## 【株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン】

メディカル・イノベーター フィリップス15年の歩み

フィリップスも2013年で日本国内での機器販売を開始して60年の節目を迎えることができました。これも、ひとえに弊社機器をお使いいただいている皆様のお蔭であると強く感謝しています。今回はその中で、CTと血管撮影装置について、その変遷と今後の展望について記したいと思います。

まずCTですが、2002年に本邦でCT装置の販売を開始してから本稿執筆時で10年弱が経過し、累計販売台数も300台を超えています。日本国内では16スライスCT市場からの参入でありましたが、海外ではシングルスライスCTの時代からユニークで独自性の高い製品開発と販売を行ってまいりました。

100V電源で撮影が可能な移動型CT装置Tomoscan M, 世界初のDualスライスCTのMxTwin, 心電図同期特許技術を実装し循環器CT検査の可能性を拡大させたIDT16や当時32スライスCTが各社から発表される中, 40スライスCTのBrilliance CT 40を先駆けて発表し、昨今では64、128、256スライスCTを開発し市場に投入しております。

フィリップスCTの歴史は、世界で初めて焦点電磁偏向の技術を開発したエルシント社や欧米の放射線治療用CTで高シェアを持っていたピッカー社との協力関係を経て今日に至ります。そのため、フィリップスCTのソフトウェア系の開発・評価はイスラエルのハイファ、ガントリなどのハードウェア系の開発・生産を米国のクリーブランドで行っています。 またフィリップス自体は電球やX線管の開発・販売を行ってきた歴史もありCT装置はもとより一般撮影装置や血管造影装置に搭載されるX線管は一貫してドイツのハンブルグを中心に製造を行っています。CT装置の根幹を担う技術は大きくX線管、検出器、画像再構成に分類され、これらの技術革新そのものがCT装置に求められる"高画質"と"低被ばく"の要件に直結しています。

昨今では逐次近似法による画像再構成技術にも注目が集まり、2009年にiDose4を2013年にはIMRを発売開始しました。これら最新技術は従来ノイズやアーチファクトで隠されてきた微小・微細構造を描出し、病変の早期発見から治療への橋渡しに大いに期待されています。また、新たな画像コントラストをCTで得るため、現在Phase-contrast CTやPhoton Counting CTの開発も進行しており、次の「15年の歩みは」これら次世代CT装置の製品化で未知の病態把握、メカニズムの解明をより一層加速させるかも知れません。



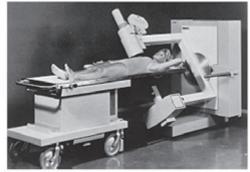
一方の血管撮影装置ですが、日本国内においては1973年に虎の門病院様へ日本初の血管撮影装置として導入されたことに端を発します。性能向上のため機器は進化し撮影アームの構造も変化し現在のCアームタイプとなったのが1997年です。

その後、透視・撮影機能だけではなく、コンピュータを使用した画像処理、画像再構成機能が開発、搭載されるようになり現在に至っています。特に経皮的脳血管内治療が盛んになり、回転撮影を用いた3次元データ収集、再構成の技術は必須の機能となりました。弊社では3D-RA、XperCTとして製品化しておりましたが、昨年より自動的に位置情報のズレを認識、追従する機能も搭載され、実臨床で活用できる3次元のロードマップ機能と広く使われています。

また、外科的治療と内科的治療の融合したハイブリッド手術が開始され、専用装置としてのハイブリッドシステムが求められるようになる中、フィリップスでは2012年にFlexMoveという新しいハードウェアを開発いたしました。 従来の手術用モバイル透視装置と同等の機動性と、先進の血管撮影装置の機能を併せ持つ、先進的な装置とです。

昨今ではこういった治療の流れに加え、医療従事者の安全を含めた、低侵襲化が進められる中、フィリップスでは2013年に、従来に比べ約7割の被ばく低減を実現する革新的な装置を発売しました。画像処理を根本的に見直し、完全デジタル化することで実現することができました。





左上:ハイブリッドシステム 「FlexMove」

右上: 国内初の血管撮影装置 「Cardio Diagnost」

右下: 革新的な低被曝を実現 「Allura Clarity」



このように、フィリップスでは常に医療の進歩に歩調を合わせ、患者様と医療従事者の必要とする機能を開発、製品化してまいりました。今後もこの方針に則り本当に有用な製品をご提供し続けてまいります。今後とも皆様のご支援賜れますようお願い申し上げます。







# 公益社団法人 静岡県放射線技師会 役員名簿

(任期:平成10年4月1日~平成12年3月31日)

会長	吉村 正己	
副会長(委員会)	三井田 基善	順天堂大学医学部附属順天堂伊豆長岡病院
副会長(会務)	庄 賢治	(株) 小糸製作所 診療所
副会長(学術)	大石 雄史	共立湖西総合病院
理事(常任・総務)	八木 秀視	総合病院静岡厚生病院
理事(常任・庶務)	塩津 敏之	清水市立病院
理事(常任・会計)	東山 誠三	司馬外科医院
理事(常任・編集)	森 佳久	市立島田市民病院
理事(常任・広報)	奥川 令	静岡済生会総合病院
理事(常任・企画)	伊藤 生也	静岡県立総合病院
理事(常任・福厚)	前田 光一郎	共立蒲原総合病院
理事(組織・東部)	桑沢 啓治	(財)田方保健医療対策協会附属病院
理事(組織・中部)	飯塚 知幸	総合病院清水厚生病院
理事(組織・西部)	増井 成充	遠州総合病院
理事(学術)	浅野 愉喜夫	県西部浜松医療センター
理事(調査)	倉田 富雄	富士市立中央病院
コスモス 委員長	殿岡 ひとみ	自宅
超音波 部会長	杉山 高	藤枝市立総合病院
MRI 部会長	石津 文夫	総合病院聖隷浜松病院
表彰 委員長	田島 剛二郎	静岡県立総合病院
職制委員長	白鳥 岩男	静岡県立総合病院
50年史編集 委員長		HT P40 XIN, 127, NOV. 121 YP31P/L
放射線技師の役割	殿岡 正敏	静岡済生会総合病院
実践 委員長	灰門 正勢	HT I-71 II-71 II-11 II-
R I 審査会 委員長	廣瀬 洋文	静岡県立総合病院
選挙管理 委員長	稲垣 達雄	共立菊川総合病院
幹事	青島 芳仁	焼津市立総合病院
監事	山田 豊	沼津市立病院
監事	服部 義男	袋井市立袋井市民病院
名誉 会員	中澤 邦夫	自宅
名誉 会員	大嶋 喜八郎	自宅
名誉 会員	小林 和也	自宅
名誉 会員	宮本 唯男	(財)結核予防会静岡県支部
事務担当職員	石川 美代子	

## (任期:平成12年4月1日~平成14年3月31日)

会長	中瀬 静登	(財)富士脳障害研究所附属病院
副会長(委員会・企画)	三井田 基善	順天堂大学医学部附属順天堂伊豆長岡病院
副会長(会務)	山本 満	総合病院静岡厚生病院
副会長(学術)	和田 建	県西部浜松医療センター
理事(常任・総務)	前田 光一郎	共立蒲原総合病院
理事(常任・庶務)	奥川 令	静岡済生会総合病院
理事(常任・庶務)	高橋 真	榛原総合病院
理 事 (常任・会計)	東山 誠三	司馬外科医院
理事(常任・編集)	森 佳久	市立島田市民病院
理事(常任・広報)	斉藤 健一	藤枝市立総合病院
理事(常任・福厚)	伊藤 生也	静岡県立総合病院
理事(組織・東部)	中津川 大三	社会保険三島病院
理 事 (組織・中部)	佐藤 信之	静岡県立総合病院
理事(組織・西部)	伊藤 雅夫	袋井市立袋井市民病院
理事(学術)	日下部 行宏	総合病院聖隷浜松病院
理事(調査)	倉田 富雄	富士市立中央病院
コスモス 委員長	勝呂 節子	三島市医師会メディカルセンター
超音波 部会長	杉山 高	藤枝市立総合病院
MRI 部会長	天野 智康	総合病院聖隷三方原病院
アンギオ 部会長	安間 武	磐田市立総合病院
表彰 委員長	田島 剛二郎	静岡県立総合病院
職制 委員長	白鳥 岩男	静岡県立総合病院
放射線技師の役割 実践委員長	殿岡 正敏	静岡済生会総合病院
R I 審査会 委員長	廣瀬 洋文	静岡県立総合病院
選挙管理 委員長	青木 隆	総合病院清水厚生病院
監事	櫻井 八郎	社会保険桜ヶ丘総合病院
監事	山田 豊	沼津市立病院
名誉 会員	中澤 邦夫	自宅
名誉 会員	大嶋 喜八郎	自宅
名誉 会員	小林 和也	自宅
名誉 会員	宮本 唯男	(財)結核予防会静岡県支部
名誉 会員	吉村 正己	(財)結核予防会静岡県支部
名誉 会員	庄 賢治	(株) 小糸製作所 診療所
事務担当職員	石川 美代子	



(任期:平成14年4月1日~平成16年3月31日)

会長	中瀬 静登	(財)富士脳障害研究所附属病院
副会長(委員会・企画)	山田 豊	沼津市立病院
副会長(会務)	四方 健一	静岡県立総合病院
副会長(学術)	和田 建	県西部浜松医療センター
理事(常任・総務)	奥川 令	静岡済生会総合病院
理事(常任・庶務)	高橋 真	榛原総合病院
理事(常任・庶務)	酒井 博孝	静岡赤十字病院
理事(常任・会計)	東山 誠三	司馬外科医院
理事(常任・編集)	斉藤 健一	藤枝市立総合病院
理事(常任・広報)	加藤 和幸	市立島田市民病院
理事(常任・福厚)	遠藤 正利	清水市立病院
理事(組織・東部)	深澤 英史	富士宮市立病院
理事(組織・中部)	杉村 俊樹	焼津市立総合病院
理事(組織・西部)	日下部 行宏	総合病院聖隷浜松病院
理 事 (学 術)	北野 光浩	浜松赤十字病院
理 事(調 査)	桑沢 啓治	伊豆保健医療センター
コスモス 委員長	勝呂 節子	徳倉整形外科
超音波 部会長	秋山 敏一	藤枝市立総合病院
MRI 部会長	村松 晴幸	焼津市立総合病院
アンギオ 部会長	荒井 準	袋井市立袋井市民病院
表彰 委員長	田島 剛二郎	静岡県立こども病院
職制 委員長	白鳥 岩男	(財)結核予防会静岡県支部
放射線技師の役割	斉藤 隆二	社会保険浜松病院
実践委員長	户 DK P生—	
R I 審査会 委員長	松本 恭徳	静岡県立こども病院
選挙管理 委員長	林 清和	伊豆保健医療センター
事務所検討 委員長	山本 満	中伊豆温泉病院
監 事	増井 成充	遠州総合病院
監 事	桜井 八郎	社会保険桜ヶ丘総合病院
名誉 会員	小林 和也	自宅
名誉 会員	宮本 唯男	(財)結核予防会静岡県支部
名誉 会員	吉村 正己	(財)結核予防会静岡県支部
名誉 会員	庄 賢治	(株) 小糸製作所 診療所
事務担当職員	石川 美代子	

(任期:平成16年4月1日~平成18年3月31日)

会 長	和田 建	県西部浜松医療センター
副会長(委員会・企画)	橋本 和明	国際医療福祉大学附属熱海病院
副会長(会務)	山本 博之	焼津市立総合病院
副会長(学術・事務所)	伊藤 雅夫	袋井市立袋井市民病院
理事(常任・総務)	遠藤 正利	静岡市立清水病院
理事(常任・庶務)	斉藤 健一	藤枝市立総合病院
理事(常任・庶務)	田川 均	静岡赤十字病院
理 事 (常任・会計)	庄 也寸志	静岡市立静岡病院
理事(常任・編集)	加藤 和幸	市立島田市民病院
理事(常任・広報)	佐藤 正明	総合病院清水厚生病院
理事(常任・福厚)	東山 誠三	医療法人石華会 司馬医院
理事(組織・東部)	笠原 典彦	財団法人芙蓉協会 聖隷沼津病院
理 事 (組織・中部)	松島 俊光	静岡赤十字病院
理事(組織・西部)	北野 光浩	総合病院浜松赤十字病院
理事(学術)	天野 仁志	掛川市立総合病院
理 事(企画調査)	津牧 克己	静岡医療センター
超音波 部会長	秋山 敏一	藤枝市立総合病院
MRI 部会長	村松 晴幸	焼津市立総合病院
アンギオ 部会長	荒井 準	袋井市立袋井市民病院
乳腺画像 部会長	天野 宜委	袋井市立袋井市民病院
表彰 委員長	伊藤 生也	静岡県立総合病院
職制 委員長	小池 澄男	静岡済生会総合病院
役割実践 委員長	斉藤 隆二	社会保険浜松病院
R I 審査会 委員長	松本 恭徳	静岡県立こども病院
選挙管理 委員長	山城 寛	袋井市立袋井市民病院
情報管理 委員長	前田 光一郎	共立蒲原総合病院
生涯教育 委員長	奥川 令	静岡済生会総合病院
監 事	増井 成充	遠州総合病院
監 事	和田 幸司	NTT東日本伊豆病院
名誉 会員	小林 和也	自宅
名誉 会員	宮本 唯男	(財) 結核予防会静岡県支部
名誉 会員	吉村 正己	(財)結核予防会静岡県支部
名誉 会員	庄 賢治	(株) 小糸製作所 診療所
事務担当職員	石川 美代子	



(任期:平成18年4月1日~平成20年3月31日)

会長	和田 建	県西部浜松医療センター
副会長(委員会・企画)	古郡 良三	富士市立中央病院
副会長(会務)	村田 憲昭	社会保険桜ケ丘総合病院
副会長(学術・事務所)	伊藤 雅夫	袋井市立袋井市民病院
理事(常任・総務)	金刺 明男	静岡市医師会健診センター
理 事(常任・総務庶務)	神山 司	静岡県立総合病院
理事(常任・庶務)	東山 誠三	医療法人石華会 司馬医院
理事(常任・庶務)	藤原 仁	榛原総合病院
理事(常任・会計)	庄 也寸志	静岡市立静岡病院
理事(常任・編集)	野末 恭弘	市立島田市民病院
理 事(常任・福利広報)	加藤 久佳	焼津市立総合病院
理事(組織・東部)	井出 宣孝	富士市立中央病院
理事(組織・中部)	市川 和秀	共立蒲原総合病院
理事(組織・西部)	原田 晴二	掛川市立総合病院
理 事 (学 術)	山本 英雄	総合病院聖隷三方原病院
理 事(企画調査)	大川 宏人	静岡県立静岡がんセンター
超音波 部会長	秋山 敏一	藤枝市立総合病院
M R I 部会長	畑 利浩	市立島田市民病院
アンギオ 部会長	井出 宣孝	富士市立中央病院
乳腺画像 部会長	天野 宜委	袋井市立袋井市民病院
管理士 部会長	牛場 克明	富士脳障害研究所附属病院
表彰 委員長	小池 澄男	静岡済生会総合病院
RI審査会委員長	松本 恭徳	静岡県立総合病院
選挙管理 委員長	宿島 久志	市立島田市民病院
情報管理 委員長	前田 光一郎	共立蒲原総合病院
生涯教育 委員長	奥川 令	静岡済生会総合病院
医療安全推進 委員長	井美 恵美子	浜松医科大学医学部附属病院
監 事	山本 満	JA 静岡厚生連 静岡厚生病院
監 事	和田 幸司	NTT東日本伊豆病院
名誉 会員	小林 和也	自宅
名誉 会員	宮本 唯男	自宅
名誉 会員	吉村 正己	自宅
名誉 会員	庄 賢治	(株) 小糸製作所 診療所
事務担当職員	石川 美代子	

### (任期:平成20年4月1日~平成22年3月31日)

	1	
会 長	和田 建	医療法人社団綾和会 浜松南病院
副会長(委員会・企画)	廣瀬 信雄	順天堂大学医学部附属静岡病院
副会長(会務)	村田 憲昭	社会保険桜ヶ丘総合病院
副会長(学術)	延澤 秀二	県西部浜松医療センター
理事(常任・総務)	安藤 文明	静岡市医師会健診センター
理 事 (常任・総務庶務)	石原 太一	JA 静岡厚生連 清水厚生病院
理事(常任・庶務)	橋本 隆	JA 静岡厚生連 静岡厚生病院
理事(常任・庶務)	深津 信央	榛原総合病院
理事(常任・会計)	平田 哲生	静岡県立総合病院
理事(常任・編集)	本杉 悟郎	藤枝市立総合病院
理事(常任・福利広報)	佐野 裕文	焼津市立総合病院
理事(組織・東部)	篠田 雅弘	順天堂大学医学部附属静岡病院
理事(組織・中部)	丹羽 潤児	静岡市立静岡病院
理事(組織・西部)	山本 英雄	総合病院聖隷三方原病院
理事(学術)	窪野 久行	JA 静岡厚生連 遠州病院
理事(企画調査)	遠藤 一弘	富士市立中央病院
超音波 部会長	秋山 敏一	藤枝市立総合病院
M R I 部会長	畑 利浩	市立島田市民病院
アンギオ 部会長	井出 宣孝	富士市立中央病院
乳腺画像 部会長	天野 宜委	袋井市立袋井市民病院
管理士 部会長	牛場 克明	富士脳障害研究所附属病院
表彰 委員長	小池 澄男	静岡済生会総合病院
R I 審査会 委員長	松本 恭徳	静岡県立総合病院
選挙管理 委員長	笠原 典彦	聖隷沼津病院
情報管理 委員長	池谷 幸一	富士市立中央病院
生涯教育 委員長	天野 守計	掛川市立総合病院
医療安全推進 委員長	井美 恵美子	浜松医科大学医学部附属病院
災害対策 委員長	廣瀬 信雄	順天堂大学医学部附属静岡病院
監 事	山本 満	株式会社小糸製作所診療所
監 事	天野 仁志	掛川市立総合病院
名誉 会員	小林 和也	自宅
名誉 会員	宮本 唯男	自宅
名誉 会員	吉村 正己	自宅
名誉 会員	庄 賢治	自宅
名誉 会員	中瀬 静登	富士脳障害研究所附属病院
事務担当職員	石川 美代子	
	·	



(任期:平成22年4月1日~平成24年3月31日)

<del></del> 会 長	和田 建	医療法人社団綾和会 浜松南病院
副会長(委員会・企画)	廣瀬 信雄	順天堂大学医学部附属静岡病院
副会長(会務)	石向田鶴男	静岡市立静岡病院
副会長(学術)	山本 英雄	総合病院聖隷三方原病院
理事(常任・総務)	菊池 直樹	静岡済生会総合病院
理 事(常任・総務庶務)	畑 利浩	市立島田市民病院
理事(常任・庶務)	足立 敏明	社会保険桜ヶ丘総合病院
理事(常任・庶務)	鈴木 武成	焼津市立総合病院
理事(常任・会計)	田中 睦生	聖隷浜松病院
理事(常任・編集)	稲垣 充	静岡赤十字病院
理 事(常任・福利厚生)	藤池 悟	聖隷沼津病院
理事(組織・東部)	滝口 昇吾	NTT東日本伊豆病院
理事(組織・中部)	大木 義彦	藤枝市立総合病院
理事(組織・西部)	窪野 久行	JA 静岡厚生連 遠州病院
理事(学術)	寺田 理希	磐田市立総合病院
理 事(企画調査)	岩田 敏秀	富士宮市立病院
超音波 部会長	遠藤 佳秀	富士市立中央病院
MRI 部会長	荒木 重雄	掛川市立総合病院
アンギオ 部会長	長屋 重幸	総合病院聖隷三方原病院
乳腺画像 部会長	斎藤 忍	聖隷予防検診センター
管理士 部会長	片岡 純也	聖隷浜松病院
表彰審査 委員長	小池 澄男	静岡済生会総合病院
選挙管理 委員長	塚本 隆男	市立御前崎総合病院
事務所設立推進 委員長	山本 英雄	総合病院聖隷三方原病院
情報管理 委員長	池谷 幸一	富士市立中央病院
生涯教育 委員長	天野 守計	掛川市立総合病院
医療安全推進 委員長	鈴木 久士	市立御前崎総合病院
災害対策 委員長	廣瀬 信雄	順天堂大学医学部附属静岡病院
監事	天野 仁志	掛川市立総合病院
監 事	倉田 富雄	富士市立中央病院
名誉 会員	小林 和也	自宅
名誉 会員	宮本 唯男	自宅
名誉 会員	吉村 正己	自宅
名誉 会員	庄 賢治	自宅
名誉 会員	中瀬 静登	富士脳障害研究所附属病院
事務担当職員	石川 美代子	

### (任期:平成24年4月1日~平成26年5月25日)

会 長	和田 建	医療法人社団綾和会 浜松南病院
副会長(委員会・企画)	田沢 範康	聖隷沼津病院
副会長(会務)	森 佳久	市立島田市民病院
副会長(学術)	山本 英雄	総合病院聖隷三方原病院
理 事 (常任・総務)	三浦 孝夫	静岡県立総合病院
理 事 (常任・総務庶務)	畑 利浩	市立島田市民病院
理事(常任・庶務)	片山 昇	社会保険桜ヶ丘総合病院
理事(常任・庶務)	西谷 収利	焼津市立総合病院
理 事 (常任・会計)	佐々木 幹晴	JA 静岡厚生連 遠州病院
理事(常任・編集)	島田 洋一	静岡赤十字病院
理事(常任・福利厚生)	鈴木 博寿	三島社会保険病院
理事(組織・東部)	玉田 宏一	富士宮市立病院
理事(組織・中部)	児玉 吉彦	JA 静岡厚生連 静岡厚生病院
理事(組織・西部)	寺田 理希	磐田市立総合病院
理事(学術)	片山 善博	聖隷健診センター
理 事(企画調査)	秋山 洋	伊豆保健医療センター
理 事(公益法人推進委員)	田中 睦生	聖隷浜松病院
超音波 部会長	奥川 令	静岡済生会総合病院
MRI 部会長	大川 剛史	静岡県立総合病院
アンギオ 部会長	長屋 重幸	総合病院聖隷三方原病院
乳腺画像 部会長	斎藤 忍	聖隷予防検診センター
管理士 部会長	片岡 純也	聖隷浜松病院
表彰審査 委員長	小池 澄男	静岡済生会総合病院
選挙管理 委員長	飯塚 知幸	JA 静岡厚生連 清水病院
事務所運営 委員長	山本 英雄	総合病院聖隷三方原病院
情報管理 委員長	池谷 幸一	富士市立中央病院
生涯教育 委員長	天野 守計	掛川市立総合病院
医療安全推進 委員長	鈴木 久士	市立御前崎総合病院
災害対策 委員長	田沢 範康	聖隷沼津病院
監事	近藤 仁	静岡市立静岡病院
監事	倉田 富雄	富士市立中央病院
事務担当職員	石川 美代子	



# 【定款】

第1章総則

### (名称)

第1条本会は、公益社団法人静岡県放射線技師会と称する。

### (事務所)

第2条本会は、主たる事務所を静岡県静岡市に置く。

第2章目的及び事業

### (目的)

第3条 本会は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展を 図り、もって県民の健康維持増進に寄与することを目的とする。

### (事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 放射線学及び診療放射線技術の向上発展に関する事業
- (2) 放射線検査に関する知識の普及啓発に関する事業
- (3) 放射線の管理及び安全対策に関する事業
- (4) その他本会の目的達成に必要な事業

#### 第3章会員

### (法人の会員)

第5条本会に次の会員を置く。

### (1) 正会員

静岡県内に居住又は勤務する診療放射線技師又は診療エックス線技師であって、本会の目的に賛同し入会した者

### (2) 名誉会員

本会に特に顕著な功績があった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会において承認を得た者

## (3) 賛助会員

正会員の資格を有しないもので、本会の目的に賛同し入会した個人又は団体

2 前項の会員のうち正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

### (会員の資格の取得)

第6条 本会の正会員又は賛助会員になろうとするものは、会長に対して別に定める入会申込書を提出し、理事会の承認を受けなければならない。

### (会費の負担)

第7条 本会の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、正会員及び賛助会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う

# (会員の責務)

第8条会員は、職業倫理を尊重し、社会の尊敬と信頼を得ることに努めなければならない。

2 会員は入会申込書の記載内容に変更が生じた場合は、会長に届け出なければならない。

### (任意退会)

第9条 会員は会長に対して別に定める退会届に所定の事項を記入し提出することにより、任意にいつでも退会することができる。ただし、退会までの未納会費は本会の債権として残存する。

### (除名)

第10条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって、当該会員を除名することができる。

- (1) 本会の定款又は規程に違反したとき。
- (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。
- 2 前項の規定により会員を除名しようとするときは、その会員に、あらかじめその旨を書面で通知するとともに、除名の決議を行う総会において弁明の機会を与えなければならない。

### (会員資格の喪失)

- 第11条 会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。
- (1) 本会を退会したとき又は除名されたとき。
- (2) 死亡又は解散したとき。
- (3) 第7条の支払義務を2年以上履行しないとき。
- (4) 診療放射線技師又は診療エックス線技師の免許を取り消されたとき。
- (5)総正会員が同意したとき。

### 第4章総会

### (構成)

第12条 総会は正会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

### (権限)

第13条総会は次の事項について決議する。

- (1) 本会の運営に関する重要な事項
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事の選任又は解任
- (4) 理事及び監事の報酬等の額
- (5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びにこれらの附属明細書の承認
- (6) 定款の変更
- (7)解散及び残余財産の処分
- (8) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

### (開催)

第14条 総会は、定時総会と臨時総会とする。

- 2 定時総会は、毎事業年度終了後2箇月以内に開催する。
- 3 臨時総会は、次に掲げるときに速やかに開催する。
- (1) 理事会が必要と認めたとき。
- (2) 正会員総数の5分の1以上の議決権を有する正会員から会議の目的である事項及び招集の理由を示して、招集の請求があったとき。

### (招集)

第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 会長は、前条第3項第2号の規定による請求があったときは、請求の日から6週間以内の日を総会の日とする招集



通知を発しなければならない。

3 総会を招集するには、正会員に対して会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、総会の日の 2 週間前までに文書をもって通知しなければならない。

#### (議長)

第16条 総会の議長は、当該総会において出席した正会員の中から選出する。

#### (議決権)

第17条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

### (決議)

第18条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該正会員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4)解散
- (5) その他法令で定められた事項
- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事 又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い 順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

### (書面議決権の行使等)

第19条 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面又は電磁的 記録をもって議決権を行使し、又は他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。この場合におい て、前条に規定する総会については出席したものとみなす。

2 代理人を選任する場合、当該正会員又はその代理人は、委任状を本会に提出しなければならない。

### (議事録)

第20条総会の議事については、法令で定めるところにより、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1)総会が開催された日時及び場所
- (2)総会の議事の経過の要領及びその結果
- (3)総会に出席した理事及び監事の氏名
- (4)議長の氏名
- (5) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
- (6) その他法令で定められた事項
- 2 議長並びに出席した理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

### 第5章 役員等

(役員の設置)

第21条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上20名以内
- (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を会長とし、3名を副会長、7名を常任理事とする。
- 3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常任理事をもって 同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

### (役員の選任)

第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 会長、副会長及び常任理事は、理事会の決議によって理事の中からこれを定める。

### (役員の構成)

第23条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1名及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 本会の監事には、本会の理事(親族その他特殊の関係がある者を含む。)及び本会の使用人が含まれてはならない。また各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

#### (理事の職務及び権限)

第24条 理事は理事会を構成し、法令、この定款及び総会の決議に基づき、職務を執行する。

- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、本会を代表し、業務を執行し、会務を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、本会の業務を分担執行する。
- 4 常任理事は、理事会で別に定めるところにより、本会の事業を行うための担当業務を執行する。

#### (監事の職務及び権限)

第25条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況を調査することができる。

#### (役員の任期)

第26条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 3 理事及び監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。
- 4 理事及び監事は、再任されることができる。

### (役員の解任)

第27条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。この場合、当該理事及び監事に対して、決議の前に弁明の機会を与えなければならない。

#### (報酬等)

第28条 理事及び監事は無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。 (役員の損害賠償責任の免除)

第29条 理事及び監事の一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第111条第1項の損害賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、損害賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

### (顧問)

第30条 本会に顧問2名以内を置くことができる。

- 2 顧問は会長が理事会の決議を経て委嘱し、任期は2年とし、再任することができる。
- 3 顧問は会長の諮問に応じて、参考意見を述べることができる。

### 第6章 理事会



#### (構成)

第31条 本会に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。
- 3 監事は、理事会に出席しなければならない。ただし、議決に加わることはできない。

### (権限)

第32条 理事会は、この定款に別に規定するもののほか、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常任理事の選定及び解職

#### (招集)

第33条 理事会は、会長が招集する。会長以外の理事は、会長に対し、理事会の目的である事項を示して、理事会の招 集を請求することができる。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会を招集する。

### (議長)

第34条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、理事会があらかじめ決定した順序によって、副会長又は常任理事がこれに当たる。

#### (決議)

第35条 理事会の決議は、決議について特別な利害関係を有する理事を除く理事の過半数の同意をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条 (議決に加わることのできる理事全員の書面又は電磁的記録による同意の意思表示)の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

### (議事録)

第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 理事会が開催された日時及び場所
- (2) 理事会の議事の経過の要領及びその結果
- (3) 出席した理事及び監事の氏名
- (4)議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
- (5) その他法令で定められた事項
- 2 出席した理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

# 第7章 常任理事会

### (構成)

第37条 本会に、常任理事会を置く。

2 常任理事会は、会長、副会長及び常任理事をもって構成する。

#### (権限)

第38条 常任理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。
- (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善について、理事会に提案すること。
- 2 常任理事会において決議した事項は、理事会に報告しなければならない。

### (招集)

第39条 常任理事会は、会長が必要と認めたときに会長が招集する。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、各副会長又は各常任理事が常任理事会を招集する。

#### (議事録)

第40条 常任理事会の議事については、法令で定めるところにより、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 常任理事会が開催された日時及び場所
- (2) 常任理事会の議事の経過の要領及びその結果
- (3) 出席した理事
- (4)議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
- (5) その他法令で定められた事項
- 2 出席した常任理事は、前項の議事録に記名押印する。

### 第8章 資産及び会計

### (資産の構成)

第41条 本会の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 会費
- (2) 寄附金
- (3) 財産又は事業から生ずる収入
- (4) その他の収入

#### (事業年度)

第42条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

### (事業計画及び収支予算)

第43条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

### (事業報告及び決算)

第44条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第1号及び第2号の書類については、その内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書(正味財産増減計算書)
- (5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- (6) 財産目録
- 2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事の名簿
- (3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類



### (公益目的取得財産残額の算定)

第45条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、 当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。

### 第9章 定款の変更及び解散

### (定款の変更)

第46条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

### (解散)

第47条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

### (公益認定取消し等に伴う贈与)

第48条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。)には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

### (残余財産の帰属)

第49条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、国若しくは地方公共団体又は公益社団 法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人であって租税特別措置法第40条第1項に規定 する公益法人等に該当する法人に贈与するものとする。

### 第10章 公告の方法

### (公告の方法)

第50条 本会の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

### 附則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 本会の最初の会長は、和田 健とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第42条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。



年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
1998年	4月	9 18 23	第 1回 常任理事会 第 1回 理事会 第 2回 常任理事会	・H10.4 明石海峡大橋開通
	5月	8~10 14 15~16 28 29~31 30~31	日放技単位認定研修 第 3回 常任理事会 第55回(社)日本放射線技師会総会 第 4回 常任理事会 日放技単位認定研修 第14回 県技師会総会・第3回 県学術大会	
	6月	5~ 7 11 14 20 25 26~28	放射線治療技術学会 第 5回 常任理事会 県親善ソフトボール大会(中部) 第13回 超音波部会研修会 第 6回 常任理事会 日放技単位認定研修	・H10.6 第16回FIFAワールドカップ (フランス) 開催
	7月	$4\sim 5$ $9$ $18\sim 20$ $24\sim 26$ $31$	平成10年度東海北陸地域 放射線技師学術大会 第 7回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 日放技単位認定研修 第 8回 常任理事会	・H10.7 和歌山市の夏祭り会場で青酸カレー 事件、4人死亡
	8月	2 13 21 27	2nd全静オープンテニス大会 第 9回 常任理事会 日放技単位認定研修 第10回 常任理事会	
	9月	5 10 19~23 24	第 2回 理事会 第11回 常任理事会 11 T H I S R R T 世界大会 第12回 常任理事会	
	10月	1~ 4 3 4 8 9~11 15 17 23~25 25	日放技単位認定研修 第7回MRI部会研修会 障害者の胃無料検診(西部) 第13回常任理事会 日放技単位認定研修 第14回常任理事会 創立50年記念式典 日放技単位認定研修 サッカーフェスティバル	
	11月	7 9~15 12 14 16 20~22 21 26 28	第14回 超音波部会研修会 日放技単位認定研修 第15回 常任理事会 災害緊急時対策研修会 放射線技師の役割実践委員会 日放技単位認定研修 第 3回 放射線セミナー(中部) 第 2回 勉強会(西部) 第16回 常任理事会 第 3回 放射線セミナー(東部) ボウリング大会(中部) 第 1回胃がん検診 撮影従事者講習会(東部)	
	12月	2 5 8~14 10 12 18 24	第13回 常任理事会 第 3回 理事会 日放技単位認定者研修 第17回 常任理事会 肺がん検診講習会 日放技単位認定研修 第18回 常任理事会	・H10.12 韓国軍、北朝鮮潜水艇を撃沈
	1月	9 14 15~24 20 21 28 29~31	肺がん検診従事者講習会 第18回 常任理事会 日放技講習会 東部地区第6回 幹事会 技師長等管理者研修会 第19回 常任理事会 日放技単位認定研修	・H11.1 ドイツ・フランスなど欧州11ヵ国で単 一通貨「ユーロ」 導入

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	2月	8 11~14 12 17 20 21 25 26~28	西部地区第11回幹事会 日放技単位認定者研修 第20回 常任理事会 中部地区第5回幹事会 第15回 超音波部会研修会 東海四県合同研修会 第21回 常任理事会 日放技単位認定研修	
	3月	5 6 11 13 20 25	日放技単位認定研修 中部地区総会 西部地区総会 第22回 常任理事会 東部地区総会 第 8回 M R I 部会研修会 第23回 常任理事会	・H11.3 NATO、ユーゴ (現セルビアモンテネ グロ) 空爆
1999年	4月	7 8 17~18 18 22 24	第 1回 幹事会 (東部) (中部) 第 1回 常任理事会 日放技公開セミナー 障害者胃無料検診 (西部) 第 2回 常任理事会 第 1回 理事会	
	5月	13 20 21 27 29	第 3回 常任理事会 日本放射線技師会理事会 日本放射線技師会総会 第 4回 常任理事会 県技師会総会 県学術大会	
	6月	3~ 6 10 13 19~20 24 25	日放技単位認定研修 第 5回 常任理事会 ソフトボール大会(西部) 第16回 超音波部会研修会 西三河消化器研究会 第 6回 常任理事会 日放技単位認定研修	
	7月	3 10 16~18 20 22 24 30~ 1	東海北陸地域放射線 技術学術大会(富山) 第 1回 放射線セミナー 生涯教育研修セミナー 第 1回 中部地区レクリエーション 第 8回 常任理事会 ソフトボール大会予備日 生涯教育研修セミナー	・H11.7 中央省庁改革関連法により、1府12省 庁へ改革
	8月	1 12 21~29 26 28	3rd全静オープンテニス大会 第 9回 常任理事会 社会人特別コースⅢ期 第10回 常任理事会 東部地区会勉強会・納涼会	・H11.8 国旗国歌法成立
	9月	4 9 10~12 19~25 22 25 28	第 2回 理事会 第11回 常任理事会 生涯教育研修セミナー 社会人特別コースⅢ期 第12回 常任理事会 第 2回 放射線セミナー(中部) 技師研修会	・H11.9 茨城県東海村のウラン加工施設JCO で国内初の臨界事故発生
	10月	4 13 15~17 23 24 28 31	西部地区第6回 幹事会 東部地区第4回 幹事会 生涯教育研修セミナー 第 2回 放射線セミナー(東部) 第 7回 サッカーフェスティバル in 静岡 第14回 常任理事会 放射線管理士・放射線関連機器管理 責任者資格取得指定講習会	・H11.10 日産が大幅リストラ策、国内5工場を 閉鎖
	11月	5~ 7 6 8 11 14 22~28	生涯教育研修セミナー 第17回 超音波部会研修会 第3回 放射線セミナー(西部) 西部地区第7回幹事会 第15回 常任理事会 放射線管理士・関連機器管理責任者資格取得指定講習会 生涯教育研修セミナー	

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	11月	25 27	第16回 常任理事会 第 2回 アンギオ部会研修会	
	12月	3~5 4 9 10~12 22	生涯教育研修セミナー 第 3回 理事会 第17回 常任理事会 生涯教育研修セミナー 第18回 常任理事会	
	1月	8 13 13~22 22 27 28	肺がん検診従事者講習会 第19回 常任理事会 国家試験受験対策講習会 アール祭 第20回 常任理事会 生涯教育研修セミナー	
	2月	5 7~13 10 11 18~20 24 26	第 4回 理事会 機器管理・放射線管理指定講習・専門試験 第21回 常任理事会 第18回 超音波部会研修会 生涯教育研修セミナー 第22回 常任理事会 東部地区ボーリング大会	
	3月	3~5 4 9 10~12 23	生涯教育研修セミナー 中部地区総会 西部地区総会 第23回 常任理事会 生涯教育研修セミナー 第24回 常任理事会	・H12.3 ロシア大統領にプーチン氏当選
2000年 (平成12年)	4月	13 15 22 27	第 1回 常任理事会 第 1回 理事会 東部地区総会 第 2回 常任理事会	・H12.4 小渕恵三首相、脳梗塞で緊急入院、 森連立内閣が発足
	5月	11 19 25 27~28	第 3回 常任理事会 日本放射線技師会総会 第 4回 常任理事会 第18回 静岡県放射線技師会通常総会 第 5回 静岡県放射線技師学術大会	
	6月	5 8 11 17 22 23~25	第 3回 放射線管理士認定講習会(専門課程) 第 5回 常任理事会 第17回 県親善ソフトボール大会(中部) 第19回 超音波部会研修会 第 6回 常任理事会 生涯教育セミナー	・H12.6 雪印乳業の飲用乳中毒事件
	7月	$1$ $7 \sim 9$ $8$ $13$ $15 \sim 16$ $16$ $19 \sim 21$ $27$	熟年のためのインターネット講座 第 4回 アンギオ部会研修会 平成12年度生涯教育研修 第 1回 勉強会(胃がん・セミナー:西部) 第 7回 常任理事会 平成12年度東海北陸地域放射線技師学術大会(愛知) 平成12年度生涯教育研修 第 6回 放射線関連機器管理責任者認定講習会 第 8回 常任理事会	・H12.7 2000円札発行
	8月	4~ 6 6 10 24 26	平成12年度生涯教育研修 第 4回 全静オープンテニス大会 鮎のつかみ取り大会(西部) 第 9回 常任理事会 第10回 常任理事会 胃がん検診従事者講習会・納涼会(東部)	
	9月	2 14 28 30	第 2回 理事会 第11回 常任理事会 第12回 常任理事会 胃がん検診講習会&第1回 放射線セミナー(中部)	・H12.9 伊豆諸島三宅島で雄山が噴火し全島 民避難 シドニーオリンピック開催、高橋尚子
	10月	12 14 16~22 19	第13回 常任理事会 胃がん検診講習会&セミナー(中部) 第 4回 放射線管理士認定講習会(専門課程) 技師長等管理者研修会	マラソンで金メダル獲得

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	10月	21 26 29	第20回 超音波部会研修会 第14回 常任理事会 第 8回 サッカーフェスティバル in 静岡	・H12.10 鳥取地震発生 (M7.3)
	11月	1~ 3 9 10~12 11 18 22 25	全国放射線技師総合学術大会 第15回 常任理事会 生涯教育研修 はつらつ健康ふれあいフェスティバル 第 5回 アンギオ部会研修会 第16回 常任理事会 災害緊急時対策研修会	
	12月	1~ 3 2 14 28	生涯教育研修 第 3回 理事会 第17回 常任理事会 第18回 常任理事会	
	1月	11 13 19~21 20 25 26 27	第19回 常任理事会 肺がん検診従事者講習会 生涯教育研修 第 9回 アール祭 第 4回 学術委員会 第20回 常任理事会 MRI部会委員会 胃がん検診講習会・セミナー(東部)	
	2月	3 8 9~11 10 18 22 23~25 24	第 4回 理事会 第21回 常任理事会 生涯教育研修 第21回 超音波部会研修会 第42回 東海四県放射線技師合同研究会 第22回 常任理事会 生涯教育研修【乳房検査】 ボウリング大会(東部)	
	3月	3 9~11 10	総会・胃がん検診講習会・勉強会(西部) 生涯教育研修【医療監査】 第 6回 アンギオ部会研修会総会 胃がん検診講習会・セミナー(中部) 第12回 MR I 部会	
2001年 (平成13年)	4月	12 14 21 26	第 1回 常任理事会 第 1回 理事会 東部地区総会 第 2回 常任理事会	・H13.4 家電リサイクル開始 小泉純一郎内閣が発足
	5月	10 18~19 24 26~27	第 4回 常任理事会 第58回(社)日本放射線技師会通常総会 第 5回 常任理事会 第20回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第 6回 静岡県放射線技師学術大会	
	6月	10 14 16 28 30	第18回 県親善ソフトボール大会(東部) 第 6回 常任理事会 第22回 超音波部会研修会 第 7回 常任理事会 第 7回 アンギオ部会研修会 インターネット入門講座	
	7月	$6 \sim 7$ $7 \sim 8$ $14$ $20 \sim 22$ $29$	平成13年度生涯教育研修上部下部消化管(初級コース) 平成13年度中日本地域放射線技師学術大会(福井県) 第 1回 放射線セミナー・胃がん検診 X線撮影従事者講習会(西部) 平成13年度生涯教育研修 鮎のつかみ取り	
	8月	4 5	第 1回 放射線セミナー・胃がん検診 X線撮影従事者講習会(東部) 5th全静オープンテニス大会	
	9月	6~ 9 8 22~24 29	平成13年度生涯教育研修 第 2回 理事会 平成13年度生涯教育研修 マンモ研修会(コスモス) 第 1回 放射線セミナー	・H13.9 アメリカで同時多発テロ発生 ニューヨーク貿易センタービルへ旅 客機が突入し、同ビルが倒壊(約 5,000人が被害)

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
			胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部)	
	10月	4 5~ 7 14 19 20 28	職制委員会 平成13年度全国放射線技師総合学術大会 親善バーベキュー大会(中部) 平成13年度技師研究会 第23回 超音波部会研修会 第 8回 サッカーフェスティバル in 静岡	
	11月	17 30	第 8回 アンギオ部会研修会 平成13年度生涯教育研修	
	12月	1~ 2 8	平成13年度災害緊急時対策研修会 第 3回 理事会	・H13.12 愛子様誕生
	1月	10 11~13 19 24 25~27 26	第19回 常任理事会 生涯教育研修 社団法人設立10周年記念式典 第20回 常任理事会 生涯教育研修 コスモス・マンモ研修会 放射線セミナー・胃がん検診講習会(東部)	
	2月	2 7 8~10 16 17 21 22~24 23	第 2回 理事会 第21回 常任理事会 生涯教育研修 第24回 超音波部会研修会 第43回 東海四県放射線技師合同研究会 第22回 常任理事会 生涯教育研修 第10回 アンギオ部会研修会	・H14.2 第19回オリンピック冬季大会 (ソルトレークシティ) 開幕
	3月	1~ 3 2 7 10 30	生涯教育研修 地区会・胃がん検診講習会(中・西部) 放射線セミナー(中部) 第23回 常任理事会 肺がん検診従事者講習会 第14回 MR I 部会研修会	
2002年	4月	11 13 21 25	第 1回 常任理事会 第 1回 理事会 6 th全静オープンテニス大会 第 2回 常任理事会	
	5月	9 23 24~25 25~26 31~2	第 3回 常任理事会 第 4回 常任理事会 第59回(社)日本放射線技師会通常総会 第22回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第 7回 静岡県放射線技師学術大会 生涯学習セミナー 消化管初級	・H14.5 第17回FIFAワールドカップ 日韓両国でサッカーのワールドカップ 開催
	6月	8 13 16 21~23 27	第10回 アンギオ部会研修会 第 5回 常任理事会 第18回 親善ソフトボール大会(西部地区) 生涯学習セミナー CT 第 6回 常任理事会	
	7月	4~ 7 6~ 7 13 19~21	生涯教育研修セミナー 乳房検査 平成14年度中日本地域放射線技師学術大会(静岡県) 第25回 超音波部会研修会 生涯教育研修セミナー MRI検査(初級)	
	8月	23~24	生涯教育研修セミナー 医療被ばく線量の測定	•H14.8
	9月	6~ 8 7 14~16 26~29	生涯教育研修セミナー 放射線治療 第 2回 理事会 生涯教育研修セミナー 救急撮影と救急法 生涯教育研修セミナー 乳房検査	ー 住民基本台帳ネットワークシステムス タート
	10月	5 10 11~13 12	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診従事者講習会(中部地区) マンモ研修会 第12回 常任理事会 平成14年度全国放射線技師総合学術大会(新潟県) 第26回 超音波部会研修会	・H14.10 拉致被害者5人帰国 (24年ぶり)

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	10月	19 20 24 27	平成14年度技師研修会 中部地区会バーベキュー大会 静岡市梅ヶ島 魚魚の里 第13回 常任理事会 第 8回 サッカーフェスティバル in 静岡	
	11月	2~ 4 9 14 15~17 28 29~ 1 30	平成14年度生涯教育セミナー超音波 第11回 アンギオ部会研修会 第14回 常任理事会 平成14年度生涯教育セミナーCT 第15回 常任理事会 平成14年度生涯教育セミナーデジタル画像の現状と将来 平成14年度災害対策研修会	
	12月	7 12 26	第 3回 理事会 第16回 常任理事会 第17回 常任理事会	
	1月	9 10~13 18 23 25	第18回 常任理事会 生涯教育学習セミナー 消化管 中・上級 第 2回 放射線セミナー 胃がん検診従事者講習会(東部) 第19回 常任理事会 アール祭	
	2月	1 8 13 14~16 15 16 22 27	肺がん検診従事者講習会 第 4回 理事会 第20回 常任理事会 生涯教育学習セミナー MRI 中・上級 第16回 MRI部会研修会 第44回 東海四県放射線技師合同研究会愛知県名古屋市 第27回 超音波部会研修会 第21回 常任理事会	・H15.2 スペースシャトルコロンビア事故
	3月	1 8 13 14~16 15 27	地区会総会(中部) 第 2回 放射線セミナー・胃がん検診従事者講習会(西部) 第 4回 マンモ研修会(コスモス) 第22回 常任理事会 生涯教育学習セミナー 放射線安全管理 第12回 アンギオ部会研修会 第23回 常任理事会	・H15.3 米英イラク侵攻
2003年 (平成15年)	4月	10 19 20 24 24~27	第 1回 常任理事会 第41回 東部地区会通常総会 6th全静オープンテニス大会 第 2回 常任理事会 生涯教育セミナー 乳房検査	
	5月	8 16 16~18 22 24~25 30~ 1	第 3回 常任理事会 第60回(社)日本放射線技師会通常総会 生涯教育セミナー 超音波検査 初級 第 4回 常任理事会 第24回(社)静岡県 放射線技師会通常総会 第 8回 静岡県放射線技師会学術大会 生涯教育セミナー 放射線治療	•H15.5 個人情報保護法成立 •H15.5 宮城県沖地震 (M7.0) 発生
	6月	8 12 13~15 21 26 26~29	第19回 県親善ソフトボール大会(中部) 第 5回 常任理事会 生涯教育セミナー 消化管 初級 第28回 超音波部会研修会 第 6回 常任理事会 生涯教育セミナー 乳房検査	
	7月	5~ 6 10 12 24 26 27	平成15年度中日本地域放射線技師学術大会(石川県) 第 7回 常任理事会 第 1回 乳腺画像部会研修会 第 8回 常任理事会 インターネット入門講座(4) 実習指導者等認定講習会	・H15.7 イラク復興支援特別措置法が成立 宮城県北部地震 (M6.2)
	8月	2 14	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診従事者講習会(東部地区) 第 9回 常任理事会	

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	8月	28	第10回 常任理事会	
	9月	6 11	第 2回 理事会 第11回 常任理事会 MR I 部会研修会	・H15.9 北海道十勝沖地震 (M8.0) 発生・
		21 25	ふれあい広場 第12回 常任理事会	
	10月	9 20 23 25 26	第11回 常任理事会 A D講習会(医療安全学) 第12回 常任理事会 第14回 アンギオ部会研修会 第29回 超音波部会研修会 第 8回 サッカーフェスティバル in 静岡	
	11月	2~ 8 8 8~ 9 13 16 27 29	レントゲン週間 第 2回 乳腺画像部会研修会 ふれあい広場 第13回 常任理事会 A D講習会(医療安全学) 第14回 常任理事会 平成15年度災害緊急時対策研修会(地震対策編)	
	12月	6 11 25	第 3回 理事会 第15回 常任理事会 第16回 常任理事会	
	1月	8 17 18 22 24	第17回 常任理事会 第 2回 放射線セミナー 胃がん検診従事者講習会(東部) A D講習会静岡県開催(医療安全学②) 第18回 常任理事会 新春公開講演会 アール祭 もくせい会館	
	2月	31 7 8 11 12 14 21 26	肺がん検診従事者講習会 静岡県医師会5階大ホール 第 4回 理事会 第45回 東海四県放射線技師合同研修会(岐阜) A D講習会静岡県開催(医療安全学③) 第19回 常任理事会 第30回 超音波部会研修会 もくせい会館 第18回 MR I 部会研修会 グランシップ静岡 第15回 アンギオ部会研修会 第20回 常任理事会	
	3月	6 7 11 25	第 2回 放射線セミナー 胃がん検診従事者講習会(中部・西部地区) A D単位認定試験(医療安全学) 第21回 常任理事会 第22回 常任理事会	H15.3 九州新幹線部分開業
2004年 (平成16年)	4月	3 8 18 22 25	第 1回 理事会 第 1回 常任理事会 認定講習会 第 2回 常任理事会 6th全静オープンテニス大会(金谷)	・H16.4 営団地下鉄から東京メトロへ
	5月	9 9 13 27 30	認定講習会(放射線管理士) 第61回(社)日本放射線技師会通常総会 第 3回 常任理事会 第 4回 常任理事会 第26回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第 9回 静岡県放射線技師学術大会(浜松)	・H16.5 北朝鮮による拉致被害者家族5人が 帰国
	6月	6 10 12 13 20 24 26	認定講習会(放射線管理士) 第 5回 常任理事会 第31回 超音波部会研修会 第20回 県親善ソフトボール大会(東部) 認定講習会(放射線管理士②) 第 6回 常任理事会 第16回 アンギオ部会研修会	
	7月	8 10 11	第 7回 常任理事会 第 3回 乳腺画像部会 認定講習会(放射線管理士②)	

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	7月	17 18 22 25 31	第19回 MR I 部会研修会 平成16年度中日本地域放射線技師学術大会(岐阜) 第 8回 常任理事会 認定講習会(放射線管理士③) 第 1回 放射線セミナー 胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部)	
	8月	8 12 26	認定講習会(放射線管理士④) 第 9回 常任理事会 第10回 常任理事会	・H16.8 第28回オリンピック (アテネ) 開幕
	9月	9 11 23	第11回 常任理事会 第 2回 理事会 静岡ふれあい広場	
	10月	2 14 16 23 28 31	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(中部) 第12回 常任理事会 第32回 超音波部会研修会 第17回 アンギオ部会研修会 第13回 常任委員会 福利厚生事業新企画「秋の県親善ハイキング」	•H16.10 新潟県中越地震 (M6.8) 発生
	11月	2~ 8 3~ 6 7 11 14 20 23 25 27	レントゲン週間 第20回 全国放射線技師 学術大会(長崎) A D講習会「救急医療学」上級救命講習会① 第14回 常任委員会 A D講習会「救急医療学」上級救命講習会② 第20回 M R I 部会研修会 A D講習会「救急医療学」上級救命講習会③ 第15回 常任委員会 平成16年度 災害緊急時対策研修会(原子力対策編)	・H16.11 マリナーズのイチロー、シーズン258 安打の大リーグ新記録達成
	12月	4 5 9 19 22	第 3回 理事会 放射線管理士·放射線機器管理士 認定試験 第16回 常任理事会 A D講習会「救急医療学」 第17回 常任理事会	・H16.12 スマトラで地震 (M9.0) インド洋大津 波発生
	1月	13 22 27 29	第18回 常任理事会 新春公開講演会(第13回アール祭) 第19回 常任理事会 第 2回 放射線セミナー 胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部)	
	2月	5 6 19 24	第 4回 理事会 第46回 東海四県放射線技師 合同研修会(三重県) 第33回 超音波部会研修会 第 4回 乳腺画像部会研修会合同開催 第21回 常任理事会	
	3月	5 11 12 19 20 25 26	地区総会 第 2回 放射線セミナー 胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部) 地区総会・第 3 回 放射線セミナー(西部) 第20回 常任理事会 第18回 アンギオ部会研修会 第21回 M R I 部会研修会 肺がん検診従事者講習会 第21回 常任理事会 地区総会(東部)	•H17.3 福岡県西方沖地震 (M7.0) 発生 •H17.3~9 愛知万博開幕、来訪者2205万人
2005年 (平成17年)	4月	2 14 24 28	第 1回 理事会 第 1回 常任理事会 7th全静オープンテニス大会 第 2回 常任理事会	・H17.4 兵庫県のJR宝塚線(福知山線)脱線事 故
	5月	12 26 29	第 3回 常任理事会 第 4回 常任理事会 第27回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第10回 静岡県放射線技師学術大会	
	6月	3 4	第62回(社)日本放射線技師会通常総会 第34回 超音波部会研修会	

年度		放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
1 2	9 12 23 25	第19回 アンギオ部会研修会 第 5回 常任理事会 AD講習会看護学 第 6回 常任理事会 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(西部)	
1 1 2 2	3 9 14 16~17 23 24	AD講習会看護学 ② 第 5回 乳腺画像部会研修会 第 7回 常任理事会 平成17年度 中日本地域放射線技師学術大会 第22回 MRI 部会研修会 AD講習会医療学 ① 第 8回 常任理事会	
1 2	6 6~ 7 11 21 25	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線 撮影従事者講習会(東部) 第 4回 静岡県マンモグラフィ講習会 第 9回 常任理事会 AD講習会医療学 ② 第10回 常任理事会	
1 1	3 8 17 18 22	第 2回 理事会 第11回 常任理事会 第20回 アンギオ部会研修会 第26回 静岡ふれあい広場 第12回 常任理事会	
1 1 2 2	1 2 3 6 6 23 27 29	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(中部) A D技師格単位認定試験 第12回 常任理事会 第13回 放射線機器管理士認定試験 第11回 放射線管理士認定試験 第11回 サッカーフェステバル in 静岡 第13回 常任理事会 第35回 超音波部会研修会	・H17.10 パキスタンで地震 (M7.6) 発生 郵政民営化法案可決、成立
1 1 1 1 2 2	2~ 8 5 10 10 2~13 13 13 19~23 24 26	レントゲン週間 第23回 MR I 部会研修会 第14回 常任理事会 第 5回 静岡県マンモグラフィ講習会 A D講習会「医療安全学」① 全国放射線技師学術大会(千葉) 第15回 常任理事会 平成17年度災害緊急時対策研修会(原子力対策編) A D講習会 「医療安全学」②	
1	3 8 1 22	第 3回 理事会 第16回 常任理事会 A D講習会 「医療安全学」③ 第17回 常任理事会	・H17.12 耐震強度偽装発覚
2	12 21 26 28~29	第17回 常任理事会 新春公開講演会(第14回アール祭) 第18回 常任理事会 第 2回 胃がん検診従事者講習会 第 2回 放射線セミナー(東部)	・H18.1 ライブドア事件
1 1 1 2	4 9 11 18 19 23 25	第 4回 理事会 第19回 常任理事会 第20回 アンギオ部会研修会 第23回 M R I 部会研修会 第47回 東海四県放射線技師合同研究会 第20回 常任理事会 第36回 超音波部会研修会 第 6回 乳腺画像部会研修会合同開催	・H18.2 第20回オリンピック冬季大会(トリノ)開幕、フィギュアスケート女子で 荒川静香が日本初金メダル
5/3	5 9	第 3回 放射線セミナー・地区総会(西部) 第 2回 胃がん検診従事者講習会 第 2回 放射線セミナー・地区総会(中部) A D技師格単位認定試験 第21回 常任理事会 静岡県放射線技師研修会	・H18.3 WBCで王監督率いる日本代表が世界 一

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	3月	19 23 25	肺がん検診従事者講習会 第22回 常任理事会 地区総会(東部)	
2006年 (平成18年)	4月	13 15 23 27	第 1回 常任理事会 第 1回 理事会 8th全静オープンテニス大会 第 2回 常任理事会	・H18.4 障害者自立支援法施行
	5月	11 25 28	第 3回 常任理事会 第 4回 常任理事会 第30回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第11回 静岡県放射線技師学術大会	・H18.5 ジャワで地震 (M6.3) 発生
	6月	2 8 17 22 24	第63回(社)日本放射線技師会通常総会 第 5回 常任理事会 第22回 アンギオ部会研修会 第 6回 常任理事会 第37回 超音波部会研修会	・H18.6 第18回FIFAワールドカップ (ドイツ) 開催
	7月	1 2 8 9 13 15 15~16 23 27 30	第 1回 管理士部会研修会 AD講習会救急医療学 ① 第 7回 乳腺画像部会研修会 AD講習会救急医療学 ② 第 7回 常任理事会 15日 第 1 回放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(西部) 平成18年度 中日本地域放射線技師学術大会(富山県) AD講習会医療学 ① 第 8回 常任理事会 AD講習会医療学 ②	
	8月	5 24	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(東部) 第 9回 常任理事会	・H18.8 小泉首相、終戦記念日に靖国神社参 - 拝
	9月	2 9 14 17 28 30	第 2回 理事会 第24回 MR I 部会研修会 第10回 常任理事会 第27回 静岡ふれあい広場 第11回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(中部)	9 東王星が惑星から除外される ・H18.9 秋篠宮紀子妃、悠仁親王出産
	10月	1 6~ 9 12 21 22 26 28	A D技師格単位認定試験 全国放射線技師学術大会(鳥取) 第12回 常任理事会 第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(西部) 第21回 県親善ソフトボール大会 第13回 常任理事会 第38回 超音波部会研修会 第23回 アンギオ部会研修会 A Dセミナー看護学①(東部)	
	11月	2~ 8 5 12 19 26 30	レントゲン週間 A Dセミナー医療学 A Dセミナー看護学②(東部) A Dセミナー医療学② 平成18年度災害緊急時対策研修会(地震・原子力対策編) 第15回 常任理事会 第 3回 理事会	・H18.11 厚労省、出生率が過去最低と発表
		3 14 17	放射線機器管理士・放射線管理士認定試験 第16回 常任理事会 A Dセミナー医療安全学①(西部)	
	1月	11 14 21 25 27	第16回 常任理事会 アドバンスドセミナー「医療安全学②」 新春公開講演会(第15回アール祭) 第17回 常任理事会 第 2回 胃がん検診従事者講習会 第 2回 放射線セミナー(東部)	・H19.1 防衛省発足

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	1月	28	第 2回 管理士セミナー アドバンスドセミナー「医療安全学③」	
	2月	3 8 10 17 18 22	第 4回 理事会 第18回 常任理事会 第24回 アンギオ部会研修会 第25回 M R I 部会研修会 第48回 東海四県放射線技師 合同研究会 第19回 常任理事会	・H19.2 社会保険庁、過去の基礎年金記録に 不備
	22 24	24	第39回 超音波部会研修会 第 8回 乳腺画像部会研修会合同開催	
	3月	3 4 8 11 17 22 24	第 3回 放射線セミナー・地区総会(西部) 第 2回 胃がん検診従事者講習会 第 2回 放射線セミナー・地区総会(中部) 第 8回 アドバンスド単位認定試験 第20回 常任理事会 静岡県放射線技師研修会 肺がん検診従事者講習会 第21回 常任理事会 地区総会(東部)	・H19.3 能登半島地震 (M6.9) 発生
2007年 (平成19年)	4月	7 12 22 26	第 1回 理事会 第 1回 常任理事会 8 th全静オープンテニス大会 第 2回 常任理事会	・H19.4 長崎県の伊藤一市長狙撃事件
	5月	10 24 26 27	第 3回 常任理事会 第 4回 常任理事会 第64回(社)日本放射線技師会通常総会 第32回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第12回 静岡県放射線技師学術大会	・H19.5 松岡農水相、事務所光熱費問題で自 殺 松井秀喜が日米通算2000本安打を 達成
	6月	7~10 14 16 23 28 30	全国放射線技師学術大会(石川) 第5回 常任理事会 第25回 アンギオ部会研修会 第40回 超音波部会研修会 第6回 常任理事会 第3回 管理士部会セミナー	・H19.6 サブプライムローン問題が発覚
	7月	7 8 12 14 21 22 26	第 9回 乳腺画像部会研修会 A Dセミナー「医療学」② 第 7回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(西部) 第40回 超音波部会研修会 A Dセミナー「医療安全学」② 第 8回 常任理事会	・H19.7 新潟県中越沖地震 (M6.8) 発生
	8月	4 23 26	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(東部) 第 9回 常任理事会 A Dセミナー「医療安全学」③	・H19.8 関西国際空港の2本目の滑走路が供 用開始
	9月	1 8 13 16 27 29	第 2回 理事会 第26回 M R 部会研修会 第10回 常任理事会 第29回 静岡ふれあい広場 第11回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(中部)	・H19.9 安倍内閣総理大臣辞職 NHK衛星アナログハイビジョン放送 が終了
	10月	6 7 11 20 21 25 27	第41回 超音波部会研修会 第9回アドバンスド放射線技師 格単位認定試験 第12回 常任理事会 第2回 放射線セミナー 第2回 胃がん検診エックス線撮影 従事者講習会(西部) 第11回 サッカーフェスティバル in 静岡 第13回 常任理事会 第26回 アンギオ部会研修会	<ul><li>・H19.10</li><li>郵政民営化 (J Pグループ24,700局)</li><li>発足</li></ul>
	11月	2~ 8 3~ 4	レントゲン週間 第 7回 静岡県マンモグラフィ読影・撮影技術講習会	

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	11月	8 17~18 22 23~24 25	第14回 常任理事会 平成19年度中日本地域放射線技師学術大会 第15回 常任理事会 全国放射線技師野球大会 平成19年度原子力災害緊急時対策研修会	
	12月	1 8 13	第 3回 理事会 平成19年度医療安全推進委員会研修会 第16回 常任理事会	
	1月	17 19 20 24 26	第17回 常任理事会 第 5回 放射線技師のためのセミナー 新春公開講演会(第16回アール祭) 第18回 常任理事会 第 2回 胃がん検診従事者講習会 第 2回 放射線セミナー(東部)	・H20.1 中国製餃子中毒事件 人工多能性幹細胞 (iPS細胞) 生成技 術発表
	2月	2 3 9 11 14 28	第 4回 理事会 第10回 アドバンス放射線技師認定試験 第27回 アンギオ部会研修会 第27回 MR I 部会研修会 合同開催 第49回 東海四県放射線技師合同研究会 第19回 常任理事会 第20回 常任理事会	・H20.2 キューバ・カストロ議長引退表明
	3月	9 13 15 22 27	第 3回 放射線セミナー・地区総会(西部) 第 2回 胃がん検診従事者講習会 第 2回 放射線セミナー・地区総会(中部) 静岡県放射線技師研修会 第21回 常任理事会 肺がん検診従事者講習会 第42回 超音波部会研修会 第10回 乳腺画像部会研修会合同開催 地区総会(東部) 第22回 常任理事会	
2008年	4月	10 12 24	第 1回 常任理事会 第 1回 理事会 第 2回 常任理事会	
	5月	8 11 22 25	第 3回 常任理事会 8 th全静オープンテニス大会 第 4回 常任理事会 第34回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第13回 静岡県放射線技師学術大会	・H20.5 中国四川省でM8.0の大地震 スペースシャトルディスカバリーがケ ネディ宇宙センターから打ち上げ
	6月	7 12 14 21 26 28	第66回(社)日本放射線技師会通常総会第5回常任理事会第28回アンギオ部会研修会第43回超音波部会研修会第6回常任理事会第6回 放射線技師のためのセミナー	・H20.6 東京地下鉄副都心線開業 岩手・宮城内陸地震 (M7.2) 発生
	7月	5 10 10~12 12 24	第11回 乳腺画像部会研修会 第 7回 常任理事会 第24回 放射線技師総合学術大会 第 9回 日韓台学術交流大会(北海道) 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影 従事者講習会(西部) 第 8回 常任理事会	・H20.7 東海北陸自動車道全線開通 洞爺湖サミット 岩手県沿岸北部の地震 (M6.8) 発生
	8月	2 21 30	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(東部) 第 9回 常任理事会 第 2回 理事会	・H20.8 第29回オリンピック (北京) 開幕
	9月	11 14 20 25 27	第10回 常任理事会 第29回 静岡ふれあい広場 第28回 MR部会研修会 第11回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(中部)	・H20.9 米リーマンブラザーズ破綻世界同時 不況へ
	10月	4	第 7回 放射線技師のためのセミナー	

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	10月	9 11 19 23 25	第12回 常任理事会 第44回 超音波部会研修会 第22回 県親善ソフトボール大会 第13回 常任理事会 第29回 アンギオ部会研修会 第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(西部)	・H20.10 米国発金融恐慌の体、世界同時株安へ 日本人、ノーベル物理学賞南部陽一郎、小林誠、益川敏英、同じく化学賞下村脩 博士受賞
	11月	2~ 8 13 16 23~24 27 29	レントゲン週間 第14回 常任理事会 平成20年度原子力災害緊急時対策研修会 第 1回 中部放射線医療技術学術大会(福井) 第15回 常任理事会 第 3回 理事会	
	12月	11 13 25	第16回 常任理事会 第 2回 医療安全セミナー 第17回 常任理事会	・H20.12 不況による製造業派遣切りで年越し 派遣村 ・H21.1 アメリカ初の黒人大統領(オバマ)誕生 ・H21.2 鹿児島市の桜島が小規模噴火 浅間山が噴火
	1月	15 17 22 25	第17回 常任理事会 第 8回 放射線技師のためのセミナー 第18回 常任理事会 新春公開講演会(第17回アール祭)	
	2月	7 12 14 15 26 28	第 4回 理事会 第19回 常任理事会 第30回 アンギオ部会研修会 第29回 M R I 部会研修会合同開催 第50回 東海四県放射線技師学術大会 第20回 常任理事会 第45回 超音波部会研修会 第12回 乳腺画像部会研修会合同開催 第 3回 放射線セミナー・地区総会(西部)	
	3月	7 8 12 14 21 26	第 2回 胃がん検診従事者講習会及び 第 2回 放射線セミナー・地区総会(中部) 静岡県放射線技師研修会 第21回 常任理事会 肺がん検診従事者講習会 地区総会(東部) 第22回 常任理事会	
2009年 (平成21年)	4月	4 9 23	第 1回 理事会 第 1回 常任理事会 第 2回 常任理事会	・H21.4 イタリア中部地震 (M6.3) (深さ10キ ロ) 発生
	5月	10 14 28 31	8 th全静オープンテニス大会 第 3回 常任理事会 第 4回 常任理事会 第36回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第14回 静岡県放射線技師学術大会	
	6月	4~ 6 11 13 20 25 27	第25回 放射線技師総合学術大会 (鹿児島) 第5回 常任理事会 第31回 アンギオ部会研修会 第46回 超音波部会研修会 第6回 常任理事会 第9回 放射線技師のためのセミナー	・H21.6 米ゼネラルモータース経営破綻 マイケルジャクソン死去
	7月	4 9 11 23	第13回 乳腺画像部会研修会 第 7回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(西部) 第 8回 常任理事会	<ul> <li>・H21.7         九州北部・中国地方豪雨災害     </li> <li>・H21.8         兵庫県豪雨災害     </li> <li>- 駿河湾で地震(M6.5)(震源の深さ</li> </ul>
	8月	1 27 29	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(東部) 第 9回 常任理事会 第 2回 理事会	20km) 発生 衆院議員選挙(政権交代) 厚生省 新型インフルエンザ流行を発表
	9月	10 20 24 26	第10回 常任理事会 第30回 静岡ふれあい広場 第11回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー	・H21.9 南太平洋サモア諸島地震 (M8.3) 発 生

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
			第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(中部)	
	10月	4 8 10 17 18 22 24	第 7回 放射線技師のためのセミナー 第12回 常任理事会 第47回 超音波部会研修会 第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(西部) 第12回 サッカーフェステバル in 静岡 第13回 常任理事会 第32回 アンギオ部会研修会	
	11月	2~ 8 7~ 8 12 15 26 28	レントゲン週間 第 2回 中部放射線医療技術学術大会(岐阜) 第14回 常任理事会 平成21年度原子力災害緊急時対策研修会 第15回 常任理事会 第 3回 理事会	
	12月	10 12 24	第16回 常任理事会  第 3回 医療安全セミナー  第17回 常任理事会	・H22.1 カリブ海ハイチで地震 (M7.0) 発生 深さ10km ・H22.2 第19回オリンピック冬季大会 (バン クーバー) 開幕 チリで地震 (M8.8) 発生深さ35km
	1月	14 16 24 28 31	第18回 常任理事会 第16回 放射線技師のためのセミナー 新春公開講演会(第18回アール祭) 第19回 常任理事会 第 2回 胃がん検診従事者講習会 第 2回 放射線セミナー・新年会(東部)	
	2月	4 6 13 18 21 27	第20回 常任理事会 第 4回 理事会 第33回 アンギオ部会研修会 第31回 MR I 部会研修会合同開催 第21回 常任理事会 第51回 東海四県放射線技師学術大会 第48回 超音波部会研修会 第14回 乳腺画像部会研修会合同開催	
	3月	6 7 11 20 22 25	第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会・総会(中部) 第 3回 勉強会・地区総会(西部) 第37回(社)静岡県放射線技師会通常総会 静岡県放射線技師研修会 第22回 常任理事会 肺がん検診従事者講習会 地区総会(東部) 第23回 常任理事会	
2010年 (平成22年)	4月	8 17 22	第 1回 常任理事会 第 1回 理事会 第 2回 常任理事会	・H22.4 北欧アイスランドで火山噴火 中国青海省で地震 (M7.1) 発生 深さ33km ・H22.5 宮崎県で口蹄液発生 ・H22.6 第19回FIFAワールドカップ (南アフリカ) 開催 惑星探査機はやぶさ7年ぶり帰還 子供手当支給開始 ・H22.7 臓器移植法が施行
	5月	13 23 27	第 3回 常任理事会 第38回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第15回 静岡県放射線技師学術大会 第 4回 常任理事会	
	6月	10 12 19 24 26	第 5回 常任理事会 第34回 アンギオ部会研修会 第48回 超音波部会研修会 第 6回 常任理事会 第12回 放射線技師のためのセミナー	
	7月	2~ 4 8 10 22	第26回 放射線技師総合学術大会(東京) 第 7回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(西部) 第 8回 常任理事会	
	8月	7 12 26 28	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部) 第 8回 常任理事会 第 9回 常任理事会 第 2回 理事会	

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	9月	4 9 12 23 25	第32回 MR I 部会研修会 第10回 常任理事会 第31回 静岡ふれあい広場 第11回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部)	
	10月	14 16 23 28	第12回 常任理事会 第50回 超音波部会研修会 第35回 アンギオ部会研究会 第13回 常任理事会	・H22.10 羽田新国際線ターミナル開業 ノーベル化学賞に根岸英一氏・鈴木 章氏
	11月	2~ 8 11 13~14 14 20 20~21 25	レントゲン週間 第14回 常任理事会 第10回 静岡県マンモグラフィ撮影講習会 平成22年度災害緊急時対策研修会(原子力編・地域災害編) 第 3回 理事会 第 3回 中部放射線医療技術学術大会(三重) 第15回 常任理事会	東北新幹線青森まで全線開通 チリで地下700mより33人救出
	12月	9 11 23	第15回 常任理事会 医療安全セミナー 第16回 常任理事会	
	1月	12 22 27 29	第17回 常任理事会 第15回 新春講演会(第19回アール祭) 第18回 常任理事会 第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部)	・H23.1 南米チリ沿岸で地震 (M7.1) 発生 チュニジア ベンアリ大統領独裁体制 に幕 ・H23.2 エジプト長期政権ムバラク大統領が 辞任 大相撲春場所、八百長問題で開催中 止
	2月	5 10 12 20 24 26	第 4回 理事会 第19回 常任理事会 第33回 M R I 部会 第36回 アンギオ部会合同研修会 東海四県放射線技師合同研究会 第20回 常任理事会 第51回 超音波部会 第16回 乳腺画像部会合同研修会	
	3月	5 10 12 13 17~31 19 24 26	第 3回 放射線セミナー地区会総会(西部) 第21回 常任理事会 肺がん検診従事者講習会 第39回 通常総会・放射線技師研修会 静岡県放射線・放射能に関する健康相談窓口にて電話対応実施 地区会総会(東部) 第22回 常任理事会 第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・総会(中部)	・H23.3 東日本大震災 (東北地方太平洋沖 M9.0 深さ約24km) 発生 九州新幹線全線開通
2011年 (平成23年)	4月	14 16 28	第 1回 常任理事会 第 1回 理事会 第 2回 常任理事会	・H23.4 東北新幹線全線運転再開
	5月	12 19~25 22 26	第 3回 常任理事会 福島へサーベイヤー派遣 第40回(社)静岡県放射線技師会通常総会 第16回 静岡県放射線技師学術大会 第 4回 常任理事会	・H23.5 浜岡原子力発電所の運転中止
	6月	9 18 23	第 5回 常任理事会 事務所移転(フェリス本通りへ) 第37回 アンギオ部会研修会 第 6回 常任理事会	•H23.7
	7月	25 9	5部会合同研修会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(西部) 第 7回 常任理事会	ドイツW杯開催Aなでしこジャパン、ワールドカップ優勝 新潟・福島に記録的豪雨 テレビアナログ放送終了デジタル放送へ ・H23.8 島田紳助が暴力団関係者との交際を理由に芸能界引退
	8月	21 6 25 27	第 8回 常任理事会 第 1回 放射線セミナーおよび 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会(東部) 第 9回 常任理事会 第 2回 理事会	

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	9月	4 8 11 16~18 22 24	臨時総会 第10回 常任理事会 第32回 静岡ふれあい広場 第27回 放射線技師総合学術大会 第18回 東アジア学術交流大会 (青森) 第11回 常任理事会 第1回 放射線セミナーおよび 第1回 胃がん検診X線撮影従事者講習会 (中部)	・H23.9 元アップルCEO、スティーブ・ジョブズ 氏死去、 56歳
	10月	13 15 22 27	第12回 常任理事会 第34回 M R I 部会 第53回 超音波部会合同研修会 第38回 アンギオ部会研究会 第 1回 東部地区ふれあい広場 第13回 常任理事会	
	11月	5 10 12~13 19 24 27	第 2回 放射線セミナー(西部) 第 1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 第14回 常任理事会 第 4回 中部放射線医療技術学術大会(富山) 秋期公開講演(静岡) 第15回 常任理事会 原子力火災緊急時対策研修会(地震・原子力対策編) 第16回 放射線技師のためのセミナー	・H23.11 オリンパス粉飾決算が発覚
	12月	3 8 10 22	第 3回 理事会 第17回 常任理事会 第 5回 医療安全セミナー 第18回 常任理事会	・H23.12 世界人口が70億人突破
	1月	12 15 21 26 29	第19回 常任理事会 第16回 放射線技師にためのセミナー 新春公開講演会(第20回アール祭) 第20回 常任理事会 第 2回 放射線セミナー(東部) 第 2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会	・H24.1 野田第1次改造内閣発足
	2月	4 9 11 19 23 25	第 4回 理事会 第21回 常任理事会 第39回 アンギオ部会研修会 第35回 MR I 部会研修会 第53回 東海四県放射線技師学術大会(岐阜) 第54回 超音波部会研修会 第22回 常任理事会 第18回 乳腺画像部会研修会	・H24.2 復興庁が発足
	3月	3 10 11 17 19 25	地区総会(西部) 第3回放射線セミナー(西部) 肺がん検診従事者講習会・地区総会(中部) 第2回胃がん検診X線従事者講習会 第41回(社)静岡県放射線技師会通常総会/放射線技師研修会 地区総会(東部) 第2回放射線セミナー(東部) 公益社団法人として認定 第23回常任理事会	・H24.3 全国で完全デジタル化が完了
2012年(平成24年)	4月	12 21 26	第 1回 常任理事会 第 1回 理事会 第 2回 常任理事会	・H24.4 新東名高速道路御殿場JCT-三ヶ日 JCT開通
	5月	10 24 27	第 3回 常任理事会 第 4回 常任理事会 第43回 静岡県放射線技師会通常総会 第17回 静岡県放射線技師学術大会	・H24.5 東京スカイツリー (634m) 開業、電 波塔として世界一の高さ。
	6月	1 2 14 16 17 24 28	日本放射線技師会 創立65周年記念事業 第72回 日本放射線技師会総会 第 5回 常任理事会 第55回 超音波部会研修会 診療放射線技師基礎講習 (乳房撮影検査) 第17回 放射線技師のためのセミナー 第 6回 常任理事会	・H24.6 原子力規制委員会設置法が成立

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	7月	7 12 21 26	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(西部) 第 7回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー(中部) 第 8回 常任理事会	・H24.7 生の牛レバー (レバ刺し) の提供禁止
	8月	9 23 25	第 9回 常任理事会 第10回 常任理事会 第 2回 理事会	・H24.8 第30回オリンピック (ロンドン) 開幕 消費増税法案成立 (10%へ)
	9月	13 15 27 28~29 30	第11回常任理事会 第1回 胃がん検診従事者講習会(中部地区会) 第12回常任理事会 第29回 日本診療放射線技師学術大会(愛知) 第33回 静岡ふれあい広場	・H24.9 尖閣諸島国有化
	10月	11 13 21 25 27	第13回常任理事会 第36回 MR I 部会研修会 第56回 超音波部会研修会 東部 ふれあい広場 第14回 常任理事会 第39回 アンギオ部会研修会	・H24.10 ノーベル医学・生理学賞に山中伸弥
	11月	3~ 4 8 11 17	第 5回 中部放射線医療技術学術大会(静岡)第15回常任理事会 平成24年度原子力緊急時災害対策研修会 第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん検診従事者講習会(西部) 中部地区行事(ボウリング大会) 公開講座(静岡パルシェ) 第16回常任理事会	- ・H24.11 米大統領選挙でオバマ大統領が再 選
	12月	1 8 13	第 3回 理事会 第 6回 医療安全セミナー 第17回 常任理事会	・H24.12 総選挙で自民党圧勝第二次安倍内 閣発足
	1月	10 12 19 24 26	第18回 常任理事会 第19回 放射線技師のためのセミナー 新春公開講演会(第21回 アール祭) 第19回 常任理事会 第19回 乳腺画像部会 第37回 MRI 部会 第57回 超音波部会研修会 合同研修会	- 笹子トンネル天井版崩落 ・H25.1 アルジェリア人質事件、日本人10人 死亡
	2月	3 9 14 23 28	第54回 東海四県放射線技師学術大会 第40回 アンギオ部会研修会 第20回 常任理事会 第 4回 理事会 第21回 常任理事会	・H25.2 ジャンプの高梨選手がW杯個人総合 優勝
	3月	2 10 14 28	地区総会(中部、西部) 第 3回 放射線セミナー 第 3回 胃がん検診従事者講習会 静岡県放射線技師研修会 第22回 常任理事会 第23回 常任理事会	・H25.3 安倍首相が日本のTPP交渉参加を表 明
2013年(平成25年)	4月	11 20 20~21	第 1回 常任理事会 1回 理事会 胃X線精度研究会 第19回 学術集会静岡大会・講習会 第 2回 常任理事会	・H25.4 長嶋茂雄と松井秀喜に国民栄誉賞 富士山が世界遺産登録内定
	5月	9 23 26	第 3回 常任理事会 第 4回 常任理事会 第 2回(公社)静岡県放射線技師会通常総会 第18回 静岡県放射線技師学術大会	<ul><li>・H25.5</li><li>三浦雄一郎さんがエベレスト登頂に成功</li></ul>
	6月	13 22 27 29	第 5回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診従事者講習会(西部) 第 6回 常任理事会 第20回 放射線技師のためのセミナー	・H25.6 富士山が世界遺産に登録
	7月		第 7回 常任理事会	

年度			放射線技師会主な出来事	国内外の主な出来事
	7月	20 25	第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診従事者講習会(東部) 第 8回 常任理事会	・H25.7 参議院議員選挙で自公与党が過半数 ねじれ解消
	8月	8 11 22 31	第 9回 常任理事会 中日本ブロック C T講習会(浜松) 第10回 常任理事会 第 2回 理事会	スペインの高速鉄道脱線事故 ・H25.8 イチロー選手が日米通算4000安
	9月	8 12 14 21 26 28	第34回 静岡ふれあい広場 静脈(抜針)講習会 第11回 常任理事会 第 1回 放射線セミナー 第 1回 胃がん検診従事者講習会(中部) 第38回 MR I 部会研修会 第29回 日本診療放射線技師学術大会(島根) 第12回 常任理事会 第22回 乳腺画像部会(東部ポジショニング講習会)	・H25.9 埼玉県で竜巻が発生し家屋21件が全 壊 2020年の夏季五輪開催地が東京に 決定
	10月	5 10 12 24 26	第59回 超音波部会研修会 第13回 常任理事会 静岡県放射線技師会創立65周年記念式典 第14回 常任理事会 第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん検診従事者講習会(西部) 第41回 アンギオ部会研修会	・H25.10 ホテルなどで食材偽装の発覚相次ぐ 伊豆大島で土石流災害、死者35人
	11月	2~ 3 9~10 14 16 24 28 30	静岡県マンモグラフィ講習会 第6回中部放射線医療技術学術大会(石川) 第15回常任理事会 第1回放射線セミナー 第1回胃がん検診従事者講習会(東部) 公開講座(あざれあ会館) 第16回常任理事会 原子力緊急時災害対策研修会 第21回放射線技師のためのセミナー	・H25.11「徳洲会」による選挙違反事件
	12月	7 12 14 26	第 3回 理事会 第17回 常任理事会 第 7回 医療安全セミナー 第18回 常任理事会	・H25.12 特定秘密保護法案を可決
2014年 (平成26年)	1月	9 18 23 25	第19回 常任理事会 第22回 放射線技師のためのセミナー 第20回 常任理事会 新春公開講演会(第22回 アール祭)	・H26.1 万能細胞を世界で初めて作製 (STAP 細胞) 浜松市14小学校でノロウィルス発生
	2月	1 8 13 15 16 22 27	第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん従事者講習会(東部地区) 第23回 乳腺画像部会研修会 第60回 超音波部会 第21回 常任理事会 第39回 M R I 部会 第42回 アンギオ部会合同研修会 第55回 東海四県放射線技師学術大会(静岡) 第 4回 理事会 第22回 常任理事会	・H26.2 第22回オリンピック冬季大会 (ソチ) 開幕
	3月	1 8 13 15 27	西部地区総会 第 3回 放射線セミナー 第 3回 胃がん検診従事者講習会(西部地区) 東部地区総会 中部地区総会 第 2回 放射線セミナー 第 2回 胃がん検診従事者講習会(中部地区) 第23回 常任理事会 静岡県放射線技師研修会 第24回 常任理事会	・H26.3 千葉県柏市通り魔事件し1名が死亡



# 編集後記

本会は、昭和23年8月、32名の参加により静岡県放射線技師会として誕生し、今年で65周年を迎えることができました。これも歴代役員の方々をはじめ、800名を越える会員の皆様の努力と情熱、多大な協力の賜物であると深く感謝申し上げますとともに、65周年記念誌をお届けでますことを大変光栄に感じております。

今回の記念誌につきましては50周年記念誌移行の15年を振り返り、記録するものとなっております。この15年を振り返ってみれば事務所購入・移転、福島原発事故に伴う技師の派遣、公益社団法人認可と大きなイベントが凝縮された15年であったことを編集にあたり、再認識しました。

これまでの技師会を築いて来られた先人に感謝し、これからの将来に向けて礎として編集した記念誌です。今後技師会運営を担っていく会員へ、歴史を伝える際の材料として活用していただければ幸いです。

最後にこの度の発刊に際し、多くの方々の助言、資料提供ならびに原稿執筆のご協力をいただきましたことをここに厚くお礼を申し上げます。



# 静岡県放射線技師会 65周年記念誌

~15年のあゆみ~

### 編集委員長

田中 睦生 聖隷浜松病院

委員

天野 宜委 磐田市立総合病院

川合 宏明 JA静岡厚生連 遠州病院

倉田 富雄 富士市立中央病院

斉藤 健一 藤枝市立総合病院

島田 洋一 静岡赤十字病院

橋本 隆 JA静岡厚生連 静岡厚生病院

望月 茂 沼津市立病院 山本 英雄 聖隷三方原病院

■発行日 平成26年3月27日

■発 行 公益社団法人 静岡県放射線技師会

 $\mp 420\text{-}0064$ 

静岡市本通1-3-5フェリス本通り202号 TEL:054-251-5954 FAX:054-251-9690

■発行人 公益社団法人 静岡県放射線技師会

会長 和田 健

■印 刷 松本印刷株式会社

